

公示用

# 設 計 書

工事名称 定山溪自然の村管理センターほか 1 3 棟外部改修工事

## 工事内容説明書

1. 工事名称 定山溪自然の村管理センターほか13棟外部改修工事

2. 施工場所 札幌市南区定山溪668番地

3. 請負工事費

内訳 工事価格

消費税等相当額

4. 工期 契約に示す着手の日から 令和6年11月29日 まで

5. 工事内容 管理センターほか13棟の外壁木部塗装改修、その他補修を行う。

共通費の算定に用いる工期 T=6.4月

令和5年8月単価適用

「令和5年3月から適用する公共工事設計労務単価について」（令和5年2月14日付け国不建キ第27号）における措置を踏まえた「官庁営繕工事に適用する市場単価（令和5年度単価）の運用について（試行）」（令和5年3月29日付け国営積第16号）を適用する。



名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
管理センター	1	式		
ふれあいハウス	1	式		
炊事場	1	式		
園内WC	1	式		
コテージ棟 ウグイス (基準タイプ)	1	式		
コテージ棟 カッコウ (基準タイプ)	1	式		
コテージ棟 ヤマセミ	1	式		
コテージ棟 クマゲラ (基準タイプ)	1	式		
コテージ棟 アカゲラ	1	式		
コテージ棟 コガラ (基準タイプ)	1	式		
コテージ棟 アオジ(身障者)	1	式		
コテージ棟 イゾノクワ (基準タイプ)	1	式		
コテージ棟 キセキレイ (基準タイプ)	1	式		
コテージ棟 シュウカラ (基準タイプ)	1	式		
計				







管理センター		外部改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(外部)						
D P 塗替 (糸幅300mm以下)	亜鉛メッキ鋼面 1級 錆止塗料B種 下地調整RB種		m			土台水切 見積
W P 塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			ケラ 見積
W P 塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			外壁青木板張 見積
W P 塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			独立柱・控え壁 見積
W P 塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			軒天羽目板 見積
W P 塗替 (糸幅300mm以下)	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m			軒天見切 見積
館銘板一時取外し ・再取付	W900 × H300 × D30		か所			
SUS箱文字一時取 外し・再取付	150 × 150 6文字		か所			
案内表示板一時取 外し・再取付	W500 × H300		か所			
AD1取外し再取付			か所			
(内部)						
W P 塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			木建面 見積
計						











ふれあいハウス		外部改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋根カーガバルウム 鋼板納め	t=0.4 谷納め 幅600mm程度		m			見積
屋根カーガバルウム 鋼板納め	t=0.4 軒先納め		m			見積
アスファルトフィング	940		m <sup>2</sup>			
板金運搬費		1	式			見積
ルーフ外塗	亜鉛メッキ鋼面 1級 下地調整RB種		m <sup>2</sup>			屋根(テラス) 見積
水洗い	既存鉄板面		m <sup>2</sup>			ルーフ外塗部
D P 塗替 (糸幅300mm以下)	亜鉛メッキ鋼面 1級 錆止塗料B種 下地調整RB種		m			水切 見積
D P 塗替	亜鉛メッキ鋼面 1級 錆止塗料B種 下地調整RB種		m <sup>2</sup>			壁 見積
D P 塗	ケガ板面 1級 素地ごしらえB種		m <sup>2</sup>			軒天 見積
D P 塗替	ケガ板面 1級 下地調整RB種		m <sup>2</sup>			軒天 見積
D P 塗替	亜鉛メッキ鋼面 1級 錆止塗料B種 下地調整RB種		m <sup>2</sup>			固定金物 見積
W P 塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			屋根 破風 見積
W P 塗	木部 素地ごしらえA種 2回塗 両面		m <sup>2</sup>			壁・胴差 見積
W P 塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			壁 見積
W P 塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			木建面 見積
壁 青木板	t15		m <sup>2</sup>			
胴差	L1350 120*120		本			
天井 けい酸 加工板張り	タイフ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし		m <sup>2</sup>			
WD-1取外し・再取 付け	1570×1955		か所			
WD-2取外し・再取 付け	2400×2000		か所			





























園内WC		外部改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
屋根ガ-ガ 鋼板納め	t=0.4 軒先納め 系尺300		m			破風 見積
板金運搬費		1	式			見積
D P 塗替 (系幅300mm以下)	亜鉛メッキ鋼面 1級 錆止塗料B種 下地調整RB種		m			水切 見積
D P 塗替	亜鉛メッキ鋼面 1級 錆止塗料B種 下地調整RB種		m <sup>2</sup>			柱脚金物 見積
D P 塗替	ケイ化板面 1級 下地調整RB種		m <sup>2</sup>			軒天 見積
W P 塗	木部 素地ごしらえA種 2回塗 両面		m <sup>2</sup>			壁 見積
W P 塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			壁 見積
C L 塗り 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)		m <sup>2</sup>			木建面 見積
壁 青木板	t15		m <sup>2</sup>			
WD-1取外し・再取 付け	800×2000		か所			
WD-2取外し・再取 付け	800×2000		か所			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×15		m			外壁取合
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			ﾌｰﾄﾞ 周囲
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×15		m			建具廻り
計						



















































コ-ジ棟 コガラ(基準タイプ)					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外部改修	改修	1	式		
計					



コ-ジ棟 コガラ(基準タイプ)		外部改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(外部)						
a位置 破風板カ-カ 鋼板 鋼板摺み直し	t0.4		か所			見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			材 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			外壁青木板 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			垂木・棟木・鼻隠し 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			木建面 見積
WD-1 建具調整	W 900 x H1930		か所			
計						

ﾃﾝｰｼﾞ 棟 ﾏﾝｼﾞ (身障者)						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
外部改修		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

17-2 棟 アゾ (身障者)					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外部改修	撤去	1	式		
外部改修	改修	1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

JF-ジ 棟 アジ (身障者)		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生、整理清掃後片付	進入口養生	1	式			
足場損料	枠組本足場、外部脚立足場	1	式			
災害防止費	安全手すり、金網式養生枠、柵状養生シート張り、小幡ネット	1	式			
仮設材運搬費		1	式			
計						

テ-ジ`棟 ア-ジ` (身障者)		外部改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
谷淀納め撤去	系600程度		m			
破風納め撤去	系150程度		m			
破風納め下地撤去	120×30 集積共		m			
鼻隠し撤去	35×165 集積共		m			
計						

3F 棟 アジ (身障者)		外部改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(外部)						
屋根カバー鋼板納め	t=0.4 谷淀納め 幅600mm程度		m			見積
屋根カバー鋼板納め	t=0.4 破風納め		m			見積
a位置 破風板カバー鋼板掴み直し	t0.4		か所			見積
b位置 破風板カバー鋼板掴み直し	t0.4		か所			見積
板金運搬費		1	式			見積
WP塗	木部 素地ごしらえ共 2回塗		m <sup>2</sup>			垂木・鼻隠し・方杖 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			D材 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			外壁青木板 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			垂木・棟木・鼻隠し・木組他 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			木建面 見積
方杖	L650 105*105 ボルト含む		本			
WD-2 建具調整	W1000 x H1930		か所			
青木製材(えぞ松、とど松、スプルース)	ひき角類 上小節 長さ3.64m 乾燥材		m3			板材
青木製材(えぞ松、とど松、スプルース)	板類 2級 長さ3.64m 乾燥材		m3			板材
木工事施工手間	垂木、破風納め下地、鼻隠し	1	式			
方杖ボルト撤去			本			
計						



3F-2 棟 アシ (身障者)		発生材処理				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込費		1	式			
撤去材運搬費		1	式			
建設廃棄物等処理 手数料		1	式			
計						

ケース棟 1号 仕様(基準タイプ)					
名 称	数 量	単 位	金 額	備 考	
直接仮設	1	式			
外部改修	1	式			
計					

1F-3 棟 1F 2階 (基準タイプ)					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外部改修	改修	1	式		
計					

コン`棟 IV` 力の(基準タイプ)		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生、整理清掃後片付	進入口養生	1	式			
足場損料	枠組本足場、外部脚立足場	1	式			
災害防止費	安全手すり、金網式養生枠、柵状養生シート張り、小幅ネット	1	式			
仮設材運搬費		1	式			
計						

庁舎棟 1F 玄関(基準タイプ)			外部改修		改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(外部)						
a位置 破風板カバー 鋼板摺み直し	t0.4		か所			見積
c位置 破風板カバー 鋼板摺み直し	t0.4		か所			見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			材 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			外壁青木板 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			垂木・棟木・鼻隠し 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			木建面 見積
WD-1 建具調整	W 900 x H1930		か所			
計						

マンション棟 仕様イ(基準タイプ)						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
外部改修		1		式		
計						

マンション棟 札幌イ(基準タイプ)					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外部改修	改修	1	式		
計					

ﾌﾟﾗﾝﾄﾞ ｷﾞﾗｲ(基準ﾀｲﾌﾟ)		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生、整理清掃後片付	進入口養生	1	式			
足場損料	枠組本足場、外部脚立足場	1	式			
災害防止費	安全手すり、金網式養生枠、柵状養生シート張り、小幅ネット	1	式			
仮設材運搬費		1	式			
計						





1階棟 シュカ(基準タイプ)									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
外部改修		1		式					
発生材処理		1		式					
計									

7F-7棟 シュカガ(基準タイプ)					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外部改修	撤去	1	式		
外部改修	改修	1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

7-2 棟 シリウカ(基準タイプ)		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生、整理清掃後片付	進入口養生	1	式			
足場損料	枠組本足場、外部脚立足場	1	式			
災害防止費	安全手すり、金網式養生枠、柵状養生シート張り、小幅ネット	1	式			
仮設材運搬費		1	式			
計						

コーポ棟 シュウカ(基準タイプ)		外部改修	撤去			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
破風納め撤去	系150程度		m			
鼻隠し撤去	35×165 集積共		m			
計						

3F棟 シュウカ(基準タイプ)		外部改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(外部)						
屋根カバーガルバリウム鋼板納め	t=0.4 破風納め		m			見積
a位置 破風板カバーガルバリウム鋼板掴み直し	t0.4		か所			見積
d位置 破風板カバーガルバリウム鋼板掴み直し	t0.4		か所			見積
e位置 破風板カバーガルバリウム鋼板掴み直し	t0.4		か所			見積
板金運搬費		1	式			見積
WP塗	木部 素地ごしらえ共 2回塗 両面		m <sup>2</sup>			鼻隠し 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			D材 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			外壁青木板 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			垂木・棟木・鼻隠し 見積
WP塗替	既存木部 下地調整RB種 2回塗		m <sup>2</sup>			木建面 見積
WD-1 建具調整	W 900×H1930		か所			
青木製材(えぞ松、とど松、スプルース)	ひき角類 上小節 長さ3.64m 乾燥材		m <sup>3</sup>			板材
木工事施工手間	垂木、破風納め下地、鼻隠し	1	式			
計						



名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガ-トフェイス	H=1.8m 柱脚固定具共 参考日数161日 コナ-ガ-ト共	1	式			
加ガ-ト	W4.5*H1.509 参考日数161日	1	式			
仮設鉄板敷	1524×6096×22mm 161日 223㎡	1	式			
交通誘導警備員	B 56人日	1	式			
化学物質室内 空気濃度測定	学校環境衛生基準による精密測定 6物質(アタイプ法) 2ヶ所×2回	1	式			
計						



名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材売却費 (有価屑鉄・7%ミ)		1	式			
循環税	最終処分場へ搬出(埋立て)	1	式			
計						

# 令和6年度 定山溪自然の村管理センター ほか13棟外部改修工事

意匠図					
図面番号	図名	図面番号	図名	図面番号	図名
A-00	表紙・図面リスト	A-26	矩計図1 (ふれあいハウス)	A-51	③ヤマセミ タイプ 立面図 (コテージ棟)
A-01	特記仕様書1	A-27	矩計図2 (ふれあいハウス)	A-52	⑤アカゲラ タイプ 平面図 (コテージ棟)
A-02	特記仕様書2	A-28	矩計図3 (ふれあいハウス)	A-53	⑤アカゲラ タイプ 立面図 (コテージ棟)
A-03	特記仕様書3	A-29	軒天伏図 (ふれあいハウス)	A-54	⑤アカゲラ タイプ軒天伏図 (コテージ棟)
A-04	特記仕様書4	A-30	建具配置図 (ふれあいハウス)	A-55	⑦アオジ (身障者) タイプ 平面図 (コテージ棟)
A-05	特記仕様書5	A-31	建具表 (ふれあいハウス)	A-56	⑦アオジ (身障者) タイプ 立面図 (コテージ棟)
A-06	特記仕様書6	A-32	部分詳細図 (ふれあいハウス)		
A-07	特記仕様書7		炊事場		仮設計画図
A-08	特記仕様書8	A-33	平面図 (炊事場)	K-01	仮設計画図1 (参考図)
A-09	付近見取図・配置図	A-34	屋根伏図 (炊事場)	K-02	仮設計画図2 (参考図)
A-10	設計概要書・改修工事リスト1	A-35	立面図1 (炊事場)		
A-11	改修工事リスト2	A-36	立面図2 (炊事場)		
	管理センター	A-37	矩計図 (炊事場)		
A-12	平面図 (管理センター)	A-38	小屋伏図 (炊事場)		
A-13	立面図1 (管理センター)	A-39	軸組図 (炊事場)		
A-14	立面図2 (管理センター)		園内WC		
A-15	矩計図1 (管理センター)	A-40	平面図 (園内WC)		
A-16	矩計図2 (管理センター)	A-41	立面図 (園内WC)		
A-17	矩計図3 (管理センター)	A-42	矩計図 (園内WC)		
A-18	軒天伏図 (管理センター)	A-43	建具表 (園内WC)		
A-19	建具配置図 (管理センター)	A-44	部分詳細図 (園内WC)		
A-20	建具表1 (管理センター)		コテージ棟		
A-21	建具表2 (管理センター)	A-45	基準タイプ 平面図 (コテージ棟)		
A-22	部分詳細図 (管理センター)	A-46	基準タイプ 立面図 (コテージ棟)		
	ふれあいハウス	A-47	矩計図1 (共通) (コテージ棟)		
A-23	平面図 (ふれあいハウス)	A-48	矩計図2 (共通) (コテージ棟)		
A-24	屋根伏図 (ふれあいハウス)	A-49	建具表 (共通) (コテージ棟)		
A-25	立面図 (ふれあいハウス)	A-50	③ヤマセミ タイプ 平面図 (コテージ棟)		



18	工事の入札及び契約の適正化	「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」を遵守し、施工体制の適正化を図ること。
19	施工体制台帳等	(a) 施工体制台帳 (1.1.5) 建設業法並びに公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律等により、工事の受注者である建設業者は、下請契約を締結するときは、その金額に関わらず、施工体制台帳を作成し、工事現場ごとに備え置くこと。 また、その写しを発注者に提出すること。その際、資格要件にない免許・資格証等の不必要な個人情報は添付しない。なお、施工体制台帳の作成範囲・構成は、「施工体制台帳作成のポイント（札幌市財政局工事管理室）」による。
20	臨時検査	臨時検査は下記の場合に実施する。(1.8.2) (1) 中間技術検査 各年度1回以上（ただし、複数年度の継続工事において、支払が発生しない年度については除く。）行うほか、基礎ぐい工事がある場合は、その施工中に1回。 (2) 臨時技術検査 発注者が必要と認めた場合
21	法令等の遵守	当該工事における適用法令等を遵守し、必要となる法令等を把握したうえで、その一覧(適用法令・要領・要綱・指針・基準・届出時期等)を作成し、施工計画書に明示する。(1.1.13)
22	苦情の対応処置	当該工事における苦情への対応及び報告書について、施工計画書に明示すること。 また、監督員にその都度報告し、指示を受ける。(1.3.7)
23	不法無線局及び違法無線局対策	受注者は、電波法令を遵守し、不法無線局（電波法に規定する免許または登録をせずに開設する無線局 例：不法アマチュア局、外国製無線機（FRS/GMRS）など）及び無線局の違法な運用（免許または登録を受けていながら、電波法の範囲を逸脱して使用することなど 例：アマチュア局を使用した業務連絡など）を行ってはならない。
24	建設副産物対策	(1) 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）の対象になった場合、次の項目に掲げた事項について措置を講ずること。  (7) 建設リサイクル法を厳守し、再生資源の十分な利用と廃棄物の減量等を通じて資源の有効な利用の確保及び廃棄物の適正な処理を図り、生活環境の保全に努める。  (4) 工事に着手する前に別途指示する「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、監督員に説明の上提出するとともに、特定建設資材廃棄物の再生資源化等が完了したときは、その実施状況に関する記録を作成し書面により報告すること。  (7) 本法律対象となった時は、契約等の新たな手続きが必要となるので留意する。  (2) 受注者は、「建設副産物適正処理推進要綱」を厳守し、建設工事の円滑な施工の確保及び生活環境の保全に努めること。  (3) 受注者は、着手時に「再生資源利用計画書（建設資材入）と再生資源利用促進計画書（建設副産物の搬出）」を作成し、監督員に提出すると共に、工事完了時には、実施書により実施状況記録を報告する。
25	発生材の処理	(1) 本工事で発生する建設副産物は、次により処理を行う。(1.3.12)  (7) 建設副産物の搬出先は下表の通りとし、原則として札幌市内の処理施設を、「札幌市産業廃棄物処分業許可業者名簿」（環境局HP参照）から指定すること。ただし、（※）で示す副産物については、市外に搬出すること。

搬出先	種別
再生資源化施設	アスファルトコンクリート塊、コンクリート塊、コンクリート塊(モルタル付着)、コンクリートブロック(建築用)、インターロッキングブロック(着色含)、金属くず、木くず(建設廃材)、剪定枝等生木、廃プラスチック類、蛍光管類、(条件有)、汚泥(無機性)
その他の施設	がれき、紙くず・木くず・繊維くず、ALCパネル、混合廃棄物、廃石膏ボード、アスファルト防水材(※)、非飛散性アスベスト成形板(※)

(4) 処理計画については、受け入れ条件等を確認のうえ、事前に監督員と協議すること。

(9) 再生資源化施設へ搬出した場合、搬出後、調書を監督員に提出すること。

(エ) 現場より発生する汚泥は、速やかに溶出試験、含有試験を行い「環境基本法に基づく環境基準(平成3年環境省告示第46号)」および「土壌汚染対策法に基づく特定有害物質の含有量基準(平成15年環境省告示第19号)」にそれぞれ適合することを確認し、資料を監督員に提出すること。  
※試験回数(※1 回)

(2) 舗装切断汚水  
・舗装切断汚水は下記の施設で処分すること。  
公清企業（エコパーク）（札幌市東区中沼町45番地23）

(3) 特別管理産業廃棄物  
（・種別：搬出先：）  
受注者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し、監督員に報告する。なお、選任は受注者の中で行う。

(4) 有価金属  
・有価金属は、下記の業者で処分すること。  
(7) 札幌市競争入札参加資格者：物品・役務関係・再生資源関係業者  
(4) 廃棄物再生事業登録業者(知事登録)  
(7) 金属くず商許可業者(警察許可)  
なお、搬出を行なった際、領収書または、受入伝票等及び許可書等の写しを監督員に提出すること。

・有価金属は、材料引渡しリストを作成し、下記保管場所に保管する。  
(保管場所：)

(5) 産業廃棄物運搬車両表示  
産業廃棄物を自己運搬する際に使用する車両には「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条」により定められた表示を行うとともに、その運搬車に必要な書面を備え付けること。  
(同法施行規則第7条の2第3項及び第7条の2の2)

26 設備工事との取合い

施工範囲  
① 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及び、それらの補強  
② 図示した鉄骨造の貫通孔の補強プレート等  
③ 図示した天井の仕上材、下地材の切込み及び下地の補強  
④ 電動駆動装置がある建具類の2次配線及び操作スイッチ  
⑤ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強

施工図  
設備機械の位置・取合い等、検討できる施工図を提出して監督員の承諾を受ける。

工事区分 ※該当は ● 印とする。

項目	建築	電気	暖房	衛生	備考
躯体の設備配管用のスリーブ及びボックス入れ	○	○	○	○	
同上の補強	○	○	○	○	
天井・壁取付け設備機器用穴あけと補強	○	○	○	○	墨出は設備
ルーフトレム	○	○	○	○	補強は建築
設備用天井・床下点検口	○	○	○	○	位置は協議 墨出・施工建築
設備用穴あけとモルタル充填・断熱補修	○	○	○	○	
ドラフトチャンパー本体及び排気筒	○	○	○	○	
設備用機械基礎	○	○	○	○	
床下受水槽マンホール	○	○	○	○	
換気扇等の取付用枠	○	○	○	○	
ピット内連通管	○	○	○	○	
設備機器取付用下地補強	○	○	○	○	
フード・ベンドキャップ類のコーキング	○	○	○	○	
衛生器具廻りのコーキング	○	○	○	○	

27 工事標識

工事に先立ち監督員の指示する位置に指定様式の工事標識を設置すること。

種別  
・Aタイプ(縦850×横1,760) ●Bタイプ(縦850×横800)  
表面材：着色カラー鉄板白色 厚0.35mm、文字は黒色。

工	工事名	工事
事	工事期間 令和 年 月 日～令和 年 月 日	
	施工者	会社
標	代表者名	Tel
	発注担当 (一財)札幌市住宅管理公社	
識	保全部 保全課 建築係	Tel 211-3383

28 建設機械の選定

工事に使用する建設機械は、以下による。  
「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）により指定された建設機械を使用する。本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合は、国土交通省「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械、平成7年度建設技術評価制度公募課題の「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、また、これと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する。ただし、道路運送車両法の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車の種別で、有効な自動車検証の交付を受けているものは除く。その旨を施工計画書に記載し監督員の確認を受けると共に、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真（指定ラベル、形式等）を監督員に提出する。  
なお、これにより難い時は監督員と協議すること。

対象機種	型式	規格
バックホウ	油圧式クローラ型	ディーゼルエンジン
ブルドーザ	普通、湿地、リッパ装置付	(エンジン出力7.5kW以上260kW以下)を搭載した建設機械に限る。
トラクターショベル	ホイール型	ただし、道路運送車両法による排ガス規制を受けている建設機械は除く。
発動発電機	可搬式、溶接兼用機含む	
空気圧縮機	可搬式	
油圧式杭圧入引抜機		
ローラ	ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ	
ホイールクレーン	ラフテレーンクレーン	

29 建築基準法に  
基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法と定められた工種について、工法を施工計画書として提出する。  
(標8.4.3)(標10.5.3)(標13.2.3)(標13.3.3)(標14.7.3)  
建築基準法に基づき定められた区分等  
基準風速 Vo=(※32) m/s  
地表面粗度区分 (・I ・II ※III ・IV )

多雪地域とし、垂直積雪量等は、札幌市建築基準法施行細則第21条による。

30 施工数量調査  
・調査範囲 (1.6.2)(1.6.3)  
・調査方法  
・破壊部分の補修  
・報告書

31 完成時の提出図書  
完成図 ●作成する (A3判 2部) ・作成しない  
作成方法  
●製本 (A3判 2部) ・白焼きバラ (A3判 部)  
製本等は、完成図、主要な施工図、実施工程表、施工業者一覧、主要な使用材料一覧をまとめたものとする。(1.9.1)(1.9.2)(表1.9.1)  
  
完成図のCADデータ ●提出する ・提出しない  
データ形式は、以下のすべてを提出すること。(1.9.2)  
① 貴社で使用しているCAD形式  
② DXF形式  
③ PDF形式

32 工事写真及び完成写真

保全に関する資料 ●作成する (1部) ・作成しない (1.9.3)  
保証書等 ●作成する (2部) ・作成しない

設計図CADデータの貸与 ●貸与する ・貸与しない  
貸与するCADデータは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用し、それ以外の目的で使用してはならない。 貸与したCADデータは、しゅん功検査時にすべて返却し、履行期間中に複製を作成した場合は、すべて削除すること。

(1) 工事写真の撮影及び整理については、「営繕工事写真撮影要領(令和3年版)」による。ただし、提出部数及び形式については監督員と協議する。(1.2.4)  
(2) デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、事前に監督員の承諾を得ることとし、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」(平成29年3月1日付 国営整第211号)に基づき実施する。  
(3) 完成写真の提出部数  
(紙媒体 1部) (電子媒体 1部)  
完成写真の様子は、監督員と協議する。  
(4) 受注者は著作物等（工事写真・完成写真等）の利用を発注者に許諾する。

## 2章 仮設工事

01 足場その他  
・内部足場： (2.2.1)  
( ※脚立、足場板等 ・架台足場 ・移動式足場)  
  
●外部足場：※枠組 ・くさび緊結式 ・単管  
・ゴンドラ ・移動式 ・高所作業車  
  
●危険防止： ・金網張 ●金網式養生柵  
・防炎シート (※I類 ・II類)  
●ネット状養生シート (※I類 ・II類)  
・養生防護棚 ・水平ネット  
  
●材料、撤去材料等の運搬方法 (表2.2.1)  
・A種(二本構りト) ●B種(トラックレン等)  
・C種(既存EV利用) ・D種(既存階段) ・E種(登り桟橋等)  
  
●手すり先行足場  
(手すり先行足場を使用する場合は「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」による)  
  
●既存養生方法(※ビニールシート、合板類) (2.3.1)  
●既存部分における既存家具、既存設備等の養生(※ビニールシート)  
・既存ガラス・カーテン等の養生方法及び保管場所  
(※監督員の指示による)  
・備品、机、ロッカ等の移動 ( ・行う ・行わない)

03 仮設間仕切り  
・設置する(図示による) ・設置しない (2.3.2)  
種別( ・A種 ※B種 ・C種) (表2.3.1)  
  
A種及びB種の材種：  
( ※石膏ボード ・合板 ・ケイカル板＋石膏ボード)  
厚さ( ※9.5mm ・9mm ・4mm＋12.5mm)  
仮設扉( ※設置する(図示による) ・設置しない)  
扉の構造( ※合板張り木製扉程度 ・図示による)  
塗装( ・行う ※行わない)

04 仮囲い  
・鋼板製(H=3,000mm) ( ・片面現場塗装 ・塗装なし)  
●ガードフェンス(H=1,800mm)  
●仮門( ・パネルゲート ●クロスゲート)  
( H=1,509 mm ・W=4,500 mm)

05 工事用水  
構内既存の施設 ●利用できない ・利用できる( ※有償 ・無償)

06 工事用電力  
構内既存の施設 ●利用できない ・利用できる( ※有償 ・無償)

07 工事用仮設道路  
範囲は図示による。  
材料( ・再生クワッキラン ・切込砕石 ●敷鉄板 722 )

08 仮設物撤去  
復旧 ●原形に復する。

(一財)札幌市住宅管理公社	課長	係長	設計主任	製図	令和 年 月 日	工事名	定山溪自然の村管理センターほか13棟外部改修工事		図番
						図面名	特記仕様書 2	縮尺	02



8章 防水改修工事

Table with 2 columns: Item description (e.g., 01 降雨に対する養生方法, 02 改修工法の種類) and Technical specifications (e.g., ※3.1.3による, (3.1.3), 改修工法の種類 (3.1.4) (表3.1.1)).

Table with 2 columns: Item description (e.g., 05 合成高分子系ルーフィングシート防水, 06 塗膜防水) and Technical specifications (e.g., 新規防水層の種類、施工箇所 (3.5.3) (表3.5.1~3), ルーフィングシート種類 厚さ(mm)).

Table with 2 columns: Item description (e.g., 01 あと施工アンカー) and Technical specifications (e.g., 材料、目地寸法 (3.7.2) (3.7.3) (表3.7.1), シーリングの種類, 目地寸法(mm), 施工箇所).

9章 金属工事

Table with 2 columns: Item description (e.g., 01 あと施工アンカー, 02 軽量鉄骨天井下地) and Technical specifications (e.g., あと施工アンカーの種類 (8.2.4), あと施工アンカーの耐力 (※以下による) (図示による) (8.2.4)).

Table with 2 columns: Item description (e.g., 04 金属成形板張り(天井), 05 アルミニウム製笠木) and Technical specifications (e.g., (標14.6.2), 材料の種類別, 表面処理等, その他).

## 10章 左官工事

01 モルタル塗り	仕上りの種類 (標15.3.5) (標表15.3.4) (標表15.6.3)
	・金ゴテ仕上げ 施工箇所: ・木ゴテ仕上げ 施工箇所: ・はけ引き仕上げ 施工箇所:  ・材料 ( ・現場調査材料 ・既調合材料 ) (標15.3.2) ・既製目地材 形状、位置は図示による。 (標15.3.2) ・床目地の設置 (標15.3.5) 工法 (※押し目地 ) 位置 (※2㎡程度 (最大目地間隔3m程度) ) ・外装タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験 ( ・行う ・行わない) (標15.3.5)
02 防水モルタル塗り	施工箇所:
03 床コンクリート直均し仕上げ	仕上りの種類 (標15.4.1) ・金ゴテ仕上げ 施工箇所: ・粗面仕上げ 施工箇所: ・塗物、敷物、張物等の下地 施工箇所:
04 セルフレベリング材塗り	種類 (標15.5.2) (標表15.5.1) (標15.5.3)
	・セッコウ系 ※10.0mm ・セメント系 ※10.0mm
05 仕上塗材仕上げ	仕上塗材は、11章 外壁改修工事の 塗り仕上げ外壁等の改修を参照すること。
06 ロックウール吹付け	吹付け材の種類 (標15.12.3)
	種類 色 彩 厚さ (mm) ・一般用 ・ ・着色 ・原色 ・10 ・15 ・20  ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒド放散量は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (標15.12.2)

## 11章 外壁改修工事

01 外壁改修工事の種類	・コンクリート打放し仕上げ外壁 (4.1.4) ・ひび割れ部改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法 ・欠損部改修工法 ・充填工法 ・モルタル塗替え工法  ・浮き部改修工法 ・アンカーピンニング工法(注入口アンカーピンニング工法) ・充填工法 ・モルタル塗替え工法  ・モルタル塗り仕上げ外壁 ・ひび割れ部改修工法 ・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法 ・欠損部改修工法 ・充填工法 ・モルタル塗替え工法  ・浮き部改修工法 ・アンカーピンニング工法(注入口アンカーピンニング工法) ・充填工法 ・モルタル塗替え工法  ・目地改修工法 ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法
	・モルタル塗り仕上げ外壁 ・ひび割れ部改修工法 ※樹脂注入工法 ・欠損部改修工法 ・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法 ・浮き部改修工法 ・アンカーピンニング工法(注入口アンカーピンニング工法) ・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法 ・目地改修工法 ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法

## 02 工法別使用材料

・樹脂注入工法 (4.2.4) (4.2.5) (4.3.5) (4.3.6) (4.4.5) (4.4.6)				
材料	エポキシ樹脂 (JIS A6024)			
	工法	注入間隔 注入量		
	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	※200~300mm ・		
・手動式エポキシ樹脂注入工法	・	・		
・機械式エポキシ樹脂注入工法	・	・		
確認	・コア抜き取りによるひび割れ部の注入状況の確認 ・その他の方法 ( ) 抜き取り箇所数 ( 箇所 ) 抜き取り部分の補修方法 ( ・監督員との協議による。)			
・Uカットシール充填工法 (4.2.4) (4.2.6) (4.3.5) (4.3.7)				
材料	・シーリング ( ・1成分形ポリウレタン系 ・2成分形ポリウレタン系) ・可とう性エポキシ樹脂 ・ポリマーセメントモルタル			
	工法	シーリング材の試験 ※同材の組合せで実施した試験成績表がある場合は行わない ・試験を行う (※簡易接着性試験 ・引張接着性試験) 試験の適用箇所 ( )		
・シール工法 (4.2.4) (4.2.6) (4.3.5) (4.3.7)				
材料	・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂			
・充填工法 (4.2.4) (4.2.8) (4.3.5) (4.3.9)				
材料	・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル			
※モルタル塗り仕上げ外壁の場合はポリマーセメント (4.3.7(3)) による				
・モルタル塗り替え工法 (4.3.5) (4.3.10)				
材料	・現場調査材料 ・既調合材料 ( ・ ) ・既製目地材 形状(※図示による ・ )			
工法	モルタル塗厚が 25mm を超える場合の処理 ( ・ )			
・アンカーピンニング工法 (4.3.5) (4.3.11~16) (4.4.5) (4.4.9~15)				
材料	アンカーピン 材質(※ SUS304 4mmφ丸棒全金切り加工) 長さ ( ・50 ・70 ・100 ) 注入口付アンカーピン 材質(※ SUS304 6mmφ) 長さ ( ・ ) ポリマーセメントスラリー(※実績等の資料を提出する)			
	工法	アンカーピン本数(本/㎡) 一般部 指定部	注入口箇所数(箇所/㎡) 一般部 指定部	充填量注入量(m <sup>3</sup> )
・部分エポキシ樹脂注入	※ 16	※ 25	※ 25	※ 25
・全面エポキシ樹脂注入	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20
・全面ポリマーセメントスラリー注入	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20
・注入口付部分エポキシ樹脂注入	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16
・注入口付全面エポキシ樹脂注入	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16
・注入口付全面ポリマーセメントスラリー注入	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16
・注入口付エポキシ樹脂注入	・	・	・	※ 25

03 タイル改修						
・タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) (4.4.8) (表4.4.4)						
適用 ( ・0.25㎡超え ・下地モルタル無 ) 張付材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化型変性アクリル樹脂系又はアクリル樹脂系 タイルの品質はJIS A5209によるほか、次による						
形状寸法(mm)	吸水率	釉薬	役物	耐寒害性	耐滑り性	色
	Ⅰ類 Ⅱ類 Ⅲ類	・施 ・無	・有 ・無	・有 ・無	・0.4 ・	・標準 ・特注
参考 吸水率による区分は、Ⅰ類は旧規格の磁器質、Ⅱ類はせっ器質、Ⅲ類は陶器質にほぼ該当する。 試験張り ( ・行う ・行わない) (4.4.8) 見本焼き ( ・行う ・行わない)						

## 04 塗り仕上げ外壁等の改修

・壁タイル張りの工法 (標表11.2.3) (標表11.3.2) (標表4.4.5) (標表4.4.6)		
・内外装タイル	・密着張り ・改良圧着張り	・接着剤張り
・内装タイル以外のユニットタイル	・マスク張り ・モザイクタイル張り	・接着剤張り
・下地モルタルの接着力試験 有機系接着剤による陶磁器質タイル張りにおける目地の「シーリング材」打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地(※ポリウレタン系) 伸縮調整目地、その他の目地(※変性シリコン系) ※目地の位置は図示による		
・目地改修工法 (4.4.16)		
伸縮調整目地	位置(※図示による)	寸法( ・ )
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (4.5.4) (4.5.5)		
工法	・サンダー工法 ・塗膜はく離利工法	・高圧水洗工法 ・水洗い工法
処理範囲	※既存仕上面全体 ・図示による	
下地調整塗材の種類	※セメント系下地調整材 ・ポリマーセメントモルタル	
仕上塗材はJIS A6909により種類等は以下による (4.5.2) (表4.5.1) (表4.5.2)		
名 称	種類(呼び名)	仕上げの形状及び工法
薄付け仕上塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状(・吹付 ・こて塗)
	・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・
厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・ひき起し ( ・セメント系 )
	・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・上塗り材 ( ・ )
複層仕上塗材	・複層塗材E	・ゆず肌
	・複層塗材E	・凸部処理
	・防水形複層塗材E	・凹凸状
その他の仕上塗材		

複層仕上塗材の上塗材の耐候性、種類 (4.5.2)			
耐候型	・耐候形3種 ・耐候形2種 ・耐候形1種		
種類	・水性アクリル系つやあり ・アクリルシリコン系 ・ポリアルキル系 ・フッ素系		
・機能性塗料 ( ・透湿性 ・ )			
防火材料の指定(※あり ・なし)			
仕上塗材のホルムアルデヒド放散量は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (4.5.2)			
・外壁用塗膜防水材はJIS A 6021による外壁用アクリル系とし、種類等は以下による (表4.2.6) (4.8.2) (4.8.3) 仕上げの形状 ( ・凹凸状 ・凸部処理 ・ゆず肌状 ・さざ波状) 下地挙動緩衝材 ( ・あり ・なし )			
・マッシュク塗材塗り (4.6.2)			
使用部位	塗り種別	下地調整種別	
コンクリート、押出成型セメントモルタル、ALCA <sup>®</sup> 被り面	・A種 ・B種	・RA種	※RB種 ・RC種
押出成型セメント板面の下地調整はRB種とする			
05 マッシュク塗材塗り			

## 12章 建具改修工事

01 改修方法	工法 ( ・かぶせ工法 ・撤去工法) (5.1.3)
	新規建具の開け方及び建具周囲の補修工法並びにその範囲は図示による。 建具周囲のシーリング材は「8章 防水改修工事」による。
02 防火戸	適用箇所 ※図示による (5.1.4)
	ヒューズ装置、熱感知器等との連動 ※図示による
03 建具見本の製作等ほか	見本製作 ( ・行う ※行わない) (5.1.5)
	仮組 ( ・行う ※行わない) 防犯建物部品の適用 ( ・あり(図示) ・なし) (5.1.7)
04 防音、断熱、耐震性能	防音、断熱、耐震性能 (5.2.2) (5.3.2) (5.4.2) (5.5.2)
	・防音ドアセット、サッシ 遮音性の等級 T- ・断熱ドアセット、サッシ 断熱性の等級 H- ・耐震ドアセット、サッシ 耐震性の等級 D-
適用箇所は図示による	
05 アルミニウム製建具	アルミニウム製建具の性能 (5.2.2)
	・外部 ・A種 ※S-4 ※A-3 ※W-4 ・B種 ※S-5 ※A-4 ※W-4 ・C種 ※S-6 ※A-4 ※W-5 ・ ・ ・ ・ ・屋内 ・
表面処理 外部 (※B-1 ・ ) 内部 (※C-1 ・ ) (5.2.4) ・常温乾燥形の塗装 (5.2.4) 表面色 ( ※標準色 ・特注色 ) 建具の枠の見込み寸法 (※70mm) ・図示による) (5.2.2) ステンレス鋼板の種類 (5.2.3) (5.6.3) ( ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ ) ステンレス製くつずりの仕上げ (5.2.4) (5.4.4) ( ※HL ・ ) 結露水の処理 (※図示による ・ ) (5.2.4) 水切り板、ぜん板等の適用、材料等は図示による。 (5.2.5)	
06 樹脂製建具	樹脂製建具の性能 (5.3.2)
	・外部 ・A種 ※S-4 ※A-4 ※W-4 ・B種 ※S-5 ※A-4 ※W-5 ・C種 ※S-6 ※A-4 ※W-5 ・ ・ ・ ・ ・屋内 ・
使用ガラス (※複層ガラス ・ ) (5.3.3) 複層ガラスのスペーサー ( ・アルミ ・樹脂 ) 建具の枠の見込み寸法 (※図示による ・ ) (5.3.4) ステンレス製くつずりの仕上げ (5.3.4) (5.4.4) ( ※HL ・ ) 表面色 ( ・標準色 ・特注色 ) 水切り板、ぜん板等の適用、材料等は図示による (5.3.5)	
07 鋼製建具	鋼製建具の性能 (5.4.2)
	・簡易気密型 ※指定なし ※A-3 ※W-1 ・指定性能 ・
(注)外部に面する建具は S-4、S-5、S-6のいずれかとする ステンレス鋼板の種類 (5.4.3) (5.6.3) 種類 ( ・ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ) 鋼板の厚さ (※表5.4.2による ・ 図示による) (5.4.4) ステンレス製くつずりの仕上げ (5.4.4) ( ※HL ・ )	
08 鋼製軽量建具	鋼製軽量建具の性能 (5.5.2)
	・簡易気密型 ※指定なし ※A-3 ※指定なし ・指定性能 ・
鋼板(※亜鉛めつき鋼板 ・ビル被膜鋼板 ・カー鋼板) (5.5.3) ステンレス鋼板の種類 (5.4.3) (5.6.3) ( ※SUS304 ・ SUS430J1L又はSUS443J1 ・ ) ステンレス製くつずりの仕上げ (5.5.4) (5.4.4) ( ※HL ・ ) 鋼製軽量建具の召合せ、縦小口包み板等の材質 ( ※鋼板 ・ ) (5.5.3) 鋼板の厚さ (※表5.5.1による ・ 図示による) (5.5.4)	

09 ステンレス製 建具	ステンレス鋼板 (5.6.3)(5.6.4)(5.6.5) 種類 ( ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ) 仕上( ※HL ) 曲げ加工( ※普通曲げ ・角出し曲げ )												
10 網戸	・防虫網の材質 ( ※合成樹脂 ・ガラス繊維入り合成樹脂 ・ステンレス(SUS316) ) 線径 ( ※0.25mm以上 ) 網目 ( ※16~18 ) 適用箇所は図示による (5.2.3)												
11 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ( ※A種 ・B種 ) 枠、くつずりの材料 ( ※図示による ) フラッシュ戸 表面材の合板 (5.7.2)(表 5.7.2)												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>表面材の品質等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板</td> <td>接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 板面の品質 ※広葉樹1等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF</td> <td>表裏面の状態による区分 曲げ強さ 接着材による区分 難燃性による区分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	合板の種類	表面材の品質等	備考	・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 板面の品質 ※広葉樹1等		・MDF	表裏面の状態による区分 曲げ強さ 接着材による区分 難燃性による区分				
合板の種類	表面材の品質等	備考											
・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 板面の品質 ※広葉樹1等												
・MDF	表裏面の状態による区分 曲げ強さ 接着材による区分 難燃性による区分												
	表面板の厚さ ( ※表5.7.6による ) 引戸の定規縁 ( ・いんろう付き ) ・かまち戸 樹種 かまち 鏡板 見込み寸法 ( ※36mm ・図示による ) 合板、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。(標16.7.2)												
12 建具用金物	金物の種類、材質( ※表5.8.1による ・図示による ) 金物の取付位置等は図示による。 鍵の製作本数( ※監督員との協議による ) マスターキー グラントマスターキー ・樹脂製建具丁番( ※表5.8.3による ・図示による )												
13 自動ドア開閉 装置	開閉方式の種類 備考 (5.9.2)(表5.9.1)(表5.9.2)												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開閉方式</th> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・片引き</td> <td>・SSLD-1 ・SSLD-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・引かけ</td> <td>・DSL-1 ・DSL-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・車椅子利用者 用便所出入口</td> <td>※表5.9.2による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	開閉方式	種類	備考	・片引き	・SSLD-1 ・SSLD-2		・引かけ	・DSL-1 ・DSL-2		・車椅子利用者 用便所出入口	※表5.9.2による	
開閉方式	種類	備考											
・片引き	・SSLD-1 ・SSLD-2												
・引かけ	・DSL-1 ・DSL-2												
・車椅子利用者 用便所出入口	※表5.9.2による												
	検出装置の性能 引戸用検出装置の種類 防錆の適用 凍結防止措置の適用												
14 自閉式上吊り 引戸装置	自閉式上吊り引戸装置の性能( ※表5.10.1による )												
15 重量シャッター	機能による種類は図示による 耐風圧強度 開閉方式 ( ※電動式(手動併用) ・手動式 ) 安全装置 管理用シャッターのシャッターケースの設置 ( ・設置する ・設置しない )												
	スラット及びシャッターケース用鋼板 (5.11.3)												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>めっき付着量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・JIS G3302(溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯)</td> <td>※Z12 ・F12</td> </tr> <tr> <td>・JIS G3312(塗装溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯)</td> <td>※Z12 ・F12</td> </tr> </tbody> </table>	材質	めっき付着量	・JIS G3302(溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯)	※Z12 ・F12	・JIS G3312(塗装溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯)	※Z12 ・F12						
材質	めっき付着量												
・JIS G3302(溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯)	※Z12 ・F12												
・JIS G3312(塗装溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯)	※Z12 ・F12												
	工事範囲 電源及び一次側配線は別途電気設備工事として、 操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。												

16 軽量シャッター	スラット (5.12.3) 材質 めっき付着量 形状 ( ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 ) 開閉方式 ( ※電動式(手動併用) ・手動式 ) 耐風圧強度( ・ ) 工事範囲 電源及び一次側配線は別途電気設備工事として、 操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。										
17 オーバーヘッド ドア	セクション材料( ※スチール ・アルミニウム ・ファイバーグラス ) 耐風圧性能区分( JIS A4715 ) ( ・50 ・75 ・100 ・125 ) 開閉方法( ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 ) 収納形式 ( ・スタンダード形 ・ローレット形 ・リフト形 ・パネチカル形 ) ガイドレール ( ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス(SUS304) ) 工事範囲 電源及び一次側配線は別途電気設備工事として、 操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。										
18 ガラス	適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは図示による。 ・網入り板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状 ( ・角網 ・差網 ) 板の表面の状態 ( ・磨き ・型板 ) ・合わせガラス 特性による種類 ( ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ) ・強化ガラス 形状による種類 ( ・平面 ・曲面 ) 特性による種類 ( ・I類 ・III類 ) ・熱線吸収板ガラス 性能による種類 ( ・1種 ・2種 ) ・複層ガラス 断熱性による区分 ( ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 ) 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ( ・G ・S ) 乾燥気体の種類 ( ・空気 ・アルゴン ・クリプトン ・ネオン ) ・熱線反射ガラス 日射熱遮蔽性及び耐久性による区分 ( ・1種 ・2種 ・3種 ) 耐久性による区分 ( ・A類 ・B類 )										
19 ガラスの留め 材	種別 (5.14.2)										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※シーリング材 ・ガラスパッキン( ・ガラスパッキンチャンネル ・ガラスパッキンシート )</td> </tr> <tr> <td>鋼製及びステンレス製</td> <td>※シーリング材</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>・木製建具用パテ ※押縁</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>押縁及びガラスパッキンシート</td> </tr> </tbody> </table>	建具の種類	材 種	アルミニウム製	※シーリング材 ・ガラスパッキン( ・ガラスパッキンチャンネル ・ガラスパッキンシート )	鋼製及びステンレス製	※シーリング材	木製	・木製建具用パテ ※押縁	樹脂製	押縁及びガラスパッキンシート
建具の種類	材 種										
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガラスパッキン( ・ガラスパッキンチャンネル ・ガラスパッキンシート )										
鋼製及びステンレス製	※シーリング材										
木製	・木製建具用パテ ※押縁										
樹脂製	押縁及びガラスパッキンシート										
	板ガラスをはめ込む溝の大きさ (面クリアランス、エッジクリアランス、掛り代) ( ※建具の製造所の仕様による ) 防火設備に使用するガラスの留め材は、建築基準法に基づき定められ、又は認定を受けた条件による。 また、外部に面する複層、合わせ、網入り及び線入りガラスには、グレイジングチャンネルを用いない。										
20 ガラスブロッ ク積み	表面形状、呼び寸法並びに厚さ (5.14.5) ・正方形 ・125×125 ・160×160 ・200×200 ・320×320 ・ガラス ・長方形 ・250×125 ・320×160 ・乳白										
	力骨( ※SUS304 径5.5mmはしご形状複筋及び単筋 ・図示による ) 化粧目地モルタルの色 ( ・ ) シーリング材の種類( ※8章 シーリングによる ) ・壁用金属枠及び補強材 形状等は図示による ・金属製化粧カバー 材質、寸法、形状等は図示による ・建築基準法に基づき定まる風圧力に応じた工法とする (5.14.5) 目地幅の寸法、伸縮調整目地の位置( ・図示による ※5.14.5による ) 目地部の力骨の補強方法( ・図示による ※ガラスブロック製造所仕様による )										

13章 内装改修工事	
01 他の部位との 取り合い等	(a)既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁に取り合う天井、 壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による (6.1.3) (b)天井内既存壁の撤去に伴う当該壁に取り合う天井の改修 範囲 ※壁面より両側 600mm程度とし既存仕上げに準じた仕上 げを行う ・図示による (c)天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ( ※既存のまま ・図示による )
02 既存床の撤去 並びに下地補修	既存仕上げ材の除去等 (6.2.2) (1)ビニル床シート等の除去 浮き部、欠損部の下地モルタルの撤去 ( ・行う(範囲は図示による) ・行わない ) (2)合成樹脂塗床材の除去等 ( ・機械的除去工法 ・目荒らし工法 )
03 既存壁の撤去 並びに下地補修	間仕切り壁の撤去に伴う他の構造体の補修 ( ※モルタル塗り ・図示による ) (6.3.2) 新設壁下地( ・軽量鉄骨壁下地 ・木製壁下地 ) (6.1.4)
04 既存天井の撤 去並びに下地補修	天井の撤去 ( ・既存下地材利用 ・下地材を含めて撤去 ) (6.4.2) 新設天井下地 ( ・軽量鉄骨天井下地 ・木製天井下地 ) (6.1.4)
05 木材	木材の含水率 ( ・A種 ・B種 ) (6.5.2)(表6.5.1) 間仕切り軸組に用いる木材の種類 ( ) (6.5.6) 床組に用いる木材の種類 ( )
06 製材	・下地用製材 規格 ( ※JAS1083-5 ) 等級 ( ・1級 ※2級 ) 含水率 ( ・ ) 保存処理 ( ・防腐剤 ) 施工箇所、寸法は図示による。 ・造作用製材 規格 ( ※JAS 1083-2 ) 等級 ( ・上小節 ・小節 ) 含水率 ( ・ ) 保存処理 ( ) 施工箇所、寸法は図示による。 ( ※青木板、押縁、胴差、タル木、方杖、鼻隠し、破風板 ) ・広葉樹製材 規格 ( ※JAS 1083-6 ) 樹種 ( ) 等級 ( ・特等 ※1等 ・2等 ) 含水率 ( ※10%以下 ) 保存処理 ( ) 施工箇所、寸法は図示による。
	JAS 1083以外の製材を用いる場合の適用は図示による。
07 造作用集成材	ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。 (6.5.2) ・造作用集成材 規格 ( ※日本農林規格による ) 樹種名 ( ) 見付け材面 ( ) 見付け材面の品質 ( ・特等 ※1等 ・2等 ) 施工箇所、寸法は図示による。 ・化粧ばり造作用集成材 規格 ( ※日本農林規格による ) 樹種 化粧薄板 ( ) 芯材 ( ) 化粧薄板の厚さ ( ) 見付け材面 ( ) 見付け材面の品質 ( ・特等 ※1等 ・2等 ) 施工箇所、寸法は図示による。 日本農林規格以外の製材を用いる場合の適用は図示による。

08 造作用単板積 層材	ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。 (6.5.2) ・造作用単板積層材 規格 ( ※JAS 0701による ) 表面の品質 ・化粧加工有 ( ・天然木化粧加工 ・塗装加工 ) ・化粧加工無 ( ・1等 ・2等 ・3等 ) 防虫処理( ) 施工箇所、寸法は図示による。 JAS 0701以外の製材を用いる場合の適用は図示による。				
09 床張り用合板 等	ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。 (6.5.2) ・普通合板 (日本農林規格による) 厚さ ( ※5.5mm ) 接着の程度 ( ※1類 ) 板面の品質 ・広葉樹 ( ※2等 ) ・針葉樹 ( ※C-D ) 単板の樹種名 ( ) ・防虫処理 施工箇所、寸法は図示による。 ・構造用合板 (日本農林規格による) 厚さ ( ※12mm ) 接着の程度 常時湿潤状態の場合 ( ※特類 ) その他の場合 ( ※1類 ) 等級 ( ※2級 ) 板面の品質 ( ※C-D ) 単板の樹種名 ( ) 保存処理 ( ) ・防虫処理 ・強度等級の指定 ( ) 施工箇所は図示による。				
10 接合具等	・パーティクルボード(JIS A5908による) 厚さ ( ※15mm ) 表裏面の状態による区分 ( ・ ) 曲げ強さによる区分 ( ・13 ) 耐水性による区分 ( ・MR1(M) ・MR2(P) ) 難燃性による区分 ( ・難燃2級 ・難燃3級 ・普通 ) 施工箇所、寸法は図示による。 ・構造用バネ (JAS 0360による) 施工箇所、寸法は図示による。 ・造作材の化粧面の釘打ち ( ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し ) (6.5.3) ・賭金物の形状・寸法・材質 ( ※6.5.3(2)(7)による ・図示による )				
11 接着剤	ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。 (6.5.3)				
12 防汚・防蟻 処理	・薬剤の加圧注入処理 (6.5.5)				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部材</th> <th>性能区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </tbody> </table>	適用部材	性能区分		・K2 ・K3 ・K4
適用部材	性能区分				
	・K2 ・K3 ・K4				
	・薬剤塗布				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外壁材、屋根下地材</td> <td>※薬剤の製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table>	適用部材	処理の方法	外壁材、屋根下地材	※薬剤の製造所の仕様による
適用部材	処理の方法				
外壁材、屋根下地材	※薬剤の製造所の仕様による				
	・薬剤の接着剤への混入による防汚、防蟻処理 ・合板等の加圧注入による防汚、防蟻処理				
13 防虫処理	適用箇所 ( ※ラワン ) (6.5.5) ツリ材等を使用する場合はJAS 1083-6の保存処理K1とする。				



14 ビニル床シート張り等 (6.8節)

品名	種類等	厚さ(mm)	特殊機能
・ビニル床シート	種類(※FS ・ ) 色柄(※無地 ・ )	※2.0mm	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防滑性
・ビニル床タイル	種類(※KT ・ ) 色柄(※無地 ・ )	※2.0mm ・3.0mm	・帯電防止 ・防滑性
・ゴム床タイル	種類( ・ ) 色柄( ・ )	厚さ( ・3mm ・4.5mm ・ ) 寸法( ・ )	
・ビニル幅木	※軟質 ・硬質	厚さ(※1.5mm ・ ) 高さ(※60mm ・75mm ・100mm)	
・視覚障害者用床タイル	・	寸法( ) 厚さ( )	

・接合部の処理 (ビニル床シート張り)  
(※熱溶接工法 ・ )  
施工箇所( ・便所 ・ )  
接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6.8.2)  
下地の種類は図示による

15 カーペット敷き (6.9節)

種類	種別、寸法(mm)等
・織じゅうたん	・A種 ・B種 ・C種 ・ループハイル ・カットハイル 色柄( ※模様のない無地 ・ )
・タフテッドカーペット	※全面接着 ・ループハイル パイル長さ ・グリッパー ・カットハイル ( ・ )
・ノットループカーペット	・ラバー付 ・ラバー無 厚さ( ・ )
・タイルカーペット	※1種 ・2種 ※ループハイル ・カットハイル 寸法(※500角 ・ ) 厚さ(※6.5 ・ )

・帯電防止(3kV以下)  
タイルカーペットの敷き方 ( ※6.9.3による ・ 図示による )  
見切り、押え金物の材質、種類及び形状は図示による  
グリッパー工法の下敷き材(※反毛フェルト第2種第2号、呼び厚さ8mm)  
下地の種類は図示による

接着材のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6.9.3)

16 合成樹脂塗床 (6.10節)

床仕上げ	床材	表面仕上げ
・厚膜型塗床材	・弾性ウレタン樹脂系 ・エポキシ樹脂系	※平滑 ・防滑 ・つや消し ・薄膜流しのべ( ・平滑 ・防滑 ) ・厚膜流しのべ( ・平滑 ・防滑 ) ・樹脂モルタル( ・平滑 ・防滑 )
・薄膜型塗床材	エポキシ樹脂系	平滑

ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (6.10.2)

17 フローリング張り (6.11節)

品名	工法	厚さ×幅×長さ(mm)
・フローリングブロック1等	・接着	・
・フローリングボード1等	・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り)	・
・複合フローリング	・釘留め(根太張り) ・釘留め(直張り) ・接着(直張り)	・A種 ・B種 ・C種 ・
・単層フローリング	・特殊張り	・t18

樹種( ・ ・ ) (※地域材 ・ )  
・複合フローリングの防湿処理  
・下張り材料:  
( ・合板(712mm) ・パーティクルボード(715mm) ・ 図示による )  
・不陸緩衝材(接着工法) 材料(※合成樹脂発泡シート)  
・塗装の塗り替え 下地調整 (※図示による ・ )  
塗装 (※図示による ・ )

フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6.11.2)(6.11.5)

18 畳敷き (6.12節)

種別: ・A種 ・B種 ・C種  
・D種( ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)

19 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13節)

種類(記号)	種別	厚さ(mm)	備考
セッコウボード (GB-R)		壁	・9.5 (準不燃) ・12.5 ・15 (不燃)
		天井	・9.5 (準不燃) ・12.5 ・15 (不燃)
			・9.5 (準不燃)
		化粧セッコウボード (GB-D)	・トナリ材模様 ・455×910 ・910×910
強化セッコウボード (GB-F)		・木目模様	・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃)
		(システム下地)	
シーリングセッコウボード(GB-S)		・9.5 ・12.5 (準不燃) ・12.5 ・15 (不燃)	
ロックウール化粧	・普通	・9.0 ・12.0 (不燃)	
吸音板(DR)	・立体模様	・12.0 ・15 (不燃)	
フレキシブル板(F)		・6 ・	
けい酸カルシウム板	・普通(※0.8FK) ・化粧(着色) ・穴あけ	・ ・	
木毛セメント板	※難燃 ・断熱	・20 ・25	

合板

種類	樹種(加工方法)	厚さ(mm)	処理
・普通合板	・	・	・防虫
・天然木化粧合板	・	・	・防虫
・特殊加工化粧合板	・	・	・防虫

MDF、パーティクルボード、合板、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6.13.2)

合板の張付け( ・A種 ※B種 )  
合板の表面性能 ( ) 接着の程度 ( )  
セッコウボードの目地処理( ・継目処理 ・突付け ・目透かし )  
継目処理のエッジの種類 ( ・テーパエッジ ・ベベルエッジ )  
突付け、目透かしのエッジの種類 ( ・テーパエッジ ・スエエッジ )

20 吸音材 (6.14節)

材種	品質・規格	厚さ(mm)
・ロックウール吸音材	※ロックウール吸音ボード1号	・25 ・50 ・40
・グラスウール吸音材	※グラスウール吸音ボード2号	・25 ・50 ・32K ・48K ・60K

工法  
・グラスクロス(JIS R3414EP)にて額縁張りしたもの、インサルピン留め化粧ワッシャー押え、又は断熱ファスナー留め  
・グラスクロス(JIS R3414EP)にて片面張りしたもの、インサルピン留め化粧ワッシャー押え、又は断熱ファスナー留め

21 壁紙張り (6.14節)

種類	程度	施工箇所	防火性能
※塩化ビニル樹脂系	※普及品	・壁 ・天井	・不燃 ・準不燃 ※難燃

モルタル、プラスター面下地調整 ( ・RA種 ※RB種 ・RC種) (表7.2.4)  
コンクリート面下地調整 ( ・RA種 ※RB種 ・RC種) (表7.2.5)  
セッコウボード面下地調整 ( ・RA種 ※RB種 ・RC種) (表7.2.7)

壁紙、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による。また、壁紙はTVOCが、ISM、SV規格又は同等の基準のものとする。 (6.14.2)

22 モルタル塗り (6.15.3)

材料 ( ・現場調査材料 ・既調査材料( ) )  
コンクリート素地の処理 ( ・目荒し工法 ・ )  
既製目地材の適用 ( ・ ) (6.15.3)  
既製目地材の形状 ( ・ ) (6.15.3)  
床の目地の目地割り ( ※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度 ・ ) (6.15.6)  
床の目地の種類 ( ※押し目地 ・ ) (6.15.6)

23 セラミックタイル張り (6.15.6)

11章 外壁改修工事 03 タイル改修を参照すること。

24 断熱・防露改修工事 (9.3.2)(9.3.4)

材質	種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ヒート法ポリスチレンフォーム断熱材	・特号 ・1号		
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・3種a ・3種b		
・硬質ウレタンフォーム断熱材 A種	・1種 ・2種1号		
・フェノールフォーム断熱材	・1種1号 ・2種1号		

フェノールフォーム断熱材又は保温材並びに接着剤のホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (9.3.2)(9.3.4)

現場発泡工法の断熱材は JIS A9526による (9.3.3)  
吹付け硬質ウレタンフォーム種類 (※A種1 ・ ) 難燃性を有するものとする  
吹付け厚さ ( mm)  
火気及び有害ガス等に対する安全衛生対策は、関係法令等に  
従い十分に行う。

その他の断熱材

材質	厚さ(mm)	施工箇所	規格
・グラスウール	・16K品( ・高性能) ・24K品( ・高性能)		JIS A9504 JIS A9521
・			

ホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による

14章 塗装改修工事 (7.2節)

① 材料 (7.1.3)

ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (7.1.3)  
防火材料の指定 ( ・あり ・なし ・ 図示による )  
工程、使用量については、各メーカー仕様による。

② 下地調整 (7.2節)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗り	※RB種 ・RA種 ・RC種
	上記以外	・RA種 ・RB種 ・RC種
鉄鋼面		※RB種 ・RA種 ・RC種
亜鉛めっき鋼面		※RB種 ・RA種 ・RC種
モルタル面、セッコウプラスター面		※RB種 ・RA種 ・RC種
コンクリート面(DP以外)、ALC <sup>®</sup> 砂面		※RB種 ・RA種 ・RC種
コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面		・RA種 ・RB種 ・RC種
セッコウボード面、その他ボード面		※RB種 ・RA種 ・RC種

RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ( ・ 図示による ・ )

新規に塗装を行う場合に適用 (7.3節)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗り	※A種 ・B種
	上記以外	※B種 ・A種
鉄鋼面	D P	※B種 ・A種 ・C種
	上記以外	※C種 ・A種 ・B種
亜鉛めっき鋼面		※A種 ・B種
モルタル面、セッコウプラスター面		※B種 ・A種
コンクリート面(DP以外)、ALC <sup>®</sup> 砂面		※B種 ・A種
コンクリート面(DP)		※A種 ・B種
押出成形セメント板面		※B種 ・A種
セッコウボード面、	目地: 継目処理工法	※A種 ・B種
その他ボード面	目地: 上記以外	※B種 ・A種

④ 錆止め塗料塗り (7.4節)

下地面等		錆止め塗料の種類	工程の種類
見掛け部分 (新規塗装)	S O P	A種	※A種 ・B種 ・C種
	D P	1回目 C種	※A種 ・B種 ・C種
		2, 3回目 D種	
E P-G	※B種(水系) ・A種	※A種 ・B種 ・C種	
見隠れ部分 (新規塗装)	S O P	A種	※B種 ・A種 ・C種
	D P	1回目 C種	※A種 ・B種 ・C種
		2, 3回目 D種	
E P-G	※B種(水系) ・A種	※B種 ・A種 ・C種	
塗替え	S O P	A種	※C種 ・A種 ・B種
	D P	1回目 C種	※A種 (RA)
		2, 3回目 D種	
		E種	※B種 (RB) ・C種 (RC)
E P-G	※B種(水系) ・A種	※C種 ・A種 ・B種	

亜鉛めっき鋼面 (7.4節)

下地面等		錆止め塗料の種類	工程の種類
鋼製建具等 (新規塗装)	S O P	※A種 ・B種	※A種 ・B種 ・C種
	D P	B種	
	E P-G	C種	※A種 ・B種 ・C種
上記以外 (新規塗装)	S O P	※A種 ・B種	※B種 ・A種 ・C種
	D P	B種	(表7.4.6)
	E P-G	C種	※B種 ・A種 ・C種
塗替え	S O P	※A種 ・B種	※C種 (RB) ・A種 (RA) ・B種 (RA)
	D P	B種	(表7.4.6)
	E P-G	C種	・C種 (RB) ・A種 (RA) ・B種 (RA)

⑤ 塗装 (7.4節)

塗 装			塗り種別
S O P	木部 (新規塗装)	屋外	※A種 ・B種 ・C種
		屋内	※B種 ・A種 ・C種
	木部 (塗替え)		※B種 ・A種 ・C種
	鉄鋼面		※B種 ・A種 ・C種
	亜鉛めっき鋼面 (新規塗装)		※B種 ・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面 (塗替え)		鋼製建具 上記以外	※A種 ・B種 ・C種 ※B種 ・A種 ・C種
D P	鉄鋼面		(表7.8.1)
	亜鉛めっき鋼面		(表7.8.2)
	コンクリート面、押出成形セメント板面		・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種
E P-G	コンクリート面、モルタル面等		※B種 ・A種 ・C種
	木部 (新規塗装)		※A種 ・B種 ・C種
	木部 (塗替え)		※B種 ・A種 ・C種
	鉄鋼面 (屋内)		※B種 ・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面		※A種 ・B種	
E P			※B種 ・A種 ・C種

DP 上塗り塗料の等級 鉄鋼面( ・1級 ・2級 ・3級)  
亜鉛めっき鋼面( ( ・1級 ・2級 ・3級)  
EP-G, EP 塗替えの場合のしみ止め ( ・ )

・水性ルタンクリア塗り (標18.11節準用)

使用部位	塗り種別	表地ごしらえ
・床	※4回塗り 乾ター掛け5回	※B種 ・A種
・一般木部	※A種 ・B種	※B種 ・A種

塗料等のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。

・その他塗装  
・ 図示による  
素地ごしらえ、下地調整、錆止め塗料塗り等は公共建築工事標準仕様書又は公共建築改修工事標準仕様書を参照すること。  
塗料は施工前に施工計画書により監督員の承諾を得ること。  
工程、塗布量については各メーカー仕様による。

15章 ユニット及びその他工事

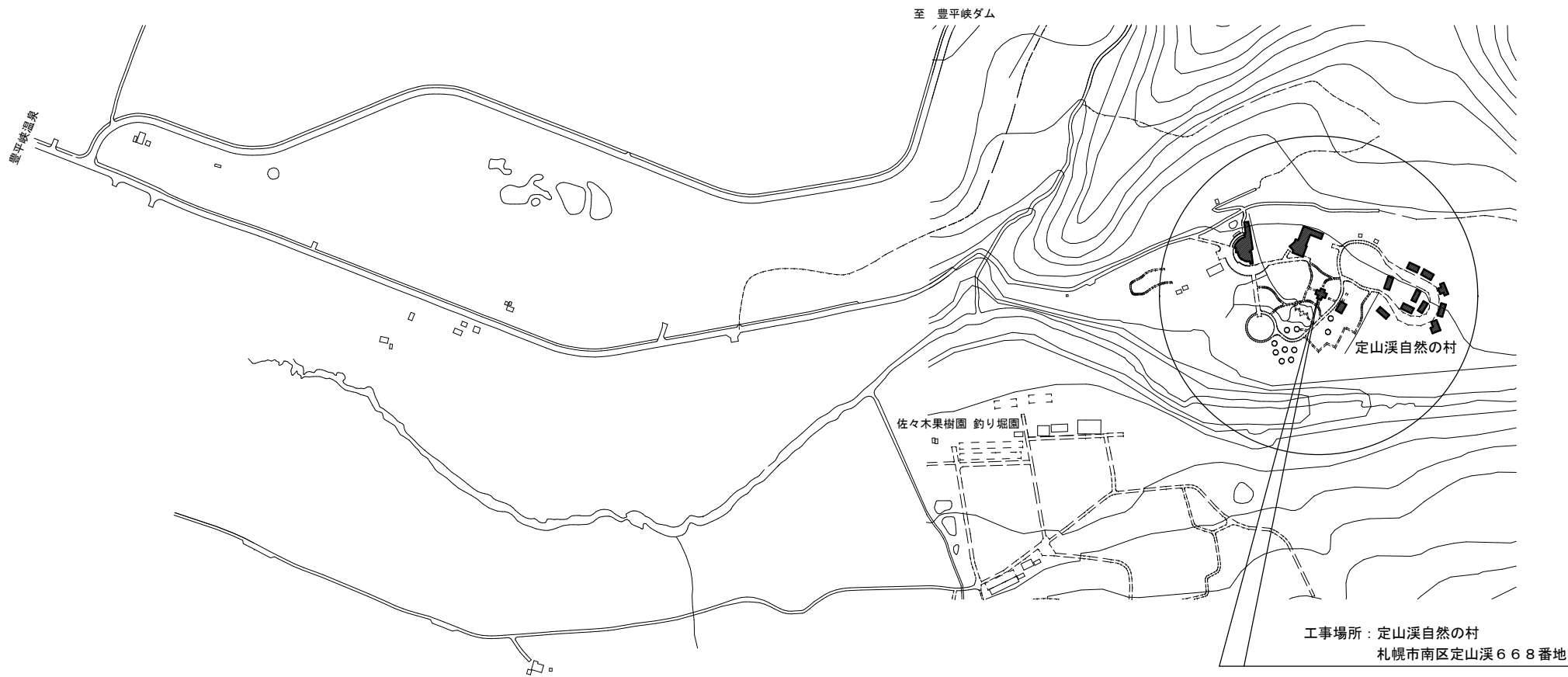
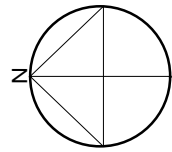
01 フリーアクセスフロア	分類 (標20.2.2)																													
	<table border="1"> <tr> <td>・置敷き式</td> <td>・支柱非固定タイプ</td> <td>・支柱分離型</td> </tr> <tr> <td>・支柱調整式</td> <td>・支柱固定タイプ</td> <td>・支柱一体型</td> </tr> </table> <p>構成材の材質( ・アルミ系 ・スチール系 ・有機質 ・無機質系)                  表面仕上材の材質( ・ビニル床タイル ・カーペット ・タイルカーペット ・ホモジニアスビニル床タイル)                  パネル寸法 ( )                  高さ(床仕上げ材含まない) ( mm)                  耐震性能 設計用標準水平震度 Ks ( ・1.0 ・0.6)                  (部位については図示による)                  所定荷重 ( ・3000N ・5000N ・ )                  帯電防止性能(U値)( ・グレードⅠ ・グレードⅡ ・グレードⅢ)                  漏えい抵抗 ( ※1.0×10Ω 以上 ・ )                  寸法精度 ( ※20.2.2による ・ )                  JIS A1450による試験結果が、以下の性能を満たすこと                  耐荷重性能 (※変形 5.0mm以下 ・残留変形 3.0mm以下)                  耐衝撃性能 ※残留変形 3.0mm以下及び損傷がないこと                  ロールロード性能 (※残留変形 3.0mm以下 ・ )                  耐燃焼性能 (※不燃材料又は残炎時間 0秒 ・ )</p>	・置敷き式	・支柱非固定タイプ	・支柱分離型	・支柱調整式	・支柱固定タイプ	・支柱一体型																							
・置敷き式	・支柱非固定タイプ	・支柱分離型																												
・支柱調整式	・支柱固定タイプ	・支柱一体型																												
02 可動間仕切	JIS A6512による (標20.2.3) 構造形式による種類 構造 ( ・パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式) 空間の仕切り方 ( ・密閉形 ・開放形 ・自立形) 構成材の種類 構成部品 ( ・一般パネル ・出入口パネル ・出入口以外の開口部付パネル) パネルの材料のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による 主たる構成基材 スタッド ( ・アルミニウム合金 ・スチール) パネル ( ・アルミニウム合金 ・スチール ・木質 ・ガラス ・樹脂 ・石こう) 遮音性 ( ・0 ・12 ・20 ・28 ・36) パネル表面仕上げ、寸法、形状は図示による。																													
	03 移動間仕切	パネルの操作方法の種類( ) (標20.2.4) パネルの表面材 材質( ) 仕上げ( ) パネルの圧接装置の操作方法 ( ) 遮音性能 ( ) ハンガーレール取付け下地の補強 ( ) あと施工アンカー 材質( ) 寸法( )																												
04 既製トイレブース	パネル表面材 ( ・メラミン樹脂系 ※ポリエステル樹脂系) (標20.2.5) パネルの材料のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による																													
05 階段滑止め	材種 ( ・ステンレス鋼(SUS304) ・アルミニウム合金) (標20.2.7) 形状 ( ・ビニルタイル又は合成ゴムタイル入り) ( ・内部 ・外部) 幅 ( ・40mm ・30mm ・35mm) 取付工法( ・接着材併用カバクラク 止め ※埋め込み ・ )																													
06 床目地棒	材種 ( ※ステンレス ・ ) (標20.2.8) アンカー ( ※間隔500mm程度 ・ )																													
07 黒板及びホワイトボード	黒板(JIS S6007)種類( ※焼付け ・ ) (標20.2.9) 色 ( ※緑 ・ ) ホワイトボード(JIS S6052)種類 ( ※ほうろう白板 ・ )																													
08 鏡	厚さ ( ※5mm ・ mm) (標20.2.10)																													
09 表示	表示板の種類 (標20.2.11)																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質・寸法 厚さ(mm)</th> <th>印刷等の種類</th> <th>色彩</th> <th>書体</th> <th>取付形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・室名札</td> <td>・アクリル板(4.0)</td> <td>※シキスクリーン印刷</td> <td>・透明</td> <td>・太ゴシック</td> <td>・正面型 ・側面型</td> </tr> <tr> <td>・ピクト グラフ</td> <td>・アクリル板( )</td> <td>※シキスクリーン印刷</td> <td>・透明</td> <td>・太ゴシック</td> <td>・正面型 ・側面型</td> </tr> <tr> <td>・案内板</td> <td>・アクリル板( )</td> <td>※シキスクリーン印刷</td> <td>・透明</td> <td>・太ゴシック</td> <td>・正面型 ・側面型</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ガラススクリーン対人衝突防止表示の材質、形状、寸法 ( ※図示による ・ )                  ・非常用進入口等の表示(※消防法適合市販品 ・ )</p>	種類	材質・寸法 厚さ(mm)	印刷等の種類	色彩	書体	取付形式	・室名札	・アクリル板(4.0)	※シキスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型	・ピクト グラフ	・アクリル板( )	※シキスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型	・案内板	・アクリル板( )	※シキスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型					
種類	材質・寸法 厚さ(mm)	印刷等の種類	色彩	書体	取付形式																									
・室名札	・アクリル板(4.0)	※シキスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型																									
・ピクト グラフ	・アクリル板( )	※シキスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型																									
・案内板	・アクリル板( )	※シキスクリーン印刷	・透明	・太ゴシック	・正面型 ・側面型																									

10 煙突ライニング	煙突用成形ライニング材 安全使用温度 ℃ (標20.2.13)																								
11 ブラインド	ブラインドの形式 (標20.2.14) <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>※横型ブラインド</th> <th>・縦型ブラインド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材種</td> <td>※アルミニウム合金</td> <td>※アルミニウム合金 ・クロス</td> </tr> <tr> <td>開閉方式</td> <td>※ギア式</td> <td>・コード式</td> </tr> <tr> <td>スラットの形状・幅</td> <td>※ 25型</td> <td>・ 型</td> </tr> </tbody> </table> <p>操作方式、幅、高さ、材種、品質等 ※図示による (標20.2.15)</p> <p>カーテンの種類 (標20.2.16)(標表20.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>・シングル</th> <th>・ダブル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・片引き</td> <td>・引分け</td> </tr> </tbody> </table> <p>開閉操作方式 ・                  生地  <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <td>・</td> </tr> <tr> <th>品質</th> <td>・</td> </tr> <tr> <th>特殊加工</th> <td>・</td> </tr> </table>                 ひだの種類                  ・つまみ(三つ山) ・つまみ(二つ山)                  ・箱 ・片 ・プレーン                  ・                  ※ 使用部位等は図示による</p> <p>ホルムアルデヒドの放散(発散)量が日本インテリアファブリックス(協)基準又は同等の基準のものとする。                  ・暗幕用カーテン                  上部及び召合せの重なり(※300以上 ・ )                  カーテンレール (標20.2.16)                  レール及びブラケットの強さによる区分 ( ※10-90 ・10-60)                  材種 ( ・ステンレス製 ・アルミニウム製                  ・アルミニウム合金の押し成型材)                  形状 ( ・C型 ・D型 ※角形)</p> <p>合板、ランバークォ、MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。</p>	形式	※横型ブラインド	・縦型ブラインド	材種	※アルミニウム合金	※アルミニウム合金 ・クロス	開閉方式	※ギア式	・コード式	スラットの形状・幅	※ 25型	・ 型	形式	・シングル	・ダブル		・片引き	・引分け	種別	・	品質	・	特殊加工	・
形式	※横型ブラインド	・縦型ブラインド																							
材種	※アルミニウム合金	※アルミニウム合金 ・クロス																							
開閉方式	※ギア式	・コード式																							
スラットの形状・幅	※ 25型	・ 型																							
形式	・シングル	・ダブル																							
	・片引き	・引分け																							
種別	・																								
品質	・																								
特殊加工	・																								
12 ローラスクリーン																									
13 カーテン及びカーテンレール																									
14 木製家具																									

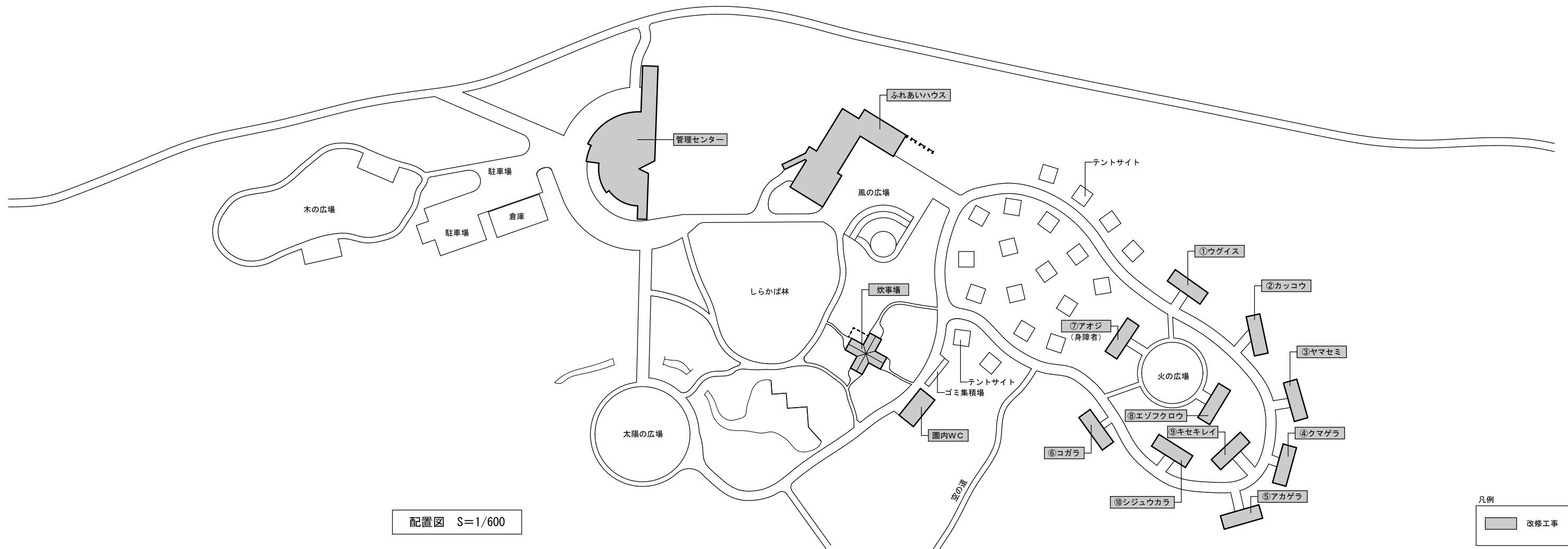
16章 環境配慮改修工事

01 石綿含有建材の除去工事共通事項	石綿含有建材除去後の仕上げ工事については 図示による (9.1.1) ・石綿粉じん濃度測定 (9.1.1) 測定方法、時期( ・図示による ) 調査部位( ※図示による )(ヶ所) (1)専門工事業者 石綿含有吹付材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を提出する。 (9.1.2) (2)石綿作業主任者 石綿含有建材の除去にあたっては、石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令第21号)に基づき選任する。 なお、石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習終了者又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習修了者とする。 (9.1.2) (3)除去作業者 石綿含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という)は、石綿障害予防規則に基づく特別教育を受けた者とする。 また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 (9.1.2) (4)特別管理産業廃棄物管理責任者 受注者は石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等の除去工事では、廃棄物処理法に基づき、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置し、監督員に報告する。 なお、選任は元請業者の中で行う(ただし石綿含有成形版の除去工事を除く)。 (9.1.2) (5)表示及び提示 「建築物の解体等の作業に関するお知らせ」を周辺住民の見やすい場所に提示する。 (9.1.2) (6)作業結果の報告 特定粉じん排出等作業の完了後、監督員に作業結果を報告する。 ※除去工事においては保護衣を着用し、使用毎に廃棄すること。 (9.1.2)
	02 石綿含有吹き付け材の除去
03 石綿含有保温材等の除去	(1)除去の工法 (9.1.4) (※粉じん飛散抑制剤等で湿潤化後除去[手ばらし] ・ ) (2)除去物及び汚染物の処理 処理方法は下記のとおりとする。 また、処理施設については、受入条件等を確認の上、事前に監督員と協議すること。 (a)処理方法(※密封処理[二重袋梱包] ・セメント固化) (b)処分施設へ搬出(調書を監督員に提出する) 石綿含有保温材等 搬出先:山口処理場(手稲区手稲山口364番地)

04 石綿含有成形板等の除去	(1)石綿成形板の仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有成形板の仕様</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・石綿セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・化粧石綿セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・吸音穴あき石綿セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・石綿セメント特種シボ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・石綿セメント珪酸カルシウム板</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・化粧石綿セメント珪酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出成形セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル床タイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・油性コーキング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・石綿含有せっこうボード</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>処理は適切に行い、範囲は図示による                  (2)除去の工法 (9.1.5)                  (※湿潤化後除去[手ばらし] ・ )                  (3)除去物及び汚染物の処理                  処理方法は下記のとおりとする。                  また、処理施設については、受入条件等を確認の上、事前に監督員と協議すること。                  非飛散性石綿成形板                  搬出先: 角山開発㈱(江別市角山425番地14)                  ㈱協和環境サービス(江別市江別太420番地)                  (4)石綿含有成形板の集積、運搬等 (9.1.5)                  (a)除去した石綿含有成形板の集積及び積み込みに当たっては、高所より投下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。                  (b)万一破砕された石綿含有成形板は、湿潤化の上、丈夫なビニル袋に入れる等、飛散防止の措置を講ずる。                  (c)除去した石綿含有成形板を搬出するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の内装材等と分別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止措置を講ずる。                  また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。                  (d)石綿含有成形板の運搬に当たっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。</p>	石綿含有成形板の仕様	厚さ(mm)	・石綿セメント板		・化粧石綿セメント板		・吸音穴あき石綿セメント板		・石綿セメント特種シボ		・石綿セメント珪酸カルシウム板	6.0	・化粧石綿セメント珪酸カルシウム板		・押出成形セメント板		・ビニル床タイル		・油性コーキング		・石綿含有せっこうボード	
	石綿含有成形板の仕様	厚さ(mm)																					
・石綿セメント板																							
・化粧石綿セメント板																							
・吸音穴あき石綿セメント板																							
・石綿セメント特種シボ																							
・石綿セメント珪酸カルシウム板	6.0																						
・化粧石綿セメント珪酸カルシウム板																							
・押出成形セメント板																							
・ビニル床タイル																							
・油性コーキング																							
・石綿含有せっこうボード																							
05 石綿含有仕上塗材の除去	石綿含有仕上塗材の除去工法 (9.1.6) ( ・図示による ・塗膜剥離工法 ・高圧水洗工法 ・サンダー工法)																						
06 外断熱改修工事	材料 (9.2.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>断熱材</td> <td>種類( ・ ) 厚さ( ・ )</td> </tr> <tr> <td>外装材</td> <td>種類( ・ ) 防火性能( ・ )</td> </tr> <tr> <td>鋼材</td> <td>下地金物:</td> </tr> </tbody> </table> <p>既存外壁の処置 ※「11章外壁改修工事」による (9.2.4)                  工法 ( )                  通気層: ・有(厚さ ) ・無                  外装材の取付方法( ※あと施工アンカー等 ・ )                  外装材の施工 ( )                  断熱材の施工:                  不陸等の下地調整 ( )                  ( ※断熱材製造所の仕様による ・ )                  ・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法とする</p>		種類	断熱材	種類( ・ ) 厚さ( ・ )	外装材	種類( ・ ) 防火性能( ・ )	鋼材	下地金物:														
	種類																						
断熱材	種類( ・ ) 厚さ( ・ )																						
外装材	種類( ・ ) 防火性能( ・ )																						
鋼材	下地金物:																						



付近見取図 S=1/3000



配置図 S=1/600

令和6年度 札幌市住宅管理公社	DESIGN THE FUTURE 一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第6415号	管理建築士 一級建築士登録第185506号 西山 繁治	業務番号 第0045号	発注者 札幌市住宅管理公社	設計年月日 R6・01・26	図名 付近見取図・配置図	縮尺 A1:1/3000・600 A3:1/6000・1200	図面番号 A - 09
	株式会社 グランヴェール			工事名称 定山溪自然の村管理センター ほか13棟外部改修工事	CK 西山 PM 西山 JC 西山 D ユイン			

設計概要書

■工事名称

工 事 名 称	定山溪自然の村管理センターほか13棟外部改修工事
建 設 地 (地名地番) (住居表示)	定山溪自然の村 札幌市南区定山溪668番地

■一般事項

工 事 種 別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 大規模な修繕 <input type="checkbox"/> 用途変更 <input type="checkbox"/> 大規模な模様替		
用 途 地 域	<input type="checkbox"/> 第1種低層住居専用 <input type="checkbox"/> 第2種低層住居専用 <input type="checkbox"/> 第1種中高層住居専用 <input type="checkbox"/> 第2種中高層住居専用 <input type="checkbox"/> 第1種住居		
	<input type="checkbox"/> 第2種住居 <input type="checkbox"/> 準住居 <input type="checkbox"/> 近隣商業 <input type="checkbox"/> 商業 <input type="checkbox"/> 準工業 <input type="checkbox"/> 工業 <input type="checkbox"/> 工業専用 <input type="checkbox"/> 指定なし		
防 火 地 域	<input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input type="checkbox"/> 指定なし	法22条	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
法 定 構 造	<input type="checkbox"/> 耐火 <input type="checkbox"/> 準耐火(イ) <input type="checkbox"/> 準耐火(ロ一) <input type="checkbox"/> 準耐火(ロ二) <input type="checkbox"/> その他( )		
都市計画区域	<input type="checkbox"/> 都市計画区域( <input type="checkbox"/> 市街化区域 <input checked="" type="checkbox"/> 市街化調整区域 <input type="checkbox"/> 区域区分未設定都市計画区域 ) <input type="checkbox"/> 都市計画区域外 ( <input type="checkbox"/> 準都市計画区域 <input type="checkbox"/> その他 )		
その他地区・地域	<input type="checkbox"/> 高度地区 <input type="checkbox"/> 地区計画 <input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 景観計画区域 <input type="checkbox"/> 駐車場整備地区 <input type="checkbox"/> その他( )		
関 係 法 令	<input type="checkbox"/> 道路法 <input type="checkbox"/> 土地区画整理法 <input type="checkbox"/> 宅地造成等規制法 <input type="checkbox"/> 農地法 <input type="checkbox"/> 屋外広告物法 <input type="checkbox"/> 景観法 <input type="checkbox"/> 河川法 <input type="checkbox"/> 砂防法		
	<input type="checkbox"/> 文化財保護法 <input type="checkbox"/> 港湾法 <input type="checkbox"/> 大店立地法 <input type="checkbox"/> 工場立地法 <input type="checkbox"/> 倉庫業法 <input type="checkbox"/> 風営法 <input type="checkbox"/> 医療法 <input type="checkbox"/> 介護保険法		
	<input type="checkbox"/> 省エネ法 <input type="checkbox"/> バリアフリー法 <input type="checkbox"/> その他( )		
敷 地 状 況	表土状況		
	敷地境界杭		道路

■建物概要

建 物 用 途	主用途 ※
	従用途
階 数	塔屋 <input type="checkbox"/> 階
	地上 <input type="checkbox"/> 階
	地下 <input type="checkbox"/> 階
高 さ	最高の高さ m
	最高の軒高 m

■面 積

敷地面積	法定面積		
	工事部分	工事以外の部分	合計
m <sup>2</sup>			m <sup>2</sup>
建築面積	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>
延べ面積	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>
自動車車庫等の部分	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>
共同住宅の共用の廊下等の部分	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>
その他容積除外部分	EV昇降路	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
容積率対象延べ面積		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
建 べ い 率	% ≤	60.00 %	○K
容 積 率	% ≤	200.00 %	○K

床面積(棟別) [㎡]				施工床面積(棟別) [㎡]				
棟	階数	延床面積	主要用途	棟	階数	申請部分	申請以外の部分	主要用途
管理センター	1	374.65㎡						
ふれあいハウス	1	360.46㎡						
炊事場	1	70.40㎡						
園内WC	1	56.38㎡						
子ブ棟(10棟)	1	42.0×10=420.0㎡						
合計		1,281.89㎡						

■躯体概要

構 造 種 別	<input type="checkbox"/> S造 <input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> RC造 <input type="checkbox"/> CB造 <input checked="" type="checkbox"/> W造	
構 造 形 式	<input type="checkbox"/> ラーメン造 <input type="checkbox"/> 壁式構造	
基 礎 形 式	<input type="checkbox"/> 杭基礎 <input type="checkbox"/> 直接基礎	
地 盤 改 良	<input type="checkbox"/> 表層改良 <input type="checkbox"/> 柱状改良	
1 階 床	<input type="checkbox"/> 構造スラブ <input type="checkbox"/> 土間コンクリート	
床	<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> デッキプレート	
地 耐 力	<input type="checkbox"/> 長期 kN/㎡ <sup>2</sup>	
積 載 荷 重	<input type="checkbox"/> 各階 N/㎡ <sup>2</sup> <input type="checkbox"/> 階 N/㎡ <sup>2</sup>	
特 殊 荷 重	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
積 雪	c m	

■外部改修工事リスト

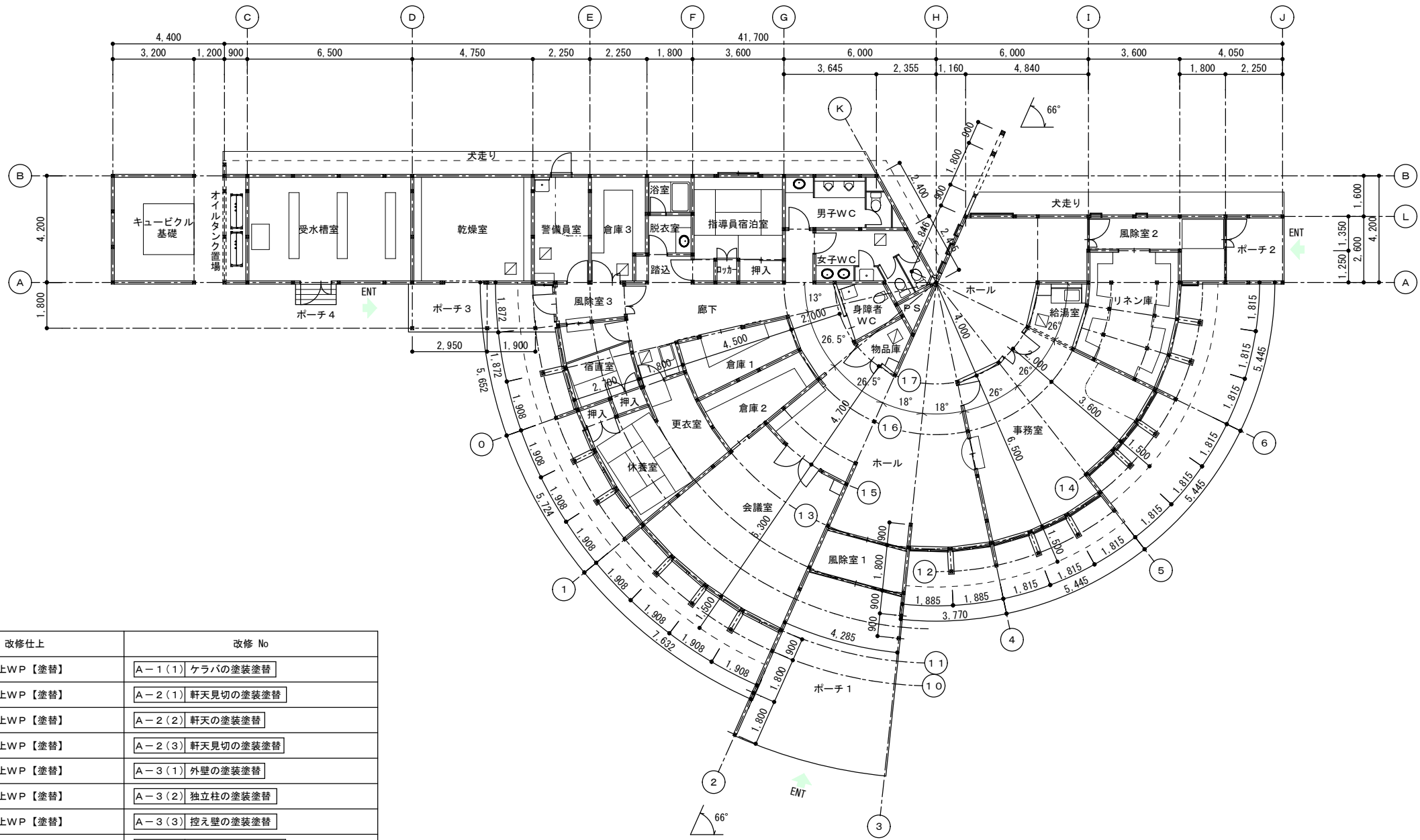
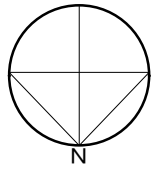
棟	改修No.	工事項目	枝番	改修内容
管理センター	A	外部の改修	1	改修範囲： 屋根の改修 改修内容： (1) ケラバ：既存t15青木板張り(押縁押え)下地調整の上WP【塗替】
			2	改修範囲： 軒天の改修 改修内容： (1) 軒天見切(ポーチ2・3)：既存青木60×40 下地調整の上WP【塗替】 (2) 軒天：既存t12羽目板張 下地調整の上WP【塗替】 木現し(オイルタンク置き場) 下地調整の上WP【塗替】 (3) 軒天見切(ポーチ1)：既存青木45×45 下地調整の上WP【塗替】
			3	改修範囲： 外壁の改修 改修内容： (1) 外壁：既存t15青木板張り(押縁押え)下地調整の上WP【塗替】 (2) 独立柱：既存 青木120×120 下地調整の上WP【塗替】 (3) 控え壁：既存木組現し 青木105×105 下地調整の上WP【塗替】 (4) 土台水切：既存45×90木下地、t0.35カラー鉄板包み 下地調整の上DP【塗替】 (5) その他 ・館銘板(W900×H300×D30)1ヶ所【一時取外し・再取付】 ・SUS箱文字(W150×H150) 6文字 1ヶ所【一時取外し・再取付】 ・案内表示板(W500×H300)1ヶ所【一時取外し・再取付】
			4	改修範囲： 外部建具の改修 改修内容： (1) 1/A Dの内部両引分け戸(一時取外し・再取付)：既存青木 下地調整の上WP【塗替】
ふれあいハウス	B	外部の改修	1	改修範囲： 屋根の改修 改修内容： (1) 屋根谷部：一部撤去、長尺ガルバリウム鋼板t0.4【新設】 下地アスファルトルーフィング940【新設】 (2) 破風鉄板：一部撤去、カラーガルバリウム鋼板t0.40包み【新設】 (3) 破風板：既存青木板t30張 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 下地調整の上WP【塗替】 (4) 屋根(テラス部)：既存t0.35長尺カラー鉄板 瓦棒葺を水洗い、下地調整の上ルーフペイント【塗替】
			2	改修範囲： 軒天の改修 改修内容： (1) 軒天：既存木下地 ケイ酸カルシウム板t6 目透し張りVP 下地調整の上DP【塗替】 (2) 一部軒天：ケイ酸カルシウム板t6 目透し張りVP (アスベスト含有建材)【撤去】 ケイ酸カルシウム板t6 目透し張りDP塗装【新設】 (3) 軒天(ポーチ)：既存木下地 ケイ酸カルシウム板t6 目透し張りVP 既存鉄骨軸現し 全て下地調整の上DP【塗替】 (4) アルミ製天井点検口450×450 1ヶ所【新設】
			3	改修範囲： 外壁の改修 改修内容： (1) 外壁A：既存青木板t15張(押縁押え)天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 下地調整の上WP【塗替】 (2) 外壁A：一部撤去(400×400) 青木板t15張(押縁押え)素地ごしらえの上WP塗装【新設】 (3) 外壁B(外部建具PW2の下部)：既存長尺カラー鉄板t0.35瓦棒葺(通気層付) 下地調整の上DP【塗替】 (4) 外壁C：既存ツープイ材板張り 40×147天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 下地調整の上WP【塗替】 (5) 独立柱・胴差・筋交：既存天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 下地調整の上WP【塗替】 ※テラス部：欠損胴差(青木120×120 L=1,350)2本 胴差(青木120×120 L=1,350)2本 素地ごしらえの上 WP塗装 【追加新設】 (6) スチール製柱脚金物(150×150×H300)：既存溶融亜鉛メッキのF U塗装 下地調整の上DP【塗替】 (7) 水切：既存カラー鉄板t0.35包み(外壁A面) 下地調整の上DP【塗替】 既存45×90下地カラー鉄板t0.35包み(外壁B面) 下地調整の上DP【塗替】
			4	改修範囲： 外部建具の改修 改修内容： (1) 外部建具WD：既存天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 建具調整の上WP【塗替】 ※1/WD・2/WD【一時取外し・再取付】 (2) 外部建具PWの防雪板：既存天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 下地調整の上WP【塗替】 ※防雪板【一時取外し・再取付】
			5	改修範囲： 外部シーリングの改修 改修内容： (1) 外部建具PWシーリング(外壁B 長尺カラー鉄板t0.35瓦棒葺 面)：MS-2 15×15【撤去・新設】 (2) 防雪フード(400×400)シーリング：MS-2 15×10【撤去・新設】 4個所 (3) アルミセルフードφ100 シーリング：MS-2 15×10【撤去・新設】 21個所

■外部改修工事リスト

棟	改修No.	工事項目	枝番	工事概要
炊事場	C	外部の改修	1	改修範囲： 軒天・天井の改修 改修内容： (1) 既存木組現し（小屋梁・トラス梁、屋根ブレース、母屋、タルキ） 下地調整の上WP【塗替】 (2) 方杖破損部（120×120 1ヶ所）を撤去・新設し、素地ごしらえの上WP塗装 締付ボルト（2ヶ所）を一時取外し、補修後、再利用する。
			2	改修範囲： 外壁の改修 改修内容： (1) 外壁：既存 t15青木板張（押縁押え）下地調整の上WP【塗替】 ※外壁の押縁脱落 4本（L=600）を撤去・新設し、素地ごしらえの上WP塗装 ※外壁の押縁破損 1本（L=600）を撤去・新設し、素地ごしらえの上WP塗装 一部外壁：既存 t15青木板張 下地調整の上WP【塗替】 (2) 既存柱120×120 下地調整の上WP【塗替】 (3) スチール製柱脚金物（120×120×H300） 下地調整の上DP【塗替】 (4) 土台水切：既存45×45木下地、t0.35長尺カラー鉄板包み（青木板張面）下地調整の上DP【塗替】 (5) 開口下枠：既存 t30木下地 t0.35カラー鉄板包み 下地調整の上 DP【塗替】 (6) 一部外壁：既存木組現し 下地調整の上 WP【塗替】 (7) 笠木（控え壁）：既存 t30木下地 t0.35 カラー鉄板包み 下地調整の上DP【塗替】
			3	改修範囲： 内壁の改修 改修内容： (1) 内壁：既存 t15青木板張（押縁押え）下地調整の上WP【塗替】 (2) 一部内部既存木組現し 下地調整の上WP【塗替】
園内WC	D	外部の改修	1	改修範囲： 軒天の改修 改修内容： (1) 軒天：既存 t6ケイ酸カルシウム板目透し張りVP 下地調整の上DP【塗替】
			2	改修範囲： 外壁の改修 改修内容： (1) 外壁：既存 t15青木板張（押縁押え）天然樹脂系油性カラークリアー塗装 下地調整の上WP【塗替】 (2) 一部外壁（W1400×H400）：t15青木板張（押縁押え）【撤去】 t15青木板張（押縁押え）素地ごしらえの上WP塗装【新設】 (3) マグサ水切：既存 t0.35 カラー鉄板（木包み） 下地調整の上DP【塗替】 (4) 独立柱（120×120）：既存 天然樹脂系油性カラークリアー塗装 下地調整の上WP【塗替】 スチール製柱脚金物（120×120×H200+50×50×H100）：既存 溶融亜鉛メッキの上FU塗装 下地調整の上DP【塗替】 (5) 木製格子：既存 木造天然樹脂系油性カラークリアー塗装 下地調整の上WP【塗替】 (6) 腰水切：既存 t0.35 カラー鉄板（木包み） 下地調整の上DP【塗替】 (7) 小口：既存 青木板張 天然樹脂系油性カラークリアー塗装 W=140 下地調整の上WP【塗替】 (8) 笠木見切：既存 t0.35 カラー鉄板（木包み） 下地調整の上DP【塗替】 (9) 一部破風鉄板：既存 t0.35 カラー鉄板 L=5.0m【撤去】 t0.35 カラー鉄板 L=5.0m【新設】
			3	改修範囲： 内部建具 WD1・WD2の改修 改修内容： (1) 既存 CL塗装 建具調整の上CL【塗替】 （一時取外し・再取付）
			4	改修範囲： 外部シーリングの改修 改修内容： (1) 建具2/AD廻り・外壁シーリング：MS-2 15×15【撤去・新設】 (2) 防雪フード（400×400）シーリング：MS-2 15×10【撤去・新設】
コテージ棟 ①カクイ ②カコク ③ヤマヒ ④カマゲラ ⑤アガゲラ ⑥コカ ⑦アオジ （身障者） ⑧エフカク ⑨キキレ ⑩ジユウカラ	E	外部の改修	1	改修範囲： 軒天の改修 改修内容： (1) 軒天：既存木軸現し 下地調整の上WP【塗替】（アプローチ軒天共） ⑦アオジ棟のみ： ・タル木45×150（L=450×10本+L=970×2本+L=2,250×2本） 素地ごしらえの上WP塗装【追加新設】 ・方杖 150×150 素地ごしらえの上WP塗装 2ヶ所【追加新設】 方杖締付ボルトφ13 2ヶ所【撤去・新設】 鼻隠し取合ボルトφ13 2ヶ所【新設】 (2) 食事コーナー軒天：既存ログ材（113×189）2段 下地調整の上WP【塗替】 (3) 鼻隠し：既存35×165 下地調整の上WP【塗替】 ⑦アオジ棟のみ：一部鼻隠し（L=1500×2+L=1200×2）撤去・新設し、 素地ごしらえの上WP塗装 ⑩シジュウカラ棟のみ：一部 鼻隠し（L=3,300）撤去・新設し、 素地ごしらえの上WP塗装 (4) 破風板：既存 青木120×30 t0.4カラーガルバリウム鋼板掴み 一部破風板 t0.4カラーガルバリウム鋼板掴み直し ⑦アオジ棟のみ：一部破風板（L=1500×2+L=1200×2）【下地共撤去・新設】 ⑩シジュウカラ棟のみ：一部破風板（L=3,300）t0.4カラーガルバリウム鋼板掴み 【撤去・新設】 (5) 谷淀（⑦アオジ棟のみ）：既存 t0.4長尺カラーガルバリウム鋼板【一部撤去・新設】

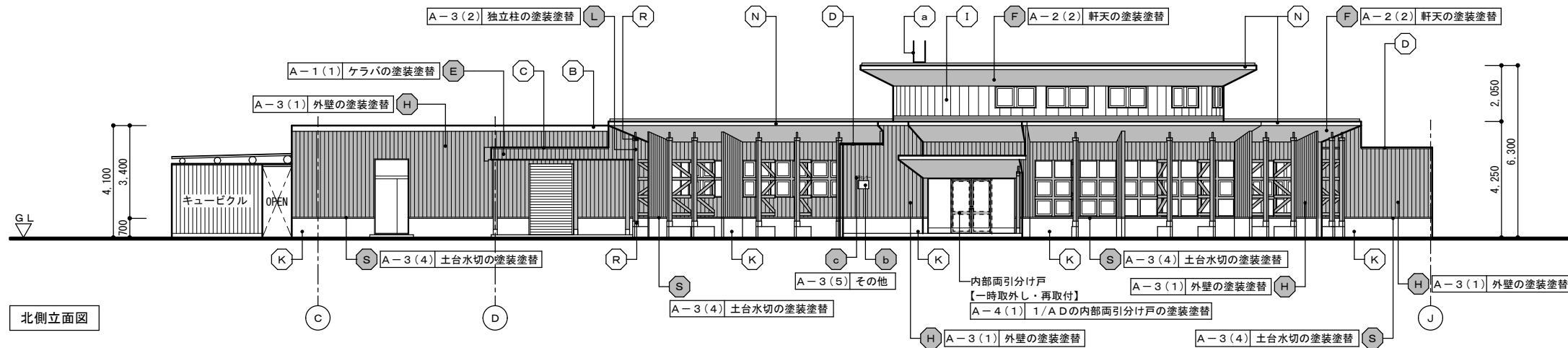
棟	改修No.	工事項目	枝番	工事概要
	E	外部の改修	2	改修範囲： 外壁の改修 改修内容： (1) 外壁：既存ログ材フィンランドパイン 下地調整の上WP【塗替】 (2) 一部外壁：既存 t15青木板張（押縁押え） 下地調整の上WP【塗替】 (3) 独立柱（③ヤマヒ、⑤アガゲラ、⑦アオジ）：既存円柱200φ 下地調整の上WP【塗替】 (4) 腰壁（アプローチ部）：（③ヤマヒ、⑤アガゲラ、⑦アオジ）：既存木軸現し 下地調整の上WP【塗替】
			3	改修範囲： 外部建具の改修 改修内容： (1) 既存外部建具の木枠・窓枠 建具調整の上WP【塗替】（外側面のみ） (2) 既存外部建具（食事コーナー面）の木枠 建具調整の上WP【塗替】（食事コーナー側面のみ）

その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>内部に使用する塗装材はJIS・JASのF★★★★とすること。</li> <li>ふれあいハウス（回廊）・園内WC（女子WC）はVOC濃度測定（改修前：1箇所・改修後：1箇所）実施すること。</li> <li>WPは公共建築工事標準仕様書（建築工事編）7章6節とし、水性塗料2回塗とする。</li> <li>CLは公共建築工事標準仕様書（建築工事編）7章13節による。</li> <li>新設仕上木材（※）は両面（正面・裏面、四方面共）素地ごしらえの上WP塗装2回塗りとする。 ※青木板・胴差（ふれあいハウス）、方杖・押縁（炊事場）、青木板（園内WC）、タル木・方杖・鼻隠し・破風板の木下地（⑦アオジ__コテージ棟 鼻隠し（⑩シジュウカラ__コテージ棟）</li> </ol>
-----	--

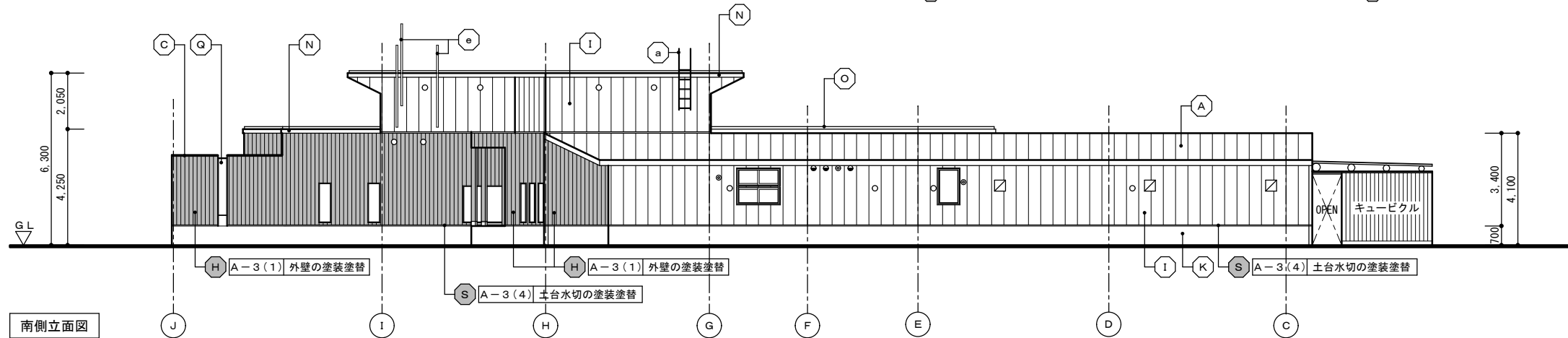


改修内容

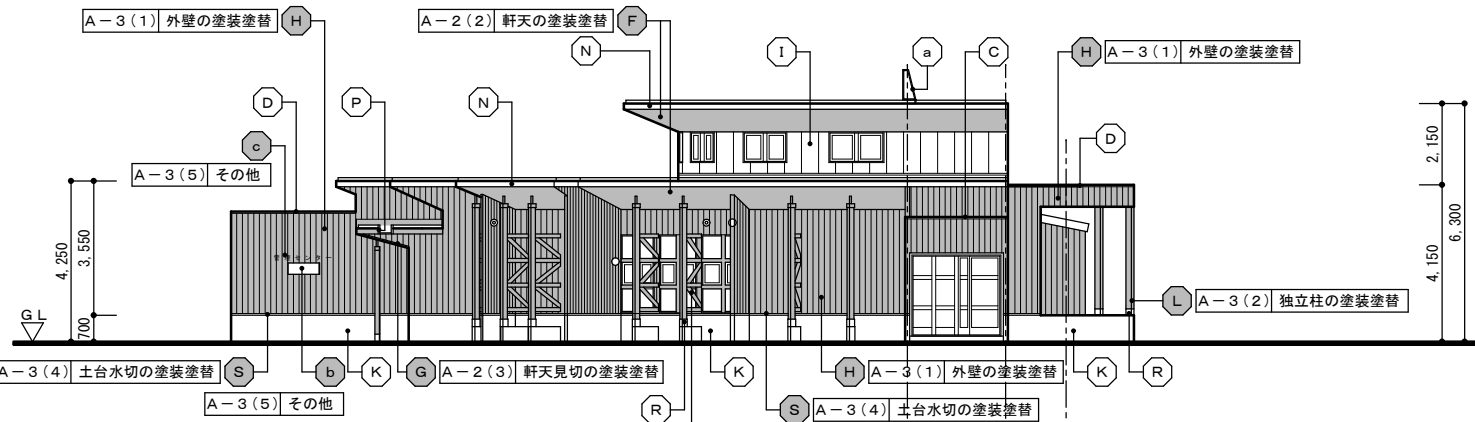
既存仕上	改修仕上	改修 No
ケラバ: 既存 t15青木板張り (押縁押え)	下地調整の上WP【塗替】	A-1(1) ケラバの塗装塗替
軒天見切 (ポーチ2・3): 既存青木60×40	下地調整の上WP【塗替】	A-2(1) 軒天見切の塗装塗替
軒天: 既存 t12羽目板張	下地調整の上WP【塗替】	A-2(2) 軒天の塗装塗替
軒天見切 (ポーチ1): 既存 青木45×45	下地調整の上WP【塗替】	A-2(3) 軒天見切の塗装塗替
外壁: t15青木板張 (押縁押え)	下地調整の上WP【塗替】	A-3(1) 外壁の塗装塗替
独立柱: 既存 青木120×120	下地調整の上WP【塗替】	A-3(2) 独立柱の塗装塗替
控え壁: 既存木組現し 青木105×105	下地調整の上WP【塗替】	A-3(3) 控え壁の塗装塗替
土台水切: 既存45×90木下地、t0.35カラー鉄板包み	下地調整の上DP【塗替】	A-3(4) 土台水切の塗装塗替
館銘板 W900×H300×D30 1ヶ所	【一時取外し・再取付】	A-3(5) その他
SUS箱文字 W150×H150 6文字 1ヶ所	【一時取外し・再取付】	A-3(5) その他
案内表示板 W500×H300 1ヶ所	【一時取外し・再取付】	A-3(5) その他
1/A Dの内部両引分け戸: 既存青木 CL塗装	既存青木 CL塗装の上WP【塗替】 (一時取外し・再取付)	A-4(1) 1/A Dの内部両引分け戸の塗装塗替



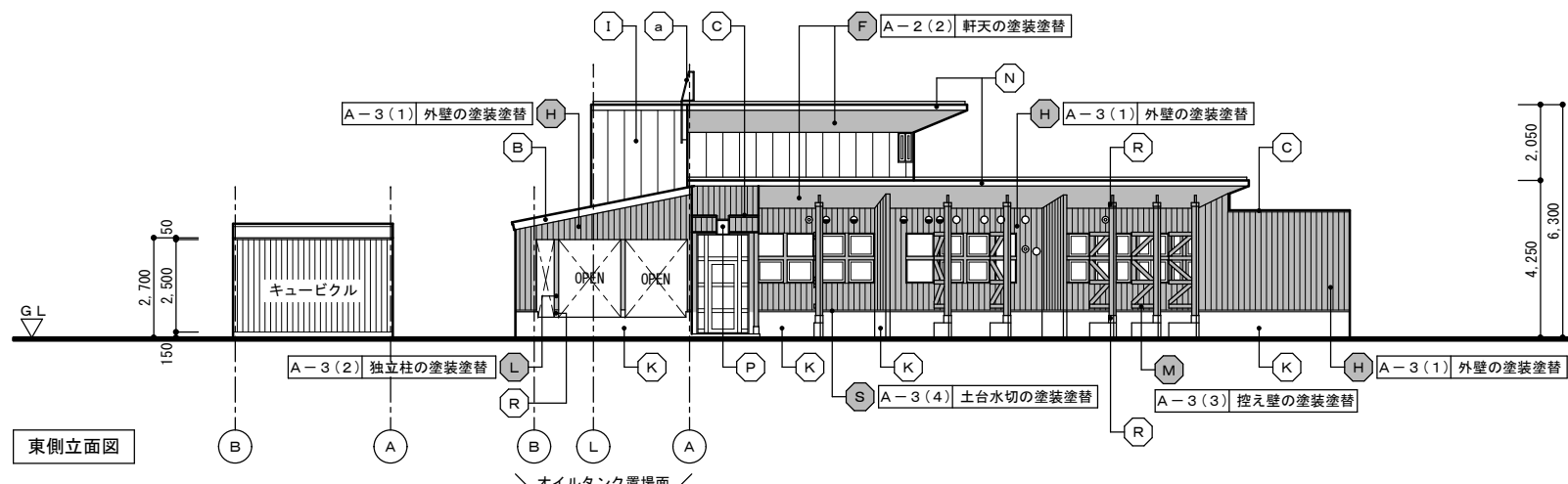
北側立面図



南側立面図



西側立面図



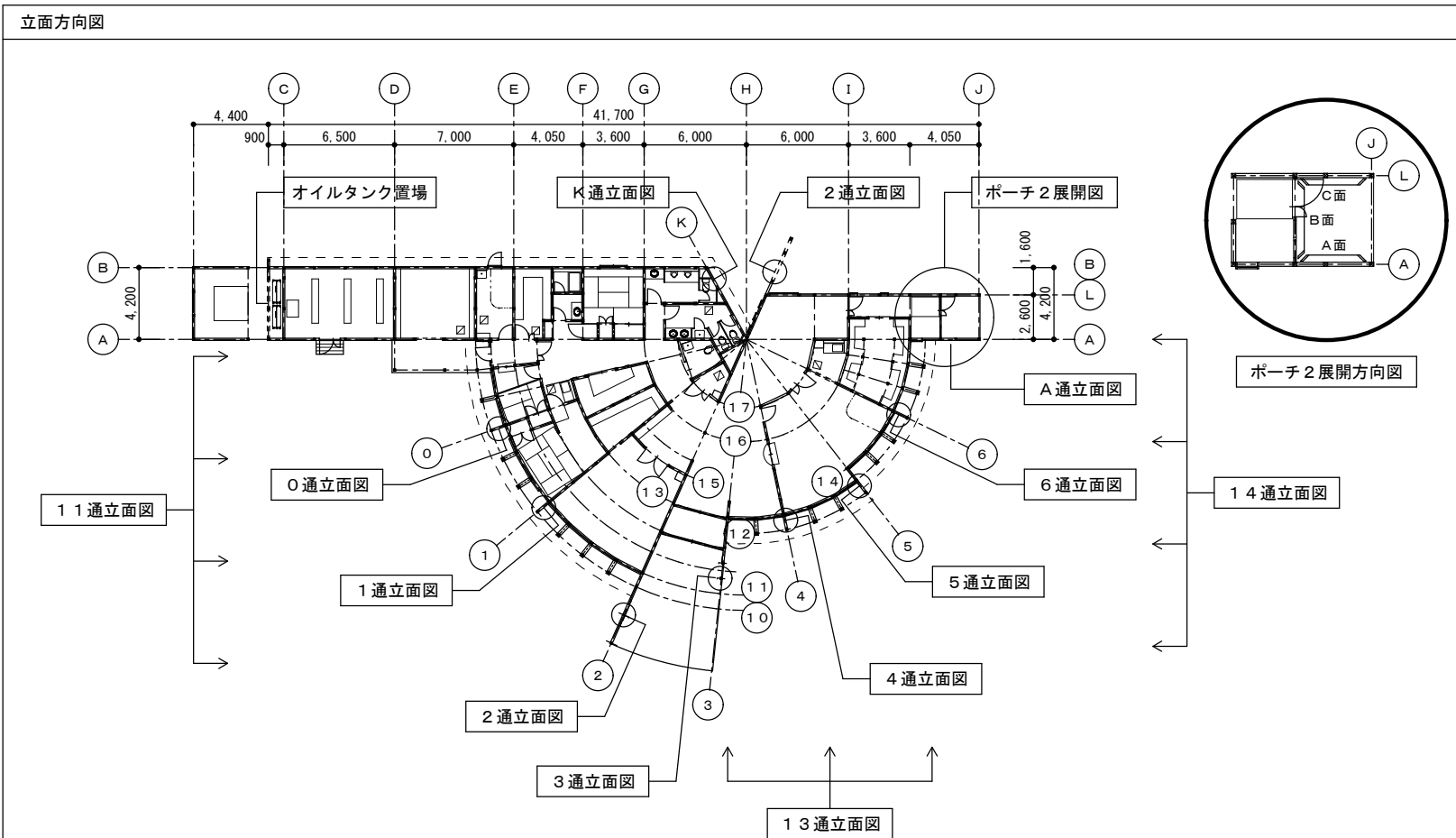
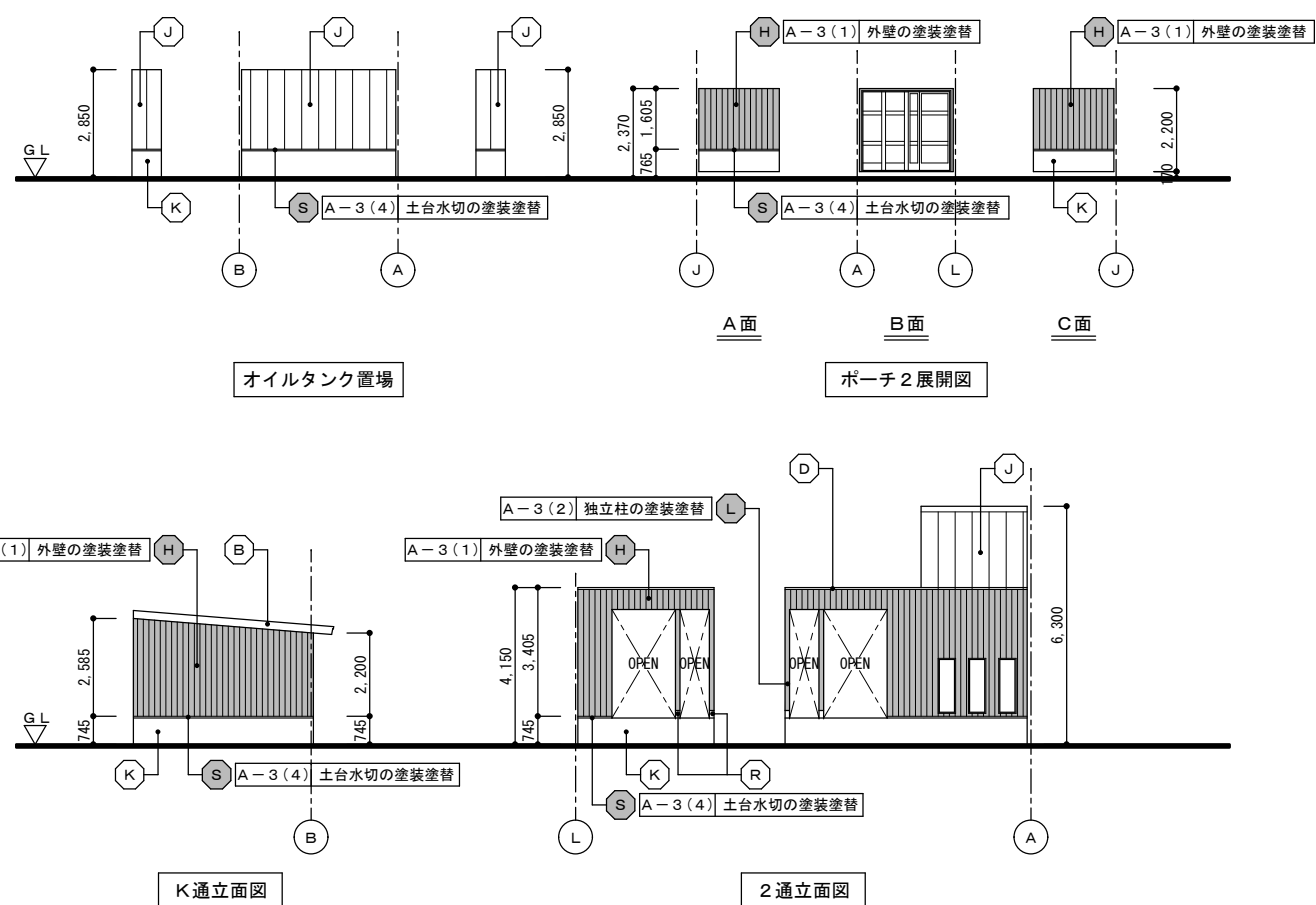
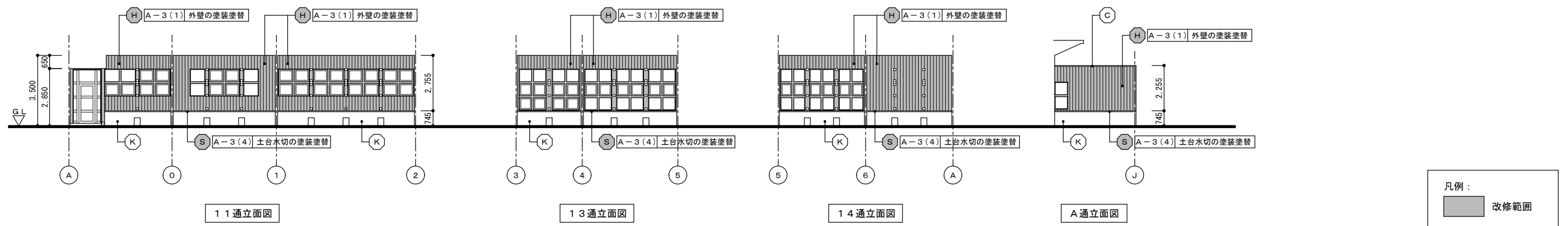
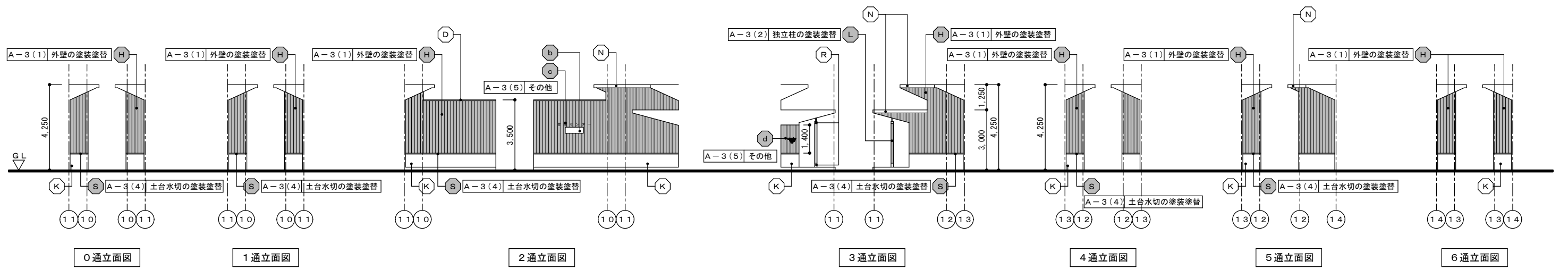
東側立面図

凡例：  
 改修範囲

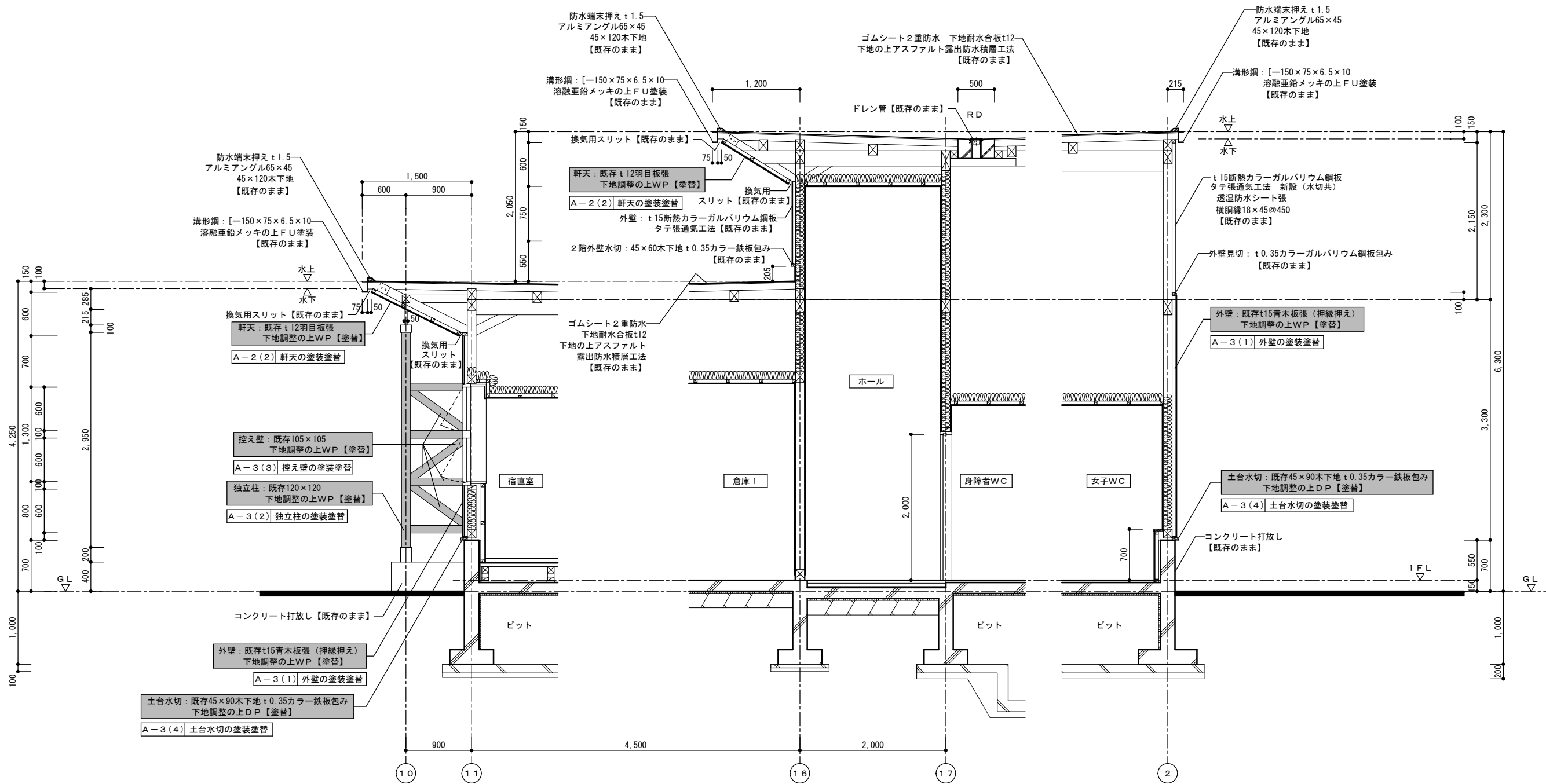
凡例

◎	FF排気筒 (150φ) 8ヶ所
☒	ステンレス防雪フード (400×400) 3ヶ所
○	アルミセルフード (200φ) 17ヶ所
●	アルミセルフード (150φ) 8ヶ所

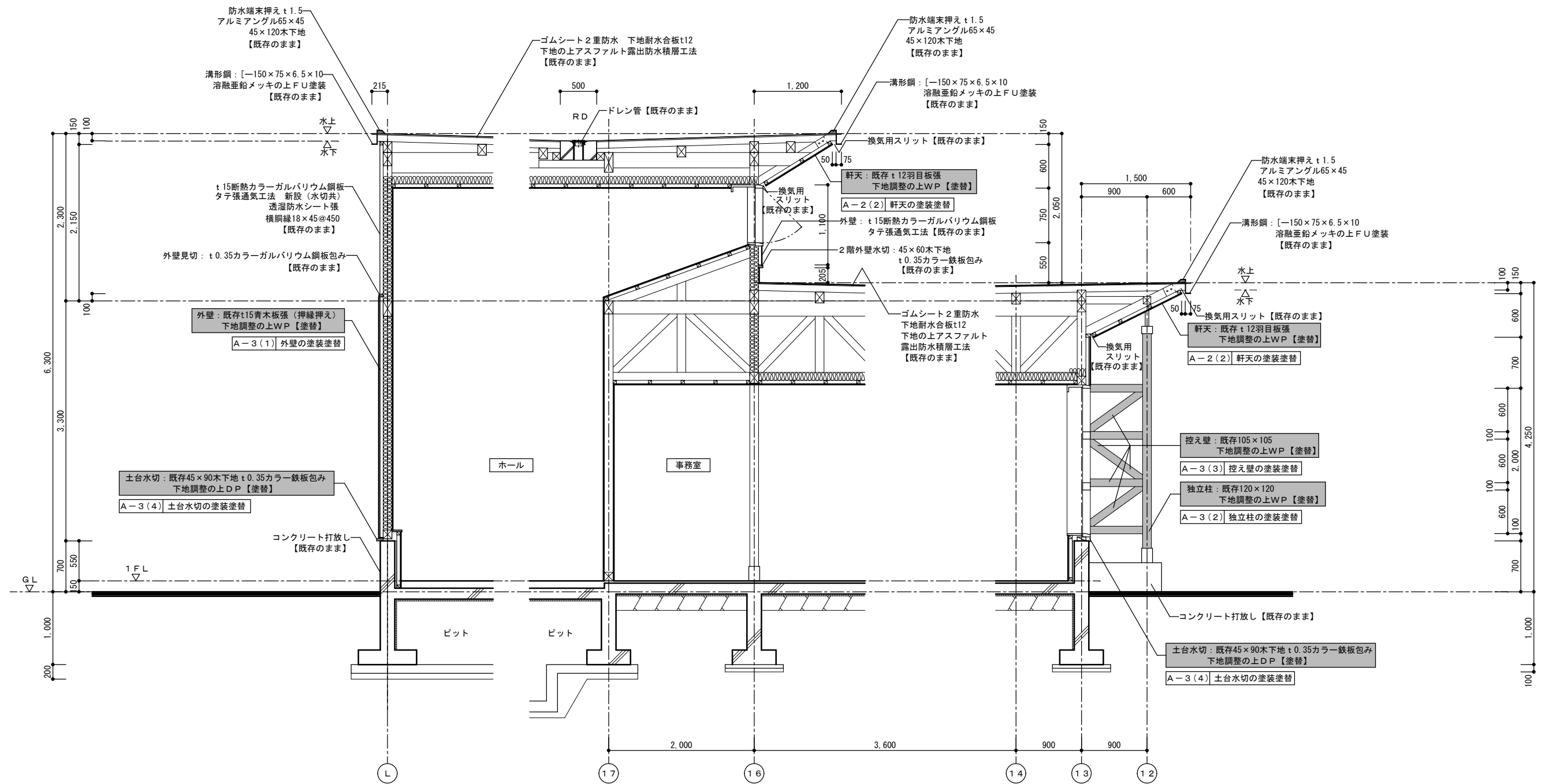
記号	既存仕上	改修仕上	改修 No
A	屋根: t0.40 カラーガルバリウム鋼板 瓦葺葺	既存のまま	
B	軒先: 木下地、t0.40 カラーガルバリウム鋼板包み	既存のまま	
C	笠木: L型 (30×30) 笠木 (t0.40カラーガルバリウム鋼板)	既存のまま	
D	一部笠木: t0.35カラー鉄板包み	既存のまま	
E	ケラバ: 既存 t15青木板張り (押縁押え)	下地調整の上WP【塗替】	A-1(1) ケラバの塗装塗替
F	軒天: t12羽目板張	下地調整の上WP【塗替】	A-2(2) 軒天の塗装塗替
G	軒天見切 (ポーチ): 既存 青木45×45	下地調整の上WP【塗替】	A-2(3) 軒天見切の塗装塗替
H	外壁: t15青木板張 (押縁押え)	下地調整の上WP【塗替】	A-3(1) 外壁の塗装塗替
I	外壁: t15断熱カラーガルバリウム鋼板 タテ張通気工法	既存のまま	
J	外壁: t0.35長尺カラー鉄板 瓦葺葺	既存のまま	
K	基礎立上: コンクリート打放し	既存のまま	
L	独立柱: 既存 青木120×120	下地調整の上WP【塗替】	A-3(2) 独立柱の塗装塗替
M	控え壁: 既存木組現し 青木105×105	下地調整の上WP【塗替】	A-3(3) 控え壁の塗装塗替
N	清形鋼: [-150×75×6.5×10 溶融亜鉛メッキの上F U塗装	既存のまま	
O	清形鋼: 木下地、t8.0スレートボードの上、t0.40 カラーガルバリウム鋼板 雨押え	既存のまま	
P	排水樋: t0.35長尺カラー鉄板	既存のまま	
Q	排水樋 (L通り): t0.35長尺カラー鉄板	既存のまま	
R	スチール製柱頭金物 (120×120×H100+50×50×H215)・柱脚金物 (120×120×H200) (独立柱) 溶融亜鉛メッキの上F U塗装	既存のまま	
S	土台水切: 既存45×90木下地、t0.35カラー鉄板包み	下地調整の上DP【塗替】	A-3(4) 土台水切の塗装塗替
a	ステンレス製タラップ W450×H2,300 1ヶ所	既存のまま	
b	館銘板 W900×H300×D30 1ヶ所	【一時取外し・再取付】	A-3(5) その他
c	SUS箱文字 W150×W150 6文字 1ヶ所	【一時取外し・再取付】	A-3(5) その他
d	案内表示板 W500×H300 1ヶ所	【一時取外し・再取付】	A-3(5) その他
e	アンテナ L3,000程度 3ヶ所	既存のまま	

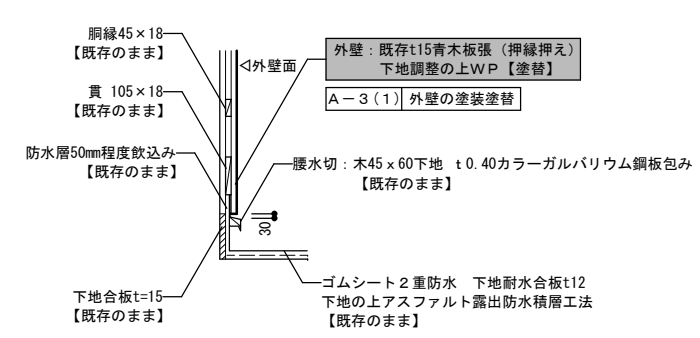




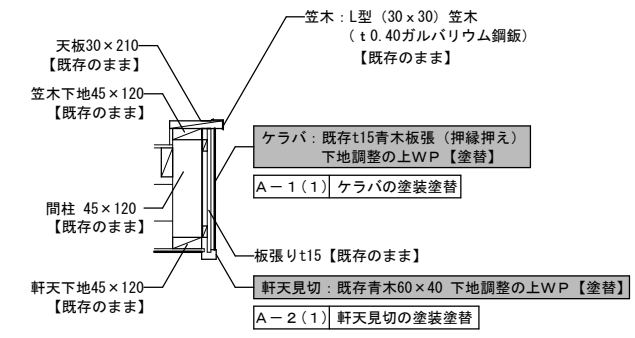


凡例：  
 改修範囲

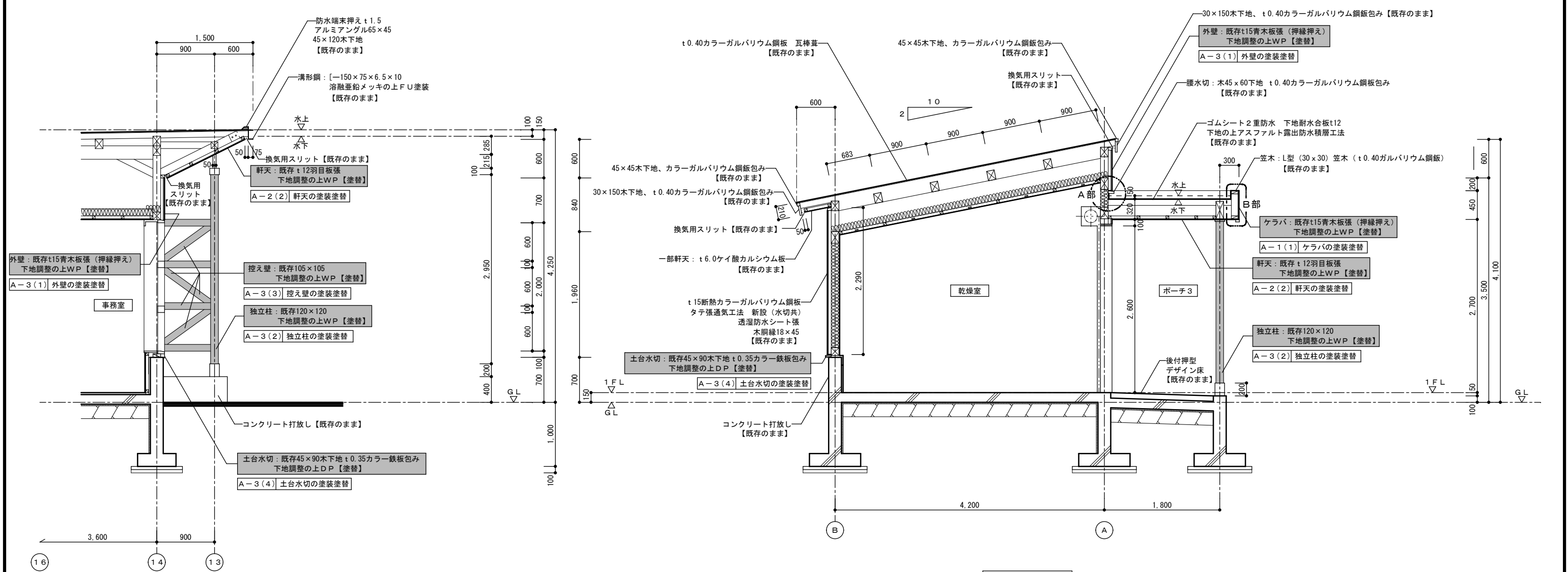




A部 S=1/15

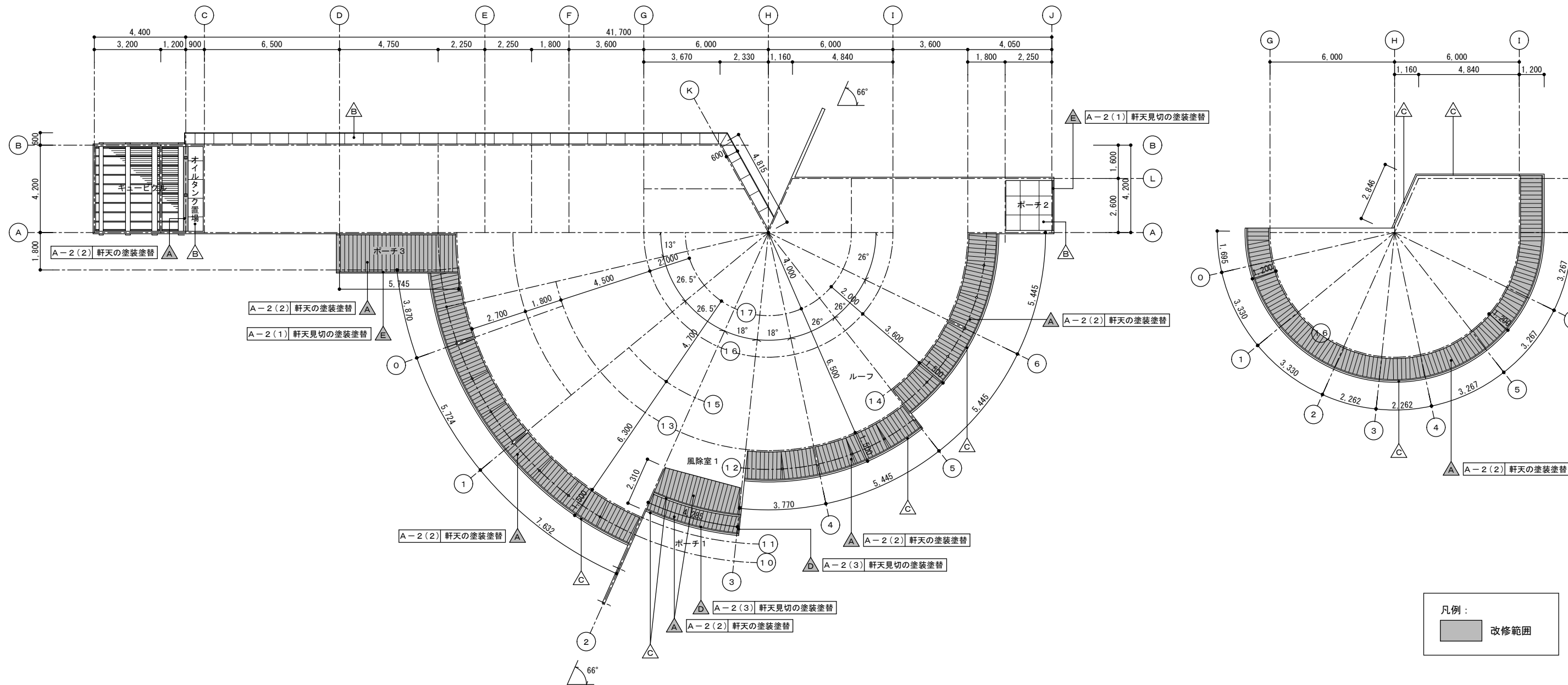


B部 S=1/15

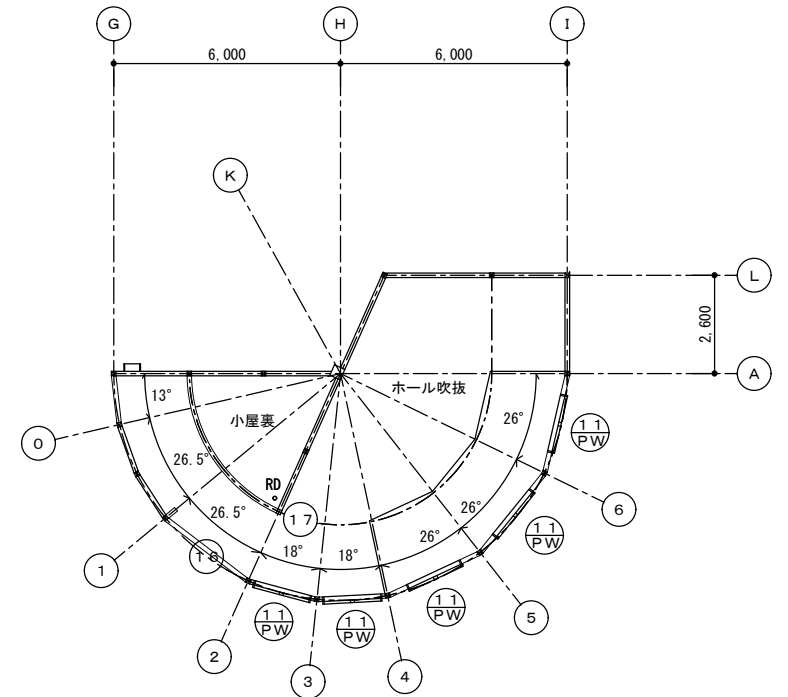
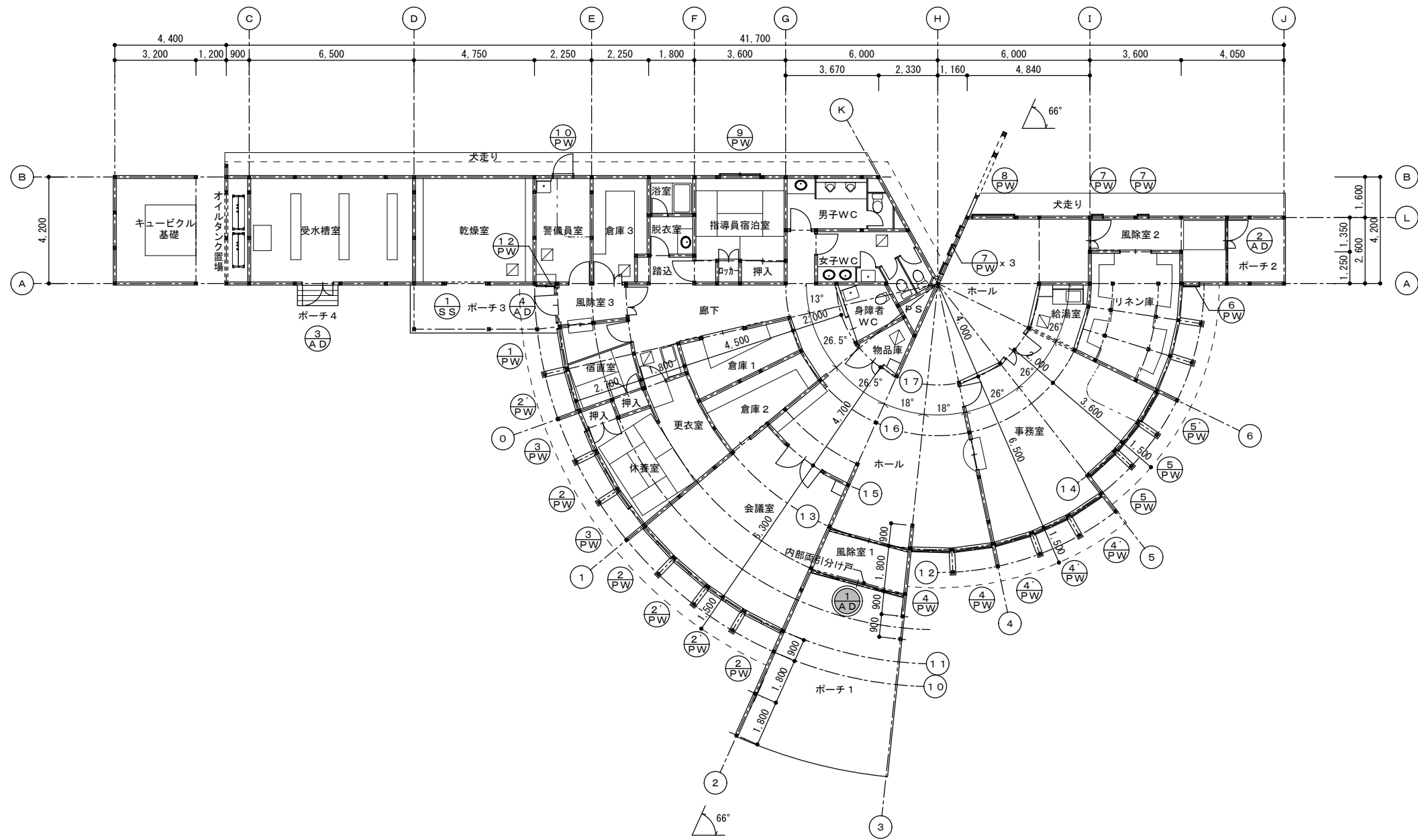


矩計図 S=1/30

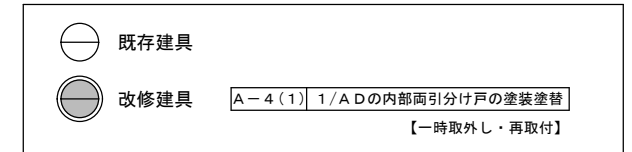
凡例：  
 改修範囲



外部仕上表				
記号	改修箇所	改修前	改修後	改修 No
A	軒天	既存 t12羽目板張 木現し (オイルタンク置き場)	下地調整の上WP【塗替】	A-2(2) 軒天の塗装塗替
B	一部軒天	t6.0ケイ酸カルシウム板	既存のまま	
C	溝形鋼	[-150×75×6.5×10 溶融亜鉛メッキの上FU塗装	既存のまま	
D	軒天見切 (ポーチ1)	既存青木45×45	下地調整の上WP【塗替】	A-2(3) 軒天見切の塗装塗替
E	軒天見切 (ポーチ2・3)	既存青木60×40	下地調整の上WP【塗替】	A-2(1) 軒天見切の塗装塗替



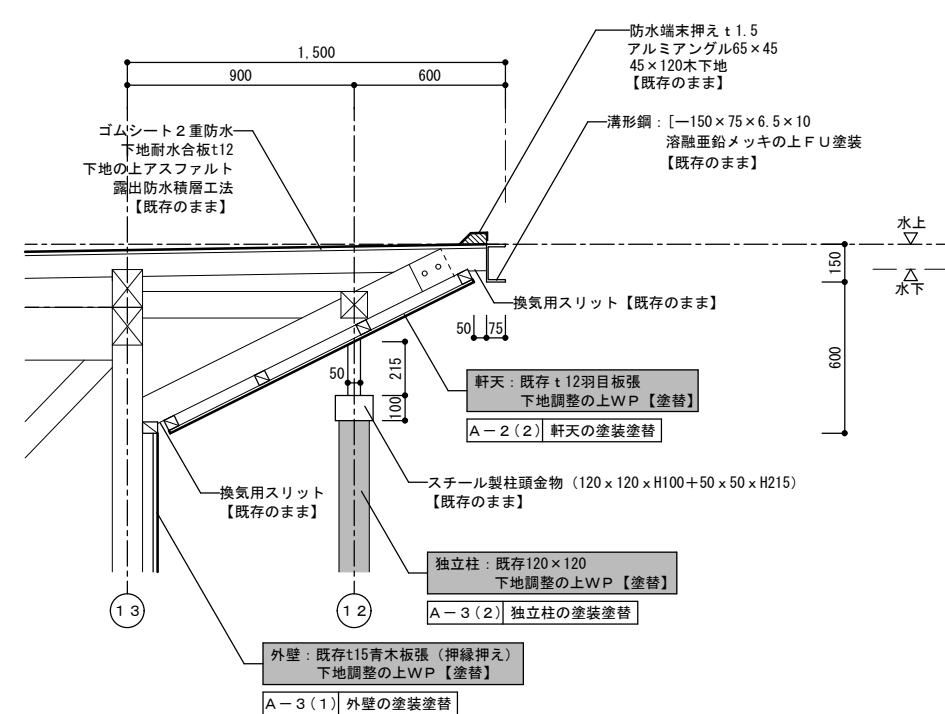
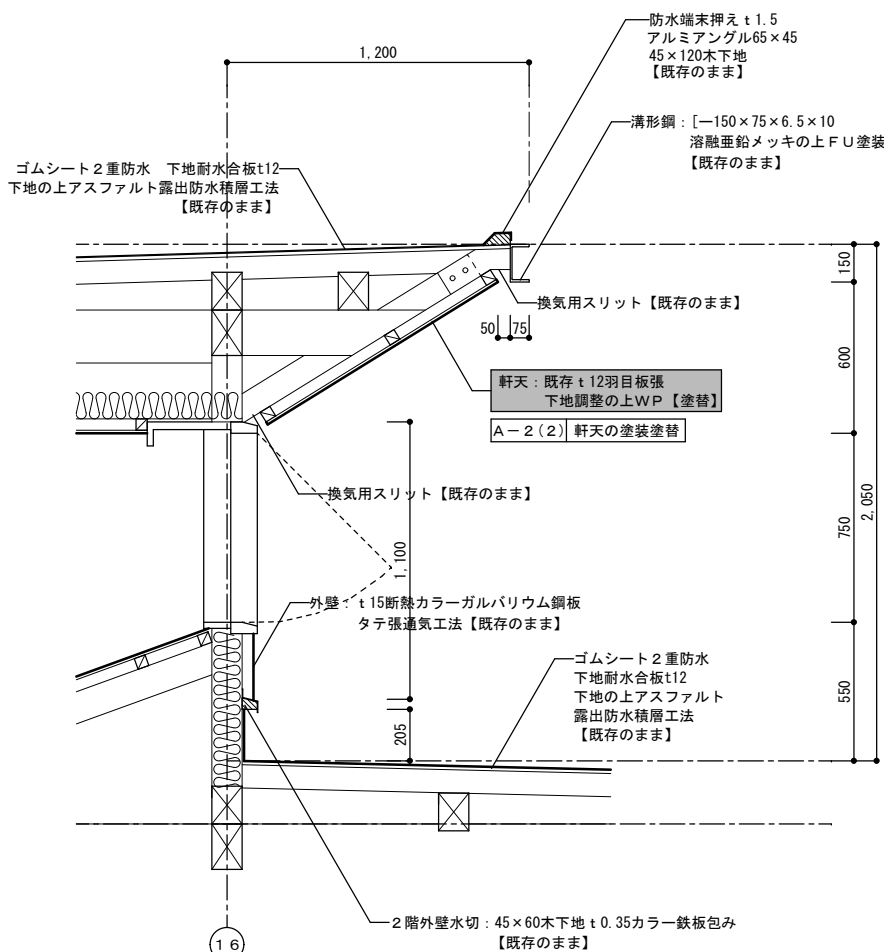
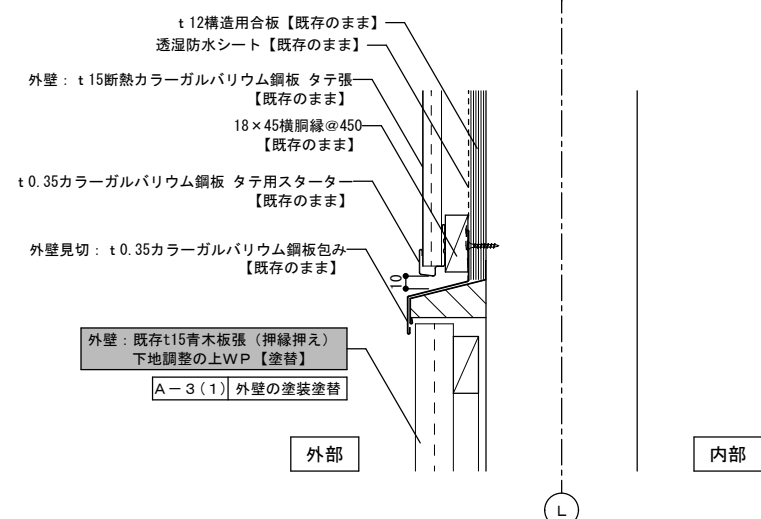
凡例:



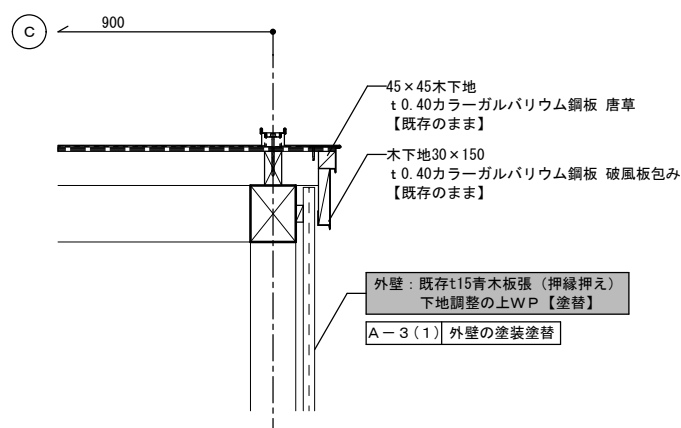
名称・数量	① A/D	両引分けドア	1ヶ処	② A/B	袖付き親子ドア	1ヶ処	③ A/B	ランマ付き親子ドア	1ヶ処	④ A/B	袖付き親子ドア	1ヶ処				
室名	風除室1			風除室2			受水槽室			風除室3						
姿図																
仕上・見込	仕上：電解着色の上塗装 見込：100			仕上：青木 CL塗装 見込：40			仕上：電解着色の上塗装 見込：70			仕上：電解着色の上塗装 見込：70						
ガラス	透明ガラス t5			透明ガラス t3			透明ガラス t3			透明ガラス t3						
金物	シリンダー錠(本締)、ステンレス引手、ステンレス下枠、衝突防止ステッカー			形込引手、木製引手用レール(ステンレス)、戸当り、戸車			シリンダー錠(本締り)、ステンレス丁番、ドアチェック フランス落し、ステンレス下枠、戸当り			シリンダー錠(本締り)、握り玉、ステンレス丁番、ドアチェック フランス落し、ステンレス下枠						
備考	カラーアルミ(白)			【一時取外し・再取付】			カラーアルミ(白)			カラーアルミ(白) 扉内部ロックウール充填						
名称・数量	① P/W	嵌め殺し突出窓(段窓)	1ヶ処	② P/W	突出窓(段窓)	3ヶ処	③ P/W	突出窓(段窓)	3ヶ処	④ P/W	嵌め殺し窓(段窓)	2ヶ処	⑤ P/W	嵌め殺し突出窓(段窓)	3ヶ処	
室名	宿直室			休養室、会議室			宿直室、会議室			休養室		ホール		事務室		
姿図																
仕上・見込	見込：105			見込：105			見込：105			見込：105		見込：105		見込：105		
ガラス	ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3			ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3			ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3			ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3		ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3		ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3		
金物	グレモンハンドル、フリクションステイ、付属金物一式			グレモンハンドル、フリクションステイ、付属金物一式			グレモンハンドル、フリクションステイ、付属金物一式			グレモンハンドル、フリクションステイ、付属金物一式		グレモンハンドル、フリクションステイ、付属金物一式		グレモンハンドル、フリクションステイ、付属金物一式		
備考	樹脂サッシ(白) ロール網戸取付 x 2			樹脂サッシ(白) ロール網戸取付 x 2			樹脂サッシ(白) ロール網戸取付 x 2			樹脂サッシ(白)		樹脂サッシ(白) ロール網戸取付 x 2		樹脂サッシ(白) ロール網戸取付 x 2		
名称・数量	⑥ P/W	嵌め殺し突出窓(段窓)	2ヶ処	⑦ P/W	嵌め殺し突出窓(段窓)	1ヶ処	⑧ P/W	嵌め殺し窓(段窓)	1ヶ処	⑨ P/W	嵌め殺し窓	5ヶ処	⑩ P/W	嵌め殺し窓	1ヶ処	
室名	事務室			事務室			風除室2			風除室2、ホール			ホール			
姿図																
仕上・見込	見込：105			見込：105			見込：105			見込：105			見込：105			
ガラス	ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3			ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3			ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3			ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3			ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3			
金物	グレモンハンドル、フリクションステイ、付属金物一式			グレモンハンドル、フリクションステイ、付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式			
備考	樹脂サッシ(白) ロール網戸取付 x 2			樹脂サッシ(白) ロール網戸取付 x 2			樹脂サッシ(白)			樹脂サッシ(白)			樹脂サッシ(白)			

○ 既存建具  
 ● 改修建具  
 A-4(1) 1/A Dの内部両引分け戸の塗装塗替  
 【一時取外し・再取付】

名称・数量	⑨ 引違い段窓・外付固定金物（取外し式） 1ヶ処	⑩ 片開き窓・外付固定金物（取外し式） 1ヶ処	⑪ 突出窓 5ヶ処	⑫ 引違い窓 1ヶ処	
室名	指導員宿直室	警備員室	ホール上部	警備員室	
姿図					
仕上・見込	樹脂サッシ（白） 見込：135	樹脂サッシ（白） 見込：135	樹脂サッシ（白） 見込：105	樹脂サッシ（白） 見込：135	
ガラス	透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3	透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3	ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3	ペアガラス：透明ガラス t3-A12-透明ガラス t3	
金物	クレセント、付属金物一式 固定金物：スチール 上枠 L-20×20×2.0 下枠 L-20×20×2.0	グレモンハンドル、 フリクションステイ、付属金物一式 固定金物：スチール 上枠 L-20×20×2.0 下枠 L-20×20×2.0	突出棒、排煙オペレーター（ハンドル式）、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	
備考	網戸取付 x 2	ロール網戸取付	固定網戸取付 x 2		
名称・数量	⑬ 軽量シャッター（手動式） 1ヶ処				
室名	乾燥室				
姿図					
仕上・見込	仕上：焼付塗装				
ガラス					
金物	開閉装置一式、カラー鋼板張り角型ケース ステンレス座板、ステンレスガイドレール				
備考	カラー鋼板 0.5t ステンレスマグサ				
名称・数量					凡例
室名					⊖ 既存建具
姿図					
仕上・見込					
ガラス					
金物					
備考					

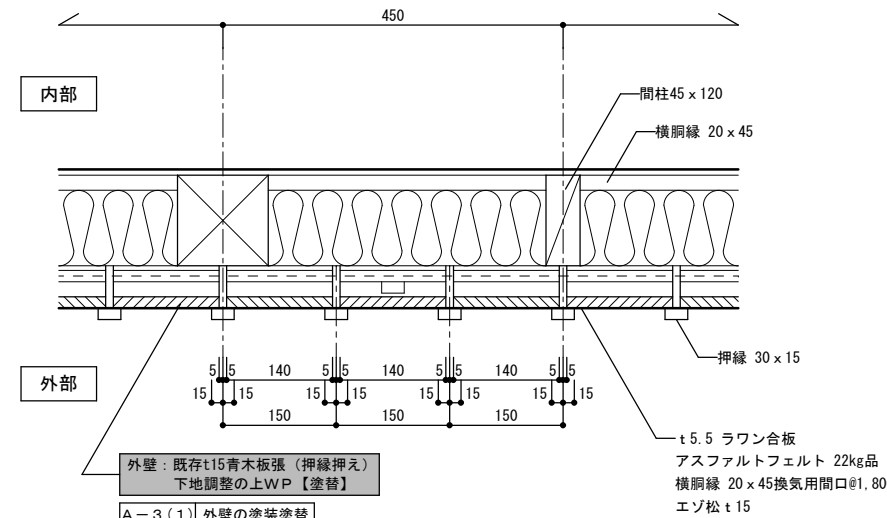
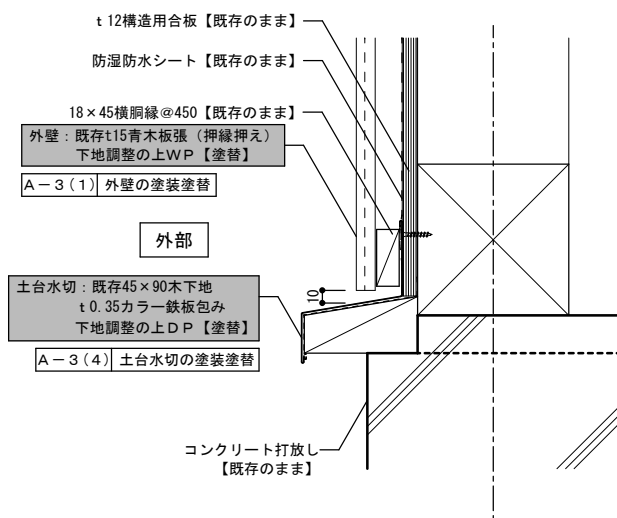
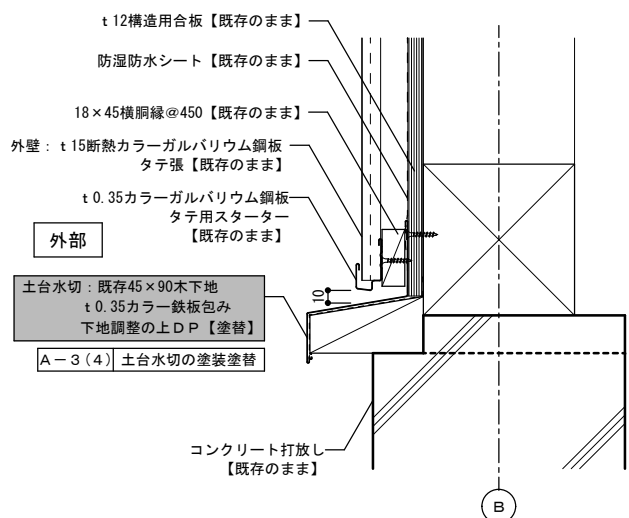


ケラバ詳細図

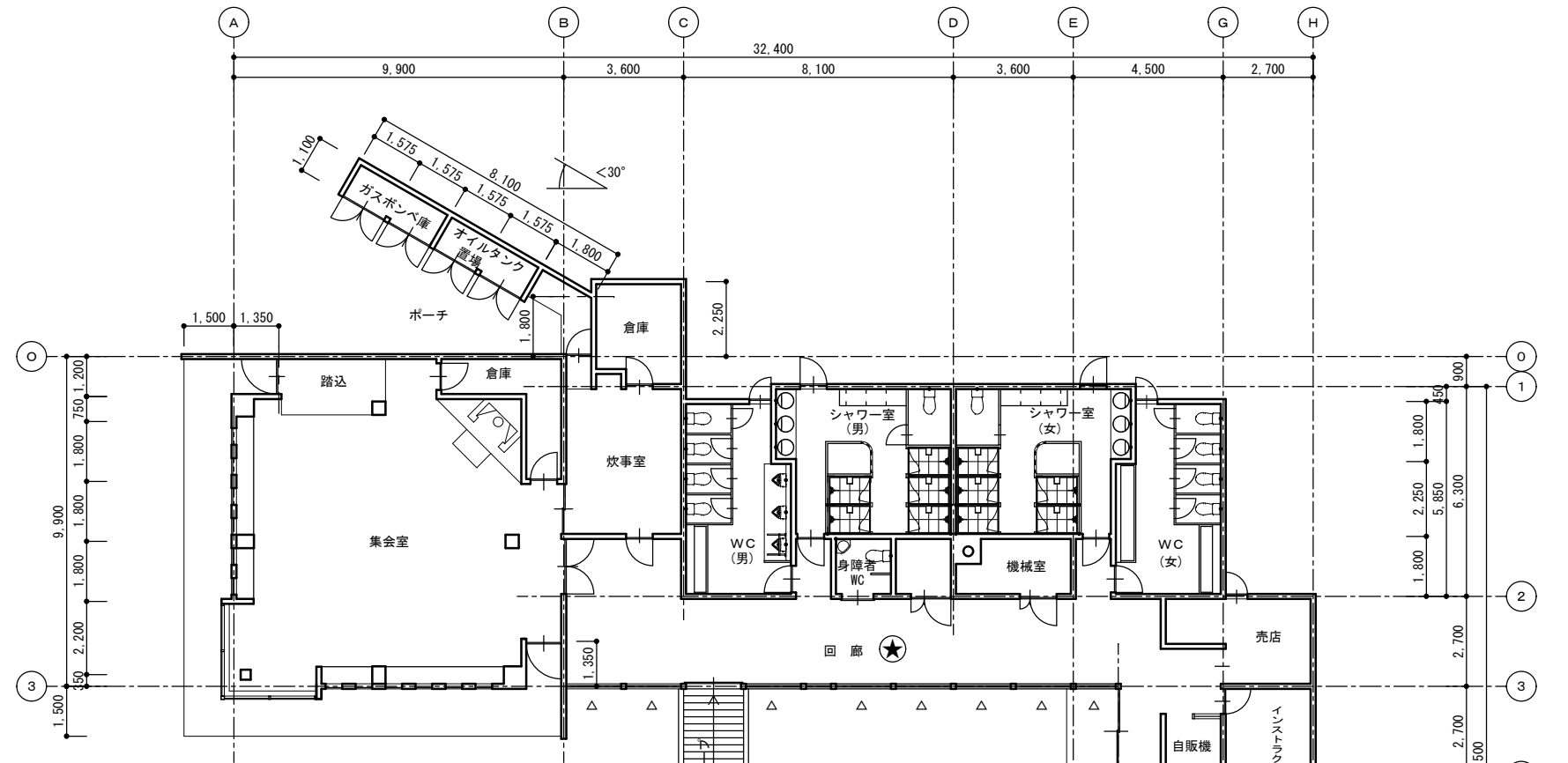
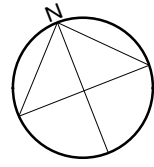


腰水切詳細図

外壁板張詳細図





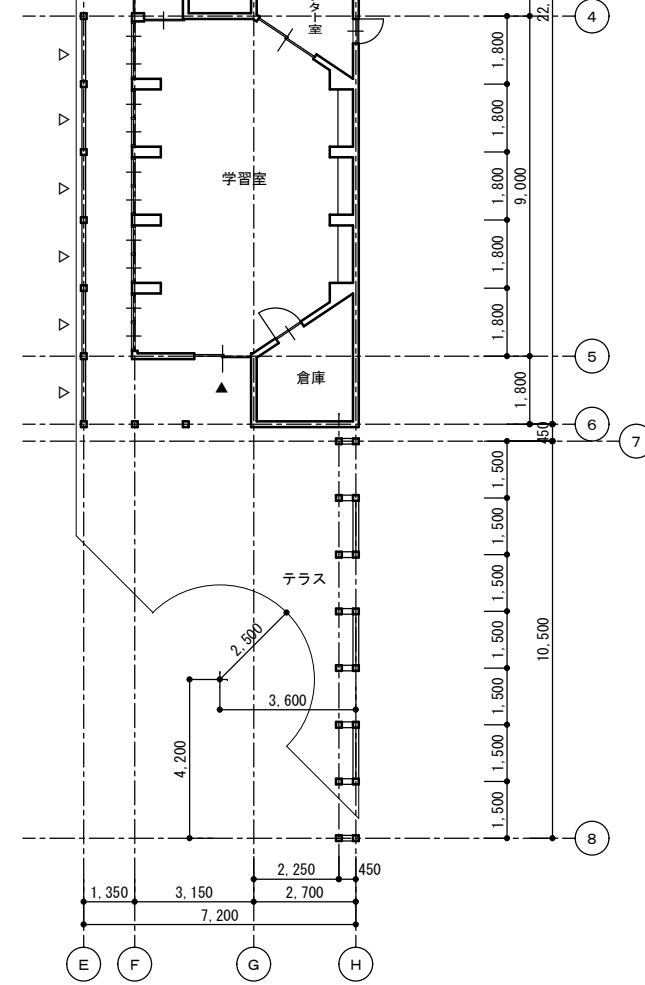


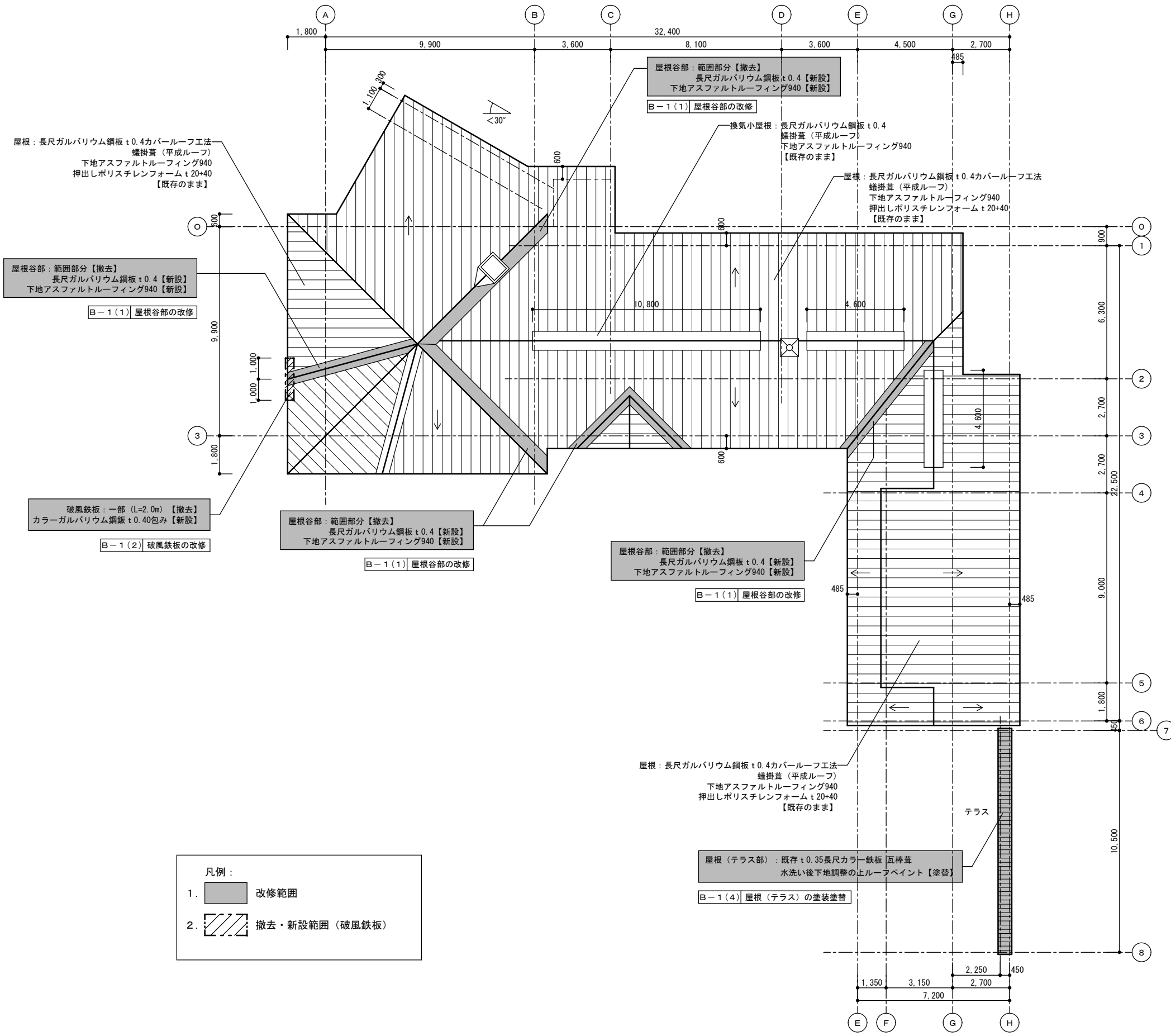
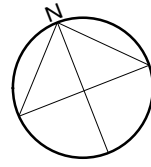
改修内容

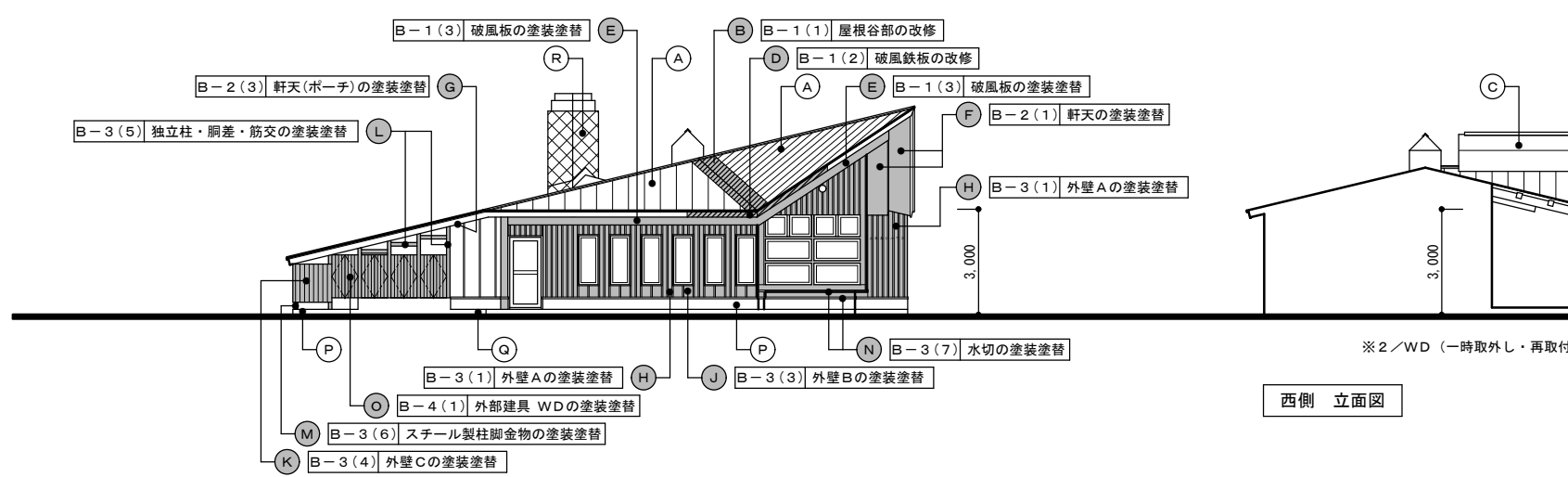
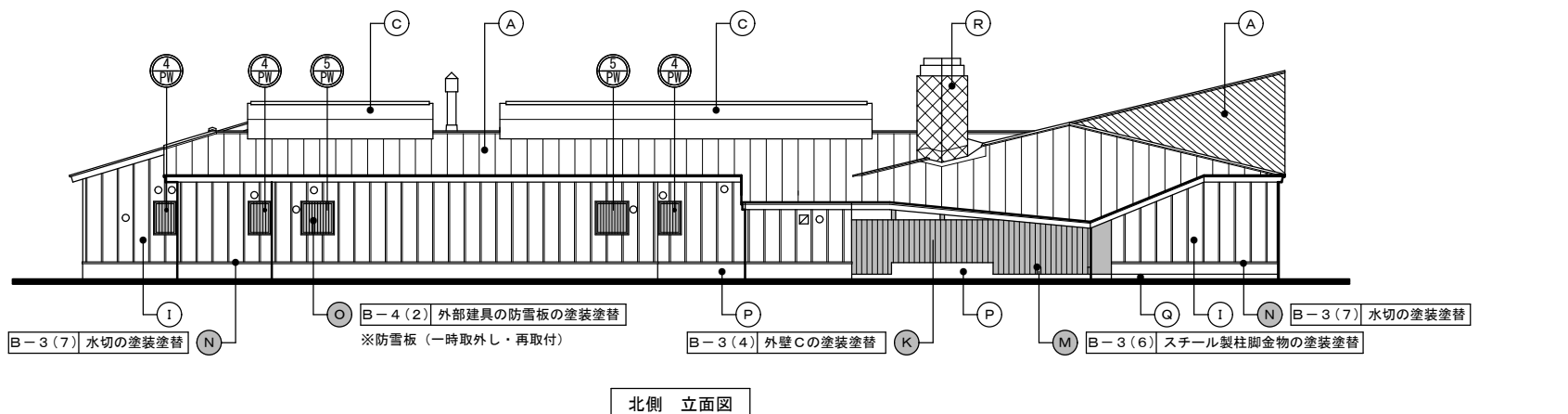
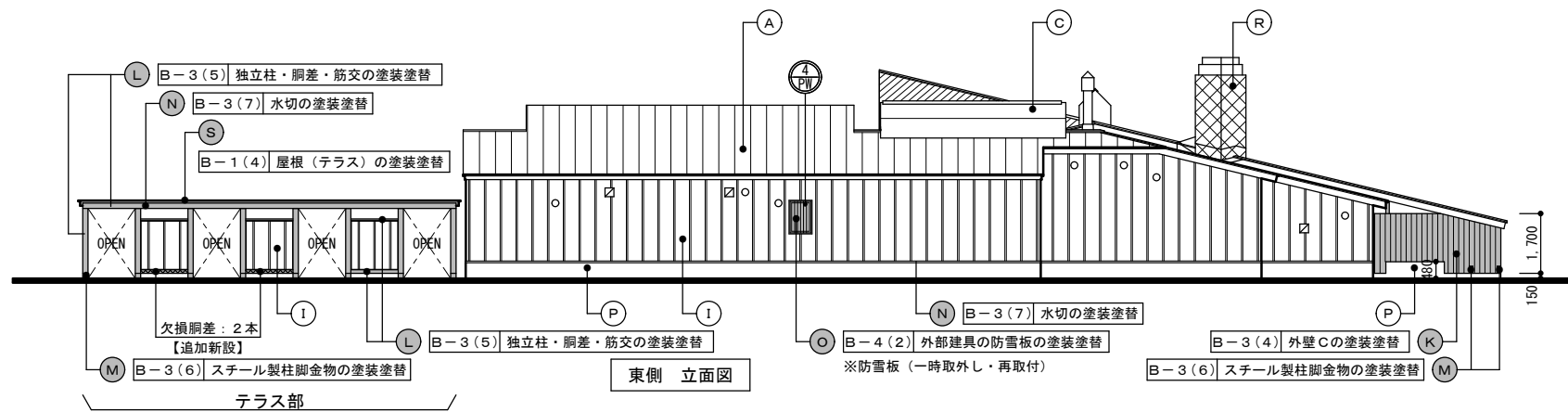
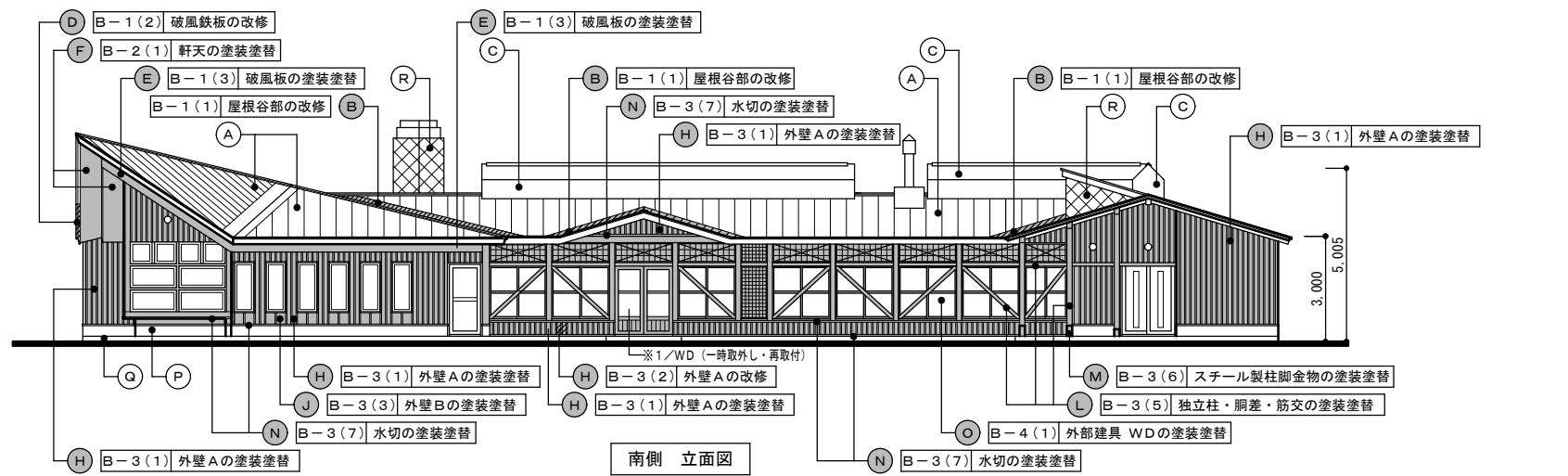
■ アスベスト含有建材

改修箇所	改修前	改修後	改修 No
屋根谷部	長尺ガルバリウム鋼板 t0.4 【一部撤去】	長尺ガルバリウム鋼板 t0.4 【新設】 下地アスファルトルーフィング940 【新設】	B-1(1) 屋根谷部の改修
破風鉄板	既存 カラーガルバリウム鋼板 t0.40包み 【一部撤去】	カラーガルバリウム鋼板 t0.40包み 【新設】	B-1(2) 破風鉄板の改修
破風板	既存 青木板 t30張 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装	下地調整の上WP 【塗替】	B-1(3) 破風板の塗装塗替
屋根(テラス部)	既存 t0.35長尺カラー鉄板 瓦葺葺	水洗い後下地調整の上ルーフペイント 【塗替】	B-1(4) 屋根(テラス)の塗装塗替
軒天	既存 木下地 ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張りVP	下地調整の上DP 【塗替】	B-2(1) 軒天の塗装塗替
	一部軒天: ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張りVP (アスベスト含有建材) 【撤去】	ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張り DP 塗装 【新設】	B-2(2) 一部軒天の改修
軒天(ポーチ)	既存 木下地 ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張りVP 鉄骨軸現し	下地調整の上DP 【塗替】	B-2(3) 軒天(ポーチ)の塗装塗替
天井点検口		アルミ製天井点検口 450x450 1ヶ所 【新設】	B-2(4) 天井点検口の設置
外壁A	既存 青木板 t15張(押縁押え) 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装	下地調整の上WP 【塗替】	B-3(1) 外壁Aの塗装塗替
	【一部(400x400)撤去】	一部(400x400): 青木板 t15張(押縁押え) 素地ごしらえの上WP 塗装 【新設】	B-3(2) 外壁Aの改修
外壁B (外部建具PW2の下部)	既存 長尺カラー鉄板 t0.35瓦葺葺(通気層付)	下地調整の上DP 【塗替】	B-3(3) 外壁Bの塗装塗替
外壁C	既存 ツーバイ材板張り 40x147 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装	下地調整の上WP 【塗替】	B-3(4) 外壁Cの塗装塗替
独立柱・胴差・筋交い	既存 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 ※テラス部: 欠損胴差(青木 120x120 L=1,350) 2本	下地調整の上WP 【塗替】 ※テラス部: 胴差(青木 120x120 L=1,350) 2本 素地ごしらえの上WP 塗装 【追加新設】	B-3(5) 独立柱・胴差・筋交いの塗装塗替 B-3(5) 胴差の新設
スチール製柱脚金物	(150x150xH300) 既存 溶融亜鉛メッキの上FU塗装	下地調整の上DP 【塗替】	B-3(6) スチール製柱脚金物の塗装塗替
水切	既存 t0.35長尺カラー鉄板包み(外壁A面)	下地調整の上DP 【塗替】	B-3(7) 水切の塗装塗替
	既存45x90下地カラー鉄板 t0.35包み(外壁B面)		
外部建具WD	既存 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装	建具調整の上WP 【塗替】 ※1/WD・2/WD 【一時取外し・再取付】	B-4(1) 外部建具 WDの塗装塗替
外部建具PWの防雪板	既存 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装	下地調整の上WP 【塗替】 ※防雪板 【一時取外し・再取付】	B-4(2) 外部建具の防雪板の塗装塗替
外部建具PW (外壁B 長尺カラー鉄板 t0.35瓦葺葺面)	外部建具PW シーリング15x15 【撤去】	外部建具シーリング15x15 MS-2 【新設】	B-5(1) 外部建具廻りシーリングの改修
防雪フード(400x400)	シーリング15x10 【撤去】4個所	シーリング15x10 MS-2 【新設】4個所	B-5(2) 防雪フードシーリングの改修
換気口 アルミセルフードφ100	シーリング15x10 【撤去】21個所	シーリング15x10 MS-2 【新設】21個所	B-5(3) アルミセルフードシーリングの改修

凡例  
 △: 壁筋交い取付位置(見え掛け部分)  
 ★: VOC濃度測定  
 (改修前: 1箇所・改修後: 1箇所)



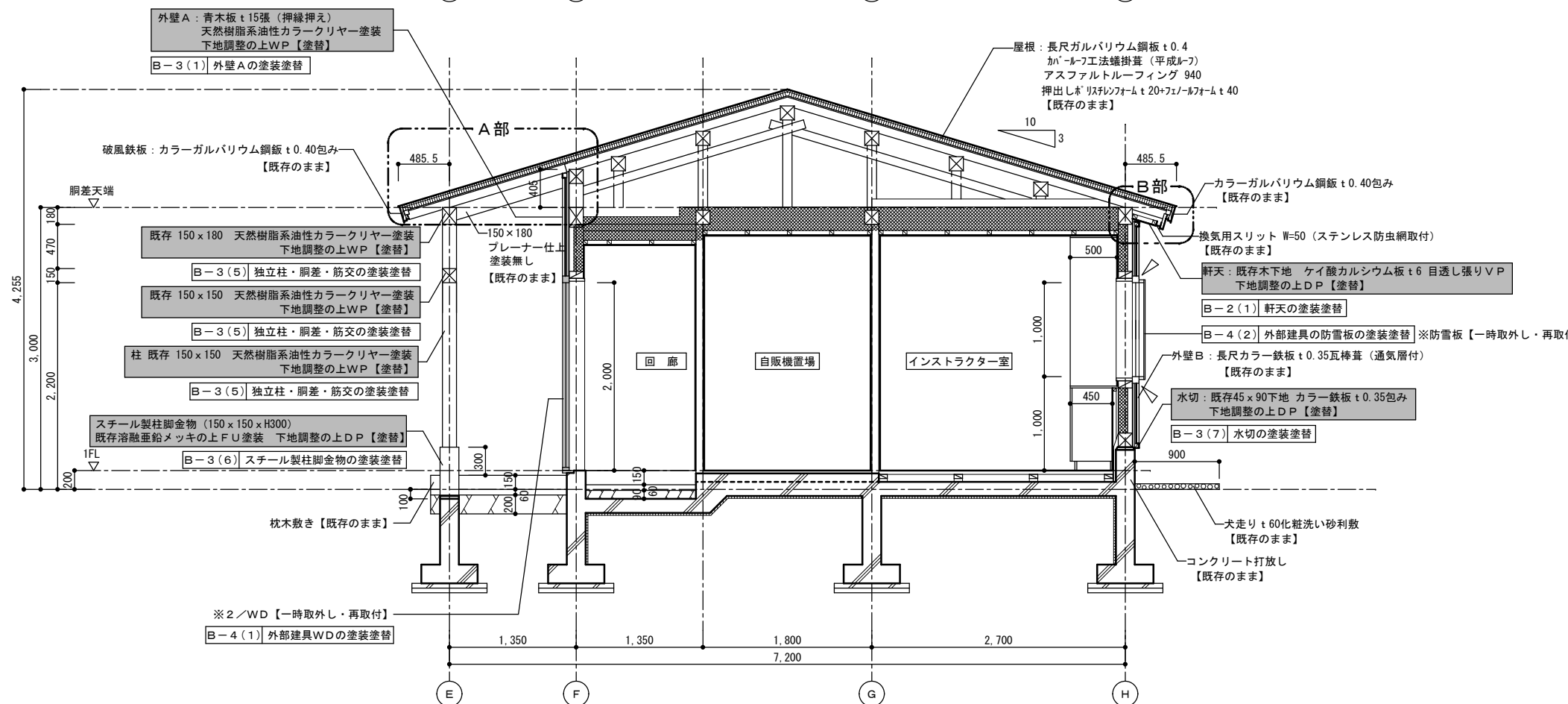
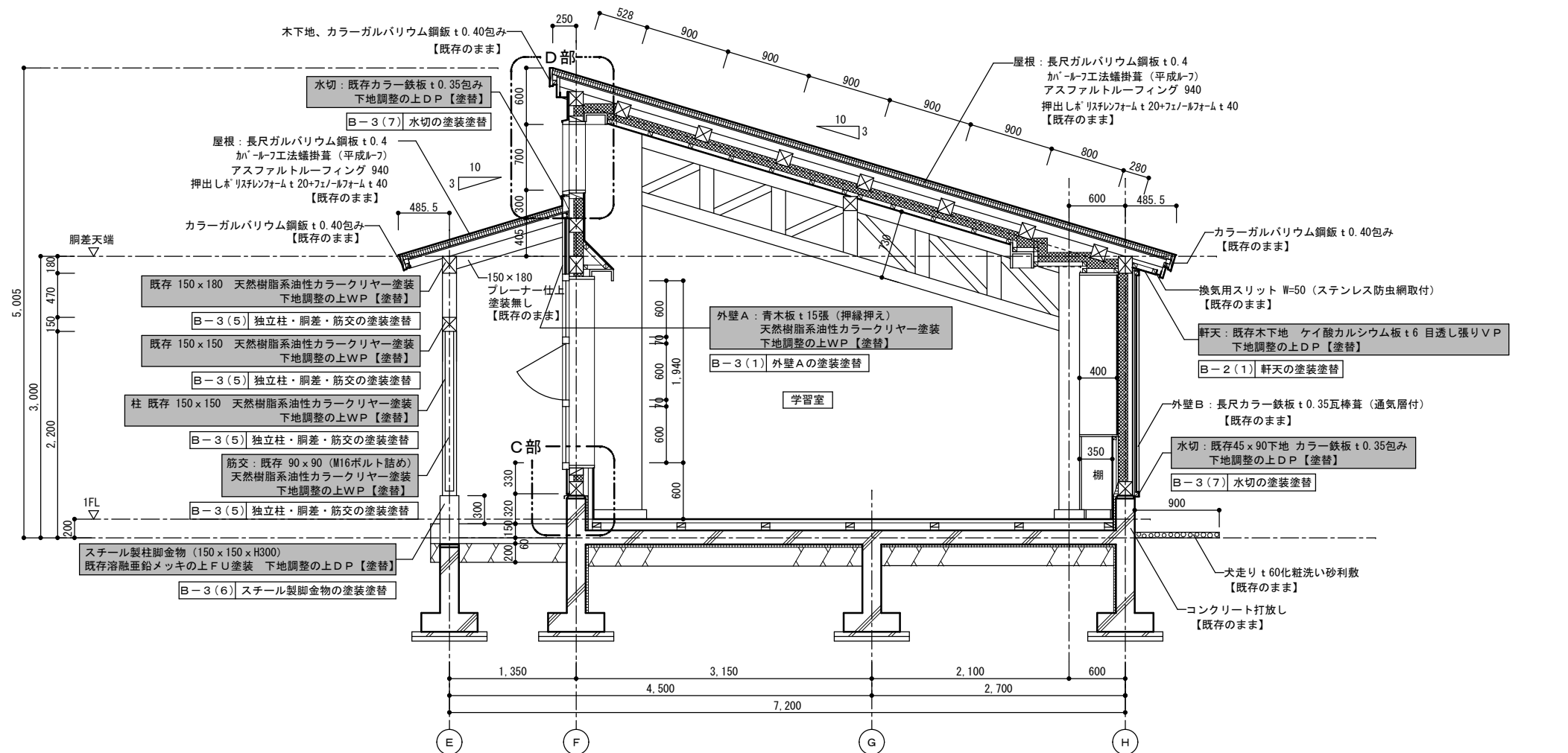




記号	既存仕上	改修仕上	改修 No
A	屋根: 長尺ガルバリウム鋼板 t0.4 カバーーフ工法 蟻掛葺(平成ルーフ) 下地アスファルトルーフィング940 押し出しポリスチレンフォーム t20+40	既存のまま	
B	屋根谷部: 長尺ガルバリウム鋼板 t0.4 【一部撤去】	長尺ガルバリウム鋼板 t0.4 【新設】 下地アスファルトルーフィング940 【新設】	B-1(1) 屋根谷部の改修
C	換気小屋根: 長尺ガルバリウム鋼板 t0.4 蟻掛葺(平成ルーフ) 下地アスファルトルーフィング940	既存のまま	
D	破風鉄板: 既存カラーガルバリウム鋼板 t0.40包み 【一部撤去】	カラーガルバリウム鋼板 t0.40包み 【新設】	B-1(2) 破風鉄板の改修
E	破風板: 青木板 t30張 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装	下地調整の上WP 【塗替】	B-1(3) 破風板の塗装塗替
F	軒天: 木下地 ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張りVP	下地調整の上DP 【塗替】	B-2(1) 軒天の塗装塗替
G	軒天(ポーチ): 木下地 ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張りVP 鉄骨軸現し	下地調整の上DP 【塗替】	B-2(3) 軒天(ポーチ)の塗装塗替
H	外壁A: 既存青木板 t15張(押縁押え) 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 【一部(400x400)撤去】	下地調整の上WP 【塗替】 一部(400x400): 青木板 t15張(押縁押え) 素地ごしらえの上WP塗装 【新設】	B-3(1) 外壁Aの塗装塗替 B-3(2) 外壁Aの改修
I	外壁B: 長尺カラー鉄板 t0.35瓦葺葺(通気層付)	既存のまま	
J	外壁C: ツーバイ材板張り 40x147 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装	下地調整の上WP 【塗替】	B-3(4) 外壁Cの塗装塗替
K	独立柱・胴差・筋交: 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装	下地調整の上WP 【塗替】	B-3(5) 独立柱・胴差・筋交の塗装塗替
L	スチール製柱脚金物 (150x150xH300) 既存溶融亜鉛メッキの上F.U塗装	下地調整の上DP 【塗替】	B-3(6) スチール製柱脚金物の塗装塗替
M	水切: t0.35長尺カラー鉄板包み(外壁A面) 水切: 既存45x90下地カラー鉄板 t0.35包み(外壁B面)	下地調整の上DP 【塗替】	B-3(7) 水切の塗装塗替
N	外部建具WD・外部建具PWの防雪板 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装	外部建具WD: 建具調整の上WP 【塗替】 ※1/WD・2/WD【一時取外し・再取付】 外部建具PWの防雪板: 下地調整の上WP 【塗替】 ※防雪板【一時取外し・再取付】	B-4(1) 外部建具 WDの塗装塗替 B-4(2) 外部建具の防雪板の塗装塗替
O	コンクリート打直し	既存のまま	
P	枕木敷き	既存のまま	
Q	煙突カラー鉄板 t0.35 葺葺	既存のまま	
R	屋根(テラス部): t0.35長尺カラー鉄板 瓦葺葺	水洗い後下地調整の上ルーフペイント 【塗替】	B-1(4) 屋根(テラス)の塗装塗替
S	防雪フード(400x400) シーリング MS-2 15x10 【撤去】4箇所	シーリング MS-2 15x10 【新設】4箇所	B-5(2) 防雪フードシーリングの改修
T	換気口 アルミセルフードφ100 シーリング MS-2 15x10 【撤去】21箇所	シーリング MS-2 15x10 【新設】21箇所	B-5(3) アルミセルフードシーリングの改修
U	外部建具PW(外壁B 長尺カラー鉄板 t0.35瓦葺葺面) シーリング15x15 【撤去】	シーリング15x15 【新設】	B-5(1) 外部建具廻りシーリングの改修

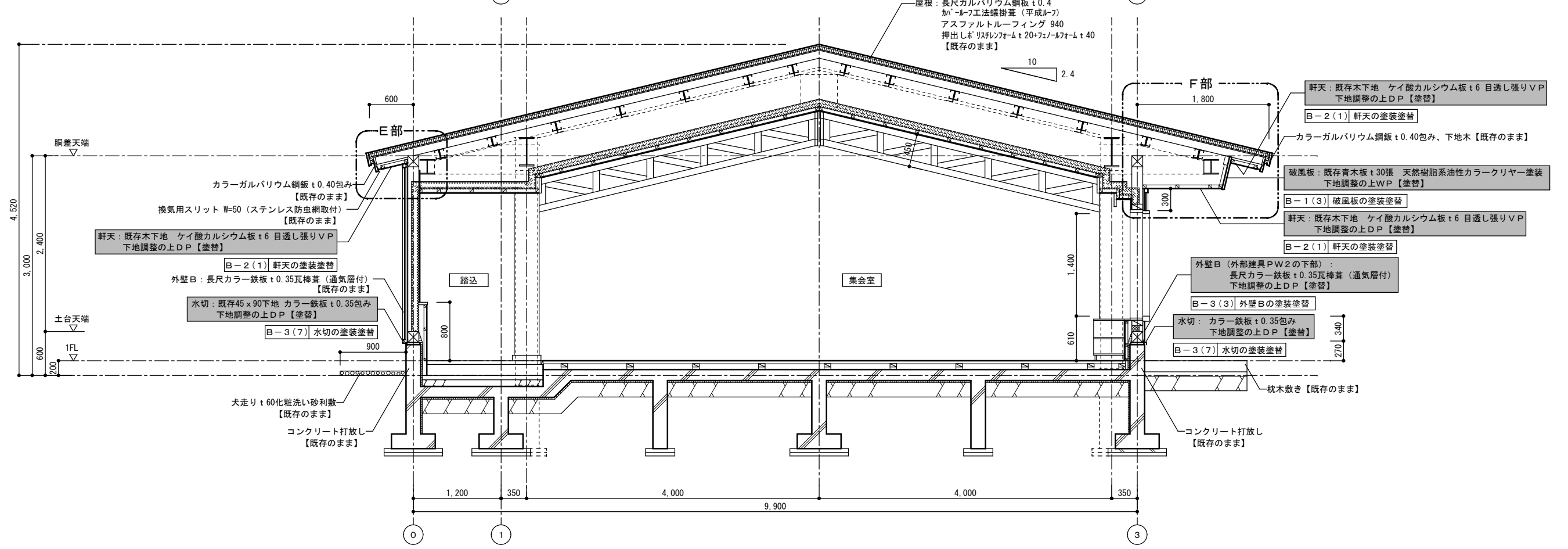
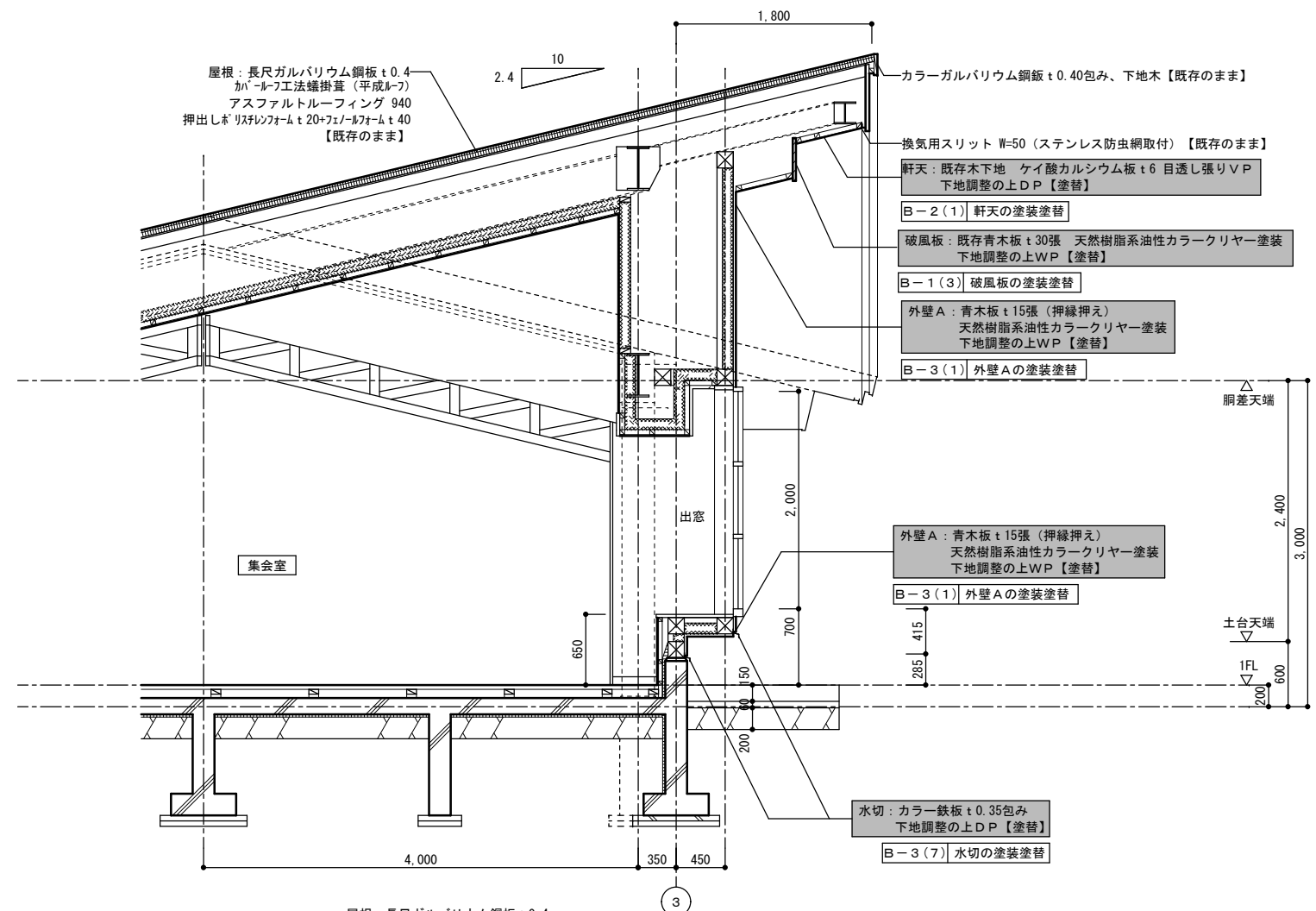
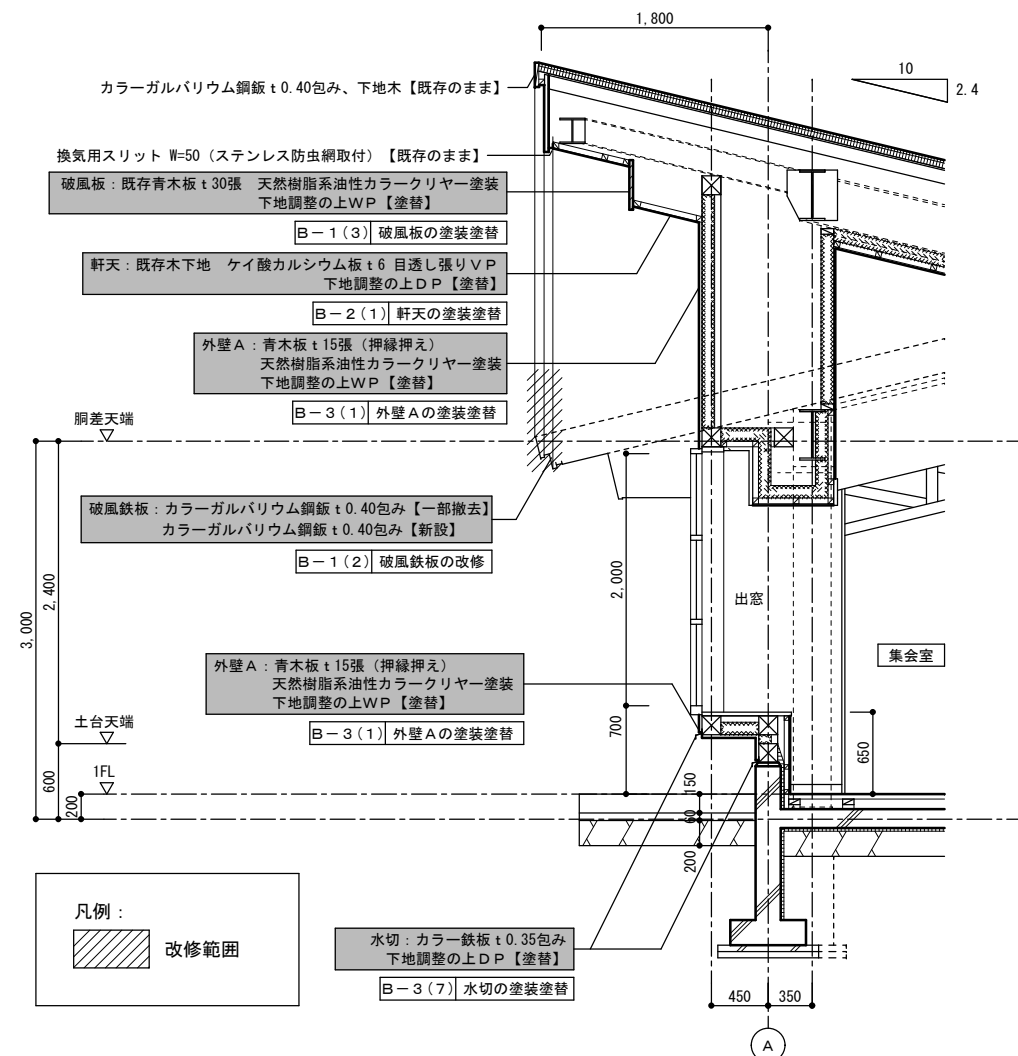
凡例:

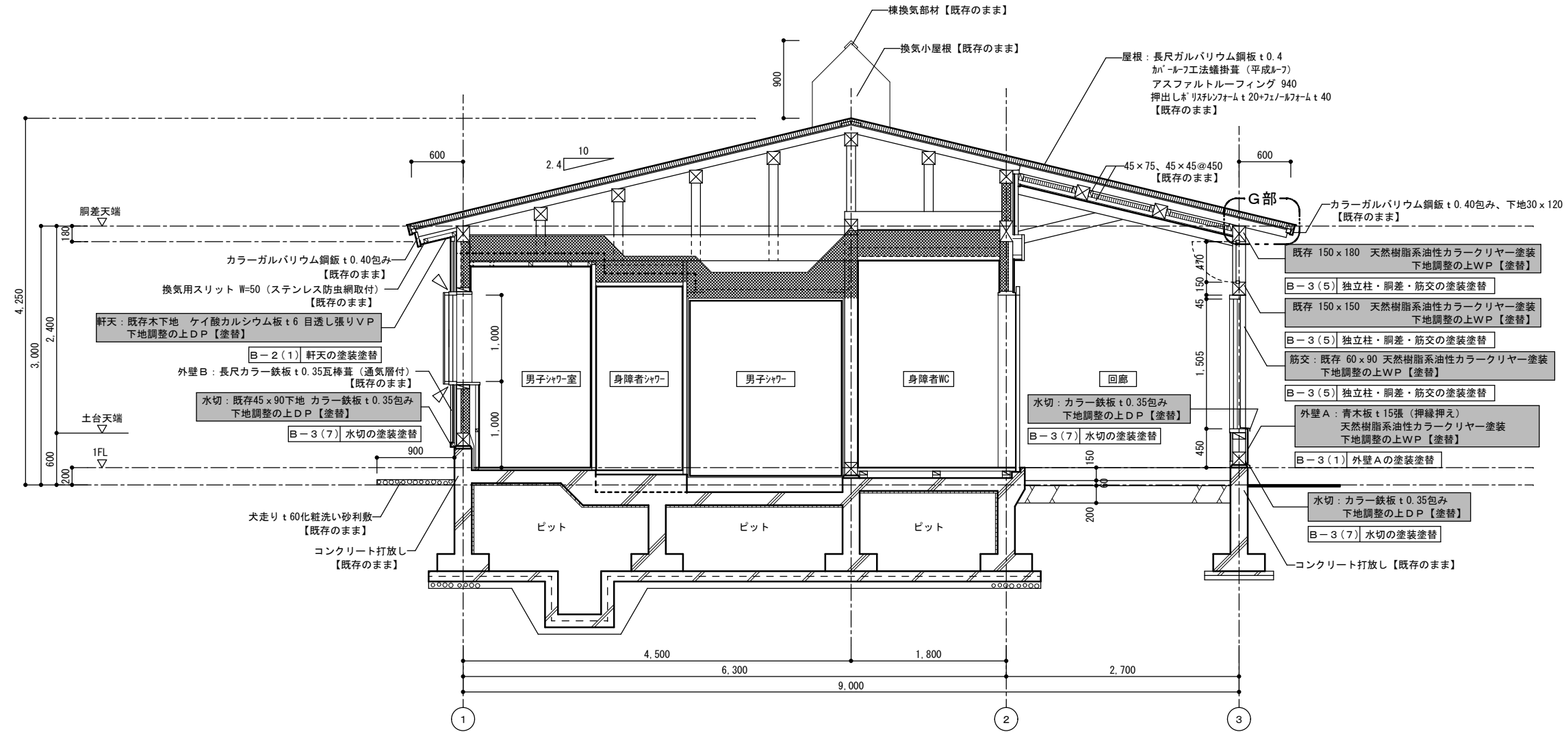
- 改修範囲
- 撤去・新設範囲
- ※テラス部: 欠損胴差(青木 120x120 L=1,350) 2本  
胴差(青木 120x120 L=1,350) 2本  
素地ごしらえの上WP塗装【追加新設】  
B-3(5) 胴差の新設



凡例

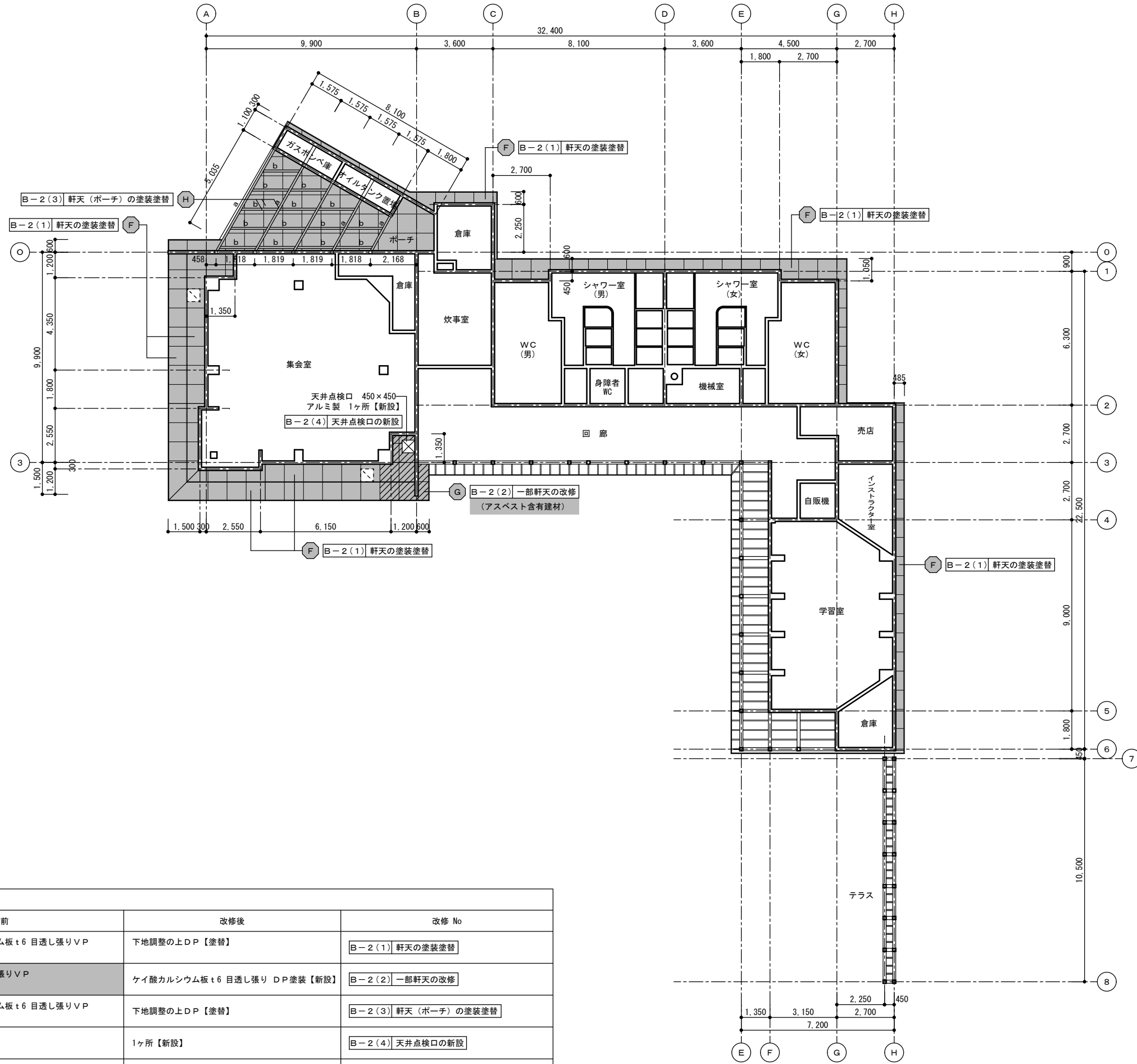
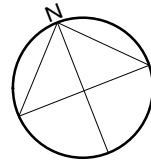
✓	シーリング MS-2 15×15【撤去・新設】
□	B-5(1) 外部建具廻りシーリングの改修





凡例

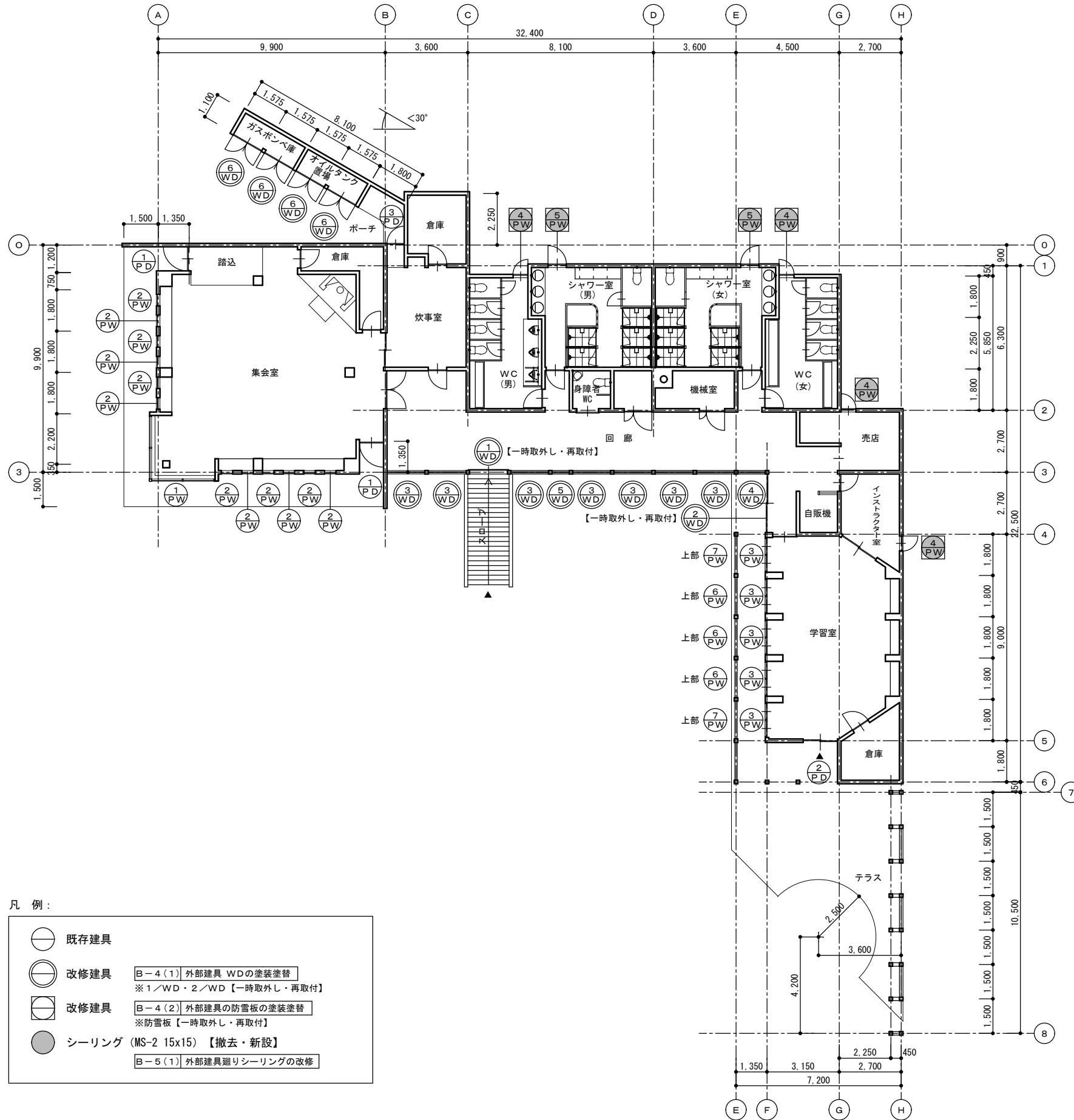
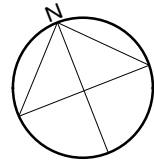
シーリング MS-2 15×15 【撤去・新設】
B-5(1) 外部建具廻りシーリングの改修



凡例：  
 改修範囲

凡例：  
 鉄骨軸現し  
 a : 2 [-350 x 50 x 4.5]  
 b : 2 [-250 x 50 x 3.2]

外部仕上表				
記号	改修箇所	改修前	改修後	改修 No
F	軒天	既存 木下地 ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張りVP	下地調整の上DP【塗替】	B-2(1) 軒天の塗装塗替
G	一部軒天	ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張りVP (アスベスト含有建材)【撤去】	ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張り DP塗装【新設】	B-2(2) 一部軒天の改修
H	軒天(ポーチ)	既存 木下地 ケイ酸カルシウム板 t6 目透し張りVP 鉄骨軸現し	下地調整の上DP【塗替】	B-2(3) 軒天(ポーチ)の塗装塗替
☒	アルミ製天井点検口 450 x 450		1ヶ所【新設】	B-2(4) 天井点検口の新設
⊞	ステンレス板	2ヶ所【既存のまま】		

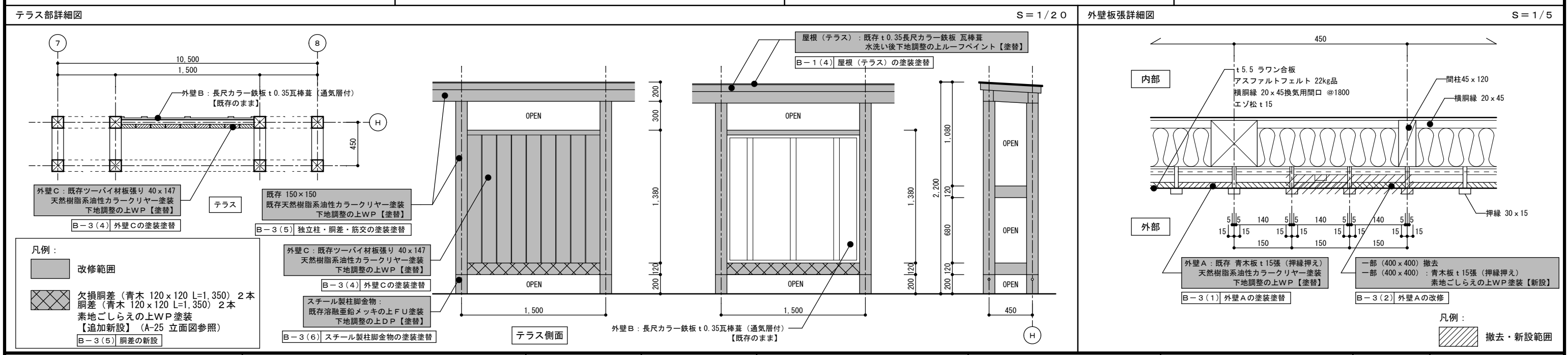
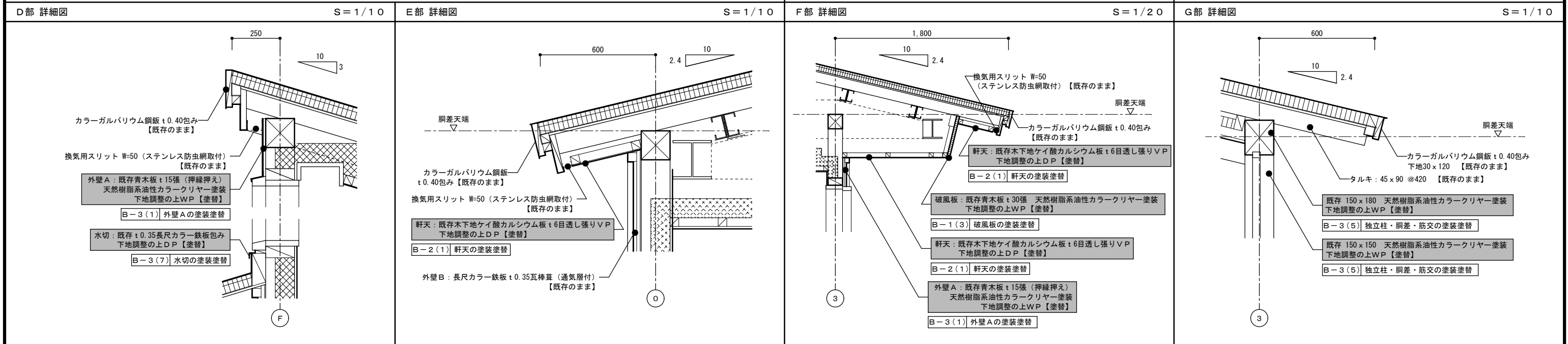
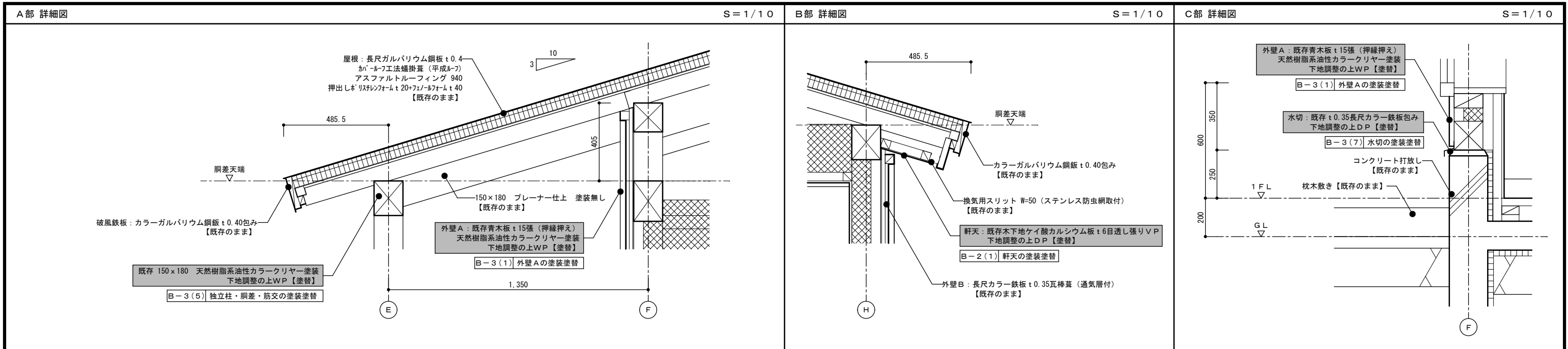


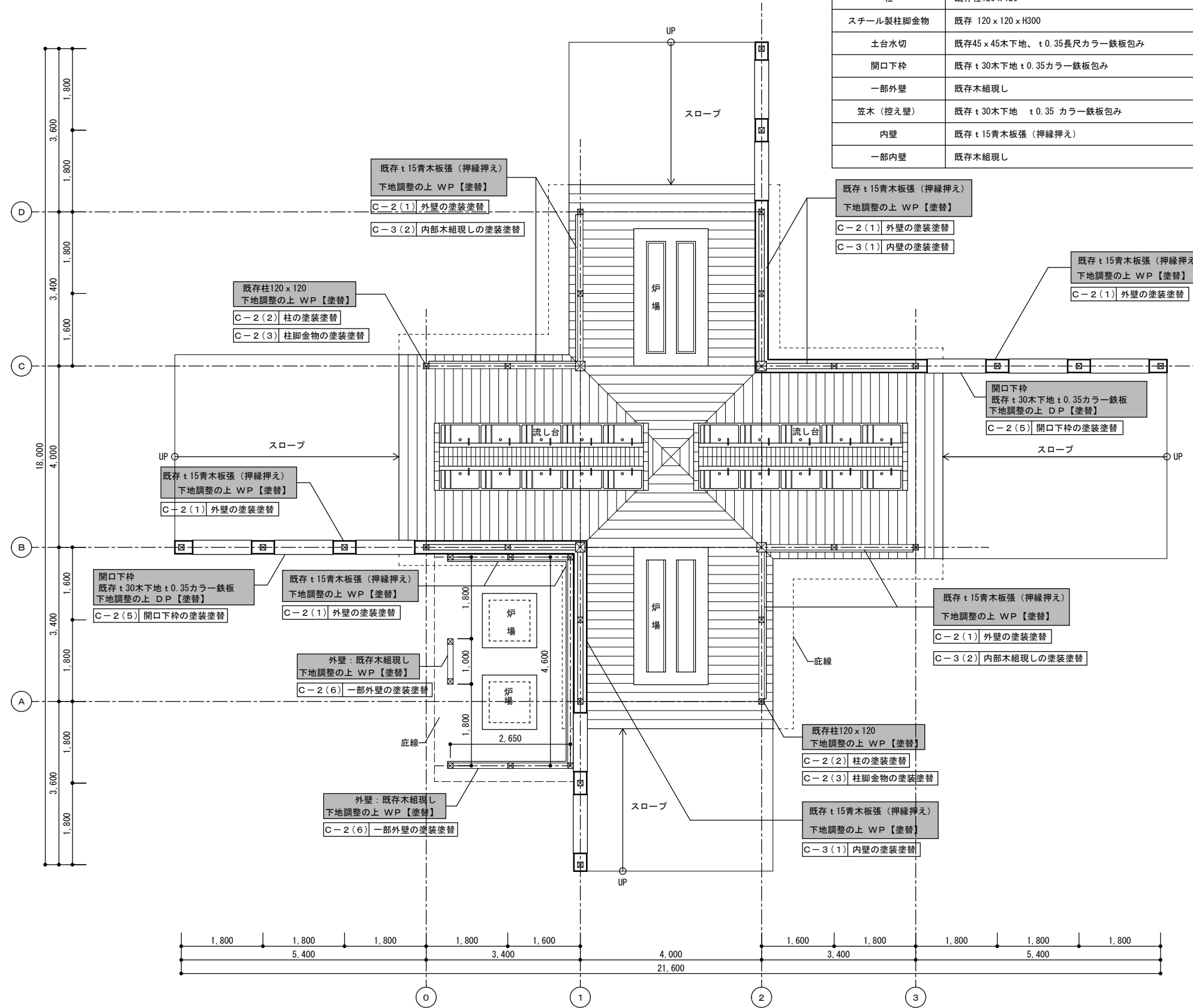
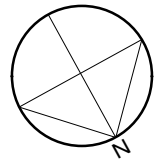
凡例:

	既存建具	
	改修建具	B-4(1) 外部建具 WDの塗装塗替 ※1/WD・2/WD【一時取外し・再取付】
	改修建具	B-4(2) 外部建具の防雪板の塗装塗替 ※防雪板【一時取外し・再取付】
	シーリング (MS-2 15x15)	【撤去・新設】 B-5(1) 外部建具廻りシーリングの改修



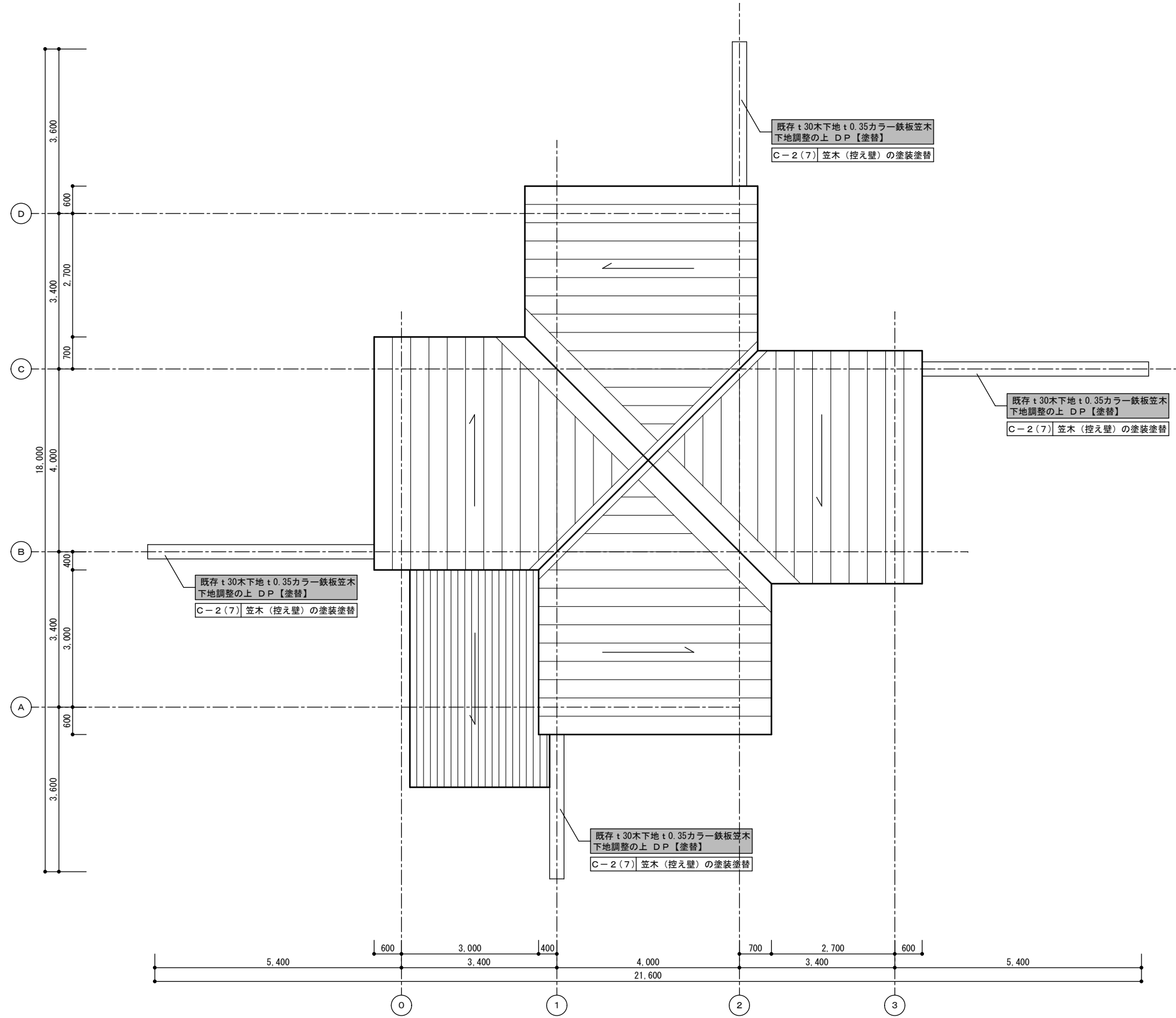
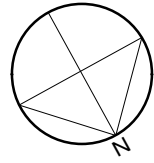
名称・数量	① PW 嵌め殺し突出窓 (段窓) 1ヶ処	② PW 片開き窓 12ヶ処	③ PW 嵌め殺し突出窓 (段窓) 6ヶ処	④ PW 片開き窓・防雪板 (一時取外し・再取付) 4ヶ処	⑤ PW 片開き窓・防雪板 (一時取外し・再取付) 2ヶ処
室名	集会室	集会室	学習室	インストラクター室・売店・WC(女)・WC(男)	シャワー室(女)・シャワー室(男)
姿図					
仕上・見込	材種: 樹脂サッシ (白) 見込: 105	材種: 樹脂サッシ (白) 見込: 105	材種: 樹脂サッシ (白) 見込: 105	材種: 樹脂サッシ (白) 見込: 105	材種: 樹脂サッシ (白) 見込: 105
ガラス	透明ガラス t3+A12+透明ガラス t3	透明ガラス t3+A12+透明ガラス t3	透明ガラス t3+A12+透明ガラス t3	透明ガラス t3+A12+透明ガラス t3	型板ガラス t4+A12+透明ガラス t3
金物	付属金物一式、丁番、突出棒、排煙オペレーター (ハンドル式)	付属金物一式、グレモンハンドル、フリクションステー	付属金物一式、グレモンハンドル、突出棒	付属金物一式、グレモンハンドル、フリクションステー	付属金物一式、グレモンハンドル、フリクションステー
備考	ロール網戸取付 (4ヶ所)	ロール網戸取付	ロール網戸取付 (2ヶ所)	ロール網戸取付	ロール網戸取付
名称・数量	⑥ PW 嵌め殺し窓 3ヶ処	⑦ PW 排煙突出窓 2ヶ処	⑧ PW 片開きドア 2ヶ処	⑨ PW 引違い戸 1ヶ処	⑩ PW 片開きドア 1ヶ処
室名	学習室上部	学習室上部	集会室	学習室	炊事室
姿図					
仕上・見込	材種: 樹脂サッシ (白) 見込: 105	材種: 樹脂サッシ (白) 見込: 105	材種: 樹脂サッシ (白) 見込: 105	材種: 樹脂サッシ (白) 見込: 135	材種: 樹脂サッシ (白) 見込: 105
ガラス	透明ガラス t3+A12+透明ガラス t3	透明ガラス t3+A12+透明ガラス t3	透明ガラス t3+A12+透明ガラス t3	透明ガラス t3+A12+透明ガラス t3	上部: 型ガラス t4+A12+透明ガラス t3 下部: 断熱パネル
金物	付属金物一式	付属金物一式、グレモンハンドル、突出棒、排煙オペレーター (ハンドル式)	付属金物一式、本締りシリンダー錠、グレモンハンドル	付属金物一式、クレセント錠、引手	付属金物一式、本締りシリンダー錠、グレモンハンドル
備考		固定網戸取付 (2ヶ所)			
名称・数量	⑪ WD 引違い戸 1ヶ処	⑫ WD けんどん吊り戸 7ヶ処	⑬ WD けんどん吊り戸 1ヶ処	⑭ WD 固定格子戸 1ヶ処	⑮ WD 両開き板戸 4ヶ処
室名	回廊	回廊	回廊	回廊	オイルタンク置場・ガスボンベ庫
姿図					
仕上・見込	材種: 青木、仕上: 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 見込: 30	材種: 青木、仕上: 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 見込: 30	材種: 青木、仕上: 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 見込: 30	材種: 青木、仕上: 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 見込: 30	材種: ツーバイ40x90 目地 15 仕上: 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装
ガラス		ガラス入格子窓: 透明ガラス t3	ガラス入格子窓: 透明ガラス t3	透明ガラス t3	
金物	引手、木製引き戸用レール、戸当り	引手、ガラス入格子窓: ステンレス丁番、フック、吊りボルト、防雪ネット	引手、ガラス入格子窓: ステンレス丁番、フック、吊りボルト、防雪ネット	ガラス入格子窓: 防雪ネット	ステンレス丁番、引手、内掛け
備考	2/W D 【一時取外し・再取付】				
凡例	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既存建具</li> <li>⊖ 改修建具 B-4(1) 外部建具 WDの塗装塗替 ※1/W D・2/W D 【一時取外し・再取付】</li> <li>⊕ 改修建具 B-4(2) 外部建具の防雪板の塗装塗替 ※防雪板 (一時取外し・再取付)</li> <li>● シーリング (MS-2 15x15) 【撤去・新設】 B-5(1) 外部建具廻りシーリングの改修</li> </ul>				

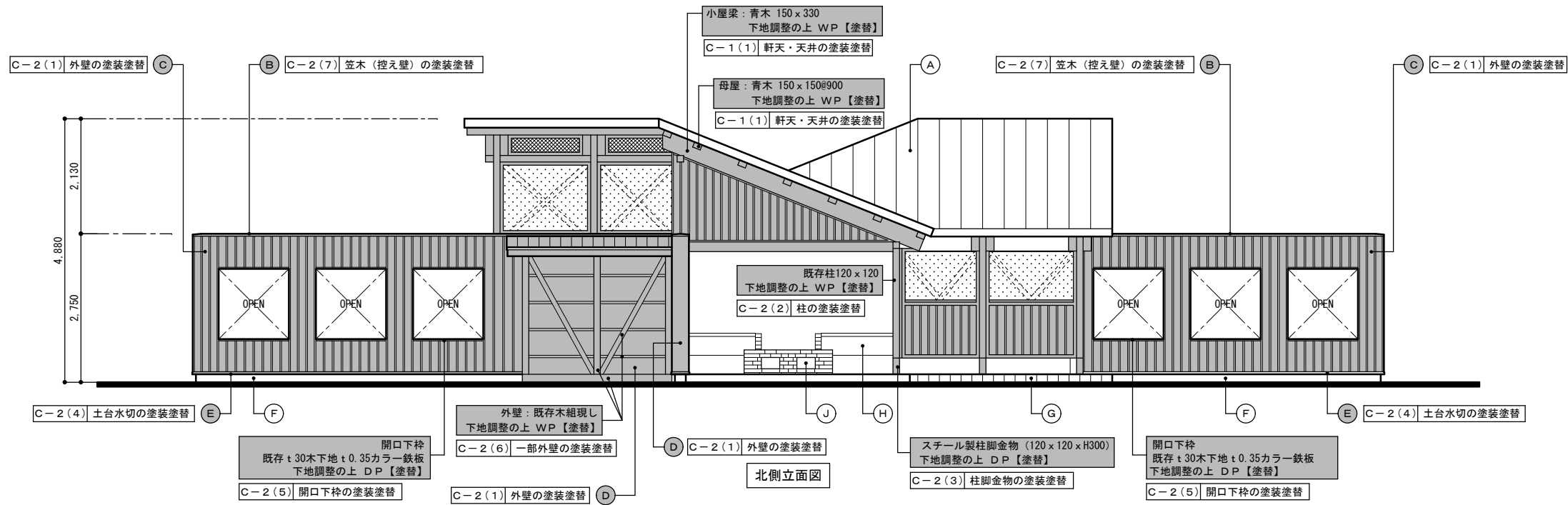




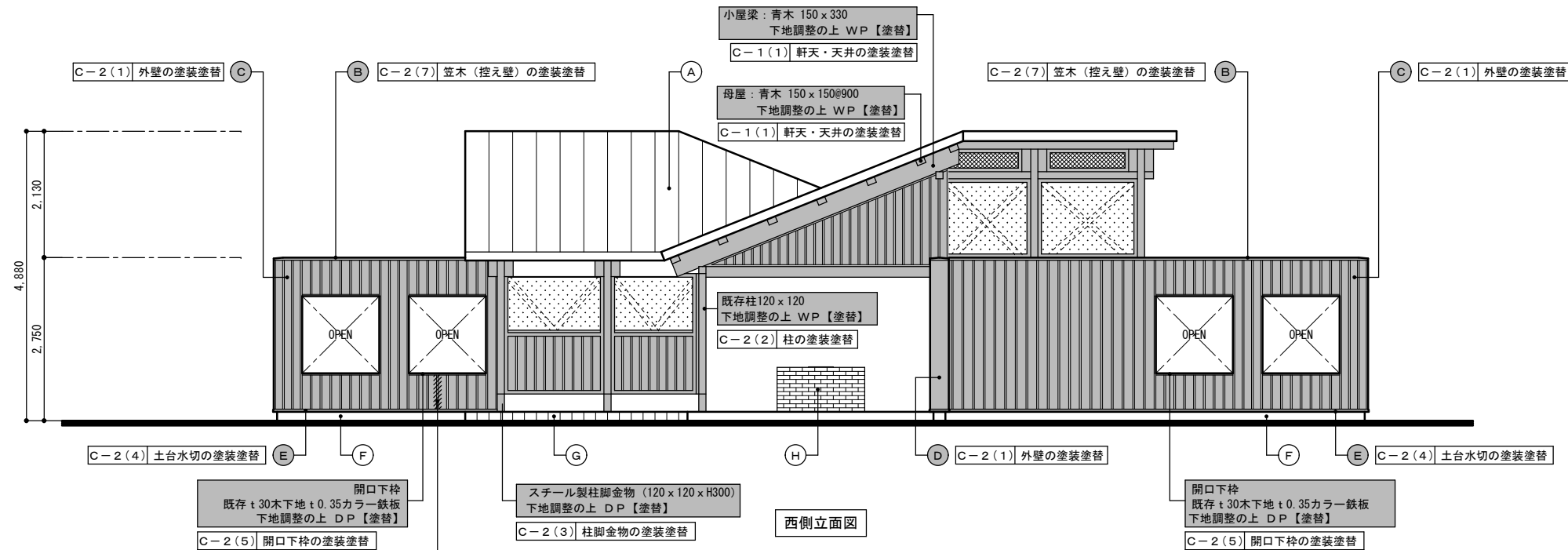
改修内容

改修箇所	改修前	改修後	改修 No
軒天・天井	既存木軸現し (小屋梁・トラス梁、屋根ブレース、母屋、タルキ)	下地調整の上WP【塗替】	C-1(1) 軒天・天井の塗装塗替
方杖	120 x 120 1ヶ所 破損【撤去】(カスガイ9φ 2ヶ所)	120 x 120 1ヶ所 素地ごしらえの上WP塗装【新設】 締付ボルト 2ヶ所【一時取外し・再利用】	C-1(2) 方杖の改修
外壁	既存 t15青木板張 (押縁押え) ※押縁破損1本 (L=600)・脱落4本 (L=600)【撤去】	下地調整の上WP【塗替】 ※押縁 5本 (L=600) 素地ごしらえの上WP塗装【新設】	C-2(1) 外壁の塗装塗替 C-2(1) 押縁の改修
柱	既存柱120 x 120	下地調整の上WP【塗替】	C-2(2) 柱の塗装塗替
スチール製柱脚金物	既存 120 x 120 x H300	下地調整の上 DP【塗替】	C-2(3) 柱脚金物の塗装塗替
土台水切	既存45 x 45木下地、t 0.35長尺カラー鉄板包み	下地調整の上 DP【塗替】	C-2(4) 土台水切の塗装塗替
開口下枠	既存 t 30木下地 t 0.35カラー鉄板包み	下地調整の上 DP【塗替】	C-2(5) 開口下枠の塗装塗替
一部外壁	既存木組現し	下地調整の上WP【塗替】	C-2(6) 一部外壁の塗装塗替
笠木 (控え壁)	既存 t 30木下地 t 0.35 カラー鉄板包み	下地調整の上 DP【塗替】	C-2(7) 笠木 (控え壁) の塗装塗替
内壁	既存 t 15青木板張 (押縁押え)	下地調整の上WP【塗替】	C-3(1) 内壁の塗装塗替
一部内壁	既存木組現し	下地調整の上WP【塗替】	C-3(2) 一部内壁の塗装塗替





北側立面図



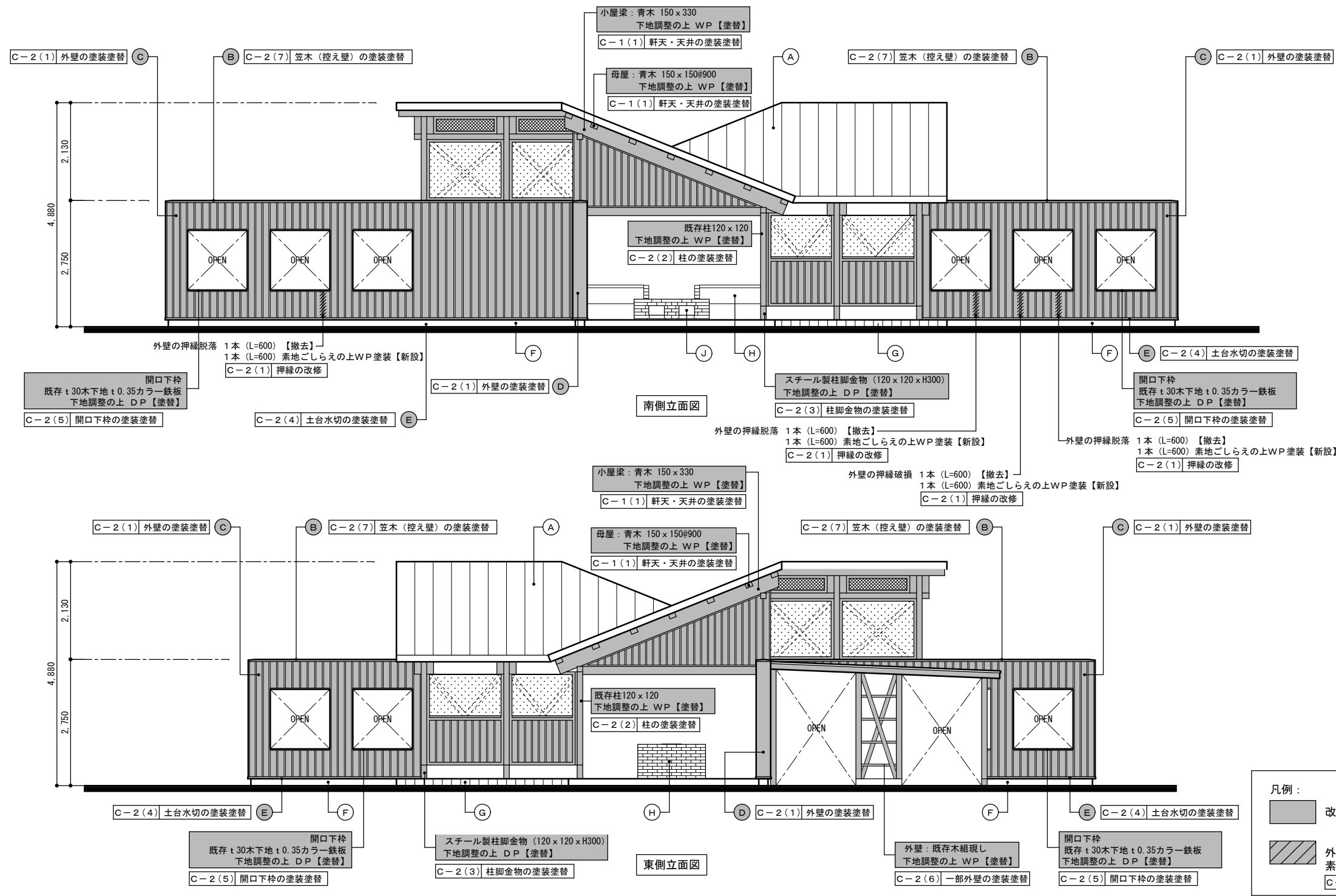
西側立面図

凡例:

- 改修範囲
- 外壁の押縁破損・脱落部を撤去・新設し、素地ごしらえの上WP塗装
- C-2(1) 押縁の改修

外壁の押縁脱落 1本(L=600)【撤去】  
 1本(L=600)素地ごしらえの上WP塗装【新設】  
 C-2(1) 押縁の改修

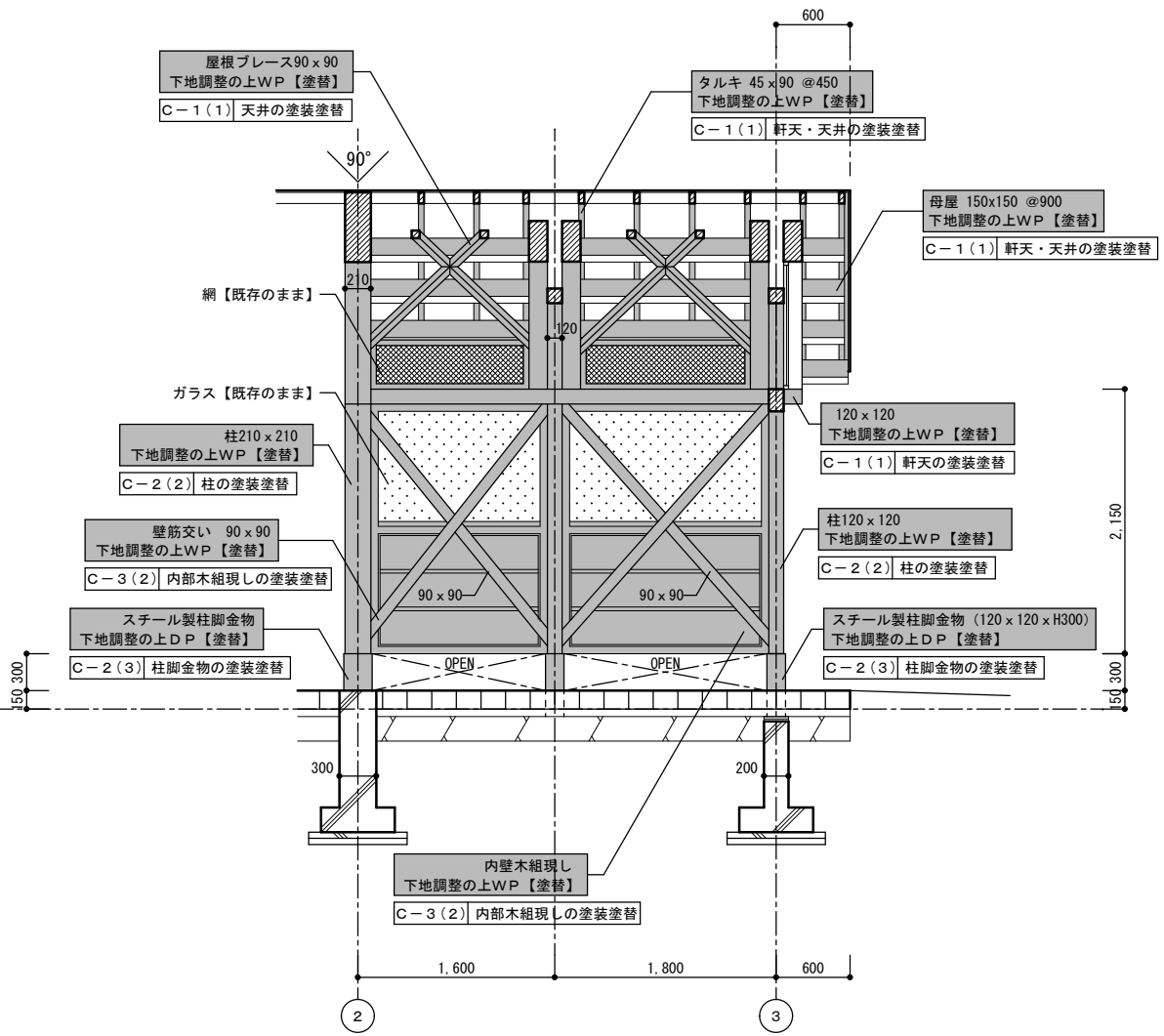
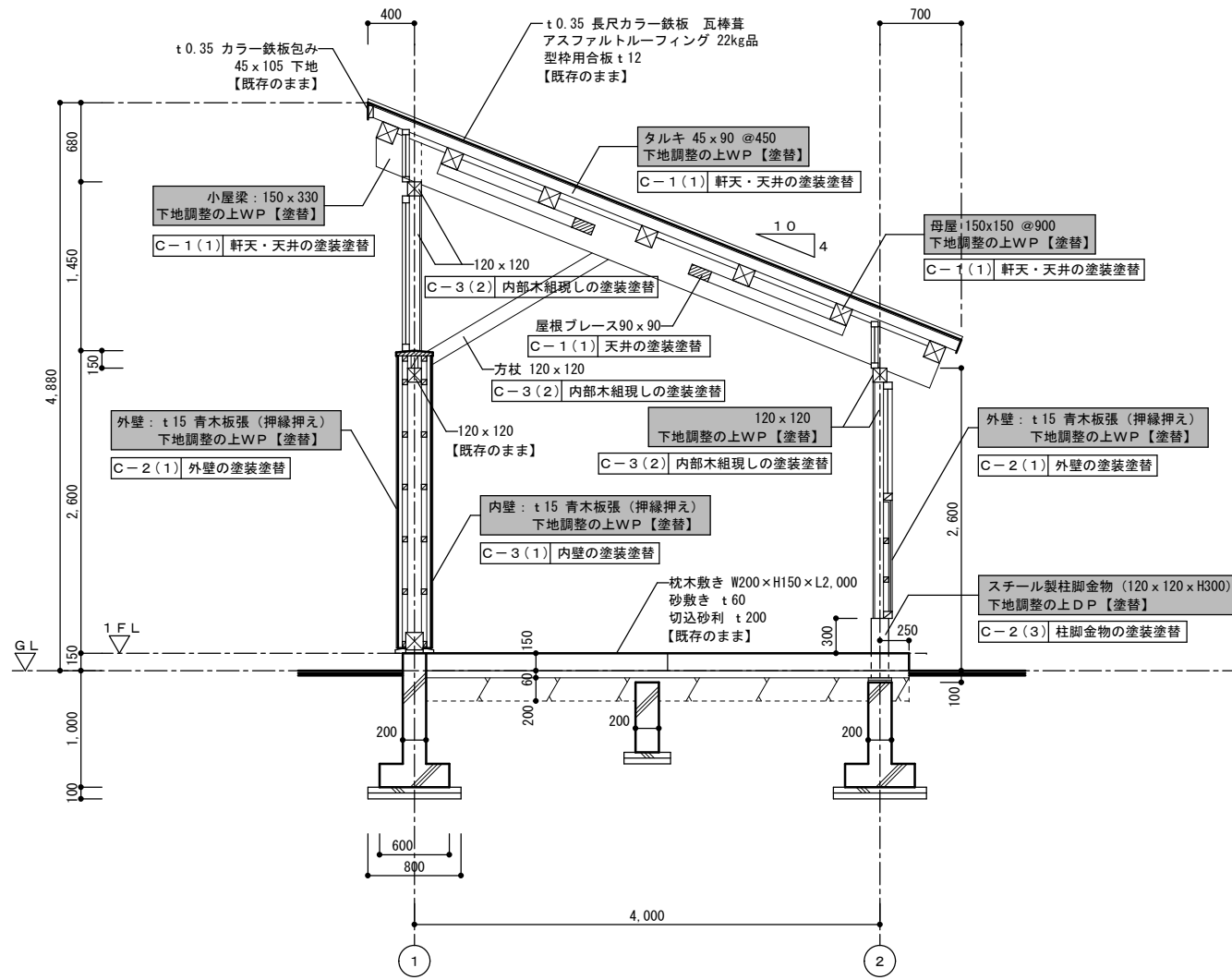
記号	改修前(既存)	改修後(新設)	改修 No
(A)	t0.35 長尺カラー鉄板 瓦葺葺	既存のまま	
(B)	笠木(控え壁): t30木下地 t0.35 カラー鉄板包み	下地調整の上DP【塗替】	C-2(7) 笠木(控え壁)の塗装塗替
(C)	外壁 t15青木板張(押縁押え)	下地調整の上WP【塗替】	C-2(1) 外壁の塗装塗替
(D)	外壁 t15青木板張	下地調整の上WP【塗替】	C-2(1) 外壁の塗装塗替
(E)	土台水切: 45x45木下地、t0.35カラー鉄板包み	下地調整の上DP【塗替】	C-2(4) 土台水切の塗装塗替
(F)	コンクリート打放し	既存のまま	
(G)	枕木敷き	既存のまま	
(H)	ステンレス流し台	既存のまま	
(J)	炉場	既存のまま	
(点線)	開口ガラス	既存のまま	
(格子)	網	既存のまま	



凡例:

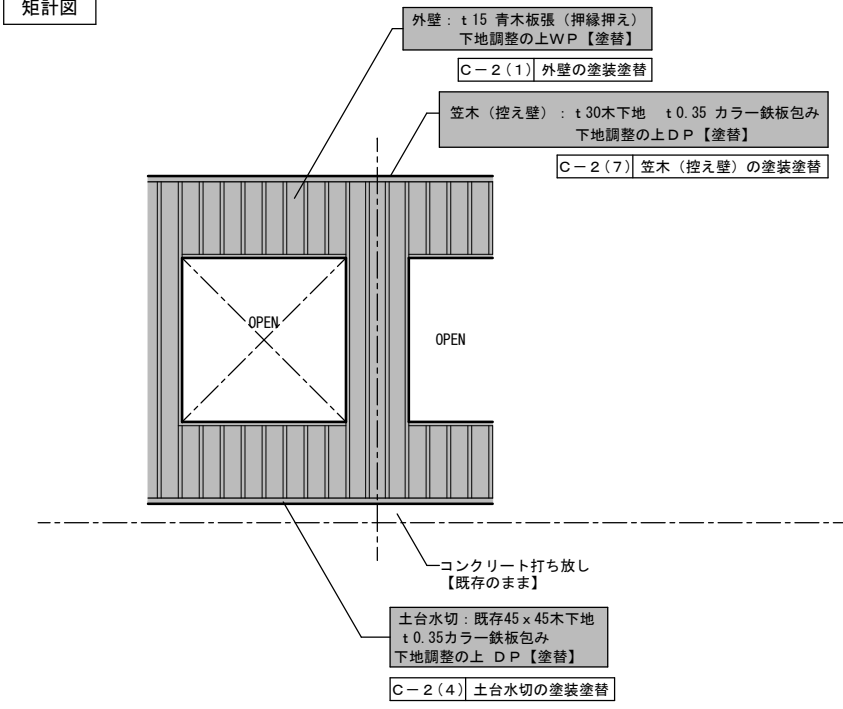
- 改修範囲
- 外壁の押縁破損・脱落部を撤去・新設し、素地ごしらえの上WP塗装
- C-2(1) 押縁の改修

記号	改修前(既存)	改修後(新設)	改修 No
(A)	t0.35 長尺カラー鉄板 互棒葺	既存のまま	
(B)	笠木(控え壁): t30木下地 t0.35 カラー鉄板包み	下地調整の上DP【塗替】	C-2(7) 笠木(控え壁)の塗装塗替
(C)	外壁 t15 青木板張(押縁押え)	下地調整の上WP【塗替】	C-2(1) 外壁の塗装塗替
(D)	外壁 t15 青木板張	下地調整の上WP【塗替】	C-2(1) 外壁の塗装塗替
(E)	土台水切: 45x45木下地、t0.35カラー鉄板包み	下地調整の上DP【塗替】	C-2(4) 土台水切の塗装塗替
(F)	コンクリート打放し	既存のまま	
(G)	枕木敷き	既存のまま	
(H)	ステンレス流し台	既存のまま	
(J)	炉場	既存のまま	
開口ガラス	開口ガラス	既存のまま	
網	網	既存のまま	



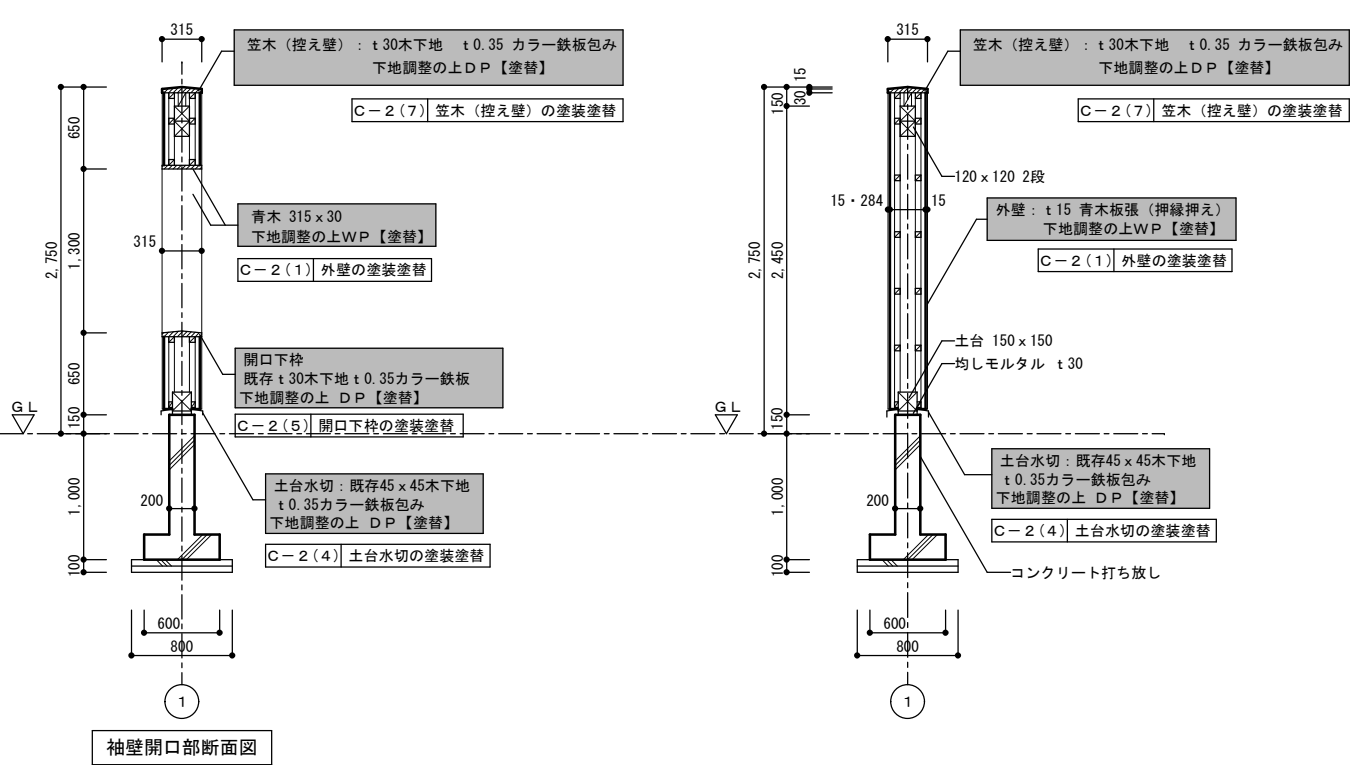
凡例:  
 改修範囲

矩計図

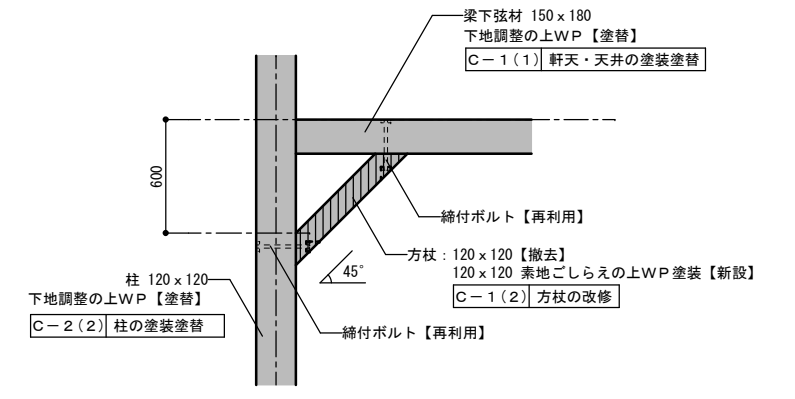
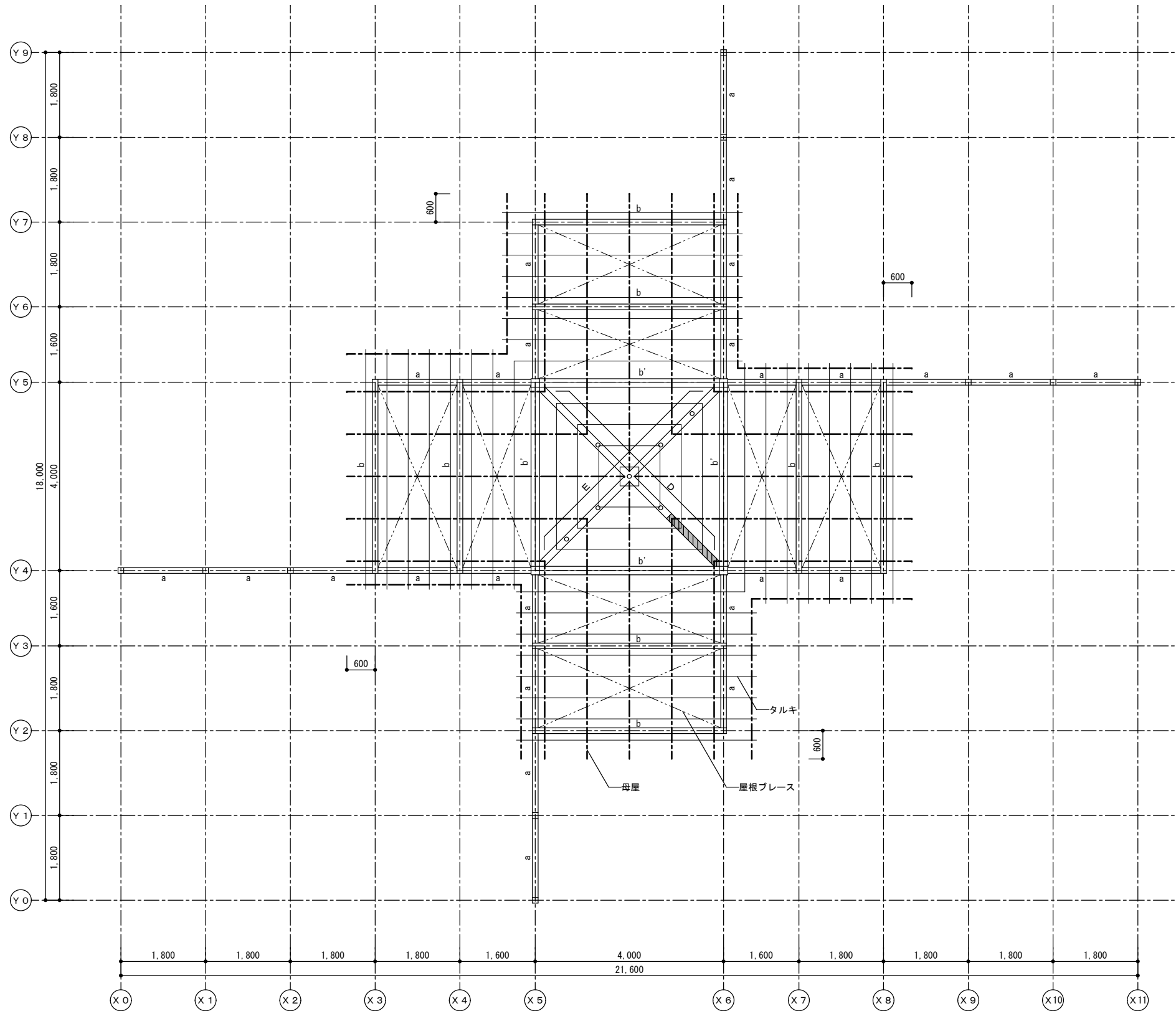


矩計図

(内部 側面)



袖壁開口部断面図



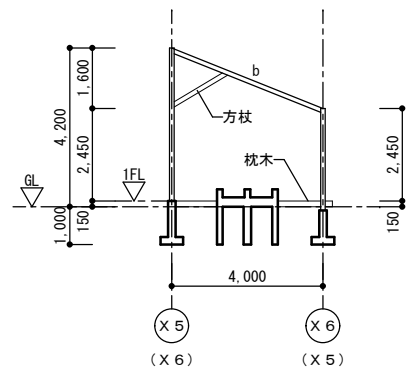
方杖 (1ヶ所) 【破損部・改修部】 断面図

- 凡例
- 軒天・天井・全て既存木組現し (小屋梁・トラス梁、屋根ブレース、母屋、タルキ)  
下地調整の上WP【塗替】  
C-1(1) 軒天・天井の塗装塗替
  - 方杖 120x120 1ヶ所 撤去・新設し、  
素地ごしらえの上WP塗装  
締付ボルト 2ヶ所【再利用】  
C-1(2) 方杖の改修
  - C-2(2) 柱の塗装塗替

符号	部材	備考	
C 1	120 x 120		
C 2	210 x 210		
a	120 x 120		
b	2-150 x 330		
b'	180 x 330		
D・E	上・下弦材	150 x 180	
	小屋梁・斜材	90 x 90	トラス梁 (トラス軸組図参照)
	方杖	120 x 120	
母屋	150 x 150 @900		
タルキ	40 x 90 @450		
方杖	120 x 120		
筋かい	30 x 90	片掛け、たすき掛け共	
土台	150 x 150	防錆処理土台	

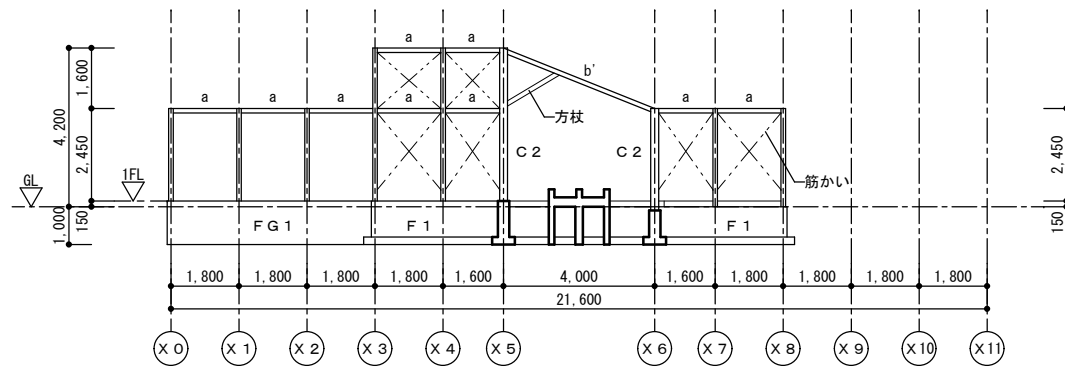
- ※特記なき限り下記による
- 母屋: 150 x 150 @900
  - タルキ: 45 x 90 @450
  - 屋根ブレース: 90 x 90 たすき掛け
  - 小屋梁: 90 x 90





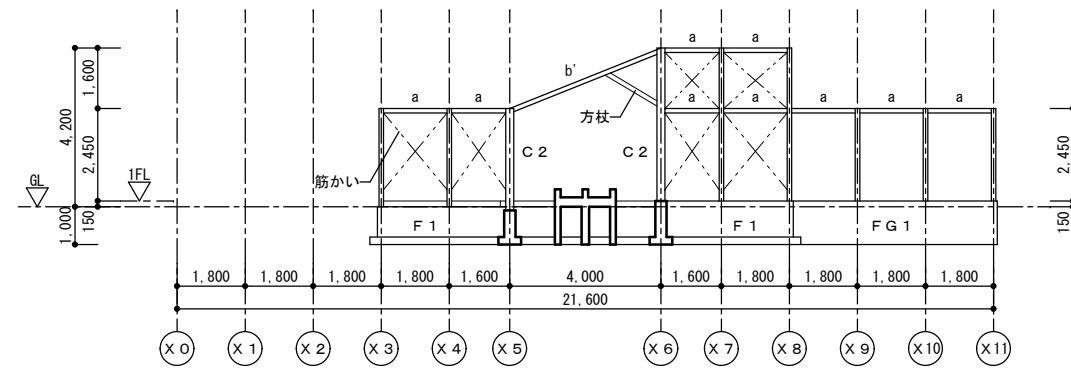
(Y2)(Y3)(Y6),(Y7) 通り軸組図

- ※特記なき限り下記による
- 柱符号：C 1
  - ( )内は Y 6, Y 7 通りを示す。



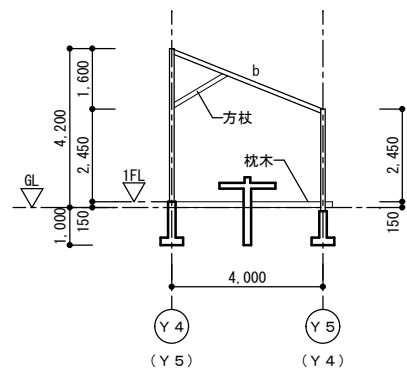
(Y4) 通り軸組図

- ※特記なき限り下記による
- 柱符号：C 1
  - 筋かい印は筋かいを示す。



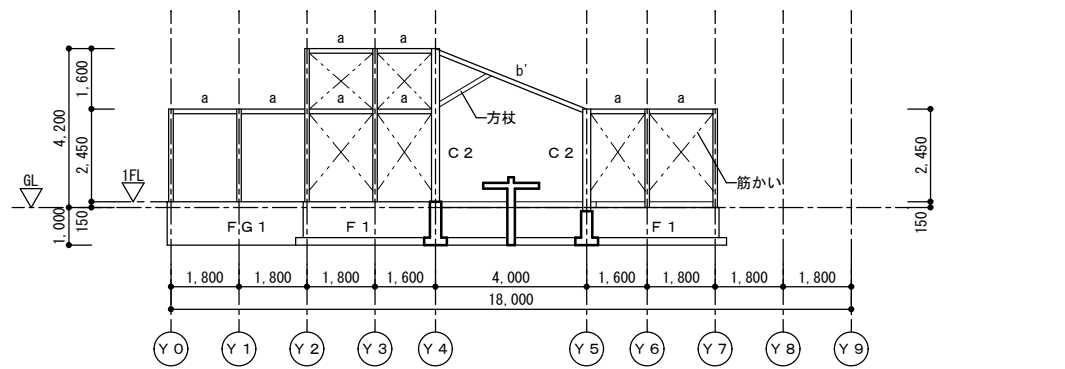
(Y5) 通り軸組図

- ※特記なき限り下記による
- 柱符号：C 1
  - 筋かい印は筋かいを示す。



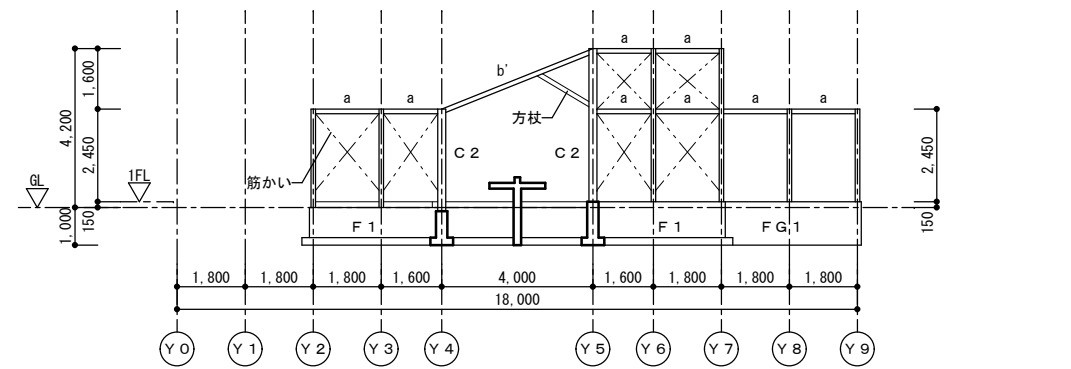
(X3)(X4)(X7),(X8) 通り軸組図

- ※特記なき限り下記による
- 柱符号：C 1
  - ( )内は X 7, X 8 通りを示す。



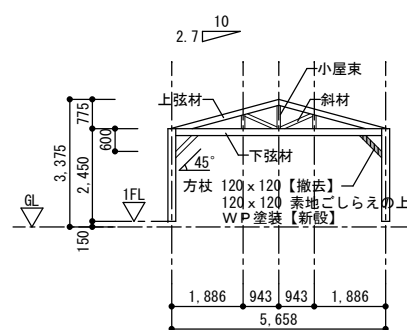
(X5) 通り軸組図

- ※特記なき限り下記による
- 柱符号：C 1
  - 筋かい印は筋かいを示す。

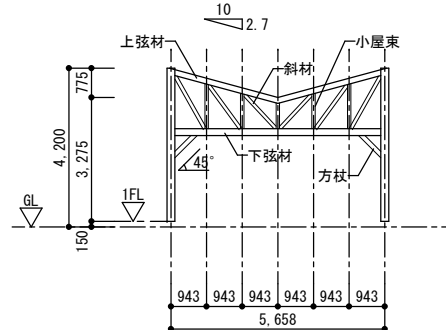


(X6) 通り軸組図

- ※特記なき限り下記による
- 柱符号：C 1
  - 筋かい印は筋かいを示す。



トラスD 軸組図

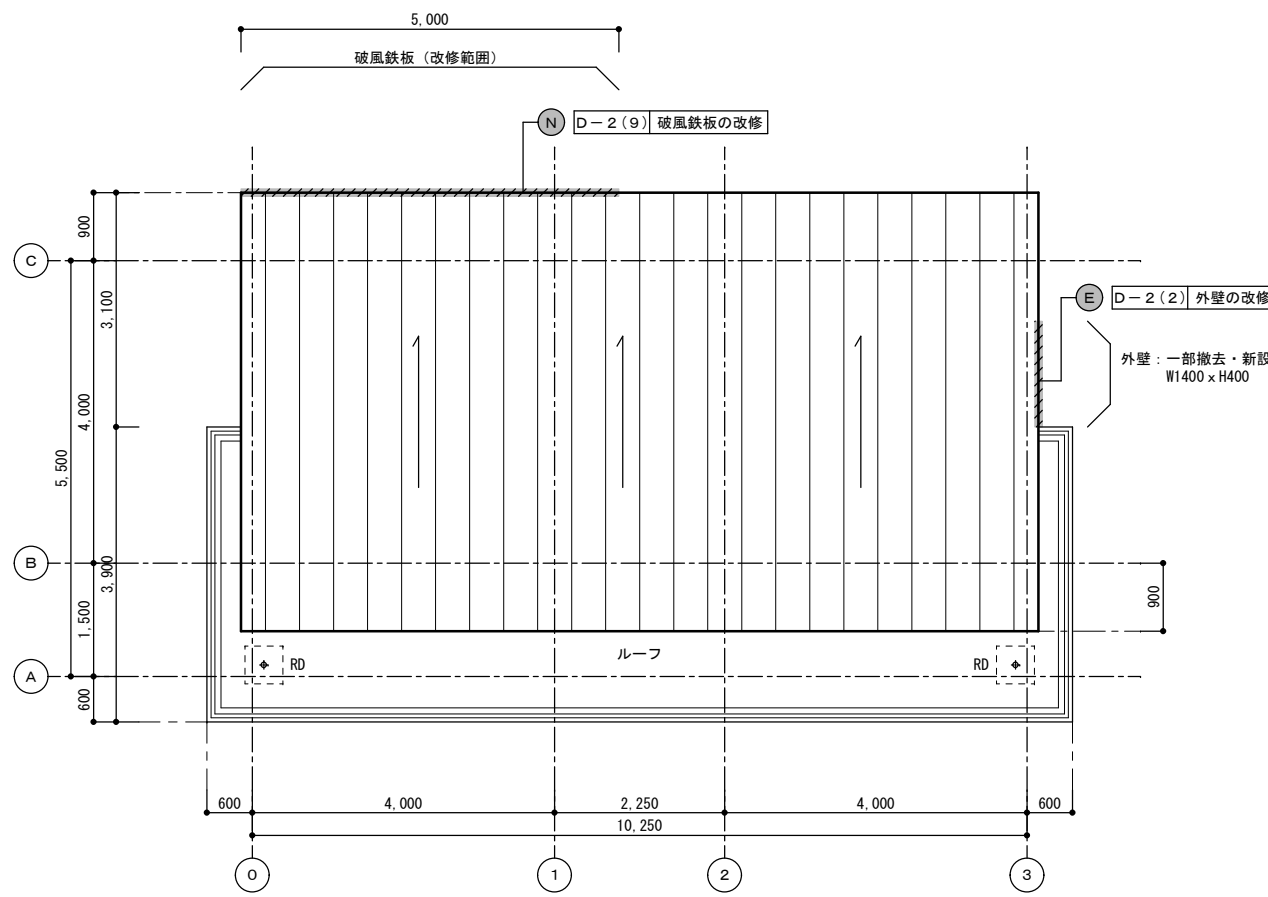


トラスE 軸組図

符号	部材	備考	
C 1	120 x 120		
C 2	210 x 210		
a	120 x 120		
b	2-150 x 330		
b'	180 x 330		
D・E	上・下弦材	150 x 180	
	小屋束・斜材	90 x 90	トラス梁 (トラス軸組図参照)
	方杖	120 x 120	
母屋	150 x 150 @900		
タルキ	40 x 90 @450		
方杖	120 x 120		
筋かい	30 x 90	片掛け、たすき掛け共	
土台	150 x 150	防腐処理土台	

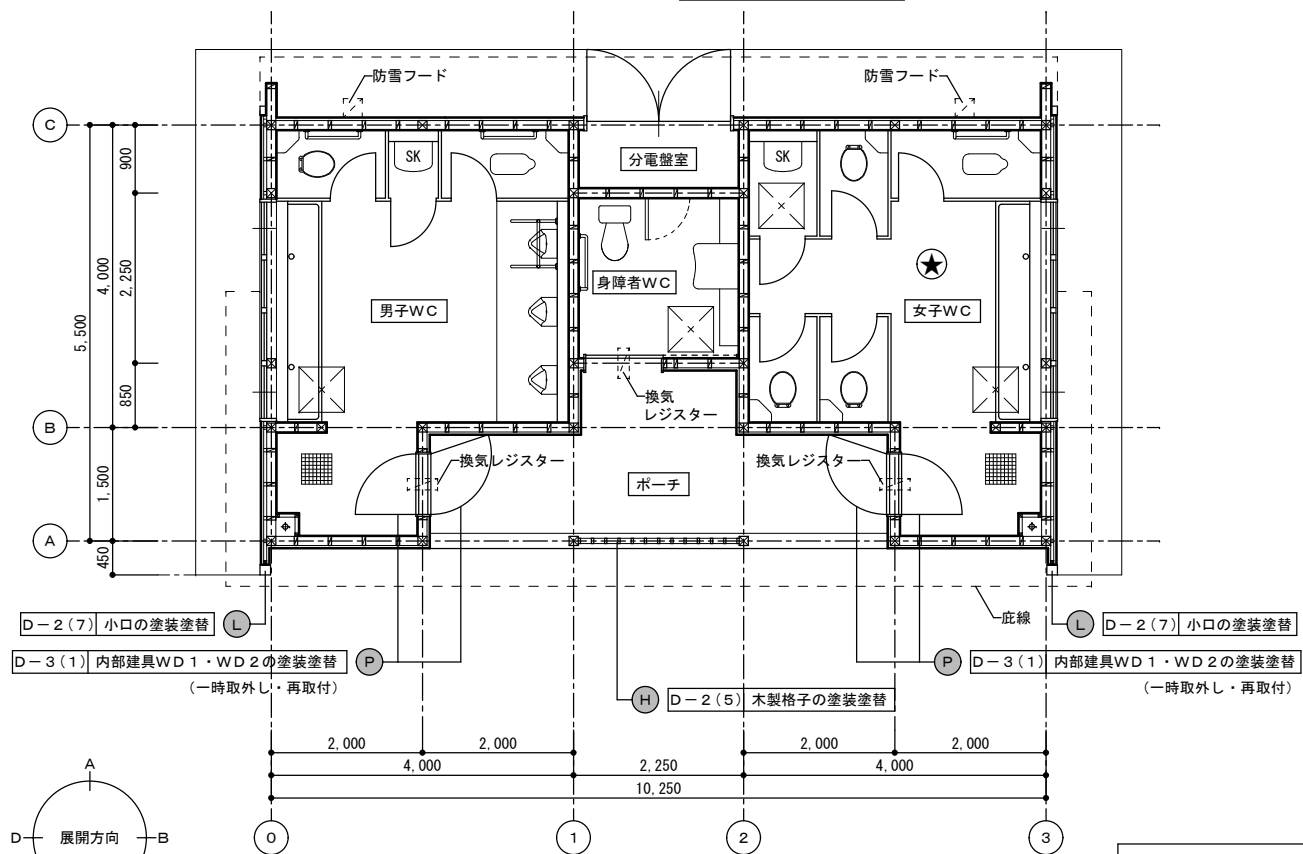
凡例

- 軒天・天井：全て既存木組現し (小屋束・トラス梁、屋根プレース、母屋、タルキ) 下地調整の上WP【塗替】  
C-1(1) 軒天・天井の塗装塗替
- 方杖 120 x 120 1ヶ所 撤去・新設し、素地ごしらえの上WP塗装 締付ボルト 2ヶ所【再利用】  
C-1(2) 方杖の改修
- C-2(2) 柱の塗装塗替
- C-3(2) 内部木組現しの塗装塗替



屋根伏図

凡例：  
 : 改修範囲

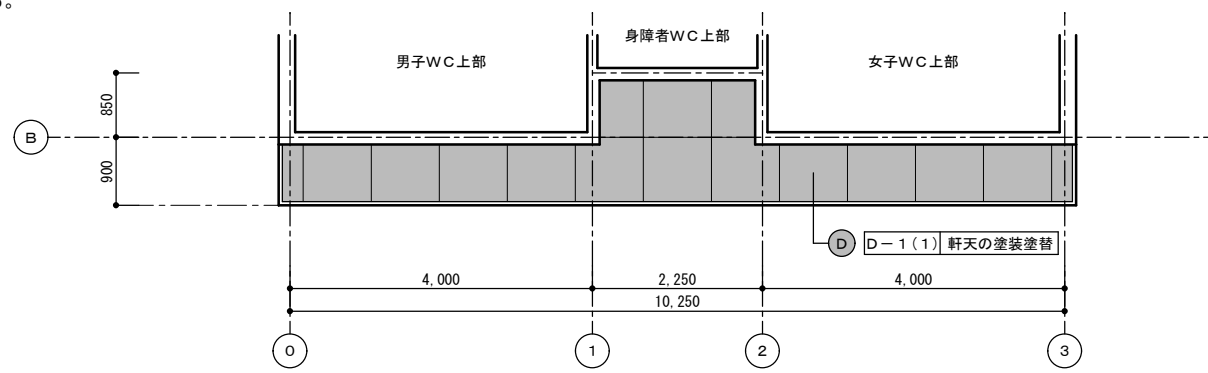


平面図

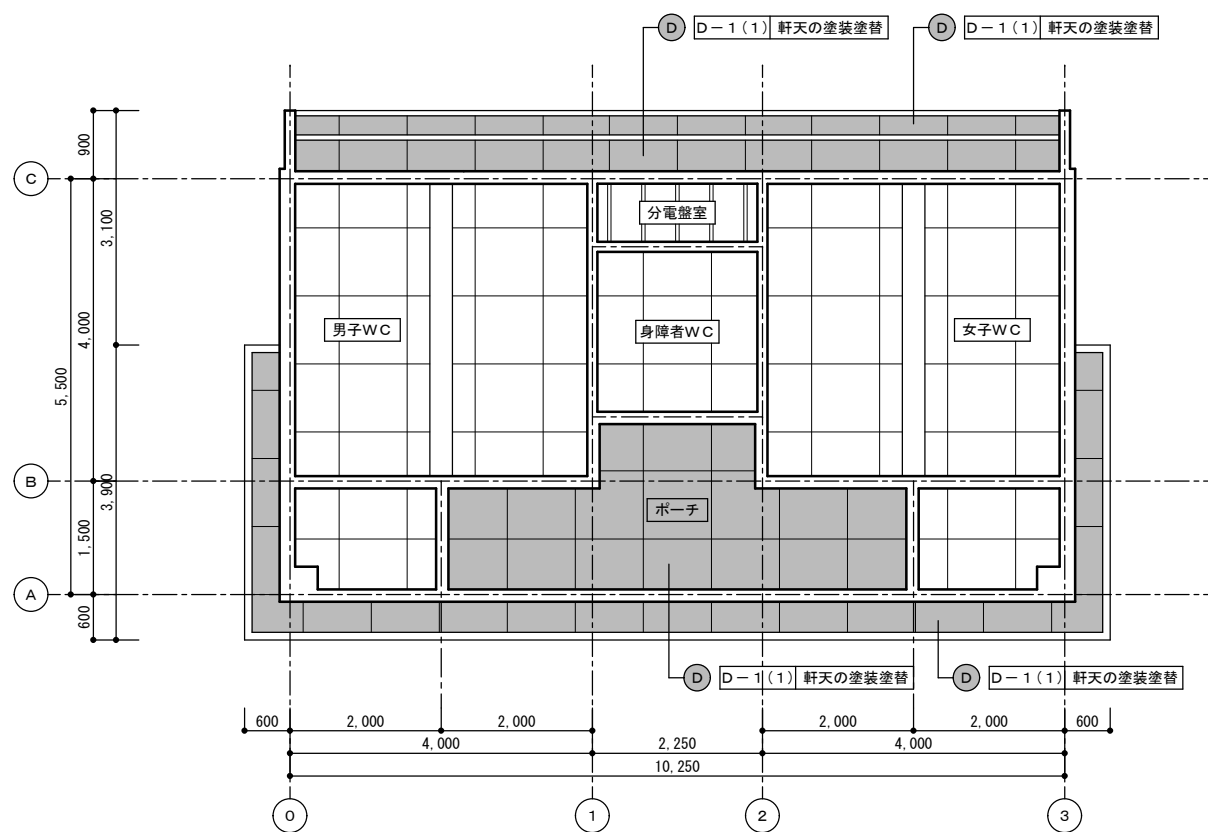
凡例  
 ★ : VOC濃度測定  
 (改修前: 1箇所・改修後: 1箇所)

外部仕上表				
記号	改修箇所	改修前	改修後	改修 No
D	軒天	既存 t6ケイ酸カルシウム板 目透し張りVP	下地調整の上DP【塗替】	D-1(1) 軒天の塗装塗替
E	外壁	既存 t15青木板張(押縁押え) 天然樹脂系油性カラーリヤー塗装	下地調整の上WP【塗替】 一部(W1400xH400): t15青木板張(押縁押え)【撤去】 t15青木板張(押縁押え) 素地ごしらえの上 WP塗装【新設】	D-2(1) 外壁の塗装塗替 D-2(2) 外壁の改修
F	マグサ水切	既存 t0.35 カラー鉄板(木包み)	下地調整の上DP【塗替】	D-2(3) マグサ水切の塗装塗替
G	スチール製柱脚金物	既存 溶融亜鉛メッキの上FU塗装	下地調整の上DP【塗替】	D-2(4) 独立柱・スチール製柱脚金物の塗装塗替
H	木製格子	既存 木造天然樹脂系油性カラーリヤー塗装	下地調整の上WP【塗替】	D-2(5) 木製格子の塗装塗替
K	腰水切	既存 t0.35 カラー鉄板(木包み)	下地調整の上DP【塗替】	D-2(6) 腰水切の塗装塗替
L	小口	既存 青木板張 天然樹脂系油性カラーリヤー塗装 W=140	下地調整の上WP【塗替】	D-2(7) 小口の塗装塗替
M	笠木見切	既存 t0.35 カラー鉄板(木包み)	下地調整の上DP【塗替】	D-2(8) 笠木見切の塗装塗替
N	破風鉄板	既存 t0.35 カラー鉄板(木包み)	既存 t0.35 カラー鉄板 L=5.0m【撤去】 t0.35 カラー鉄板 L=5.0m【新設】	D-2(9) 破風鉄板の改修
P	内部建具 WD1・WD2	既存 CL塗装	建具調整の上CL【塗替】 (一時取外し・再取付)	D-3(1) 内部建具WD1・WD2の塗装塗替
外部建具2/A D・外壁		既存 シーリング 15x15【撤去】	シーリング 15x15【新設】	D-4(1) 2/A D回り・外壁シーリングの改修
防雪フード(400x400)		既存 シーリング 15x10【撤去】	シーリング 15x10【新設】	D-4(2) 防雪フードシーリングの改修

※記号は立面図による。

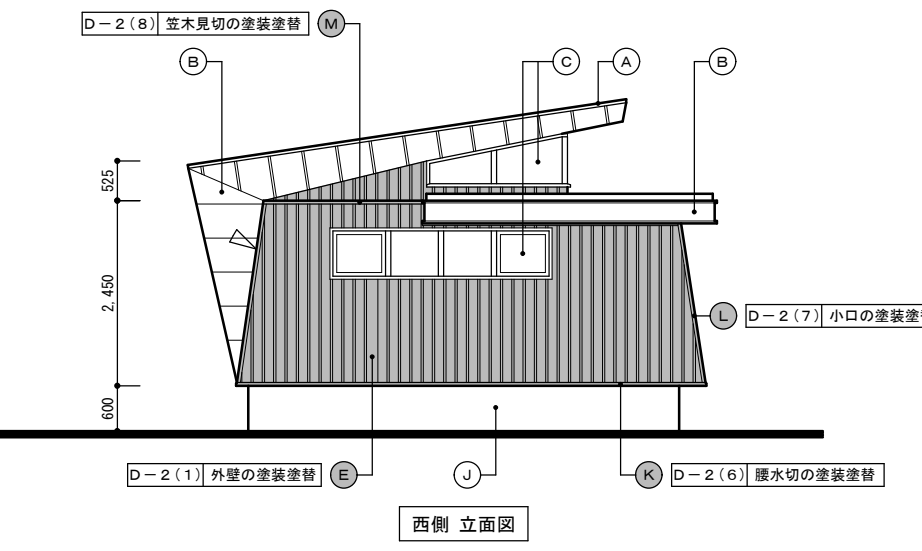
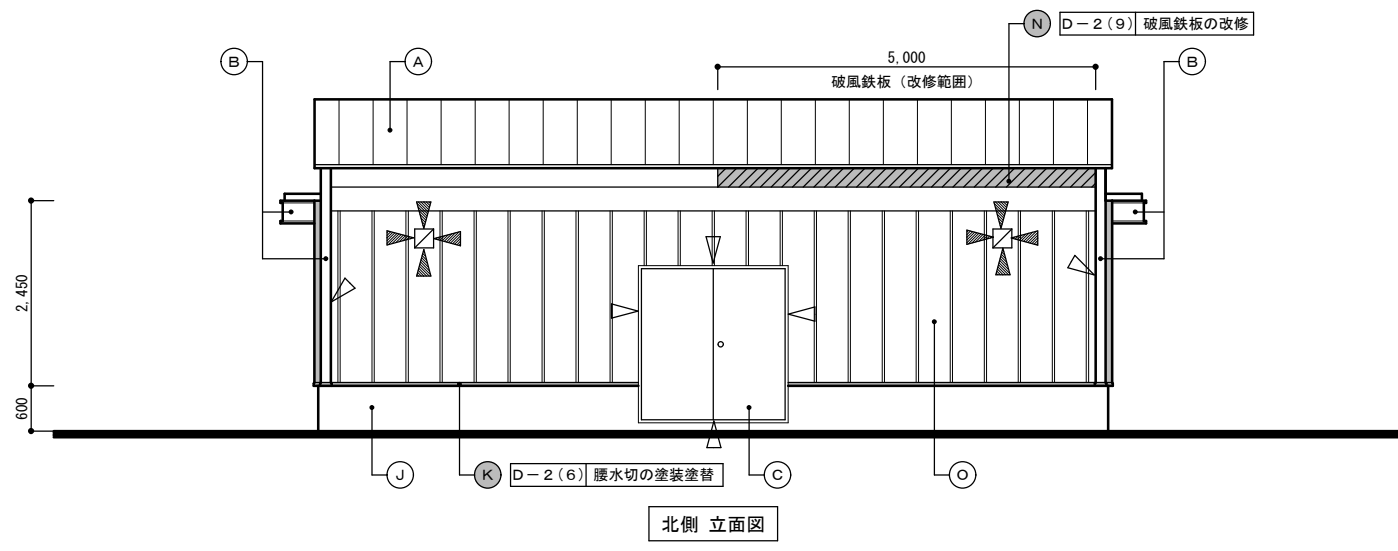
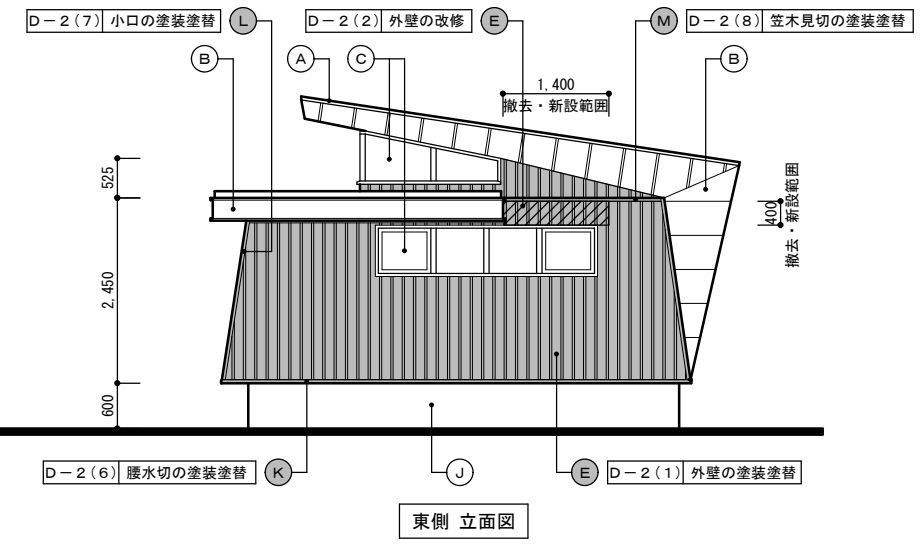
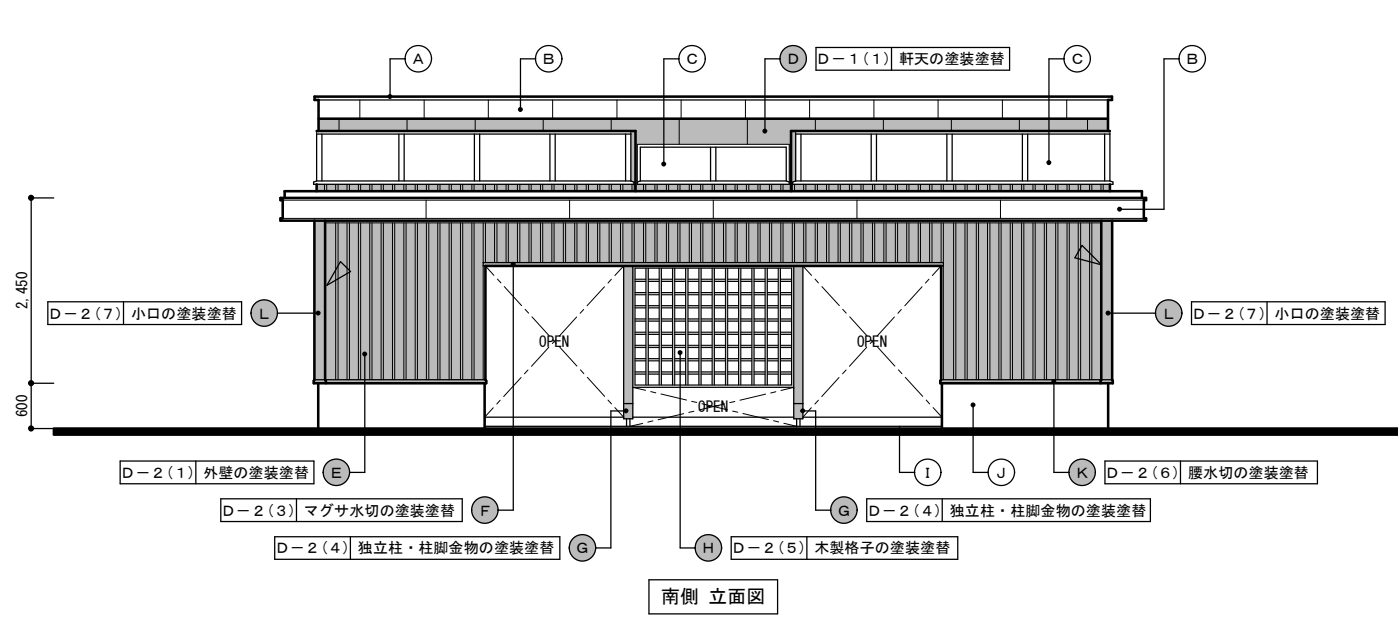


軒天伏図(上部)



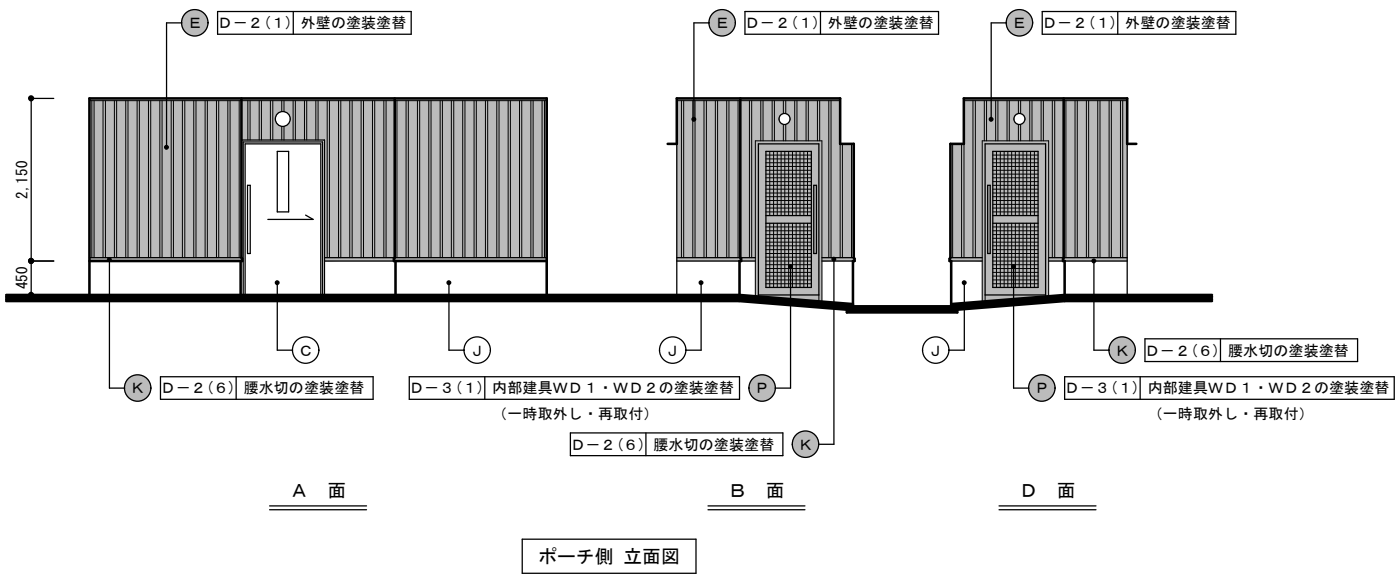
天井伏図

凡例：  
 : 改修範囲

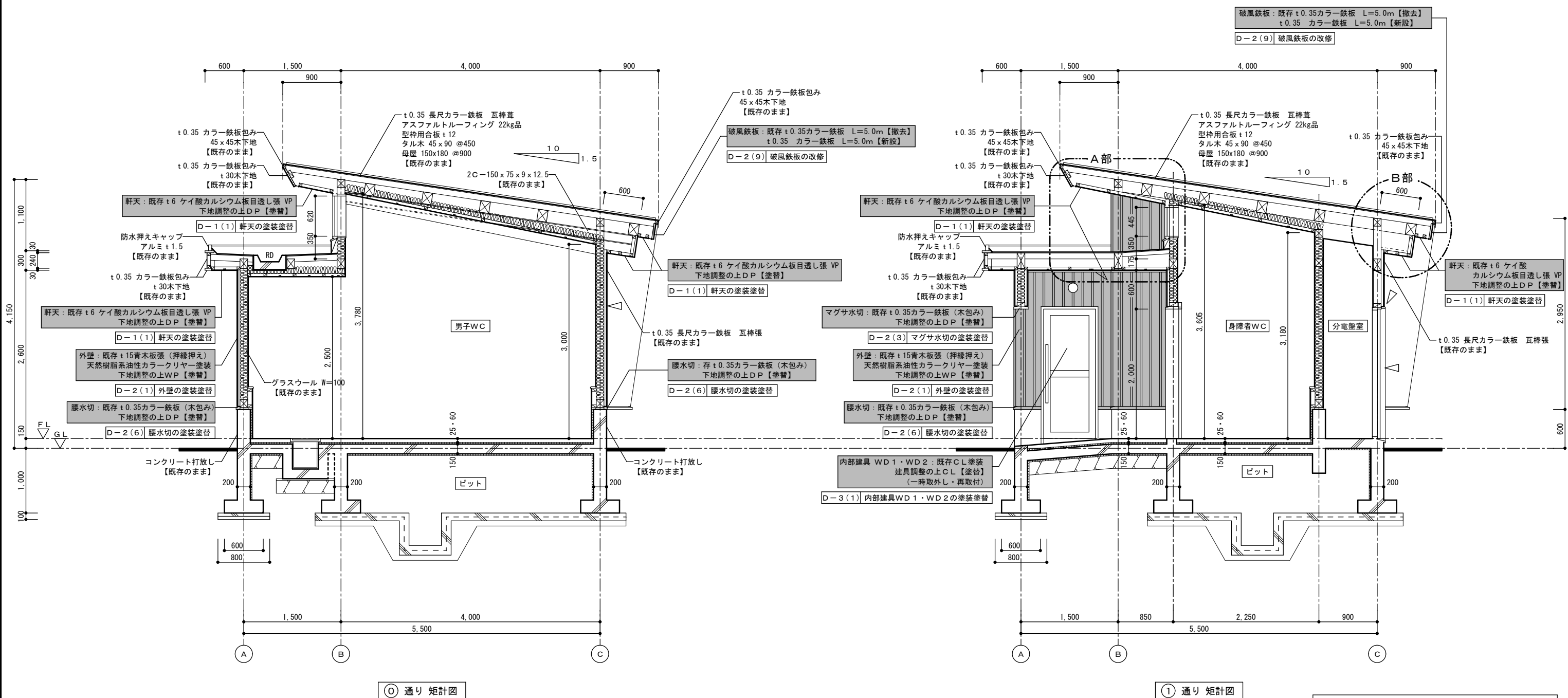


凡例:

- 改修範囲
- 撤去・新設範囲
- シーリング (MS-2) 15×15【撤去・新設】
- D-4(1) 2/A D廻り・外壁シーリングの改修
- シーリング (MS-2) 15×10【撤去・新設】
- D-4(2) 防雪フードシーリングの改修



記号	改修前	改修後	改修 No
(A)	屋根: t0.35 長尺カラー鉄板 瓦棒葺	既存のまま	
(B)	t0.35 カラー鉄板包み	既存のまま	
(C)	サッシ (白)	既存のまま	
(D)	軒天: t6ケイ酸カルシウム板 目透し張 VP	下地調整の上DP【塗替】	D-1(1) 軒天の塗装塗替
(E)	外壁: t15 青木板張 (押縁押え) 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装	下地調整の上WP【塗替】 一部 (W1400×H400): t15青木板張 (押縁押え) 【撤去】 t15青木板張 (押縁押え) 素地ごしらえの上 WP塗装【新設】	D-2(1) 外壁の塗装塗替 D-2(2) 外壁の改修
(F)	マグサ水切: t0.35 カラー鉄板包み	下地調整の上DP【塗替】	D-2(3) マグサ水切の塗装塗替
(G)	独立柱 (120×120): 既存 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 スチール製柱脚金物 (120×120×H200+50×50×H100): 溶融亜鉛メッキの上FU塗装	下地調整の上WP【塗替】 下地調整の上DP【塗替】	D-2(4) 独立柱・柱脚金物の塗装塗替
(H)	木製格子: 木製天然樹脂系油性カラークリヤー塗装	下地調整の上WP【塗替】	D-2(5) 木製格子の塗装塗替
(I)	床: コンクリートコテ仕上	既存のまま	
(J)	基礎立上: コンクリート打放し	既存のまま	
(K)	腰水切: t0.35 カラー鉄板包み	下地調整の上DP【塗替】	D-2(6) 腰水切の塗装塗替
(L)	小口: 青木板張 天然樹脂系油性カラークリヤー塗装 W=140	下地調整の上WP【塗替】	D-2(7) 小口の塗装塗替
(M)	笠木見切: t0.35 カラー鉄板包み	下地調整の上DP【塗替】	D-2(8) 笠木見切の塗装塗替
(N)	既存 t0.35 カラー鉄板 (木包み)	既存 t0.35 カラー鉄板 L=5.0m【撤去】 t0.35 カラー鉄板 L=5.0m【新設】	D-2(9) 破風鉄板の改修
(O)	外壁: t0.35 長尺カラー鉄板 瓦棒張	既存のまま	
(P)	内部建具 WD1・WD2: 既存CL塗装	建具調整の上CL【塗替】 (一時取外し・再取付)	D-3(1) 内部建具WD1・WD2の塗装塗替
☑	防雪フード 400×400	既存シーリング MS-2 15×10【撤去・新設】	D-4(2) 防雪フードシーリングの改修
(O)	換気レジスター φ150	既存のまま	



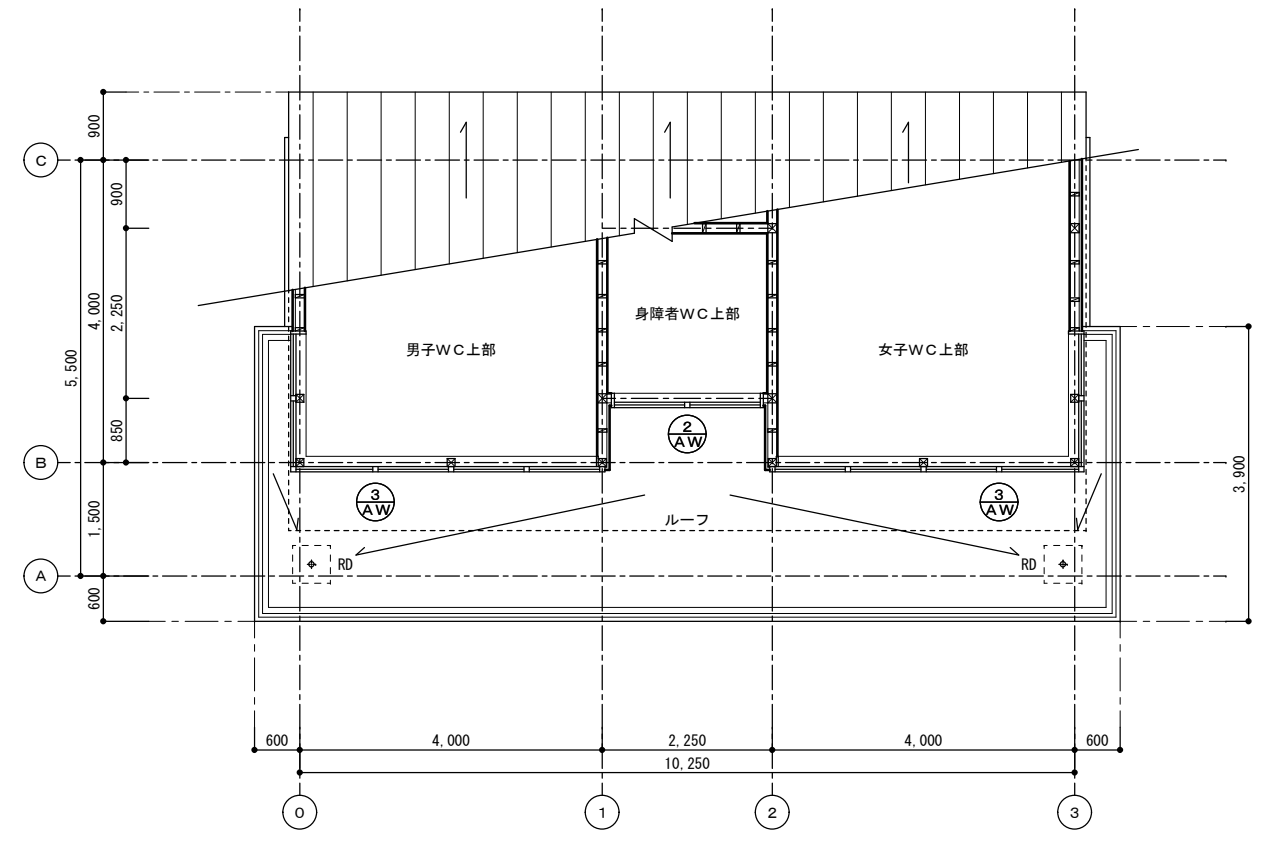
凡例：

■ 改修範囲

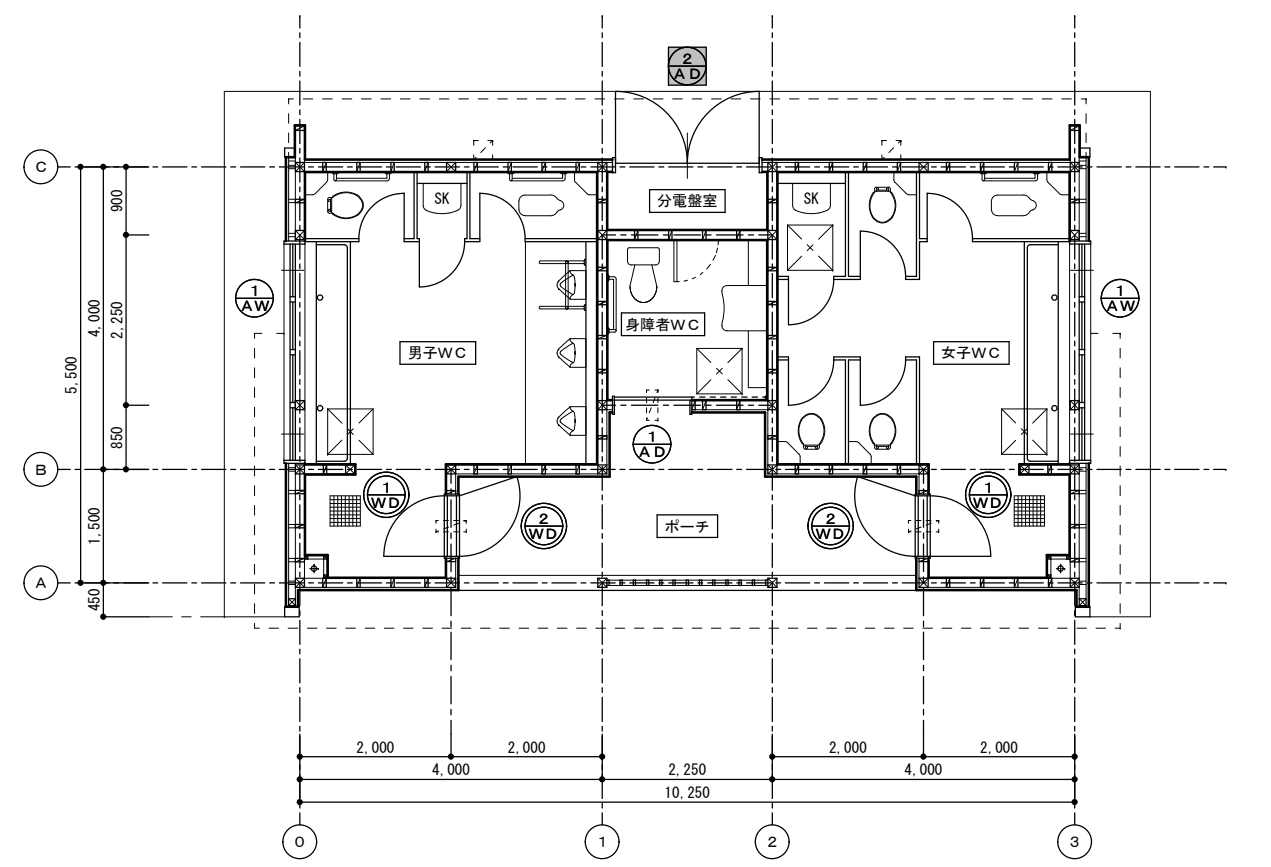
▽ シーリング (MS-2) 15×15【撤去・新設】

D-4(1) 2/A/D 廻り・外壁シーリングの改修

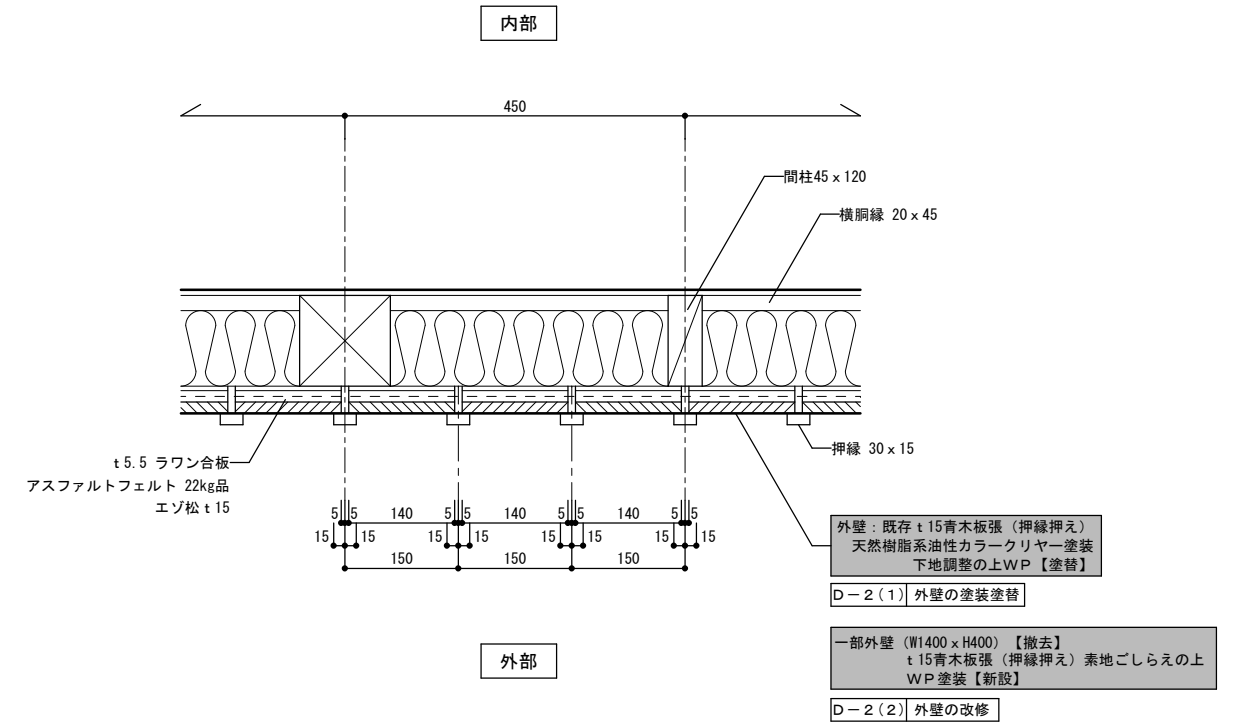
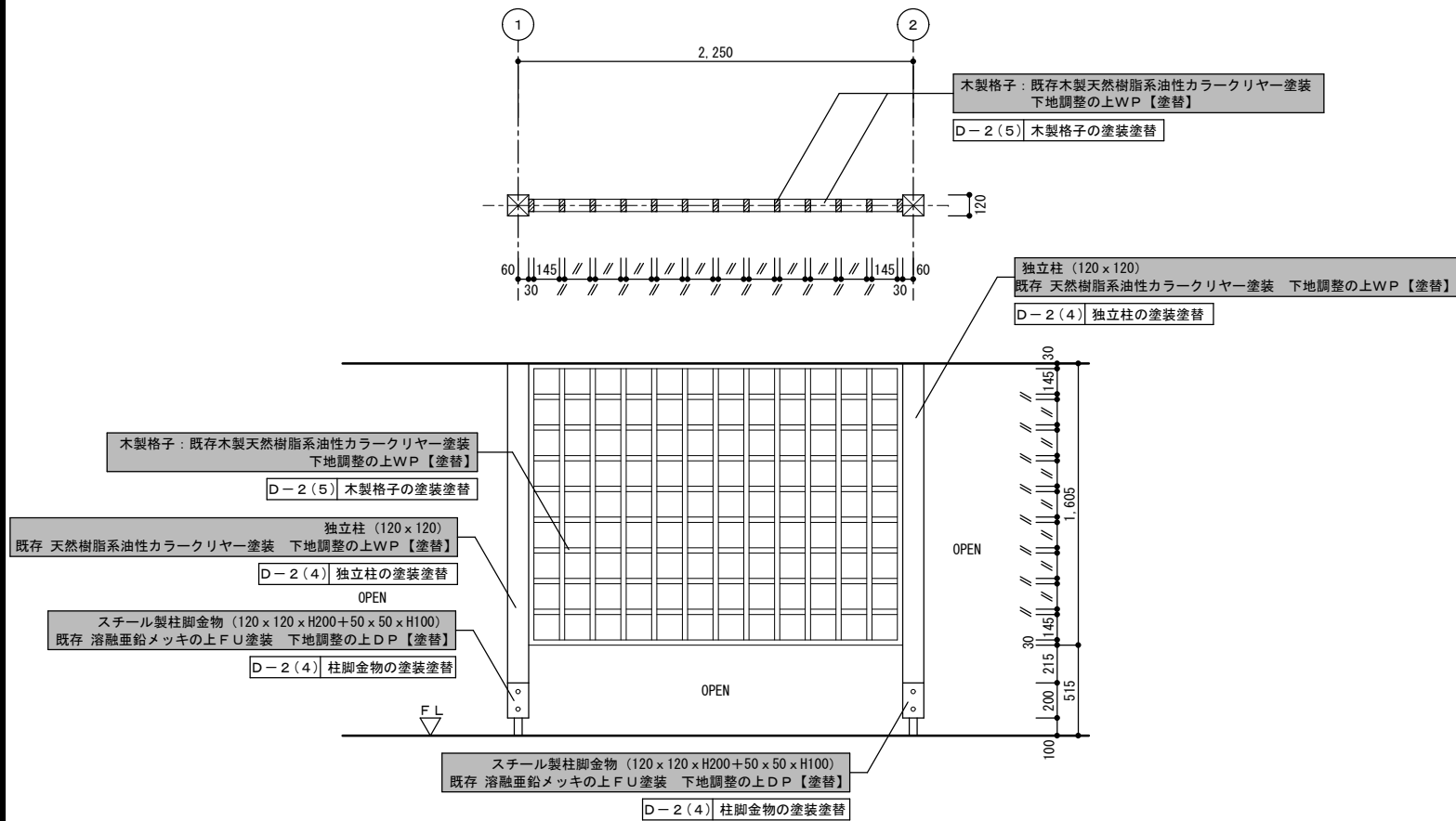
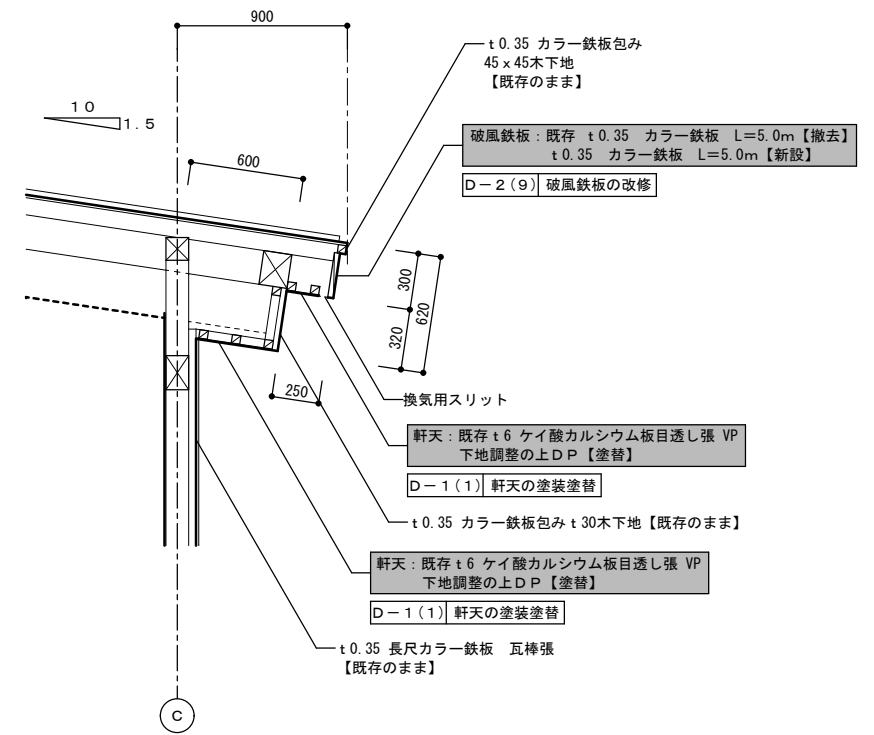
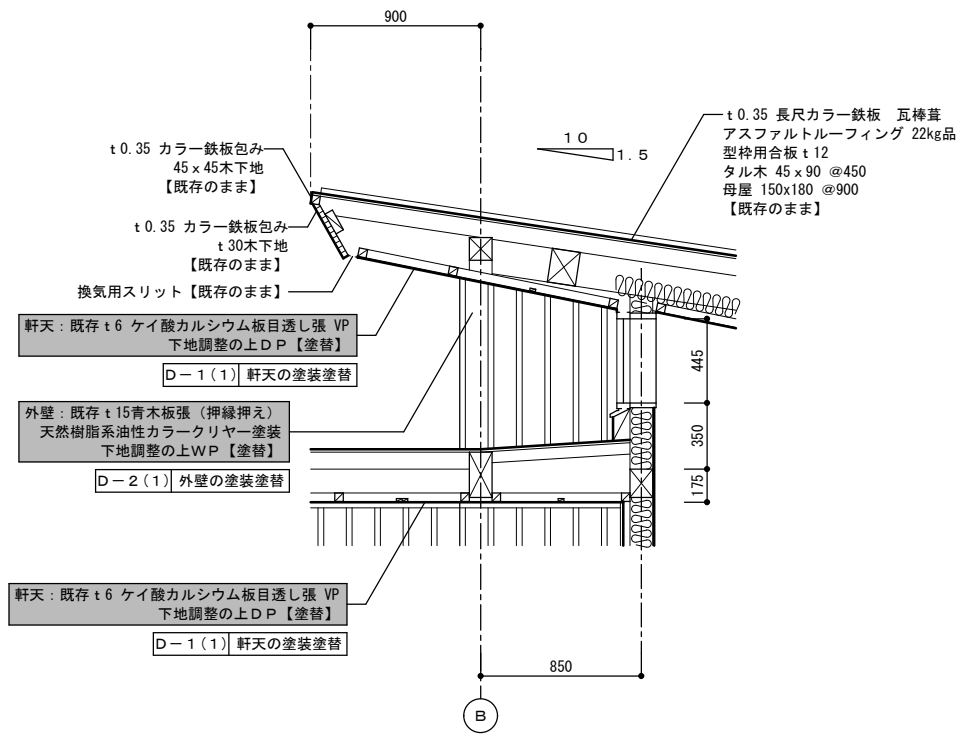
名称・数量	① A/D 片引き戸 (扉内部ロックウール充填) 1ヶ処	② A/D 両開き戸 1ヶ処	① A/W ハメ殺し突出窓 2ヶ処
室名	身障者WC	分電盤室	男子WC、女子WC
姿図			
仕上・見込	仕上：電解着色の上塗装 見込：70	仕上：電解着色の上塗装 見込：70	仕上：電解着色の上塗装 見込：70
ガラス	ペアガラス：F4-A6-透明ガラスt3	ペアガラス：F4-A6-透明ガラスt3	ペアガラス：透明ガラスt3-A6-透明ガラスt3
金物	表示錠、引棒 戸車、吊り引戸用スライドクローザー、戸当り	CL(本締り)、握り玉、ST、DC、フランス落とし ステンレス下枠、水切皿板	ST、カムラッチハンドル、突出棒、結露水受皿 水切皿板、連窓方立、アングルピース
備考	カラーアルミ(白)	カラーアルミ(白) 扉内部ロックウール充填	カラーアルミ(白) ロール網戸取付X2
名称・数量	② A/W ハメ殺し窓 1ヶ処	③ A/W ハメ殺し窓 2ヶ処	
室名	身障者WC	男子WC、女子WC	
姿図			
仕上・見込	仕上：電解着色の上塗装 見込：70	仕上：電解着色の上塗装 見込：70	
ガラス	ペアガラス：透明ガラスt3-A6-透明ガラスt3	ペアガラス：透明ガラスt3-A6-透明ガラスt3	
金物	結露水受皿、水切皿板、アングルピース	結露水受皿、水切皿板、アングルピース	
備考	カラーアルミ(白)	カラーアルミ(白)	
名称・数量	① W/D 片開き戸 (扉内部ロックウール充填) 2ヶ処	② W/D 片開き網戸 2ヶ処	ガラス略号
室名	男子WC、女子WC	男子WC、女子WC	表示略号 名称
姿図			FL フロート板ガラス F 型板ガラス RW 網入磨き板ガラス(ヒシワイヤ) RWF 網入型板ガラス(ヒシワイヤ) PW 線入磨き板ガラス T 強化ガラス ST 学校用強化ガラス ACP アクリル板 L 合せガラス A 空気層
仕上・見込	仕上：CL 見込：40	仕上：CL ステンレス防虫網張 見込：40	凡例
ガラス	ペアガラス：透明ガラスt3-A6-透明ガラスt3	—	○ 既存建具
金物	CL(本締り)、ST、DC、木製引棒 L=900 ステンレス沓ズリ	ST、DC、木製引棒 L=900 ステンレス沓ズリ	⊖ 改修建具
備考	t12 青木羽目板張 青木ガラリ 【一時取外し・再取付】	青木 【一時取外し・再取付】	⊕ 建具廻りシーリングの改修

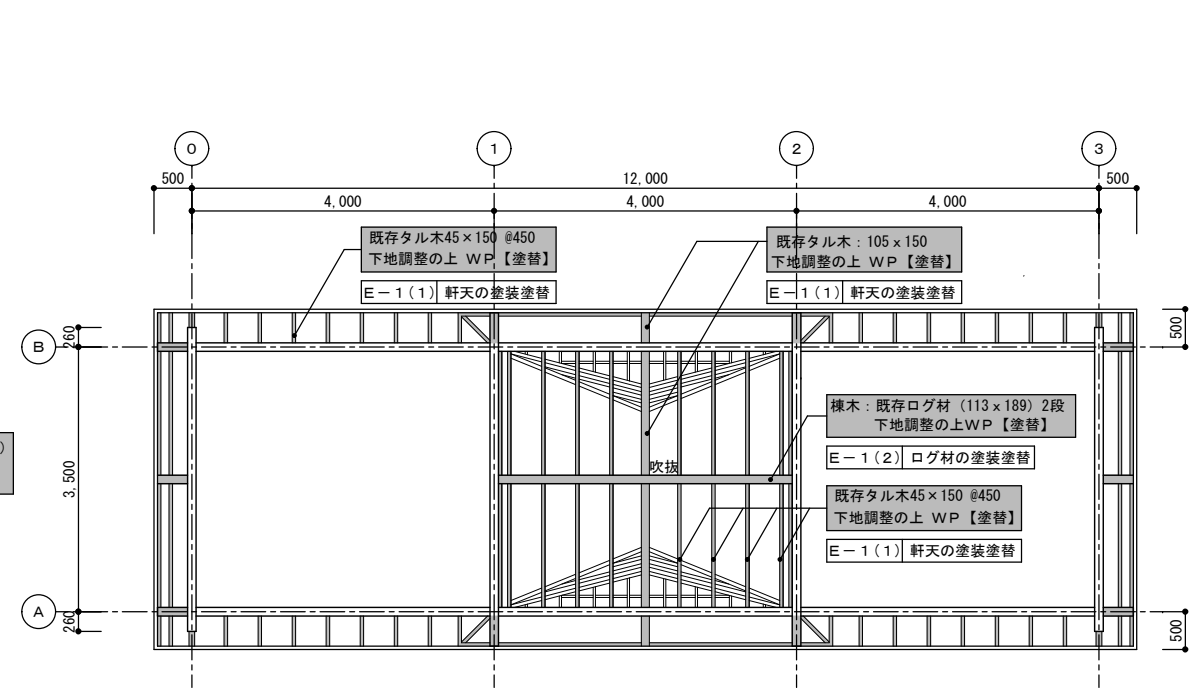
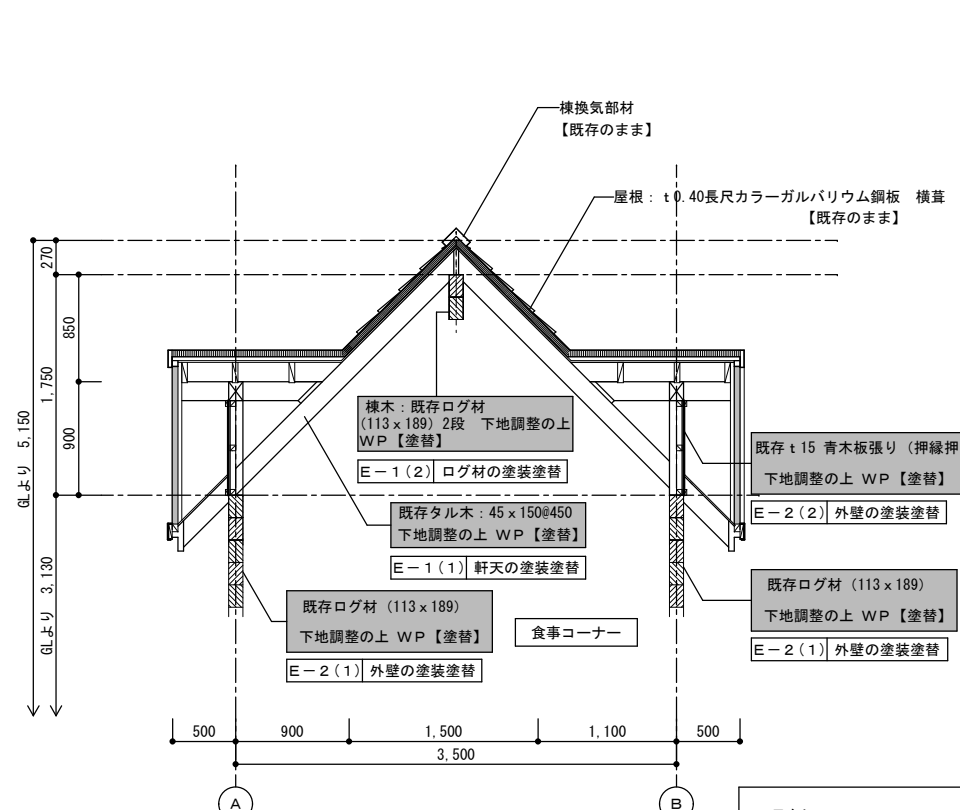
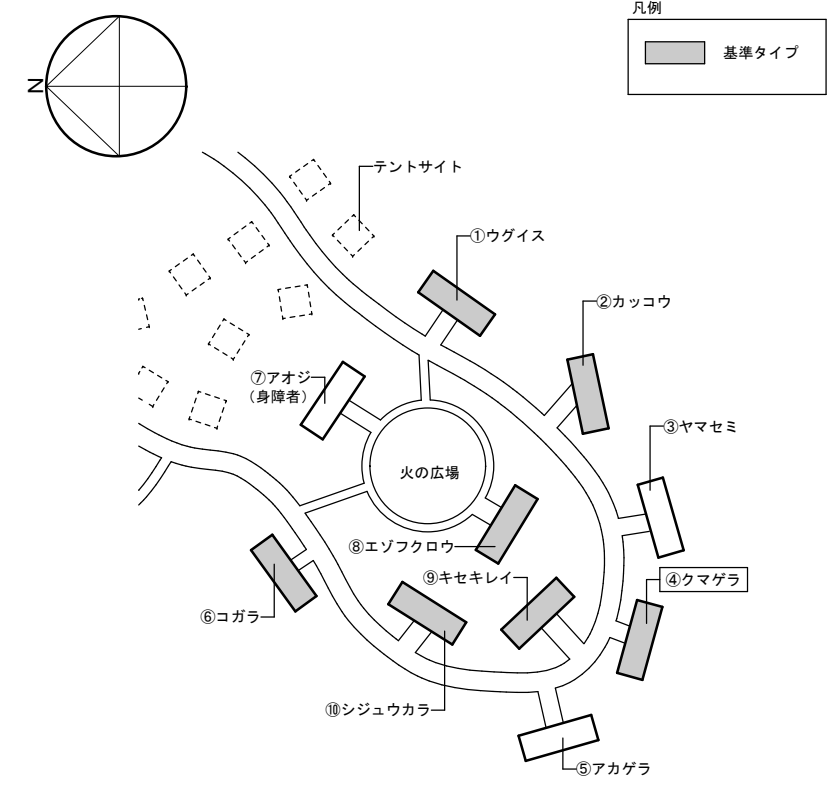


上部建具配置図

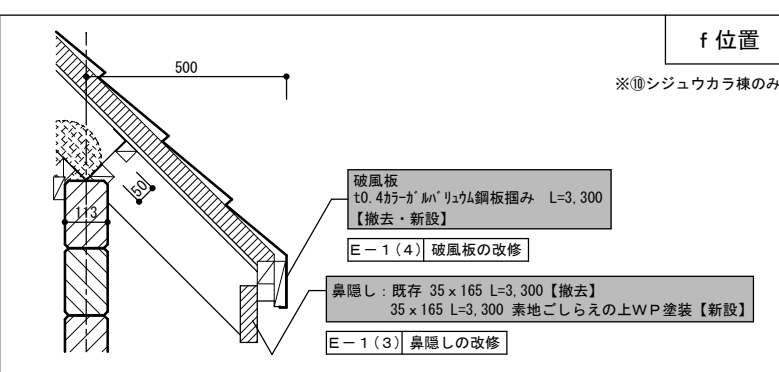
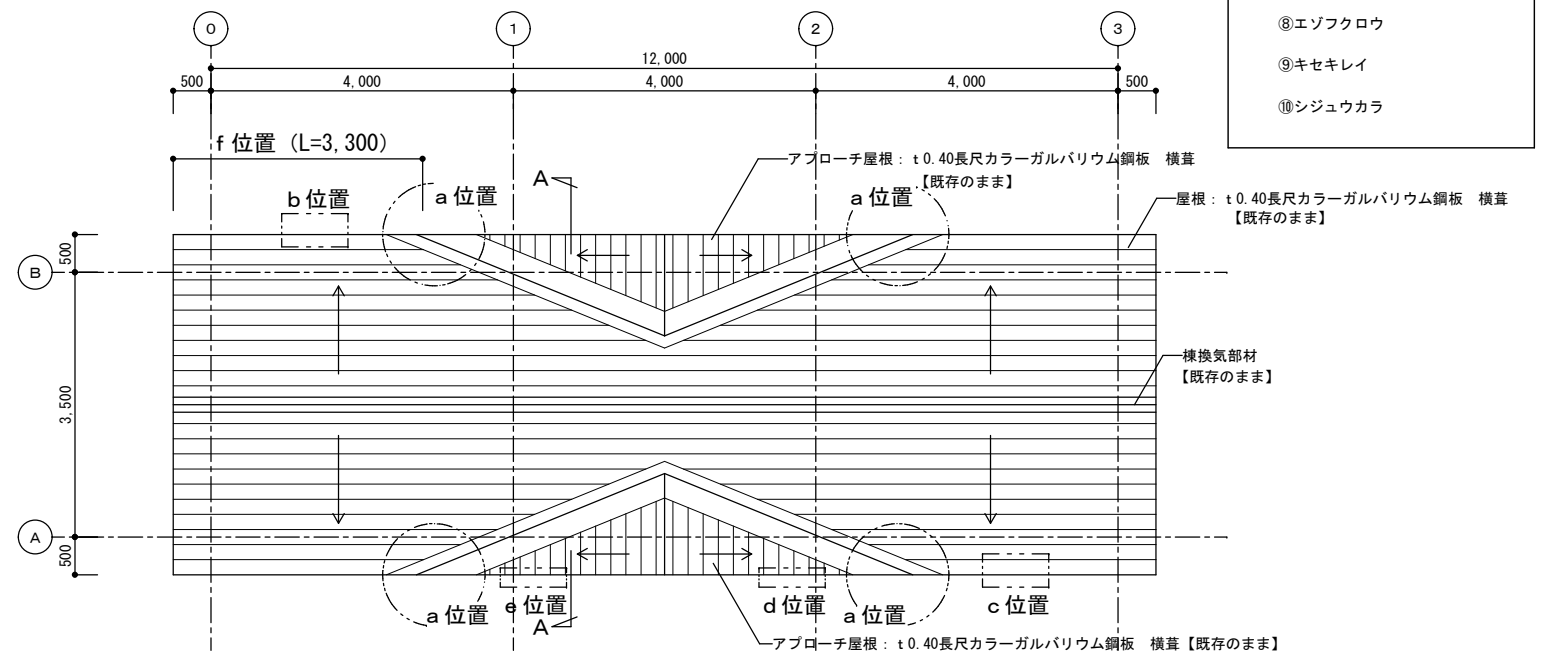
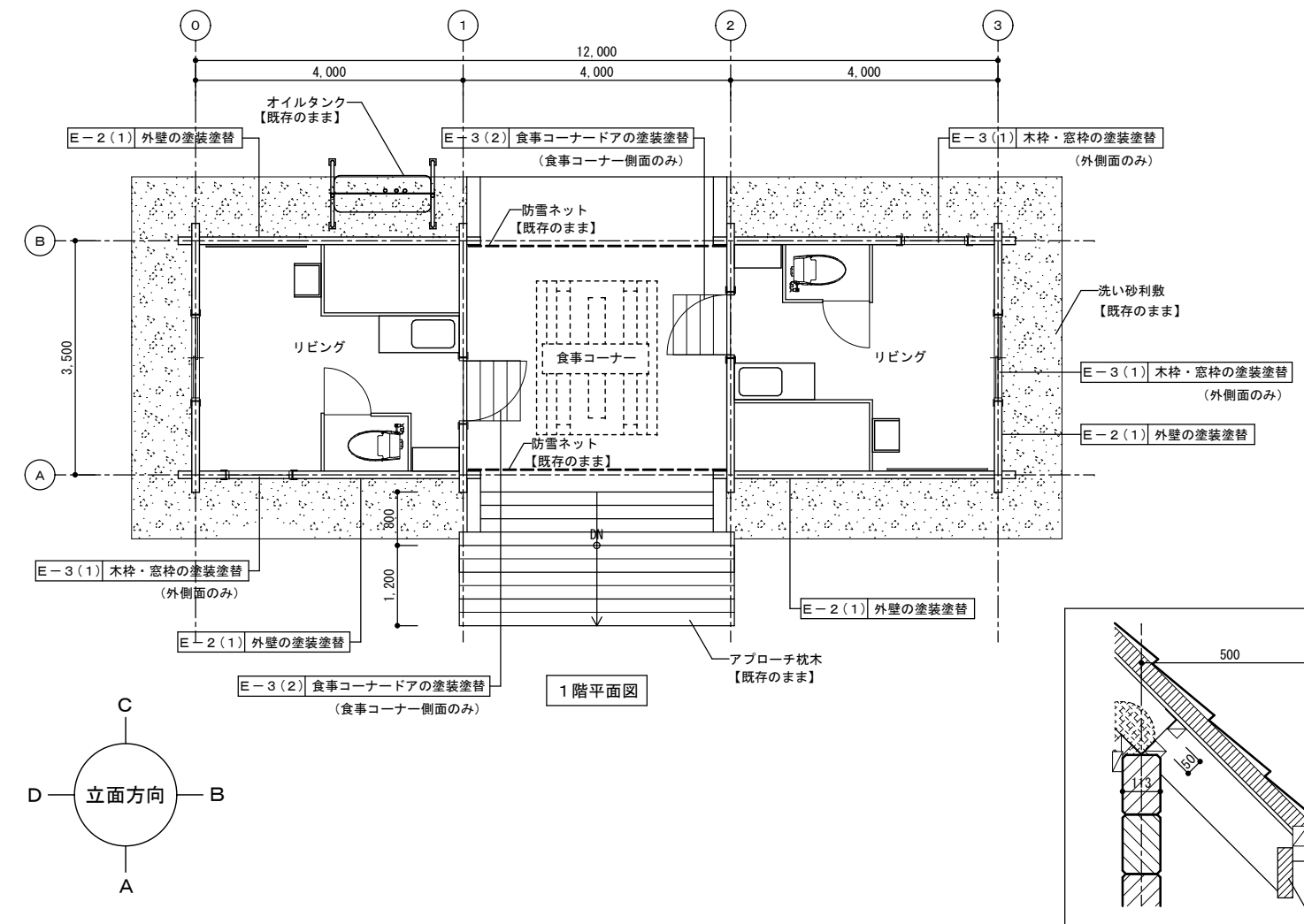


1階建具配置図

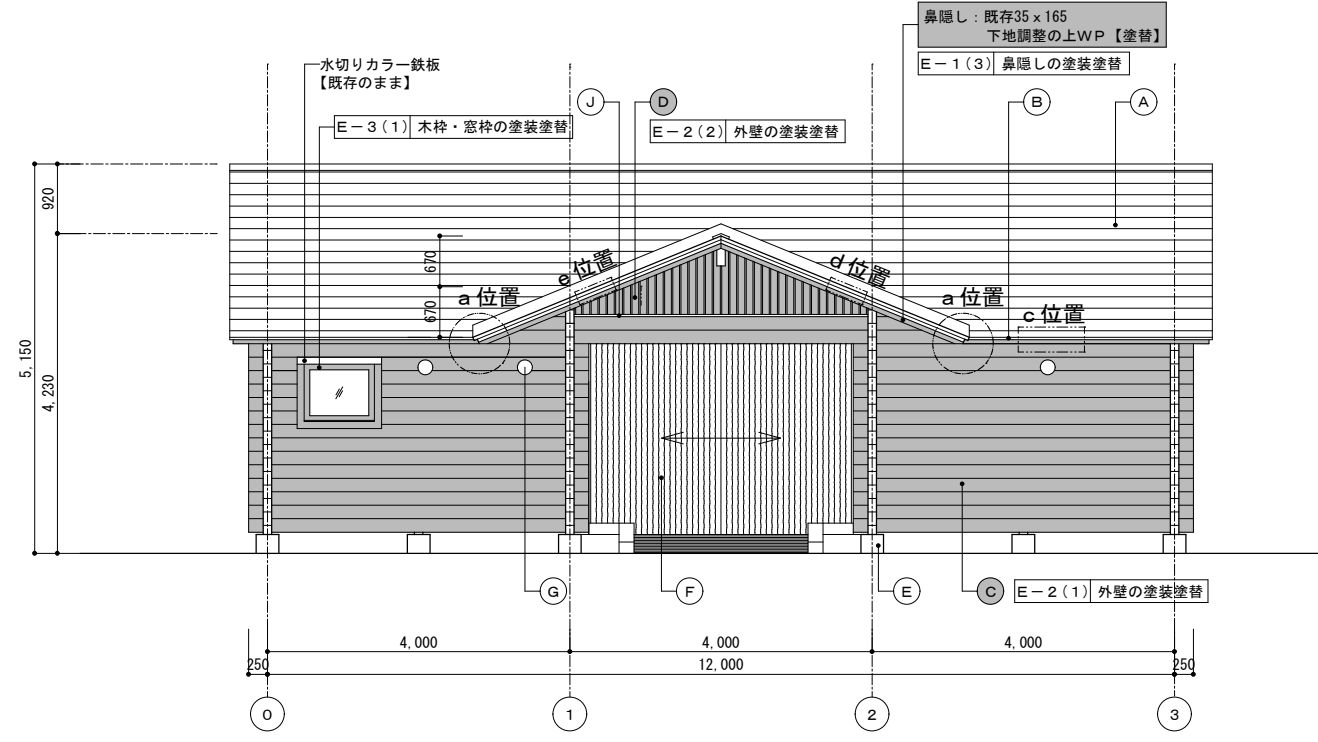




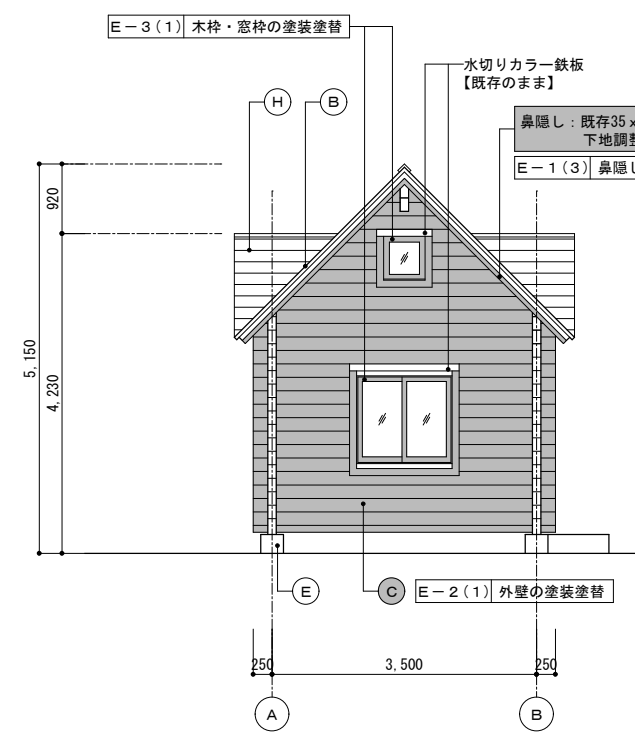
- 標準タイプ (7棟)
- ①ウグイス
  - ②カッコウ
  - ④クマガラ
  - ⑥コガラ
  - ⑧エゾフクロウ
  - ⑨キセキレイ
  - ⑩シジュウカラ



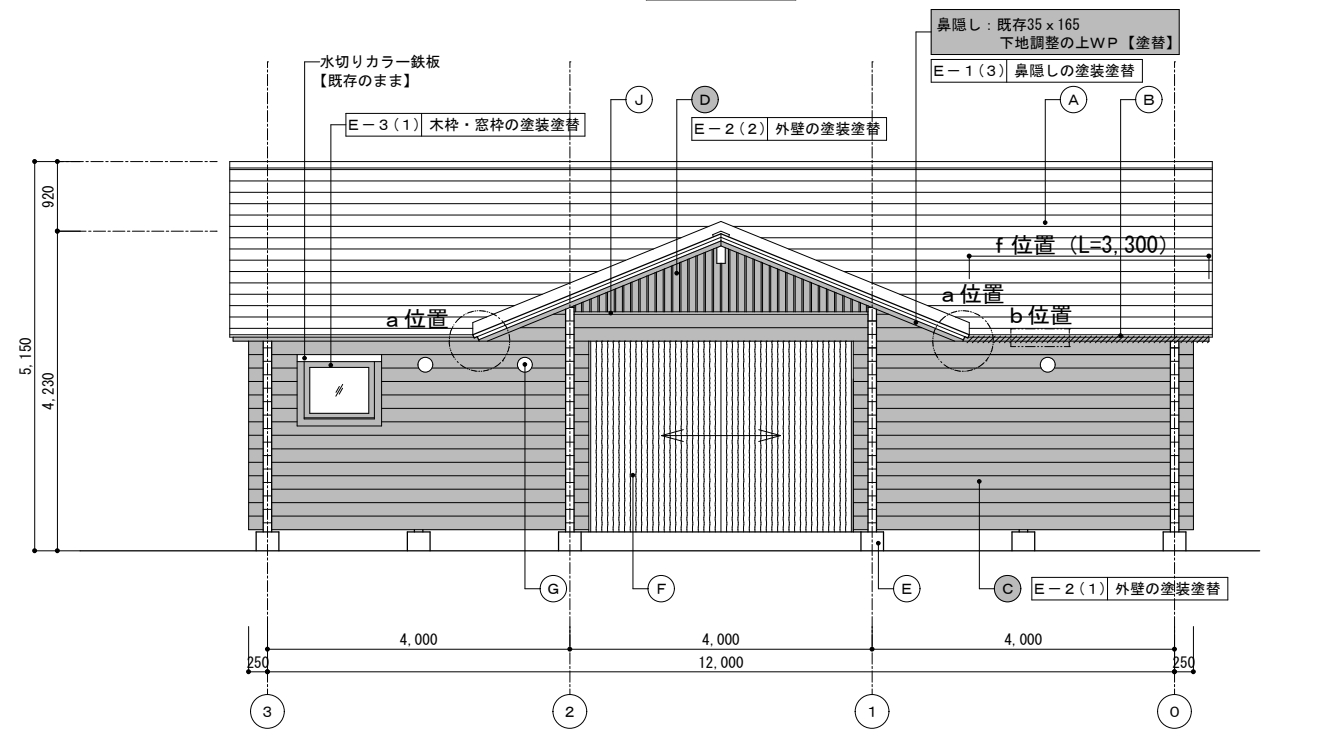
- 凡例
1. a位置: 破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板 横葺 4ヶ所 (共通: 標準タイプ (7棟))
  2. b位置: 破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板 横葺 1ヶ所 (①ウグイス棟のみ)
  3. c位置: 破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板 横葺 1ヶ所 (②カッコウ・⑧エゾフクロウ棟)
  4. d位置: 破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板 横葺 1ヶ所 (④クマガラ・⑨キセキレイ・⑩シジュウカラ棟)
  5. e位置: 破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板 横葺 1ヶ所 (⑨キセキレイ・⑩シジュウカラ棟)
  - E-1(4) 破風板の改修
  6. f位置: 鼻隠し 35x165 (L=3,300) 撤去・新設し、素地ごしらえの上WP塗装 破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板 横葺 L=3,300 【撤去・新設】 (⑩シジュウカラ棟のみ)  
E-1(3) 鼻隠しの改修・E-1(4) 破風板の改修



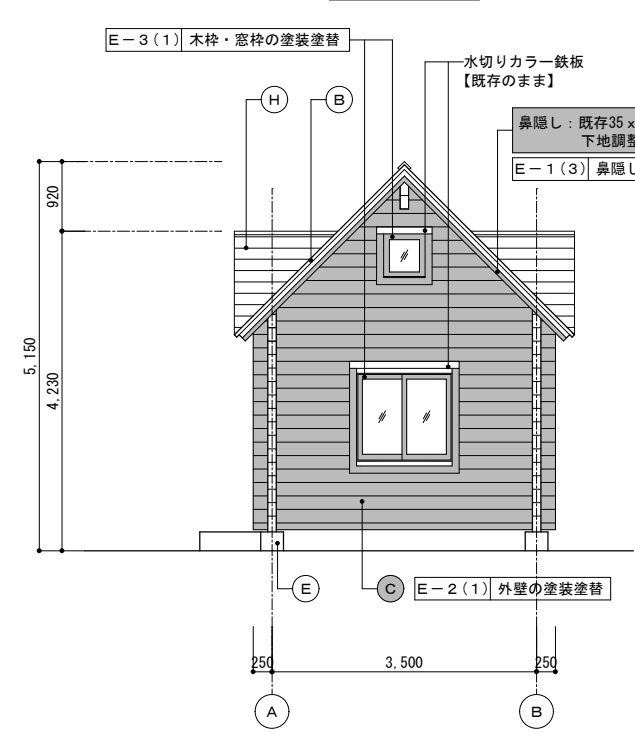
A面 立面図



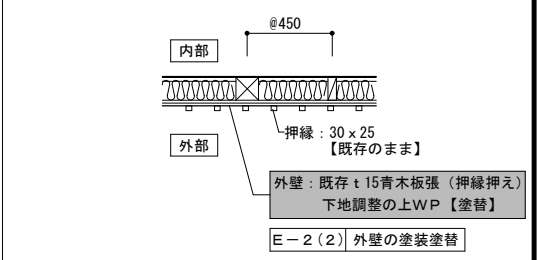
B面 立面図



C面 立面図



D面 立面図

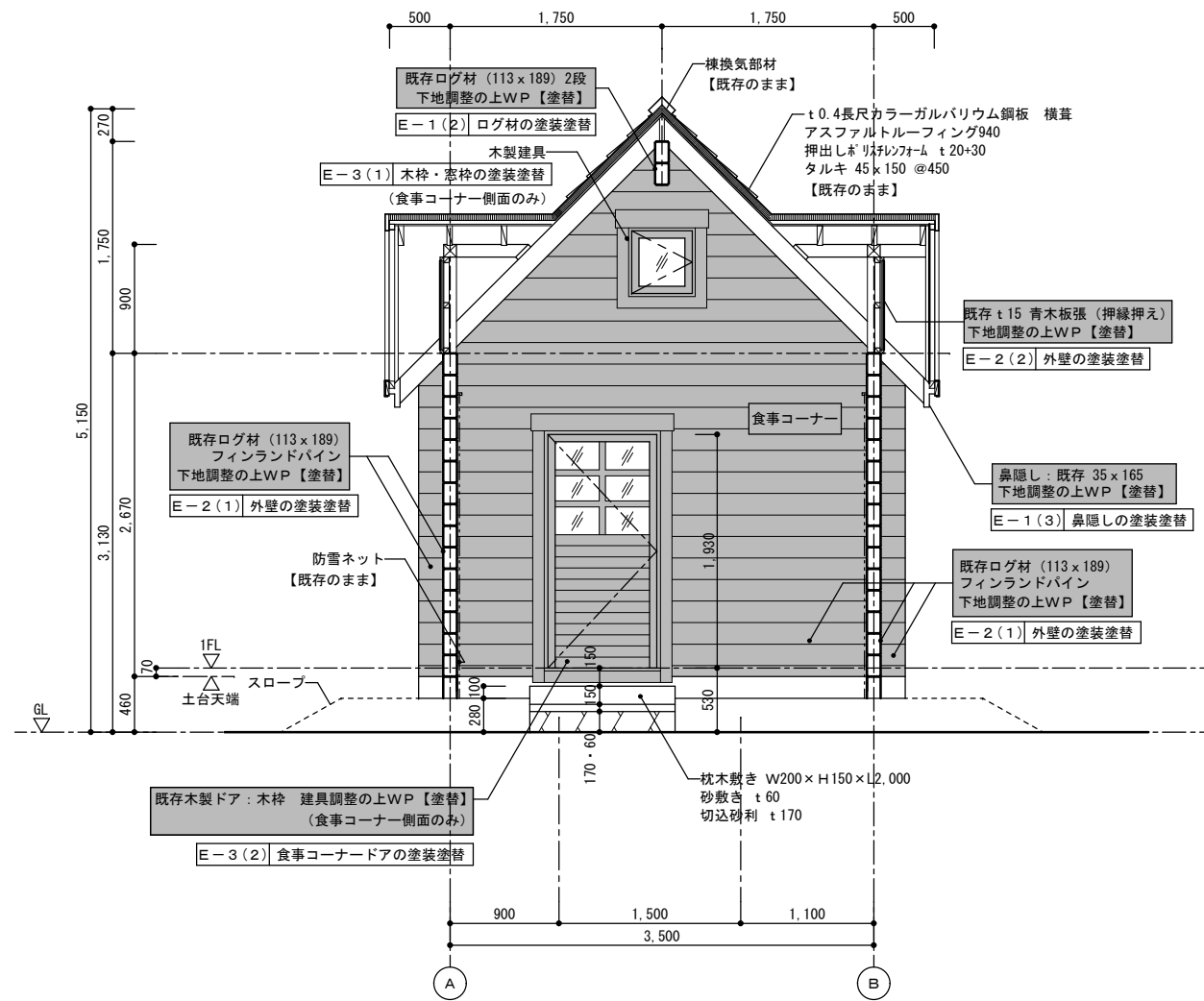
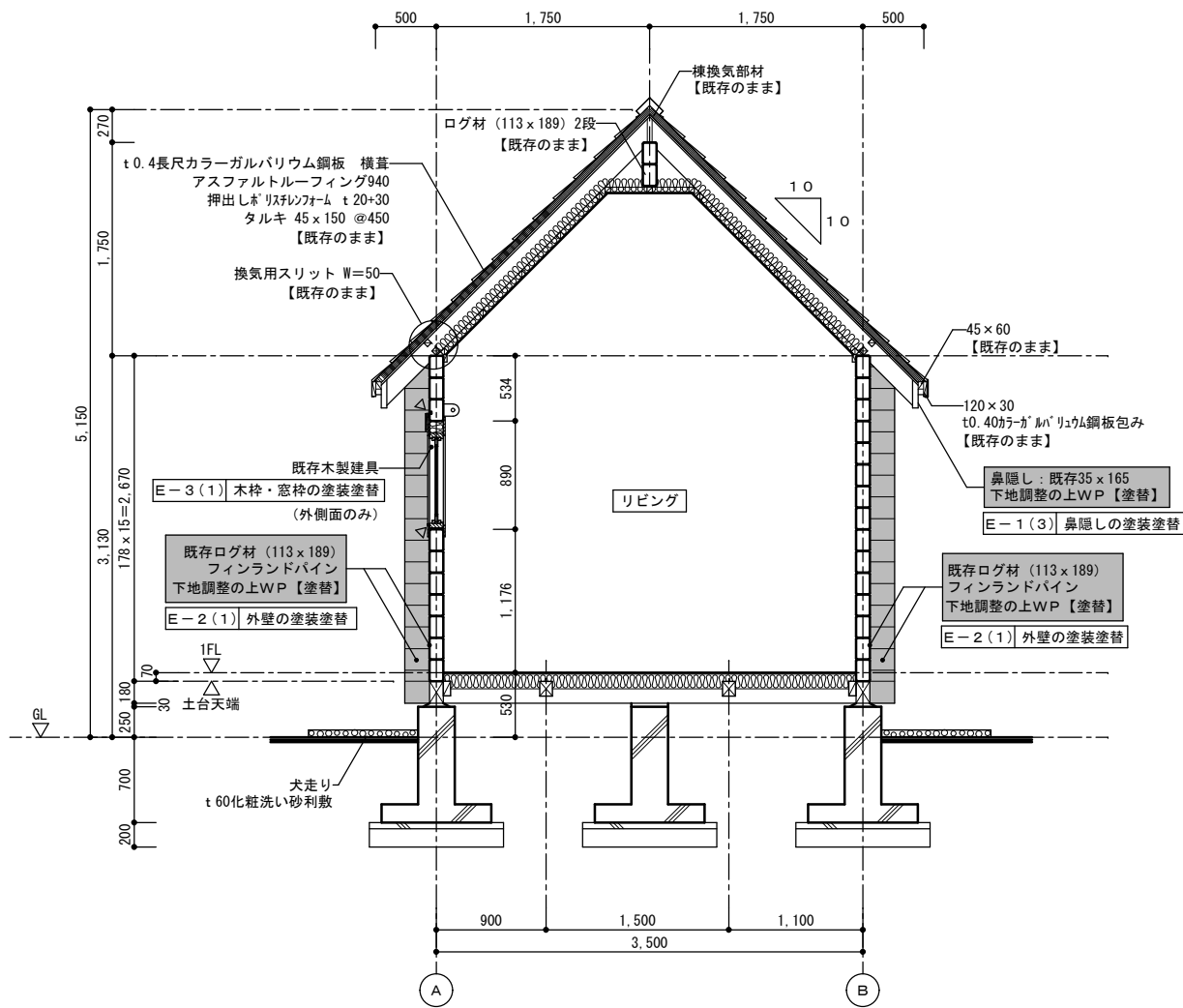


- 標準タイプ (7棟)
- ①ウグイス
  - ②カッコウ
  - ④クマガラ
  - ⑥コガラ
  - ⑧エゾフクロウ
  - ⑨キセキレイ
  - ⑩シジュウカラ

- 凡例：
1. 改修範囲
  2. a位置：破風板 t 0.40カラーガルバリウム鋼板摺み直し 4ヶ所 (共通：基準タイプ (7棟))
  3. b位置：破風板 t 0.40カラーガルバリウム鋼板摺み直し 1ヶ所 (①ウグイス棟のみ)
  4. c位置：破風板 t 0.40カラーガルバリウム鋼板摺み直し 1ヶ所 (②カッコウ・⑧エゾフクロウ棟)
  5. d位置：破風板 t 0.40カラーガルバリウム鋼板摺み直し 1ヶ所 (④クマガラ・⑨キセキレイ・⑩シジュウカラ棟)
  6. e位置：破風板 t 0.40カラーガルバリウム鋼板摺み直し 1ヶ所 (⑨キセキレイ・⑩シジュウカラ棟)
  - E-1(4) 破風板の改修
  7. f位置：鼻隠し 35×165 (L=3,300) 撤去・新設し、素地ごしらえの上WP塗装 破風板 t 0.40カラーガルバリウム鋼板摺み L=3,300【撤去・新設】 (範囲：⑩シジュウカラ棟のみ)
  - E-1(3) 鼻隠しの改修
  - E-1(4) 破風板の改修

記号	改修前 (既存)	改修後 (新設)	改修 No.
(A)	t 0.40長尺カラーガルバリウム鋼板 横葺	既存のまま	
(B)	t 0.40カラーガルバリウム鋼板包み	既存のまま	
(C)	既存 ログ材 (113×189) (1・2通 食事コーナー面共)	下地調整の上WP【塗替】	E-2(1) 外壁の塗装塗替
(D)	既存 t 15青木板張 (押縁押え)	下地調整の上WP【塗替】	E-2(2) 外壁の塗装塗替
(E)	コンクリート独立基礎	既存のまま	
(F)	防雪ネット	既存のまま	
(G)	アルミセルフド 200Φ DP塗装	既存のまま	
(H)	t 0.40長尺カラーガルバリウム鋼板 横葺	既存のまま	
(J)	t 0.35 カラー鉄板包み DP塗装	既存のまま	

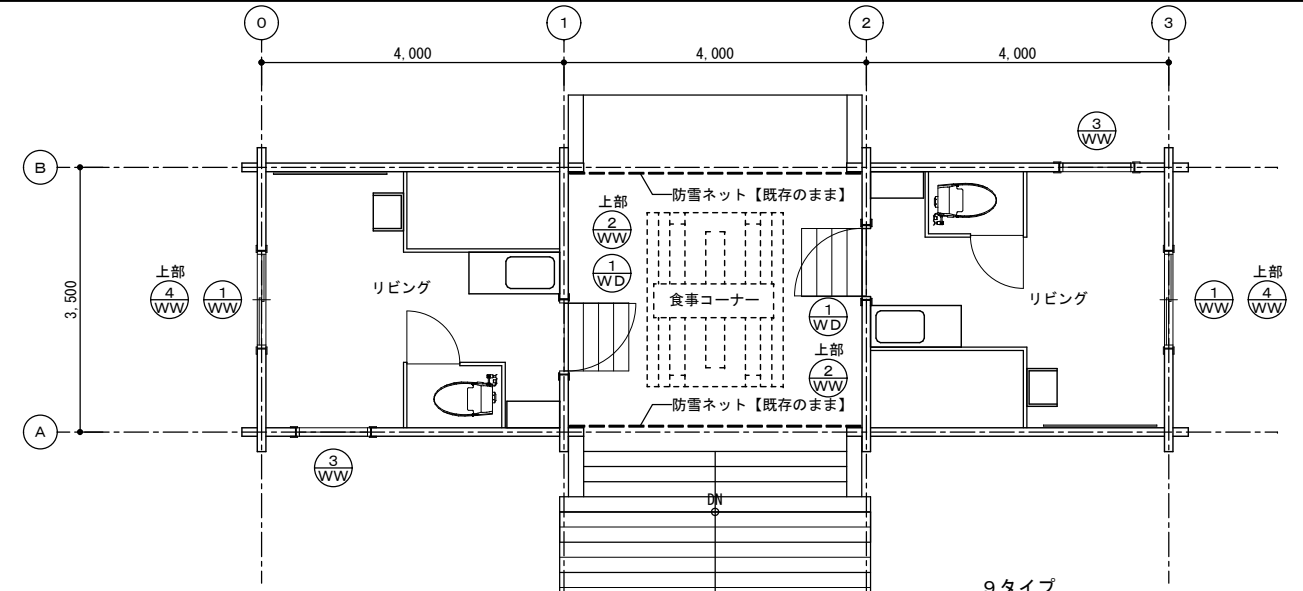
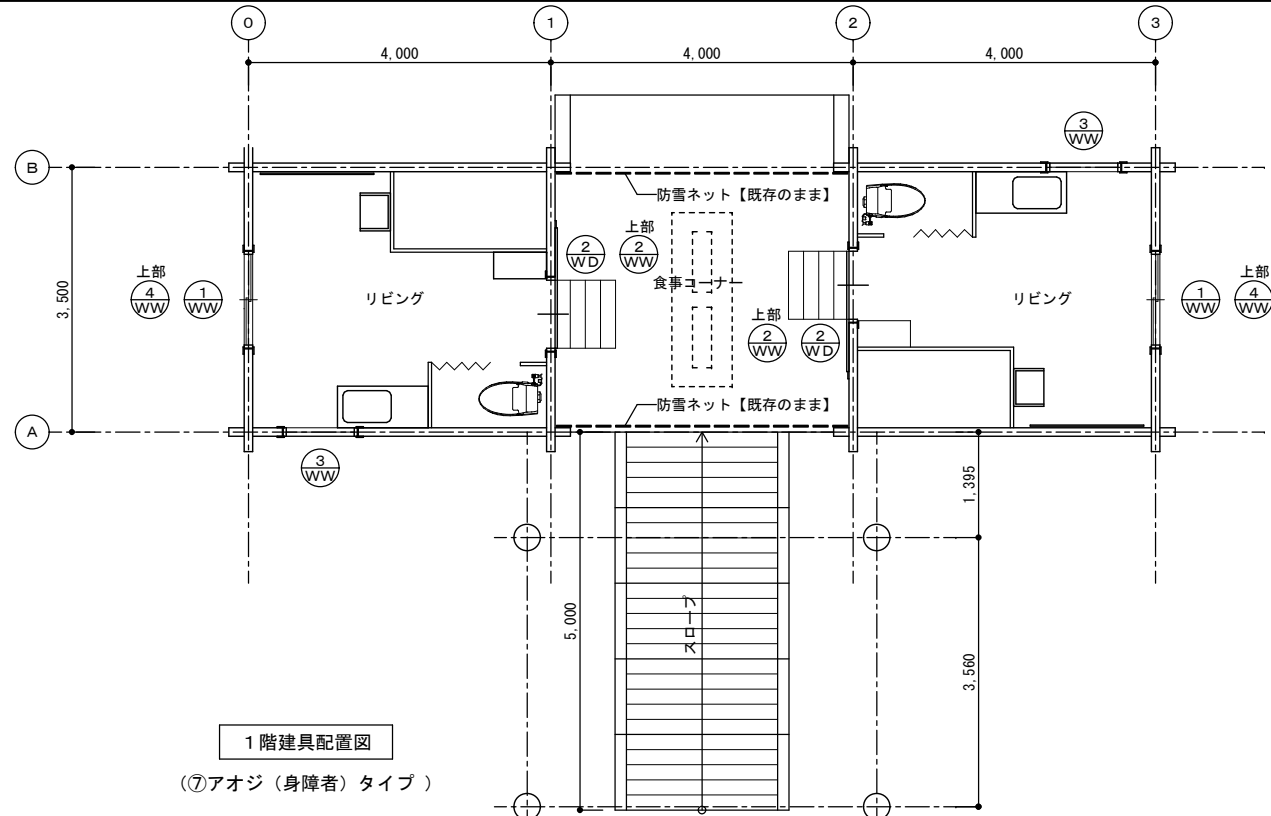




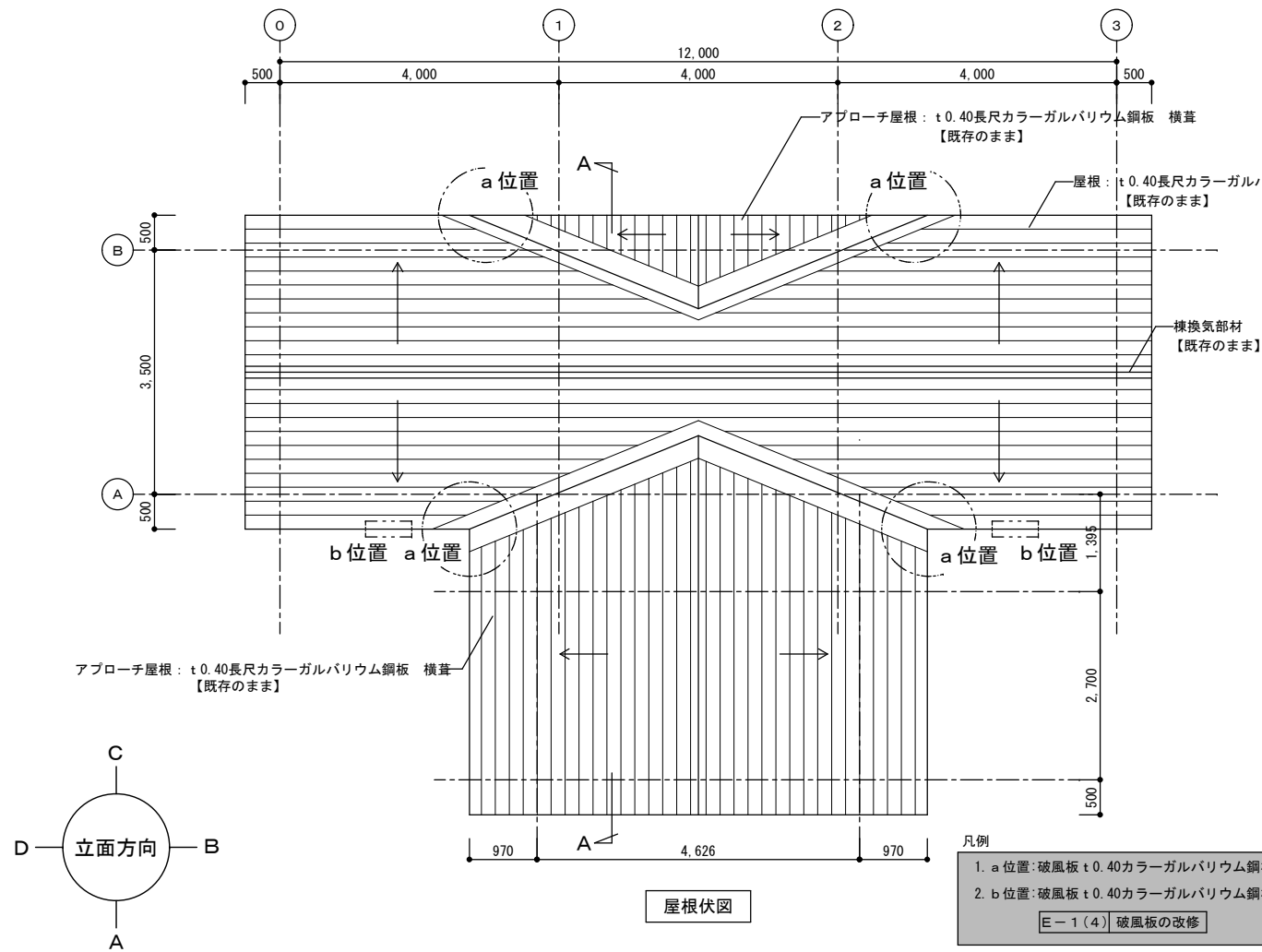
- 凡例:
- 1.  改修範囲
  - 2.  シーリング (MS-2) 15 x 15 (既存のまま)



名称・数量	① WW 両開き窓 2ヶ所	② WW 片開き窓 2ヶ所	③ WW 嵌め殺し窓 2ヶ所	④ WW 嵌め殺し窓 2ヶ所
室名	リビング	ロフト	リビング	吹抜
姿図	E-3(1) 木枠・窓枠の塗装塗替 (外側面のみ) カラー鉄板包み【既存のまま】 1.190 1.200 外側見	E-3(1) 木枠・窓枠の塗装塗替 (食事コーナー側面のみ) 518 500 外側見	E-3(1) 木枠・窓枠の塗装塗替 (外側面のみ) カラー鉄板包み【既存のまま】 686 900 外側見	E-3(1) 木枠・窓枠の塗装塗替 (外側面のみ) カラー鉄板包み【既存のまま】 518 500 外側見
仕上・見込	材種：木製、仕上：天然樹脂系油性カラークリアー塗装	材種：木製、仕上：天然樹脂系油性カラークリアー塗装	材種：木製、仕上：天然樹脂系油性カラークリアー塗装	材種：木製、仕上：天然樹脂系油性カラークリアー塗装
ガラス	透明ガラス t3+A6+透明ガラス t3	透明ガラス t3+A6+透明ガラス t3	透明ガラス t3+A6+透明ガラス t3	透明ガラス t3+A6+透明ガラス t3
金物	ステンレス丁番、開き窓締め、フランス落し 煽り止め付きストッパー	ステンレス丁番、開き窓締め 煽り止め付きストッパー		
備考	ロール式網戸付	ロール式網戸付		
名称・数量	① WD 片開きドア 2ヶ所	② WD 片引き戸 2ヶ所		
室名	リビング	リビング (身障者対応タイプ)		
姿図	E-3(2) 食事コーナードアの塗装塗替 (食事コーナー側面のみ) 95 1.930 900 食事コーナー側見	E-3(2) 食事コーナードアの塗装塗替 (食事コーナー側面のみ) 95 1.930 1.000 食事コーナー側見		
仕上・見込	材種：木製、腰：羽目板張り 仕上：天然樹脂系油性カラークリアー塗装	材種：木製、腰：羽目板張り 仕上：天然樹脂系油性カラークリアー塗装		
ガラス	透明ガラス t3+A6+透明ガラス t3	透明ガラス t3+A6+透明ガラス t3		
金物	ステンレス丁番、本締りシリンドー錠、ドアチェック レバーハンドル	本締りシリンドー錠、戸車、木製引戸用レール 吊引戸用スライドクローザー、引棒、戸当り		
備考	既存木製ドア：木枠 建具調整の上WP【塗替】 (食事コーナー側面のみ)	既存木製ドア：木枠 建具調整の上WP【塗替】 (食事コーナー側面のみ)		

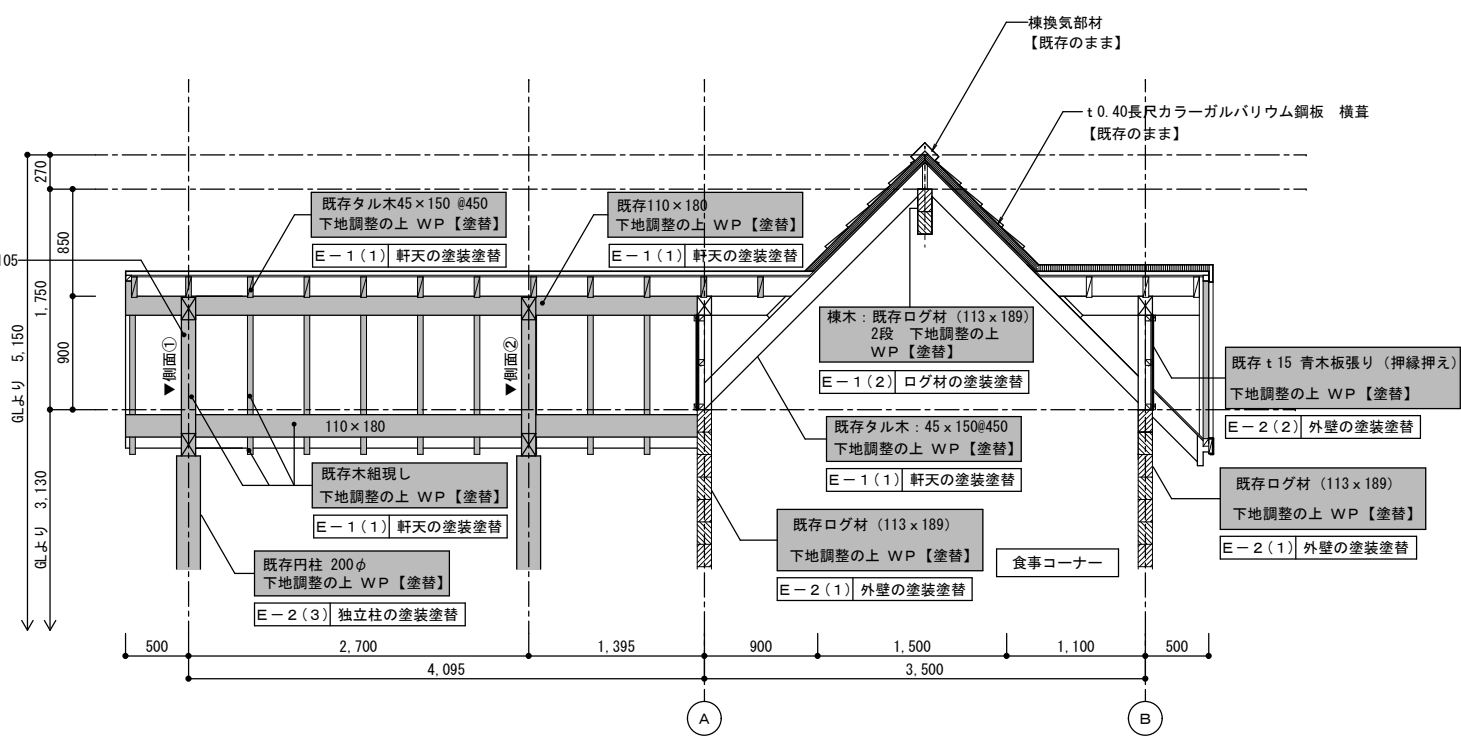


- 9タイプ
- |       |         |
|-------|---------|
| ①ウグイス | ⑥コガラ    |
| ②カッコウ | ⑧エゾフクロウ |
| ③ヤマセミ | ⑨キセキレイ  |
| ④クマガラ | ⑩シジュウカラ |
| ⑤アカゲラ |         |



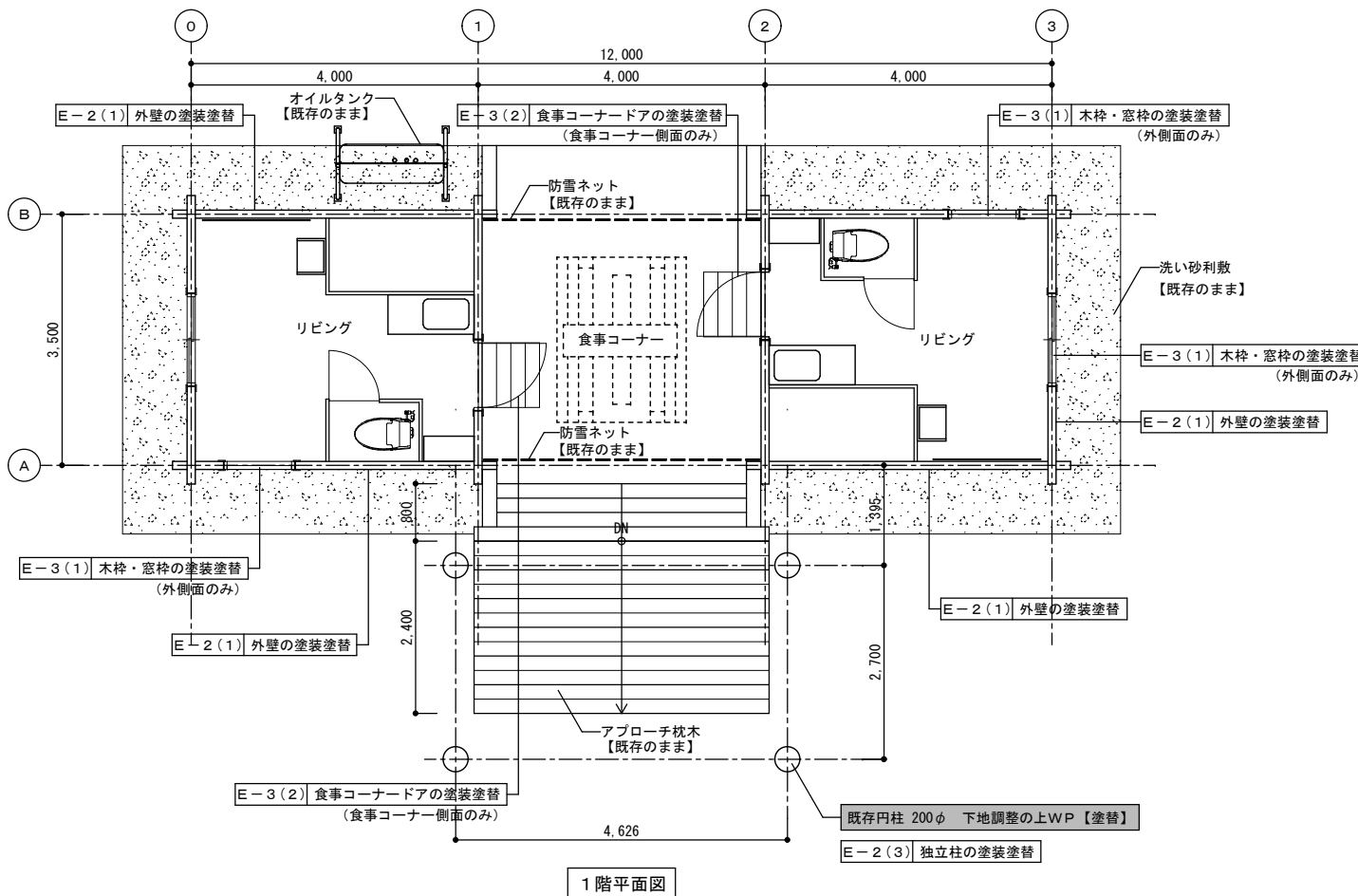
屋根伏図

- 凡例
- 1. a位置:破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板摺み直し 4ヶ所
  - 2. b位置:破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板摺み直し 2ヶ所
  - E-1(4) 破風板の改修

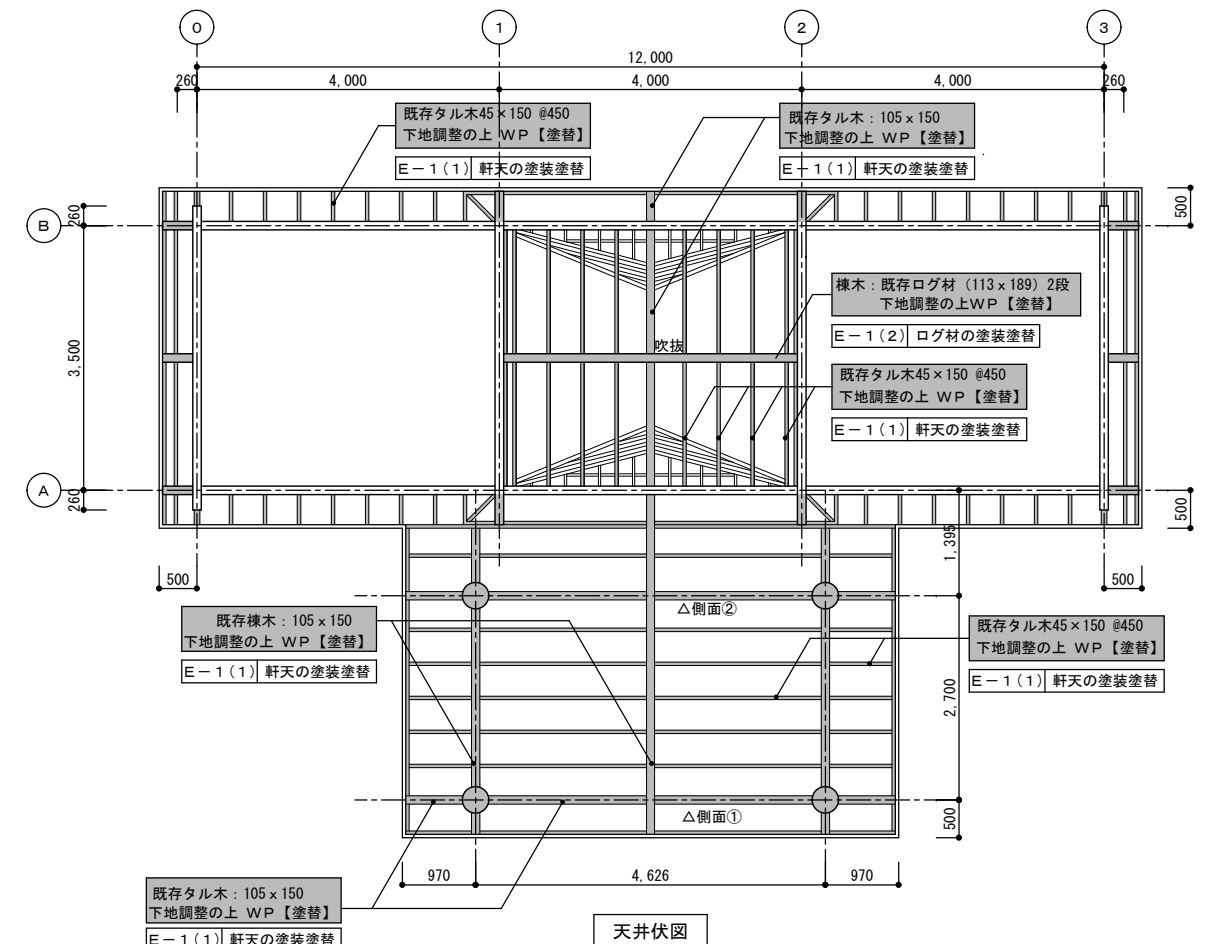


A-A断面詳細図 1/30

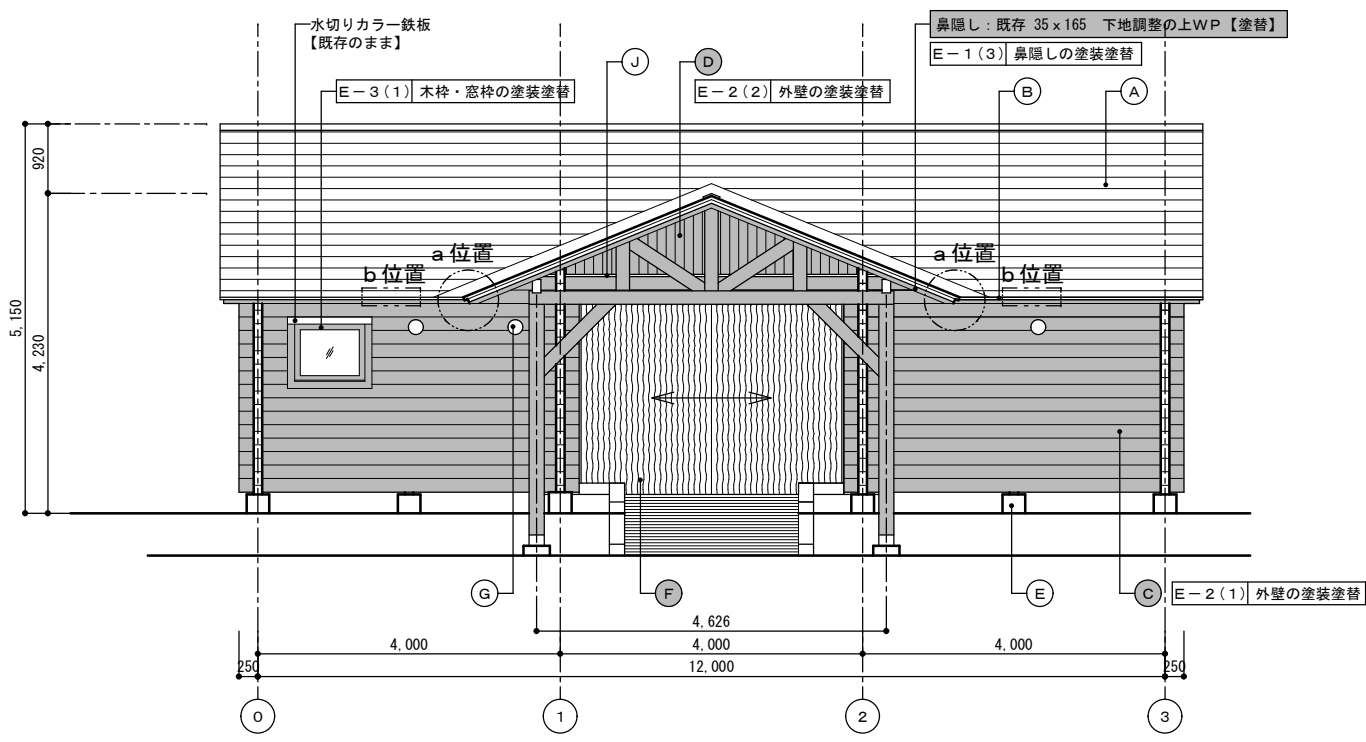
- 凡例:
- 改修範囲



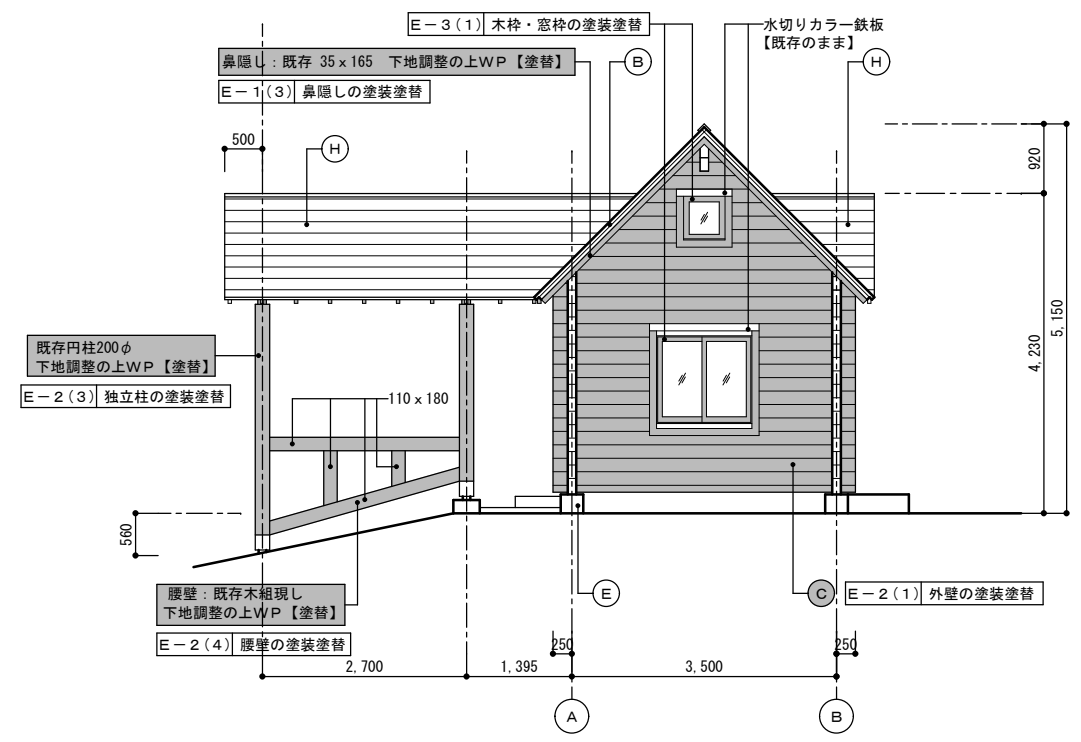
1階平面図



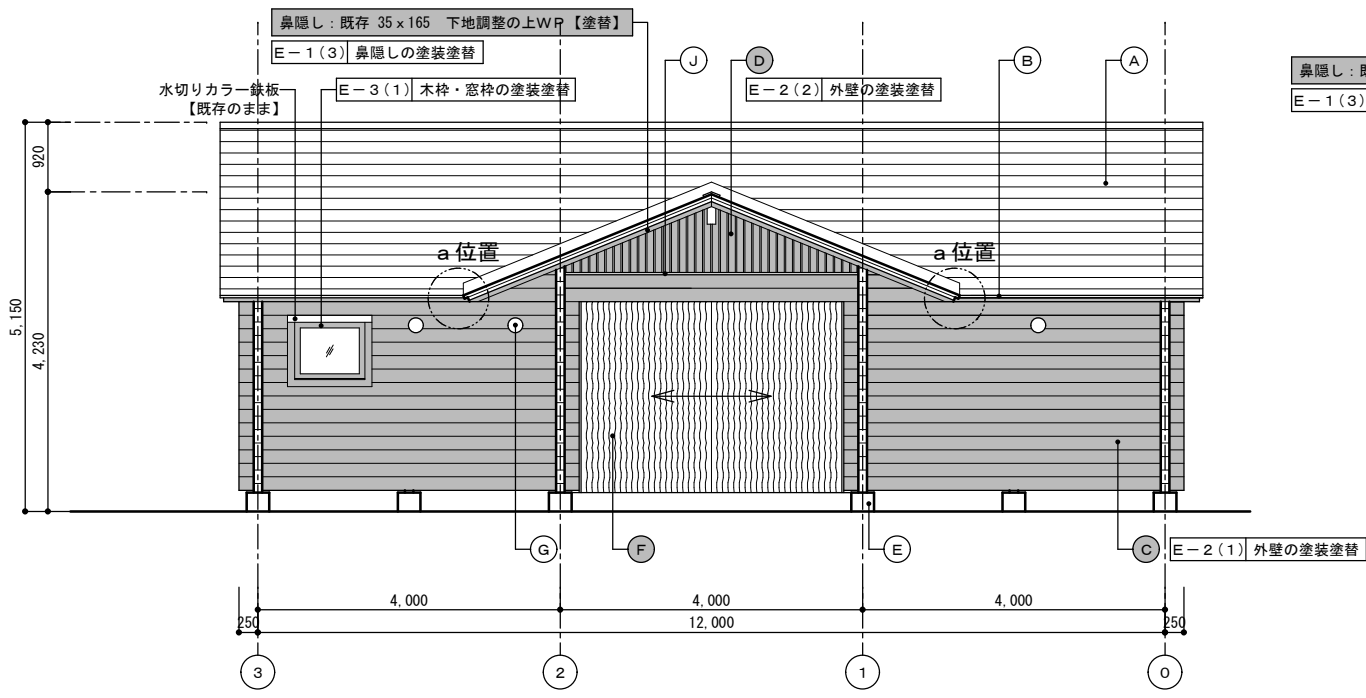
天井伏図



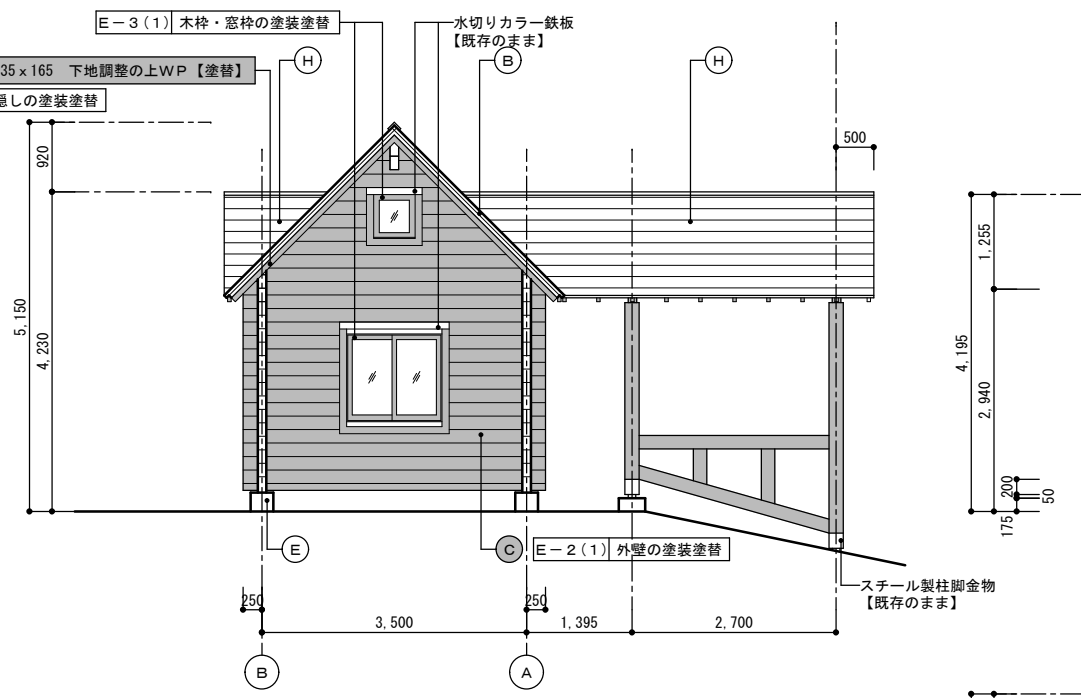
A面 立面図



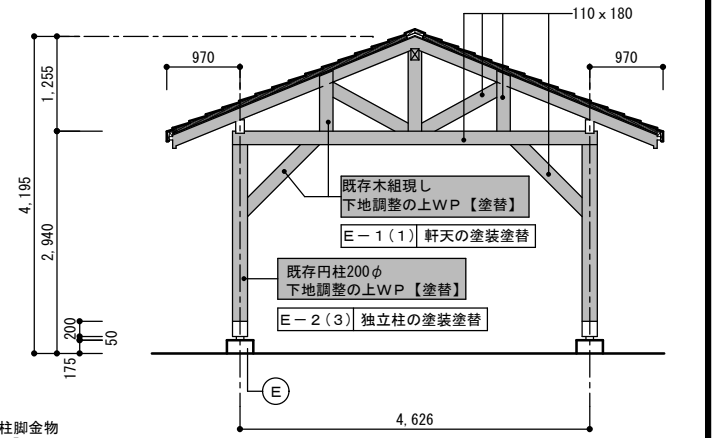
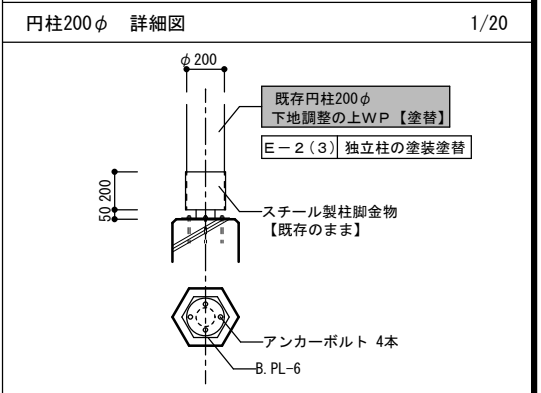
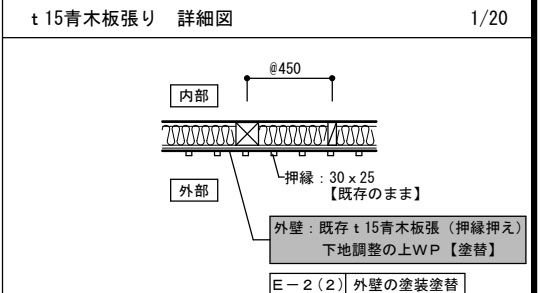
B面 立面図



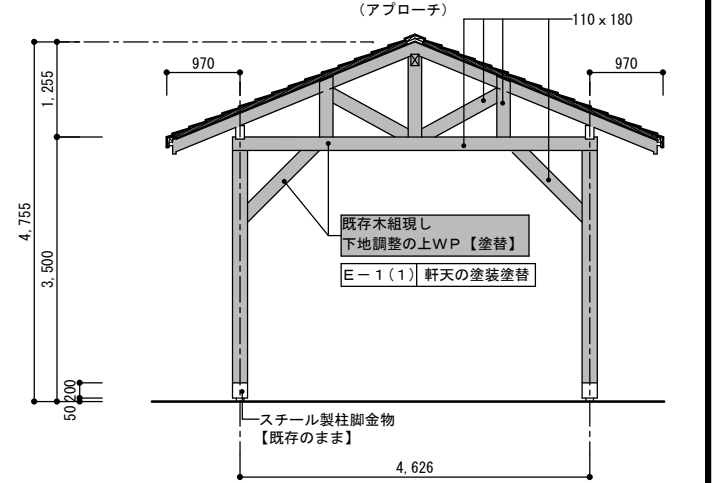
C面 立面図



D面 立面図



側面② 立面図  
(アプローチ)

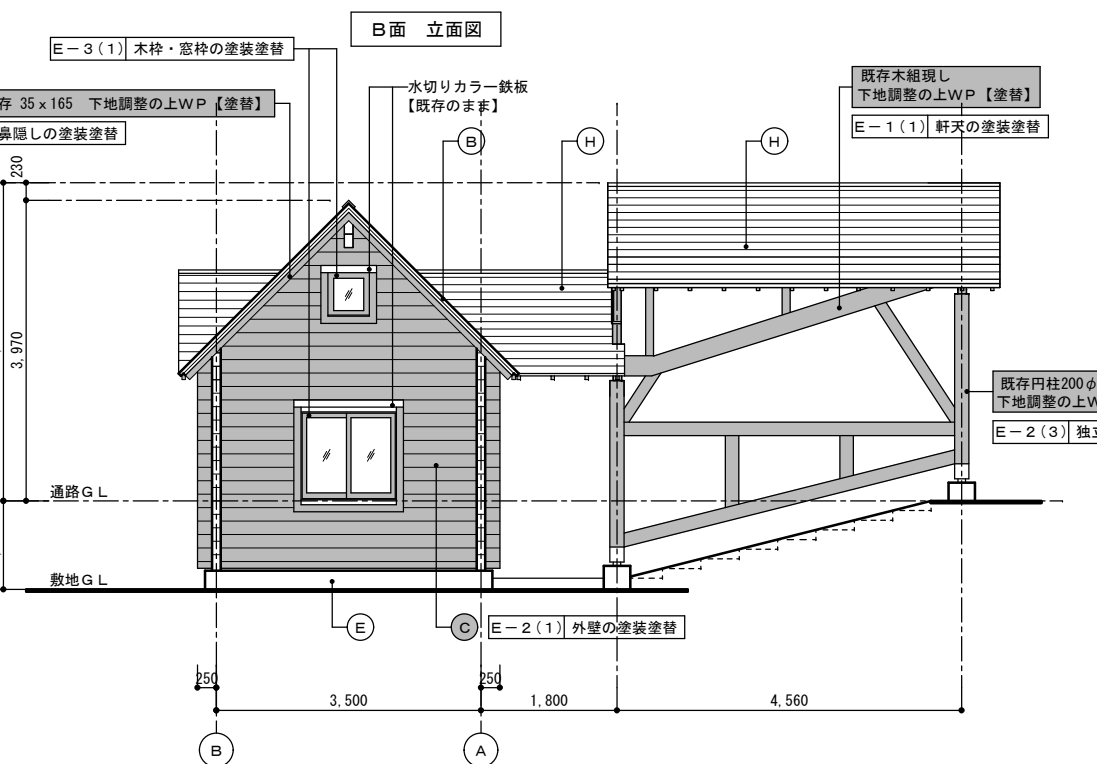
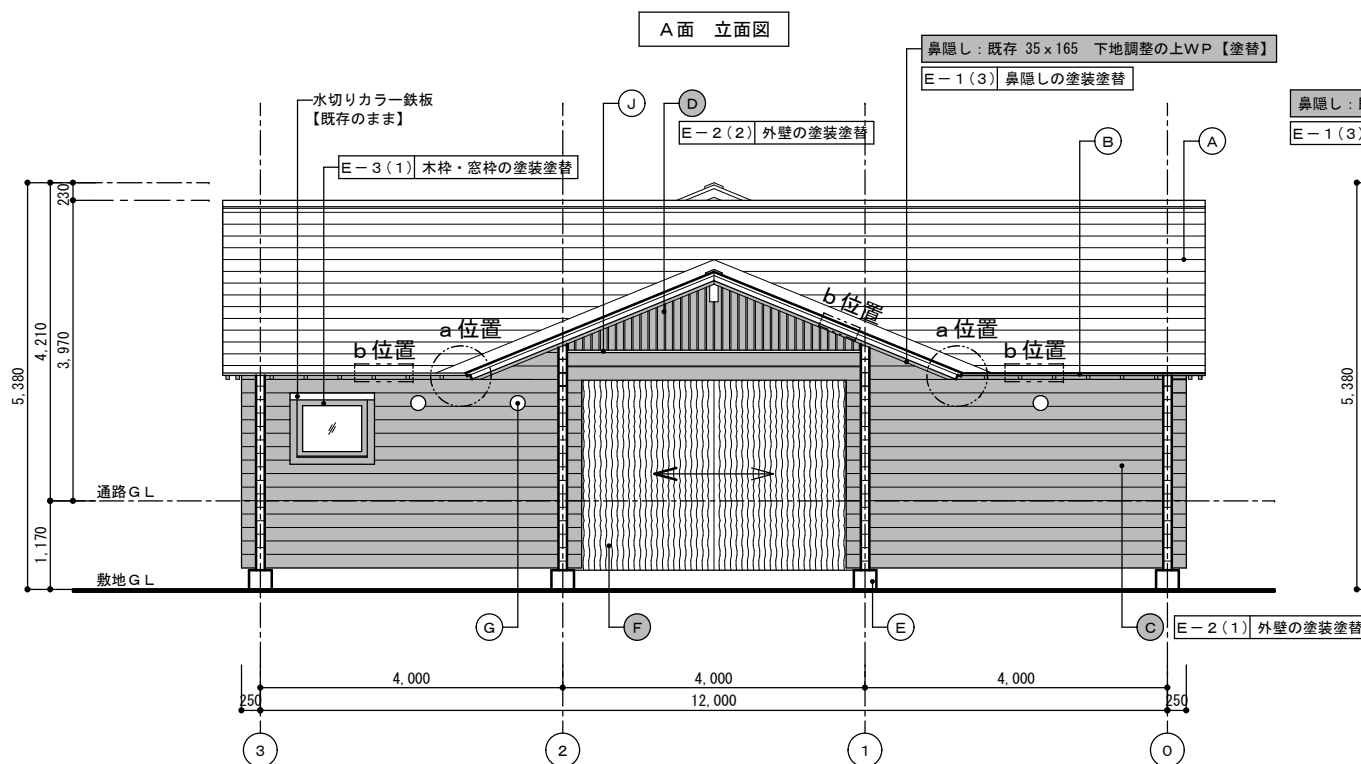
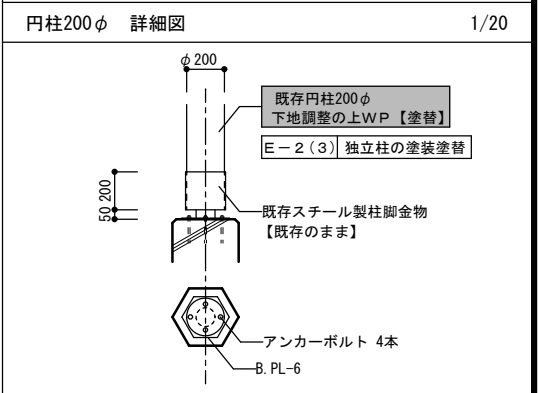
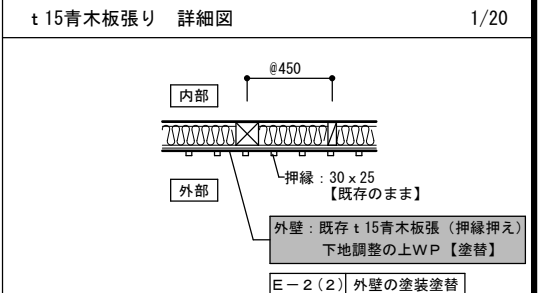
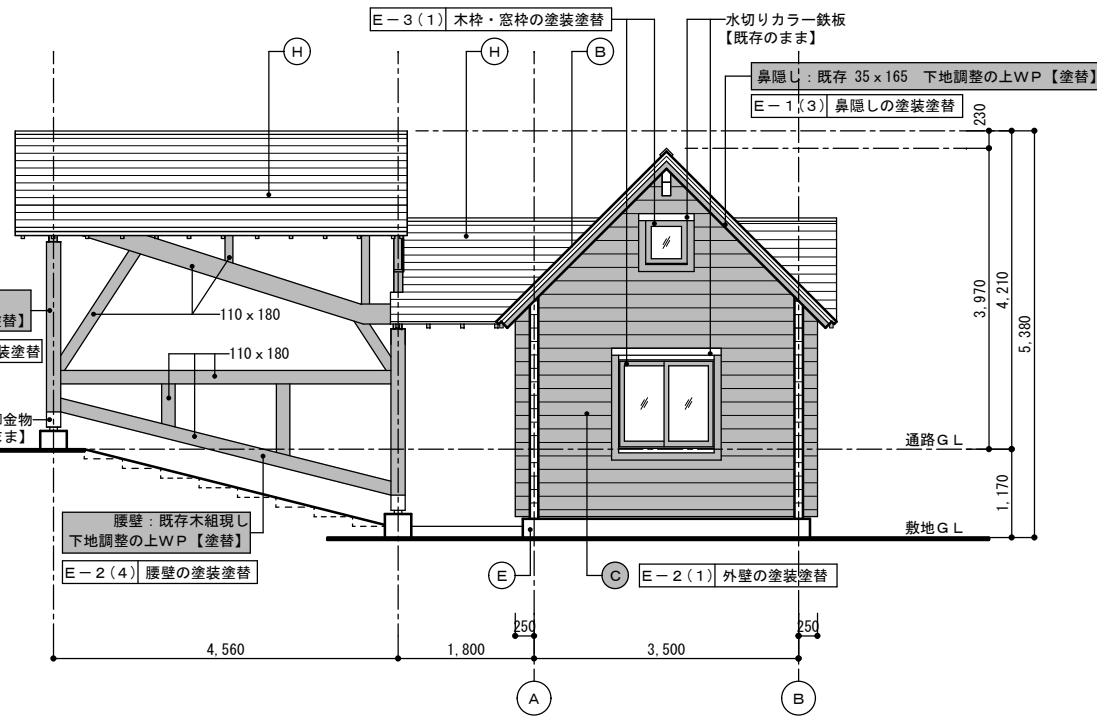
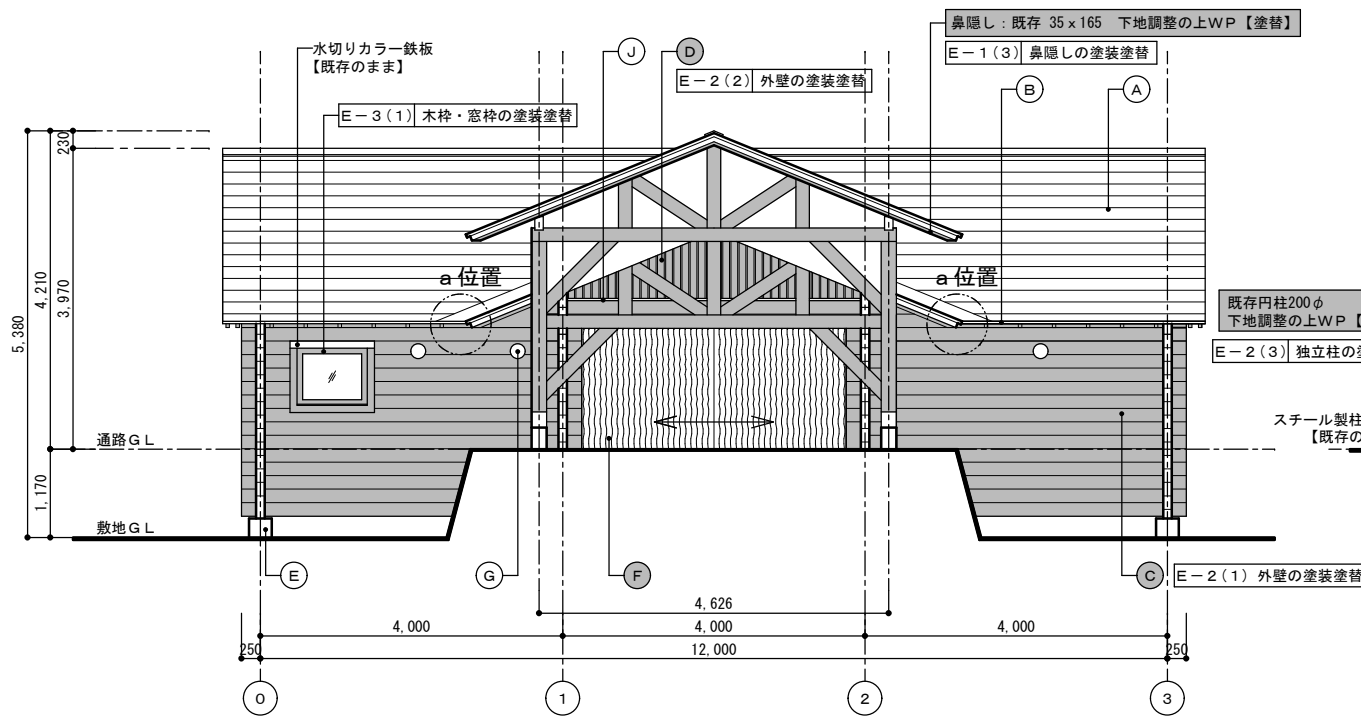


側面① 立面図  
(アプローチ)

記号	改修前 (既存)	改修後 (新設)	改修 No.
(A)	t 0.40長尺カラーガルバリウム鋼板 横葺	既存のまま	
(B)	t 0.40カラーガルバリウム鋼板包み	既存のまま	
(C)	既存 ログ材 (113×189) (1・2通 食事コーナー面共)	下地調整の上WP【塗替】	E-2(1) 外壁の塗装塗替
(D)	既存 t15青木板張 (押縁押え)	下地調整の上WP【塗替】	E-2(2) 外壁の塗装塗替
(E)	コンクリート独立基礎	既存のまま	
(F)	防雪ネット	既存のまま	
(G)	アルミセルフド 200φ DP塗装	既存のまま	
(H)	t 0.40長尺カラーガルバリウム鋼板 横葺	既存のまま	
(J)	t 0.35 カラー鉄板包み DP塗装	既存のまま	

- 凡例:
1.  改修範囲
  2. a位置:破風板 t 0.40カラーガルバリウム鋼板掴み直し 4ヶ所
  3. b位置:破風板 t 0.40カラーガルバリウム鋼板掴み直し 2ヶ所
- E-1(4) 破風板の改修



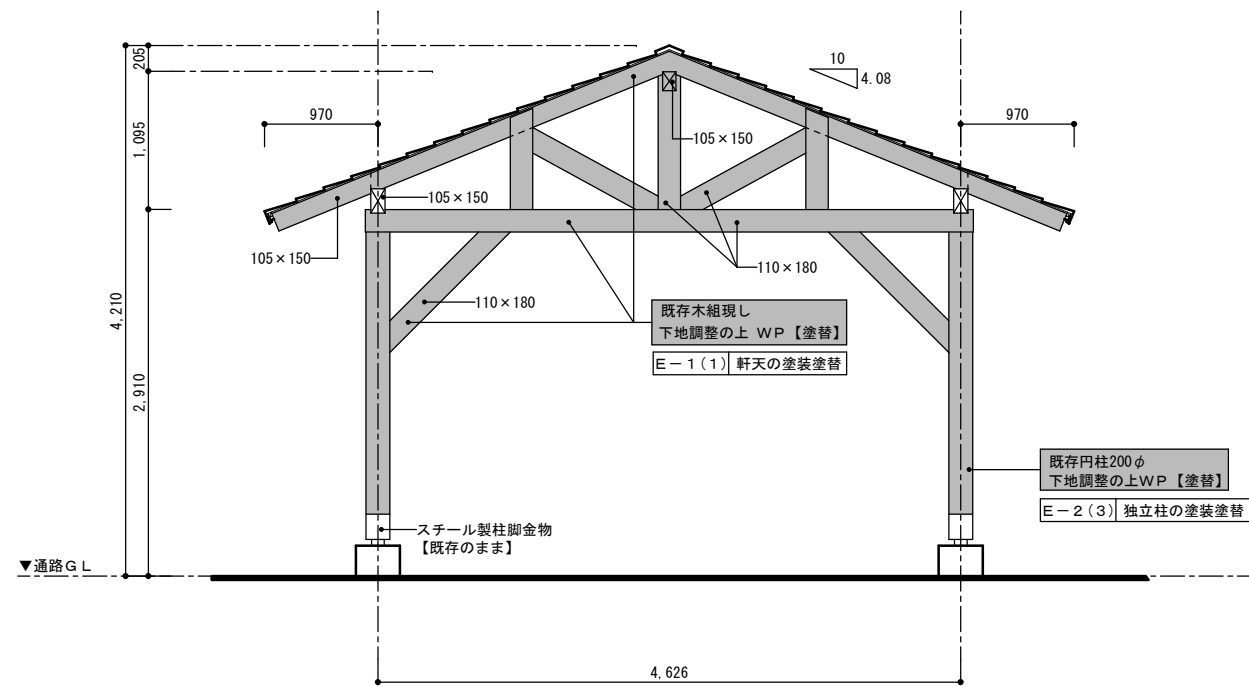


C面 立面図

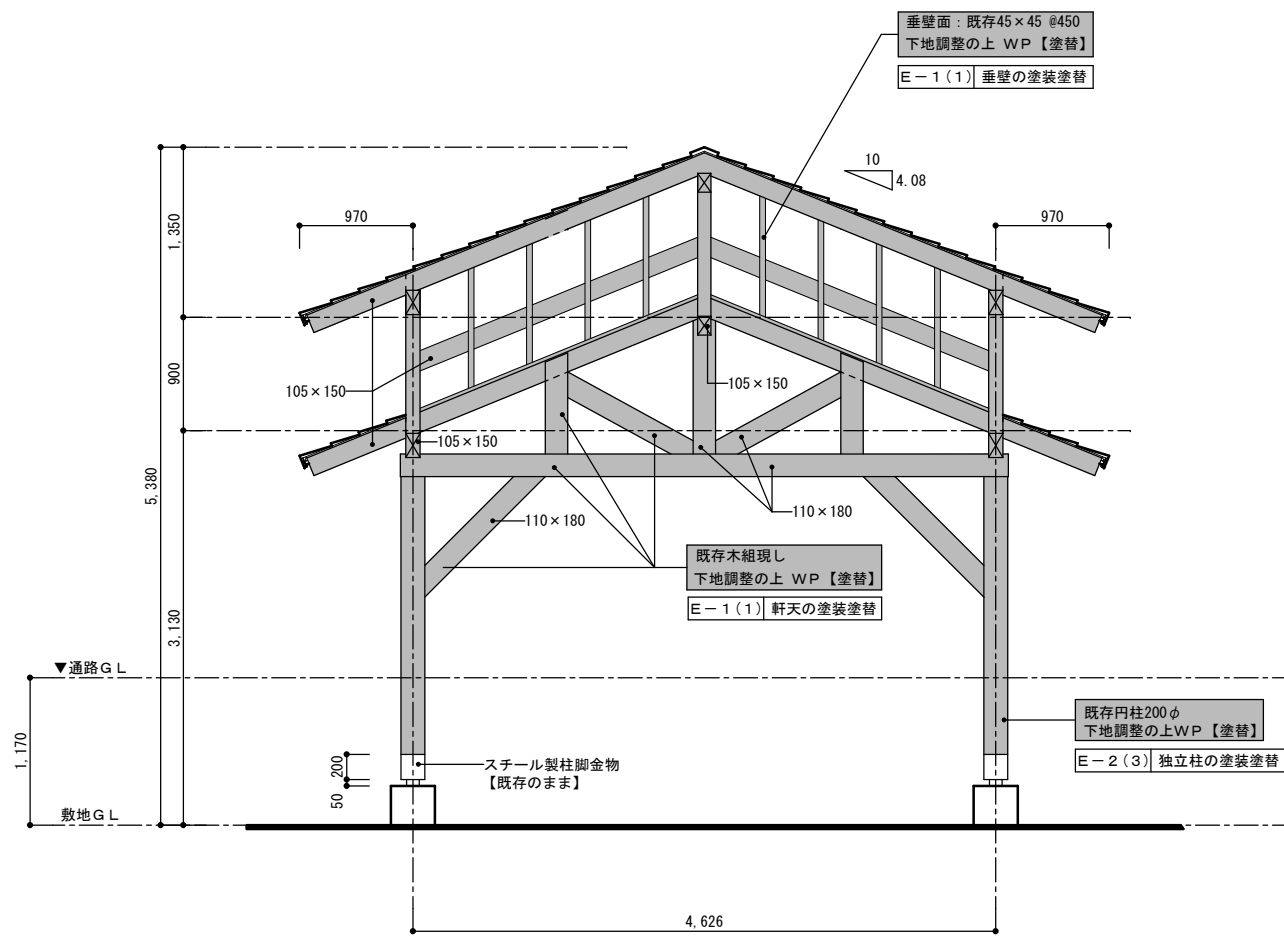
D面 立面図

- 凡例:
1.  改修範囲
  2. a位置: 破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板掘み直し 4ヶ所
  3. b位置: 破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板掘み直し 3ヶ所
- E-1(4) 破風板の改修

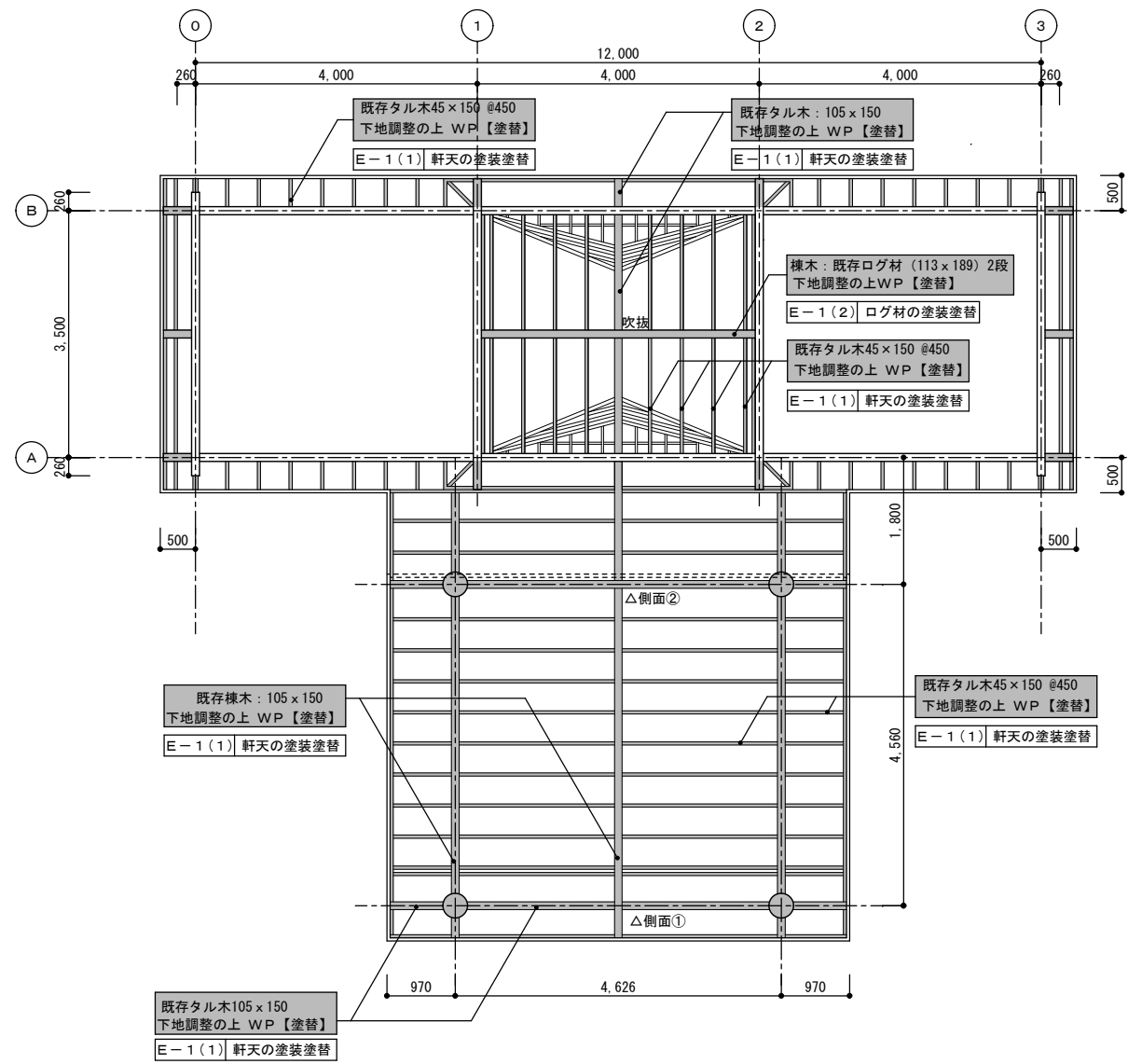
記号	改修前(既存)	改修後(新設)	改修 No.
(A)	t0.40長尺カラーガルバリウム鋼板 横葺	既存のまま	
(B)	t0.40カラーガルバリウム鋼板包み	既存のまま	
(C)	既存 ログ材 (113x189) (1・2通 食事コーナー面共)	下地調整の上WP【塗替】	E-2(1) 外壁の塗装塗替
(D)	既存 t15青木板張(押縁挿え)	下地調整の上WP【塗替】	E-2(2) 外壁の塗装塗替
(E)	コンクリート独立基礎	既存のまま	
(F)	防雪ネット	既存のまま	
(G)	アルミセルフード 200φ DP塗装	既存のまま	
(H)	t0.40長尺カラーガルバリウム鋼板 横葺	既存のまま	
(J)	t0.35 カラー鉄板包み DP塗装	既存のまま	



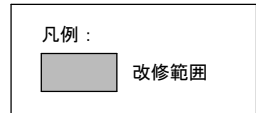
側面① 立面図



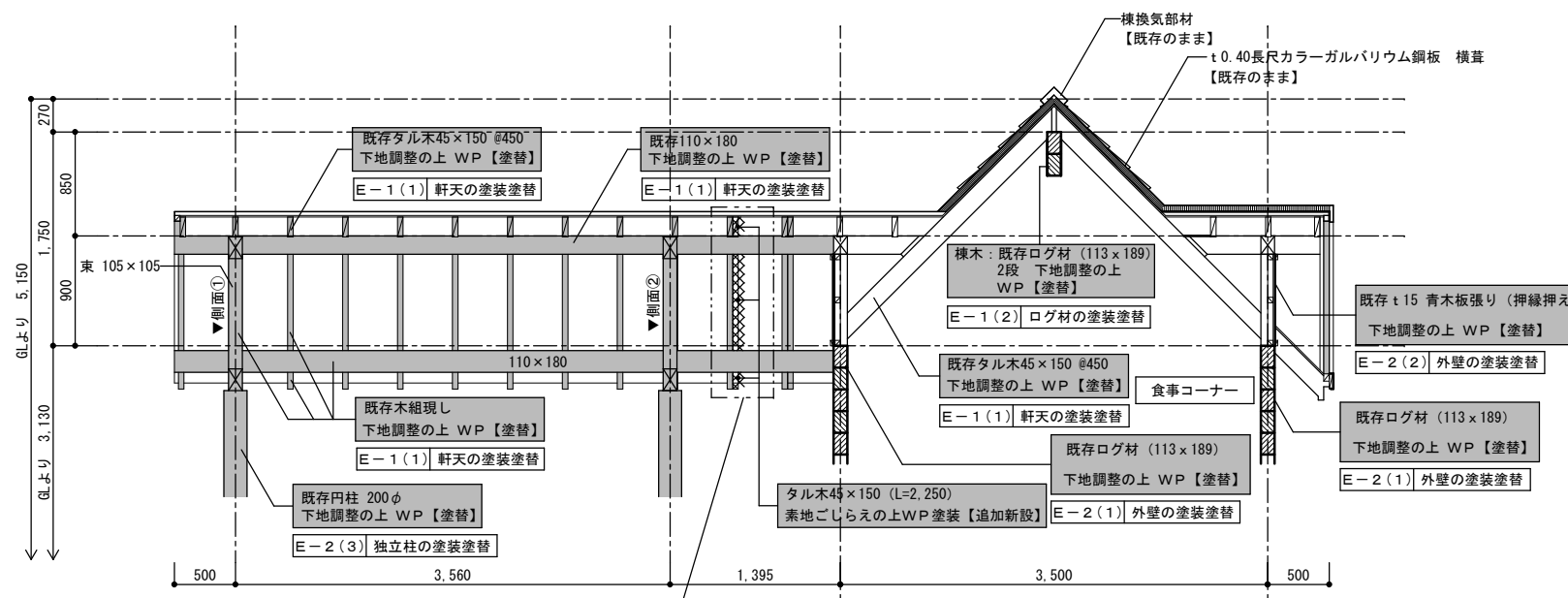
側面② 立面図



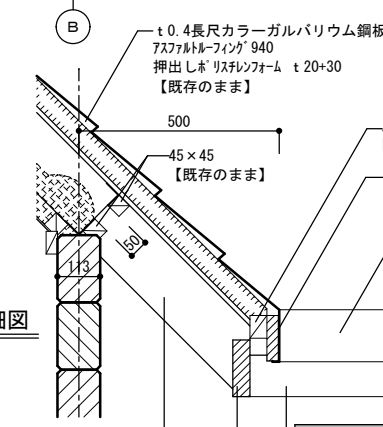
天井伏図



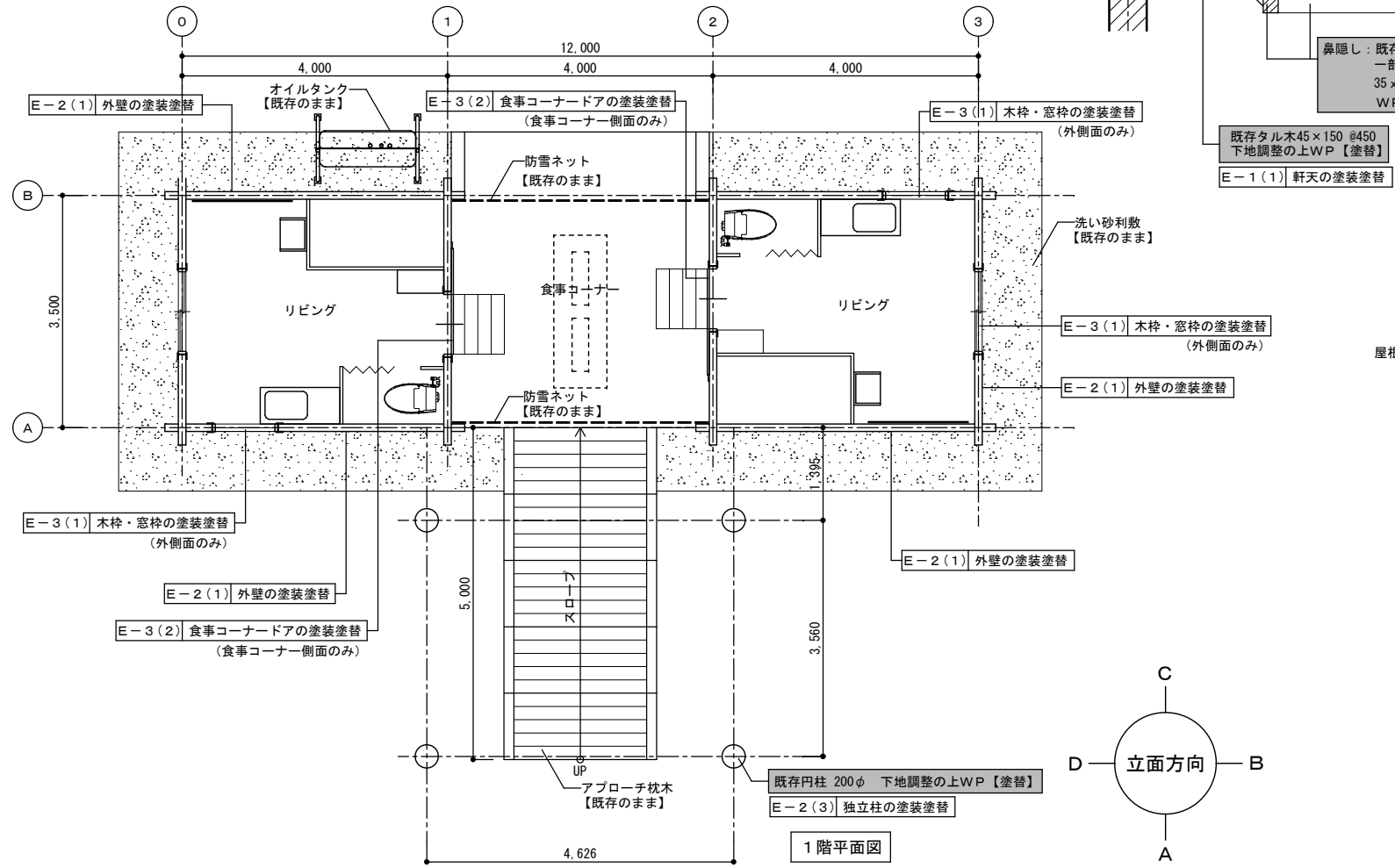




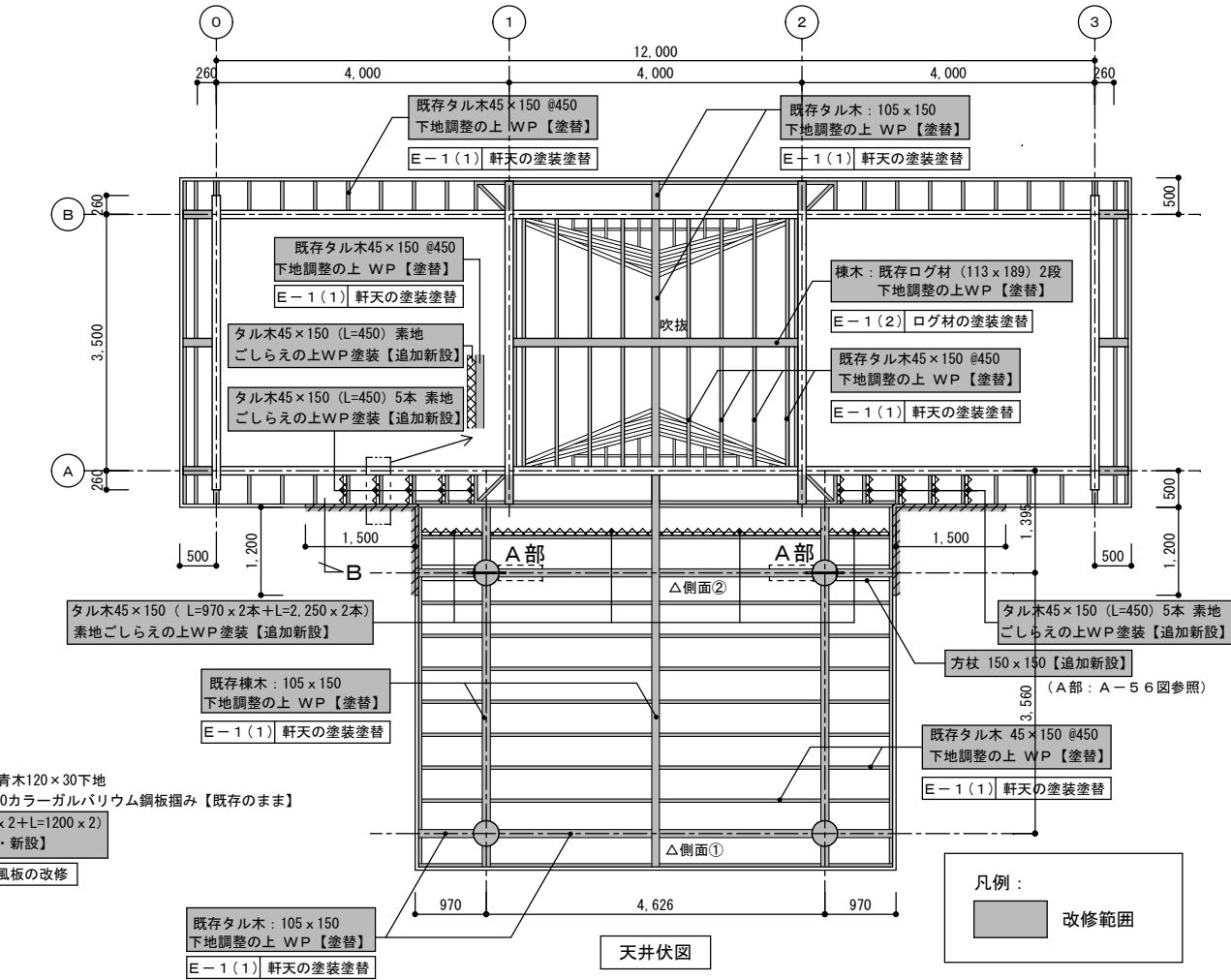
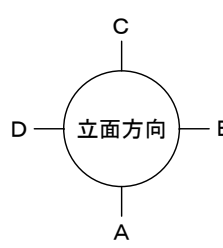
A-A断面詳細図 1/30



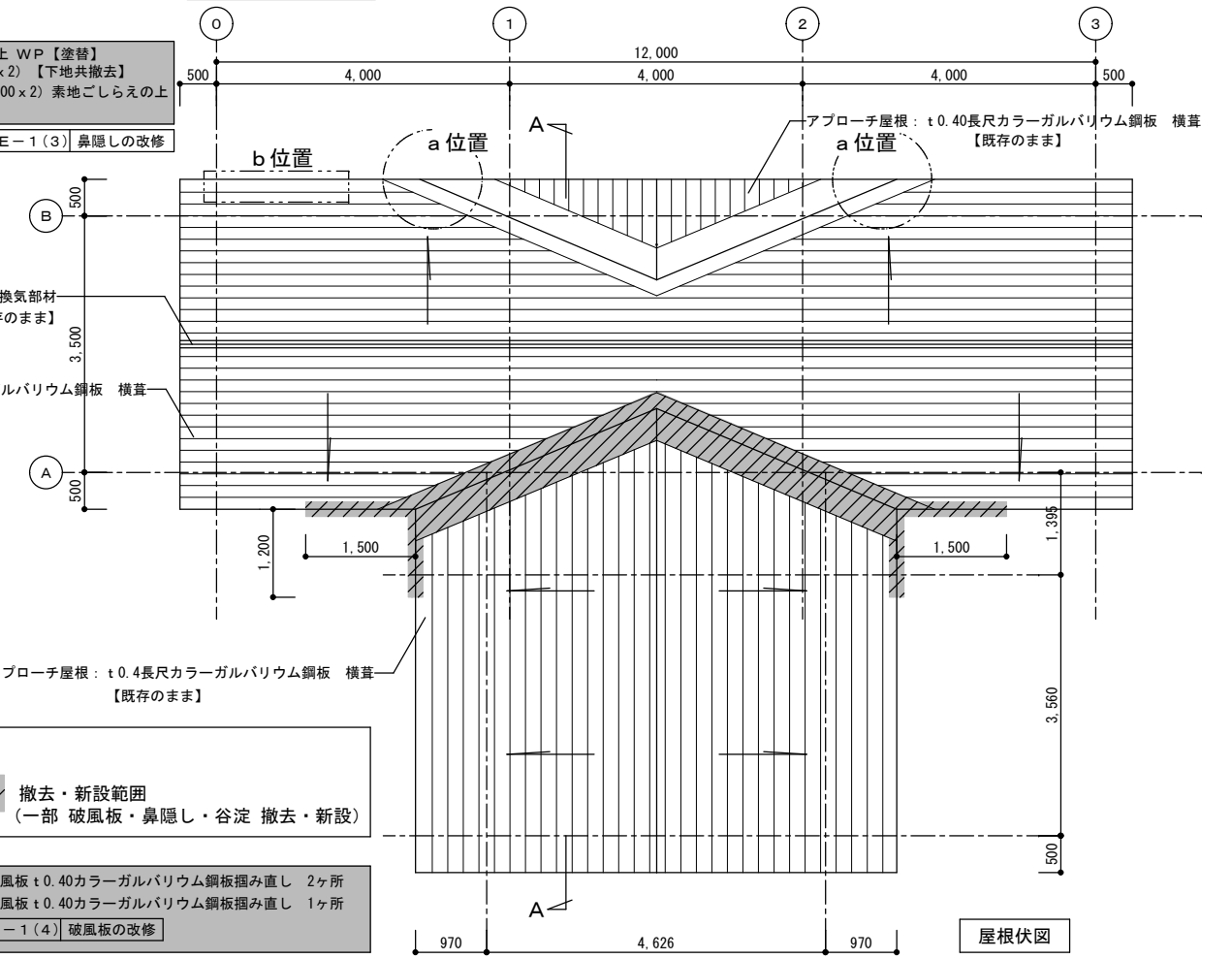
B断面詳細図



1階平面図



天井伏図



屋根伏図

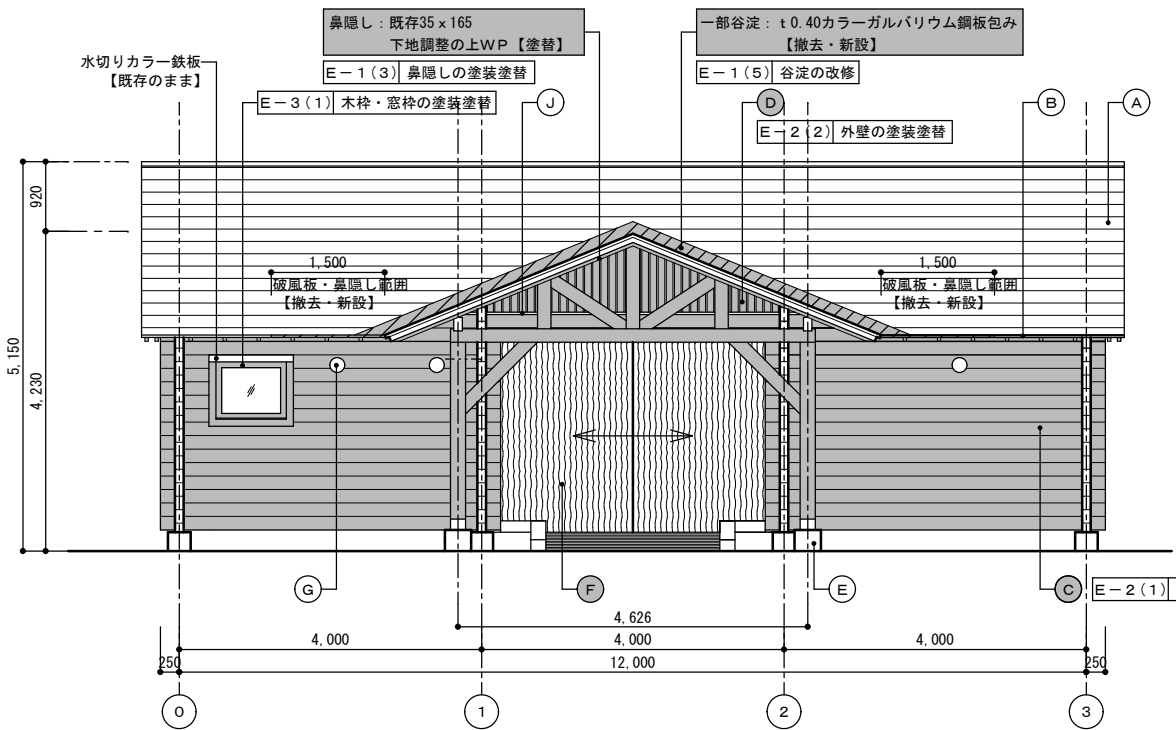
凡例:

- 撤去・新設範囲 (一部 破風板・鼻隠し・谷淀 撤去・新設)

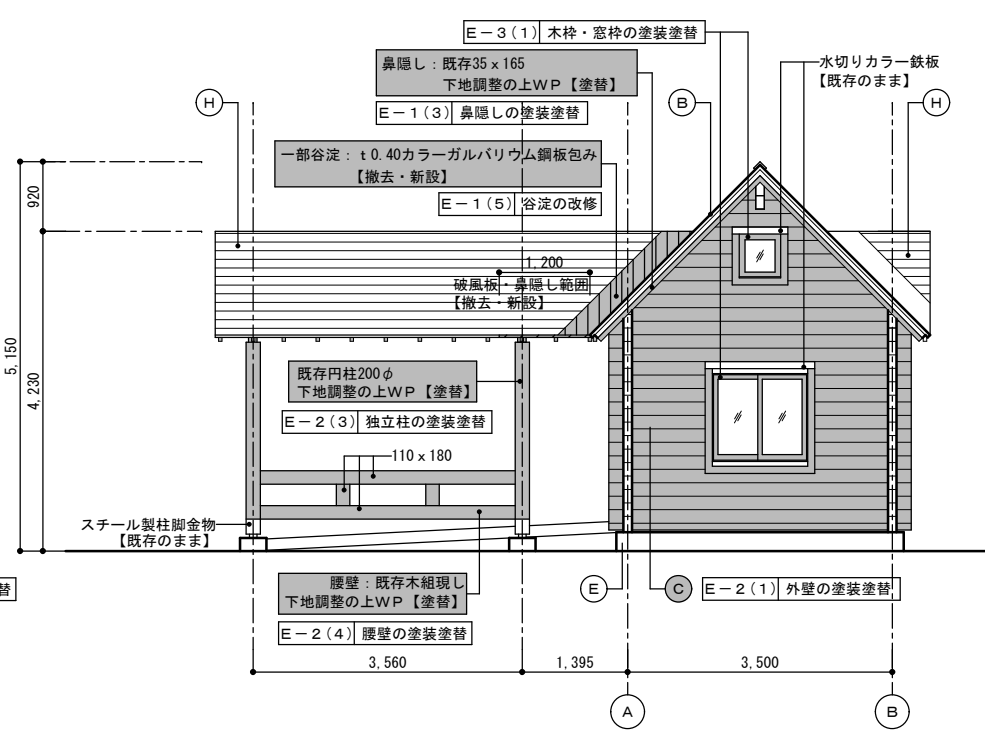
凡例:

- a位置: 破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板直直し 2ヶ所
- b位置: 破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板直直し 1ヶ所

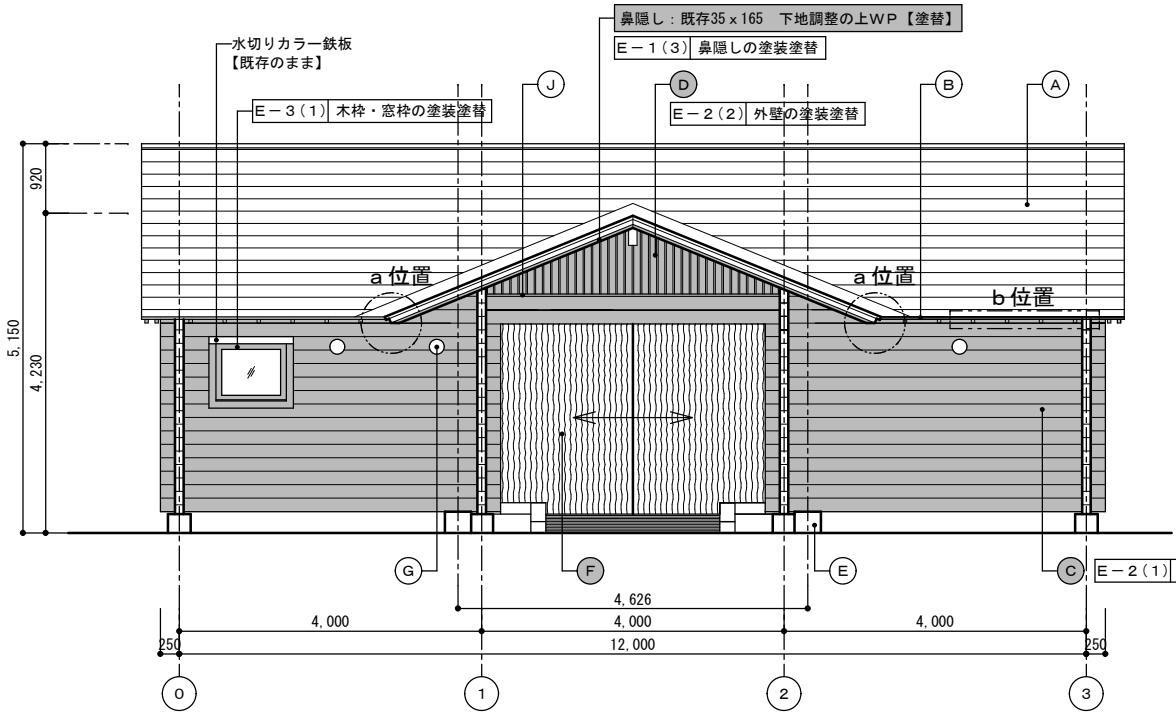
E-1(4) 破風板の改修



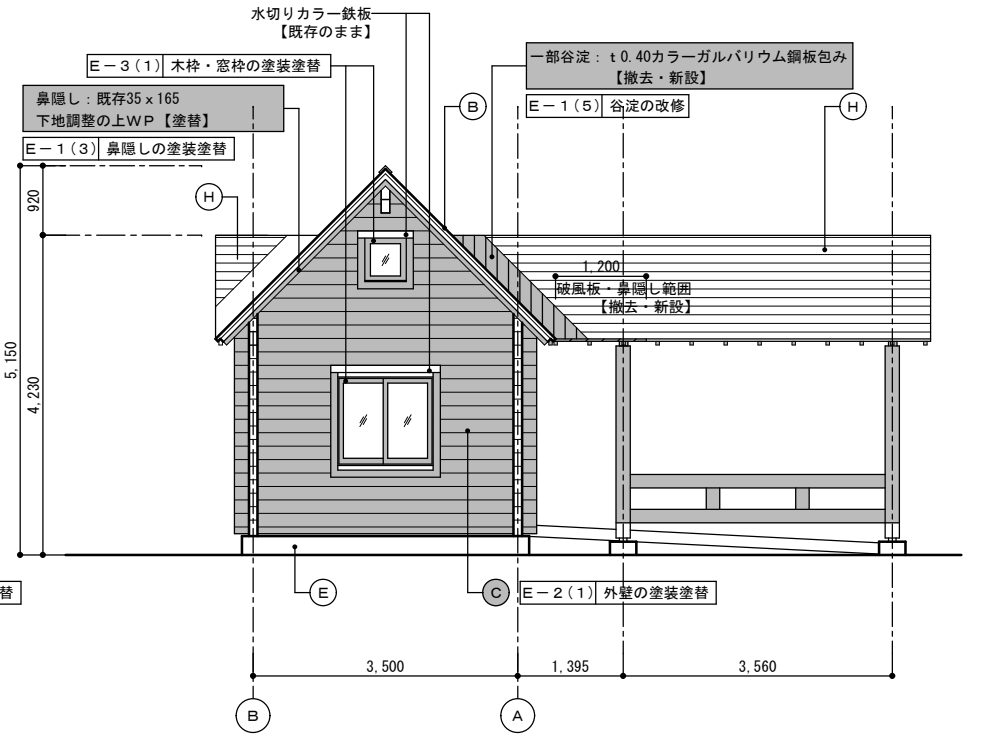
A面 立面図



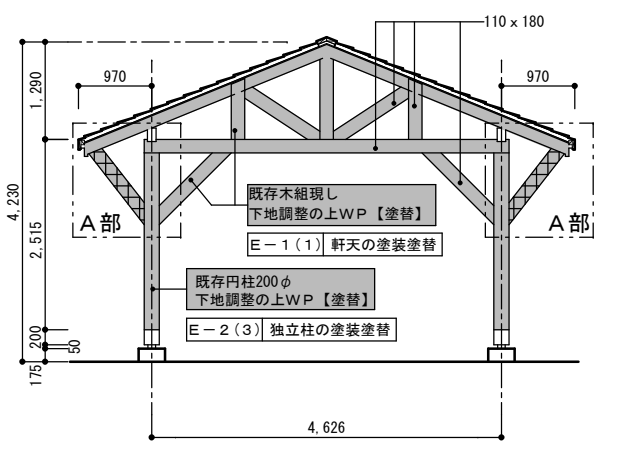
B面 立面図



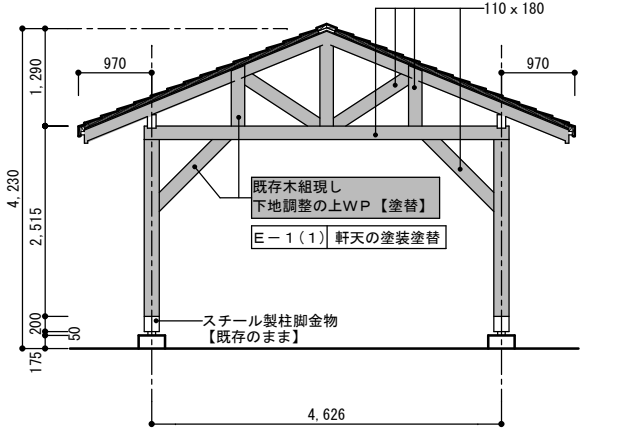
C面 立面図



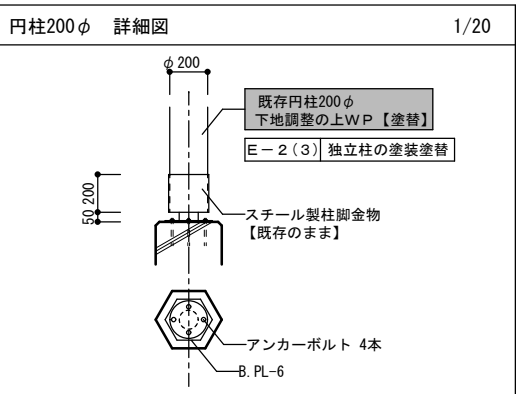
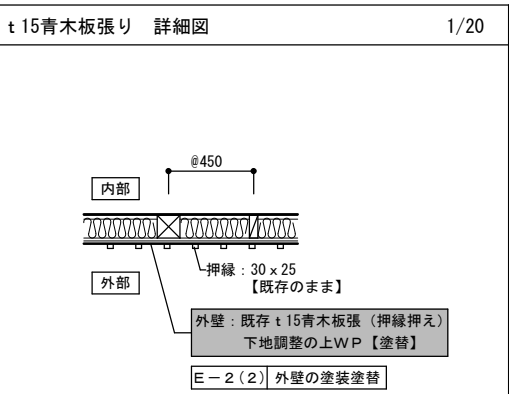
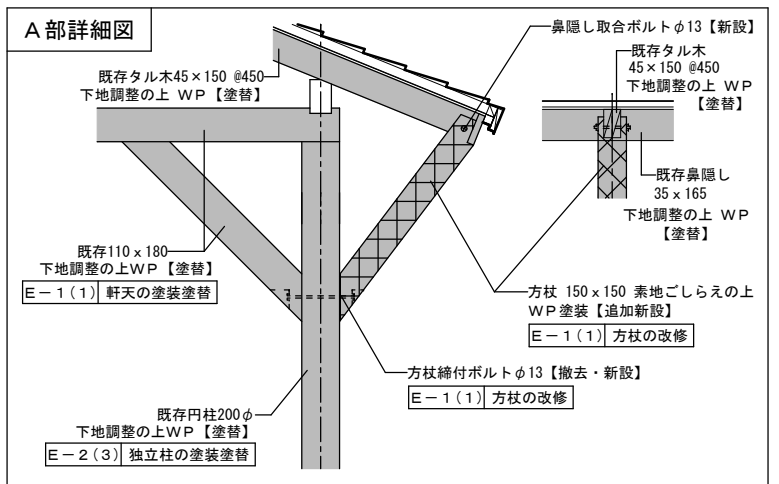
D面 立面図



側面② 立面図  
(アプローチ)

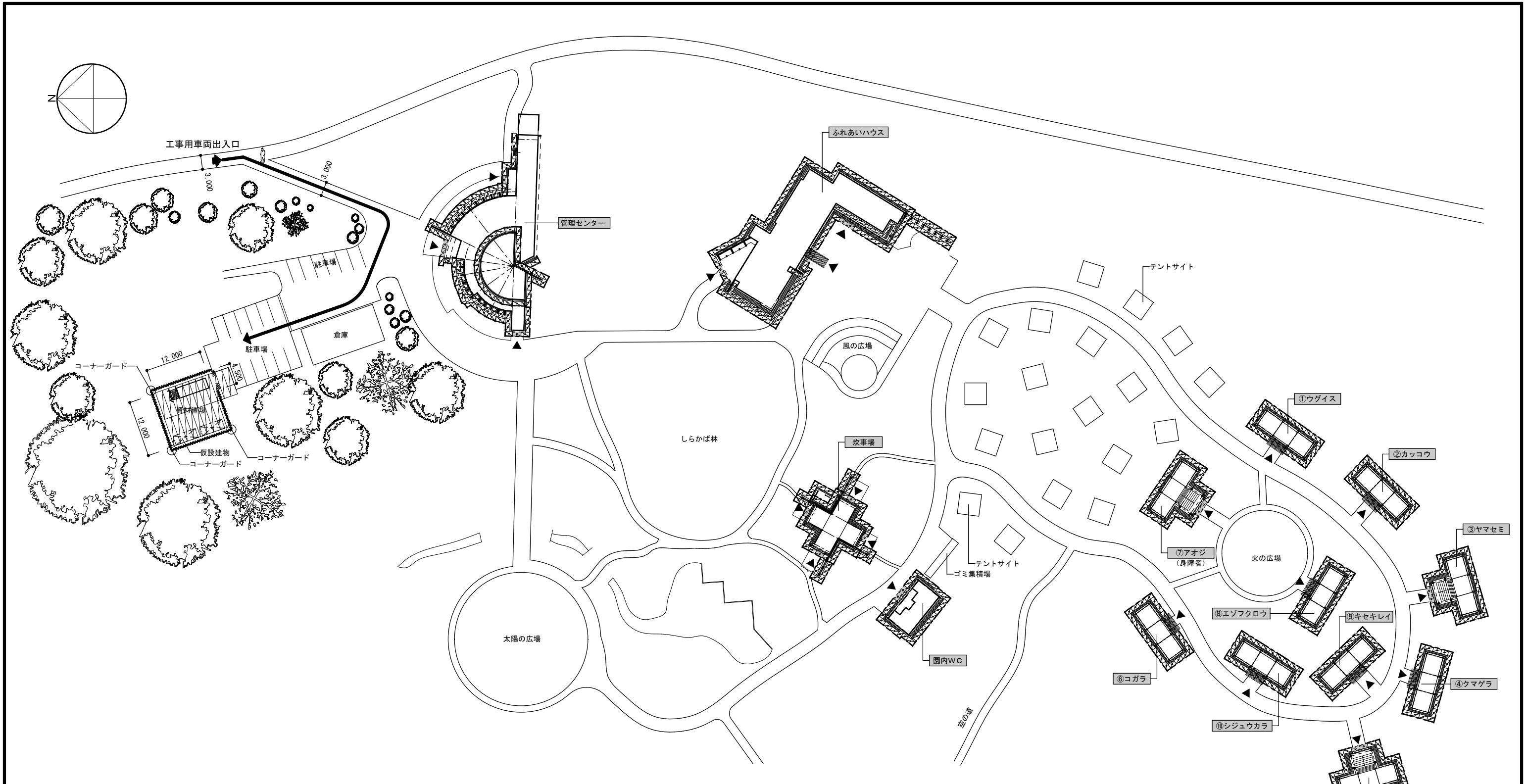


側面① 立面図  
(アプローチ)



- 凡例:
1. 改修範囲
  2. 撤去・新設範囲
  3. 方杖 150×150 素地ごしらえの上WP塗装 2ヶ所【追加新設】  
方杖締付ボルトφ13 2ヶ所【撤去・新設】  
鼻隠し取合ボルトφ13 2ヶ所【新設】  
E-1(1) 方杖の改修
  4. a位置:破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板掴み直し 2ヶ所  
E-1(4) 破風板の改修
  5. b位置:破風板 t0.40カラーガルバリウム鋼板掴み直し 1ヶ所  
E-1(4) 破風板の改修

記号	改修前 (既存)	改修後 (新設)	改修 No.
(A)	t0.40長尺カラーガルバリウム鋼板 横葺	既存のまま	
(B)	t0.40カラーガルバリウム鋼板包み	既存のまま	
(C)	既存 ログ材 (113×189) (1・2通 食事コーナー面共)	下地調整の上WP【塗替】	E-2(1) 外壁の塗装塗替
(D)	既存 t15青木板張 (押縁押え)	下地調整の上WP【塗替】	E-2(2) 外壁の塗装塗替
(E)	コンクリート独立基礎	既存のまま	
(F)	防雪ネット	既存のまま	
(G)	アルミセルフード 200Φ DP塗装	既存のまま	
(H)	t0.40長尺カラーガルバリウム鋼板 横葺	既存のまま	
(J)	t0.35 カラー鉄板包み DP塗装	既存のまま	



【 特記事項 】

- 資材等の取扱いに注意し、落下防止に努めること。
- 仮囲い、外部足場の外側など、金物等を鋭利な状態で突出させないように注意すること。
- 足場は既設防水層を傷めないこと。
- 工事資材搬入路等において大型車両等の出入りの場合、交通誘導警備員を配備すること。  
(配備する期間については、監督員と協議の上決定すること。)
- 仮設工事によって撤去したものは、原状復旧すること。
- 作業経路及び搬入経路部分については養生・整理整頓を入念におこなうこと。
- 資材搬入時間は、監督員及び施設関係者と打ち合わせをおこなうこと。
- 宿泊施設であるため、17時から翌日9時までは音出しは不可とする。
- 資材置場から工事車両が構内を走行する際は、交通誘導員が車両を誘導し一般利用者の安全を確保すること。

【 工程上の留意点 】

- 炊事場の施工にあたっては、15日間程度の利用停止を想定している。  
(工程について、施工開始前に監督員及び施設管理者と協議すること)
- コテージについては、下記の期間内に施工すること。(宿泊利用停止期間)
  - ウグイス・カッコウ・ヤマセミ・・・9月5日から10月1日
  - クマゲラ・アカゲラ・セキレイ・・・10月1日から10月24日
  - アオジ・エゾフクロウ・コガラ・シジュウカラ・・・10月24日から11月21日
- その他の施設は、営業を継続したまま施工する為、適宜、監督員及び施設管理者と協議すること。

凡 例	仕 様		
	手スリ先行枠組足場	W=900	
	手スリ先行枠組足場	W=600	
	ネット状養生シート張り		
	落下防止柵 (小幡ネット)		
	進入口養生		
	ガードフェンス	H=1,800	50.1m
	クロスゲート	W=4,500	1ヶ所
	工事用資材置場・敷鉄板	1,524 x 6,096 x 22	19枚
	コーナーガード	仮囲い幅 H=1,800	3ヶ所
	交通誘導員		
	工事車両進入口		

